前谷地小学校屋内運動場改築工事

実施設計図

令和７年５月

Spirit Of Place 関・空間設計

石巻市建設部建築課

建築意匠図

図番	図面名称	縮尺 A1	縮尺 A3
A-001	建築工事特記仕様書1	—	—
A-002	建築工事特記仕様書2	—	—
A-003	建築工事特記仕様書3	—	—
A-004	建築工事特記仕様書4	—	—
A-005	建築工事特記仕様書5	—	—
A-006	建築工事特記仕様書6	—	—
A-007	建築工事特記仕様書7	—	—
A-008	建築工事特記仕様書8	—	—
A-009	建築工事特記仕様書9	—	—
A-010	建築工事特記仕様書10	—	—
A-011	工事区分表	—	—
A-012	工事概要書	—	—
A-013	現況配置図	1/300	1/600
A-014	配置図・案内図	1/300	1/600
A-015	仮設計画図	1/300	1/600
A-016	敷地求積図	1/300	1/600
A-017	建物求積図・面積表・法チェック	1/200	1/400
A-018	平均地盤面算定図	1/200	1/400
A-019	仕上共通事項・外部仕上表	—	—
A-020	内部仕上表	—	—
A-101	1階平面図	1/150	1/300
A-102	メンテナンスギャラリー平面図	1/150	1/300
A-103	屋根伏図・ピット平面図	1/150	1/300
A-104	立面図	1/150	1/300
A-105	断面図	1/100	1/200
A-106	矩計図1	1/30	1/60
A-107	矩計図2	1/30	1/60
A-108	階段詳細図	1/30	1/60
A-109	1階平面詳細図1	1/50	1/100
A-110	1階平面詳細図2	1/50	1/100
A-111	点検歩廊平面詳細図	1/50	1/100
A-112	展開図1	1/50	1/100
A-113	展開図2	1/50	1/100
A-114	展開図3	1/50	1/100
A-115	展開図4	1/50	1/100
A-116	展開図5	1/50	1/100
A-117	天井伏図	1/150	1/300
A-118	建具キープラン	1/150	1/300
A-119	建具表1	1/100	1/200
A-120	建具表2	1/100	1/200
A-201	標準詳細図	図示	図示
A-202	雑詳細図	図示	図示
A-301	屋根詳細図1	1/4	1/8
A-302	屋根詳細図2	1/4	1/8
A-303	アルミ製建具詳細図1	1/2	1/4
A-304	アルミ製建具詳細図2	1/2	1/4
A-305	アルミ製建具詳細図3	1/2	1/4
A-306	鋼製床詳細図1	図示	図示
A-307	鋼製床詳細図2	図示	図示
A-308	体育器具詳細図1	図示	図示
A-309	体育器具詳細図2	図示	図示
A-310	体育器具詳細図3	図示	図示
A-311	体育器具詳細図4	図示	図示
A-312	体育器具詳細図5	図示	図示
A-313	収納台車詳細図	図示	図示
A-314	舞台機構詳細図1	図示	図示
A-315	舞台機構詳細図2	図示	図示

建築意匠図

図番	図面名称	縮尺 A1	縮尺 A3
A-316	家具キープラン	1/150	1/300
A-317	家具詳細図1	図示	図示
A-318	家具詳細図2	図示	図示
A-319	サインキープラン	1/150	1/300
A-320	サイン詳細図	図示	図示
A-401	渡り廊下詳細図	図示	図示
A-402	外部倉庫詳細図1	1/50	1/100
A-403	外部倉庫詳細図2	1/50	1/100
A-404	駐輪場詳細図	図示	図示
A-501	概略工事工程表	—	—
A-502	工事工程図	1/600	1/1200
A-503	家屋調査図	—	—

外構図

図番	図面名称	縮尺 A1	縮尺 A3
L-001	撤去移設平面図	1/300	1/600
L-002	植栽撤去図	1/300	1/600
L-003	撤去詳細図(1)	図示	図示
L-004	撤去詳細図(2)	図示	図示
L-005	移設詳細図(1)	図示	図示
L-006	移設詳細図(2)	図示	図示
L-007	造成図	1/250	1/500
L-008	地割図	1/250	1/500
L-009	雨水排水平面図(1)	1/300	1/600
L-010	雨水排水平面図(2)＜部分拡大図(1)＞	1/150	1/300
L-011	雨水排水平面図(3)＜部分拡大図(2)＞	1/150	1/300
L-012	グランド工事平面図	1/200	1/400
L-013	舗装平面図	1/250	1/500
L-014	施設平面図	1/250	1/500
L-015	新設詳細図(1)	図示	図示
L-016	新設詳細図(2)	図示	図示
L-017	新設詳細図(3)	図示	図示
L-018	土量図	1/300	1/600

解体図

図番	図面名称	縮尺 A1	縮尺 A3
K-001	解体工事特記仕様書1	—	—
K-002	解体工事特記仕様書2	—	—
K-101	既存屋内運動場　平面図・仕上表	1/75	1/150
K-102	既存屋内運動場　立面図・建具表	1/75	1/150
K-103	既存屋内運動場　断面図・矩計図(ステージ側)	図示	図示
K-104	既存屋内運動場　矩計図	1/15	1/30
K-105	既存屋内運動場　基礎伏図	1/75	1/150
K-106	既存屋内運動場　小屋伏図	1/75	1/150
K-107	既存屋内運動場　軸組図1	1/75	1/150
K-108	既存屋内運動場　軸組図2	1/75	1/150
K-109	既存屋内運動場　鉄骨シェル伏図 軸組図	1/125	1/250
K-110	既存屋内運動場　基礎リスト 杭撤去図	1/30	1/60
K-111	既存屋内運動場　架構詳細図1	1/20	1/40
K-112	既存屋内運動場　架構詳細図2	1/20	1/40
K-201	既存渡廊下 平面図・屋根伏図・立面図・矩計図	図示	図示
K-202	既存渡廊下 屋根伏図・基礎伏図・軸組図・詳細図	図示	図示
K-301	既存倉庫1 平面図・立面図・建具表・伏図	1/100	1/200
K-302	既存倉庫1 仕上表・詳細図	1/30	1/60
K-401	既存倉庫2 平面図・立面図・小屋伏図・矩計図	1/50	1/100
K-501	既存プレハブ倉庫 平面図・立面図	1/20	1/40
K-601	既存駐輪場 平面図・立面図・小屋伏図・矩計図	1/50	1/100
	（電気設備）		
K-701	電灯設備 1階 撤去図	1/100	1/200
K-702	弱電設備 1階 撤去図	1/100	1/200
K-703	渡り廊下 弱電・電灯コンセント設備　撤去図	1/100	1/200

構造図

図番	図面名称	縮尺 A1	縮尺 A3
S-001	構造設計特記仕様 その1	—	—
S-002	構造設計特記仕様 その2	—	—
S-003	鉄筋コンクリート造配筋標準図(1)	—	—
S-004	鉄筋コンクリート造配筋標準図(2)	—	—
S-005	鉄筋コンクリート造配筋標準図(3)	—	—
S-006	鉄筋コンクリート造配筋標準図(4)	—	—
S-007	鉄筋コンクリート造配筋標準図(5)	—	—
S-008	鉄筋コンクリート造配筋標準図(6)	—	—
S-009	鉄筋コンクリート造配筋標準図(7)	—	—
S-010	鉄筋コンクリート造配筋標準図(8)	—	—
S-011	鉄筋コンクリート造配筋標準図(9)	—	—
S-012	鉄筋コンクリート造配筋標準図(10)	—	—
S-013	鉄筋コンクリート造配筋標準図(11)	—	—
S-014	鉄骨構造配筋標準図(1)	—	—
S-015	鉄骨構造配筋標準図(2)	—	—
S-016	ハイベースNEO工法 設計施工標準	—	—
S-017	ハイベースNEO工法 各種寸法及び柱型設計例	—	—
S-018	デッキ合成スラブ 設計・施工標準仕様書	—	—
S-019	NDコア標準仕様書(1)	—	—
S-020	NDコア標準仕様書(2)	—	—
S-021	地盤調査位置図、土質柱状図	1/250	1/500
S-022	杭・基礎伏図、1階梁伏図	1/150	1/300
S-023	小屋伏図2、2階梁伏図	1/150	1/300
S-024	ブドウ棚梁伏図、小屋伏図	1/150	1/300
S-025	軸組図1	1/150	1/300
S-026	軸組図2	1/150	1/300
S-027	基礎・地中梁リスト	1/40	1/80
S-028	部材リスト	1/30	1/60
S-029	鉄骨詳細図1	1/30	1/60
S-030	鉄骨詳細図2	1/30	1/60
S-031	鉄骨詳細図3	1/30	1/60
S-032	Hybridニーディング工法 標準仕様書	—	—
S-033	【渡り廊下】杭伏図、基礎伏図、小屋伏図、軸組図	1/50	1/100
S-034	【渡り廊下】部材リスト、鉄骨詳細図	図示	図示

設計図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	図面リスト	縮尺 A1:— A3:—	A-000
						設計年月日	令和7年5月	備考	

建 築 工 事 特 記 仕 様 書 【最新版】

Ⅰ 工 事 概 要

1 工事番号・名称 前谷地小学校屋内運動場改築工事
2 工 事 場 所 宮城県石巻市前谷地字沖埣125番地
3 用途地域等
 都市計画区域（・ 内 ⊙ 外） 用途地域（ 指定なし ）
 防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし ⊙ ２２条 ）
 その他の地域・地区（
4 主 要 用 途 体育館
5 敷 地 面 積 15,835.36㎡
6 工 事 の 概 要

新築工事	屋内運動場	鉄骨造平屋建て	延べ面積	1,025.70㎡
	渡り廊下	鉄骨造平屋建て	延べ面積	49.30㎡
	外部倉庫	鉄骨造平屋建て	延べ面積	33.22㎡
	駐輪場	鉄骨造平屋建て	延べ面積	6.58㎡
解体工事	屋内運動場	鉄骨造２階建て	延べ面積	496.00㎡
	渡り廊下	鉄骨造平屋建て	延べ面積	95.40㎡
	倉庫１	木造平屋建て	延べ面積	24.84㎡
	倉庫２	鉄骨造平屋建て	延べ面積	46.40㎡
	物置１	プレハブ造	延べ面積	3.88㎡
	物置２	プレハブ造	延べ面積	1.89㎡
	駐輪場	鉄骨造平屋建て	延べ面積	48.60㎡
外構工事				

7 別 途 工 事 電気設備工事・機械設備工事
8 そ の 他
9 特記仕様書の範囲
 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する 。
 ⊙ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
 ⊙ 解体工事特記仕様書 ・ 電気設備工事特記仕様書 ・ 機械設備工事特記仕様書
 ・ ・

Ⅱ 建 築 工 事 仕 様

1．共通仕様
 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(最新版）」（以下 、「標準仕様書」という。）による。ただし, 標準仕様書に記載されていない事項は, 「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）（以下「改修標準仕様書」という。）「公共建築木造工事標準仕様書（最新版）」（以下「木造標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書 （最新版）」(以下「解体共通仕様書」という。）による。 なお、施工条件明示書は、特記仕様書に含める。
2．特記仕様
 1）項目は、番号に〇印のついたものを適用する 。
 2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
 3）特記事項に記載の（ ）、＜ ＞及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目 、当該図又は当該表を示す。

章	項 目	特 記 事 項
1 一般共通事項	①. 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は 、監督職員に報告の上, 指示に従うこと。 ⊙ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること 。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること 。 ⊙ 工事着手前及び完成時に, 以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤, 擁壁, 内外壁, 床, 建具等）を調査・記録し, 報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※ 図示
	②. 適用基準等	⊙ 石巻市建設工事等執行規則(平成17年4月規則第200号) ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（令和5年3月1日施行） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版) ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和3年版） ⊙ 建築構造設計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成30年度版)
	3．概成工期	工事工期より 日前 (1.2.1)
	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） (1.1.4) 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け 、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い 、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること 。 ・ 適用しない
	5．発生材の処理等	発生材の処理 (1.3.11) ・引渡しを要するもの（ ） ・特別管理産業廃棄物（ ） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種 類	受 入 施 設 名	所 在 地 (Km)	備 考
・ セメントコンクリート塊			
・ アスファルトコンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（ ）
・その他の廃棄物（安定型)（ ）
 受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型)（ ）
 受入れ施設名・所在地(km)

 上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり 、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること 。
 また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること 。

⑥. 電気保安技術者
・ 適用する ※ 適用しない (1.3.3)

⑦. 事故報告 (1.3.9)
 工事の施工中に事故が発生した場合は, 直ちに監督職員に通報するとともに, 監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等

材料の品質等 (1.4.2)
 本工事に使用する材料は, 設計図書に定める品質及び性能を有するものとし, その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
 特定のものが特記された場合は, 設計図書に規定するもの又は, これらと同等のものとする。ただし, 同等のものとする場合は, 監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮 (1.4.1)
 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては, 「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し, 揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

ホルムアルデヒド仕様
 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は 、次のとおりとする。
 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の該当する建築材料
 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品
  a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
  b．接着剤等不使用
  c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
  d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
  e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定

※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)
 試料採取及び測定は, 厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか, 拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う 。

測定対象物質 ※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ （濃度指針値 100μg/m3 ・ 0.08ppm)
 ※ ｽﾁﾚﾝ （濃度指針値 220μg/m3 ・ 0.05ppm)
 ※ ﾄﾙｴﾝ （濃度指針値 260μg/m3 ・ 0.07ppm)
 ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ （濃度指針値 370μg/m3 ・ 0.085ppm)
 ※ ｷｼﾚﾝ （濃度指針値 200μg/m3 ・ 0.05ppm)
 ※ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞｾﾞﾝ（濃度指針値 240μg/m3 ・ 0.04ppm)

測定する室等：（ アリーナ 2か所 ）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし, 拡散方式では８時間採取する 。

測定結果等報告書の提出
 次の事項を記載した報告書を２部提出する 。
 a測定結果
 b試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）, 天候, 風の状況, 日射進入状況, 測定年月日・時間, 窓の開閉状況, 機械換気量, 工事完成時から測定日までの日数）
 c試料採取方法, 測定方法, 使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は, 引渡は受けない 。

・ 総揮発性有機化合物の測定
 測定方法, 測定物質及び測定か所等については, この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による 。

※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については, 施設管理者に依頼する。

10. 特別な材料の工法
「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪. 建築基準法による風圧力等の指定
(8.4.3)(8.5.3)(9.4.4)(10.5.3)(13.2.3、3.3、4.3)(14.7.3)(16.11.2、12.2、13.2、14.5)(23.5.4)

適 用 工 事		建 築 基 準 法 の 指 定	
・ 合成高分子系ルーフィングシート工法		風速(Ｖ0)	※３０ ・
・ 外壁乾式工法	⊙ 長尺金属板葺	地表面粗度区分	・Ⅱ ⊙Ⅲ
・ 折板葺	・ 粘土瓦葺	多雪地域の指定	・有 ⊙無
・ アルミニウム笠木	・ ALC外壁パネル		
・ オーバーヘッドドア			
・ ガラスブロック	・ 屋上緑化		
⊙ 押出成形セメント板外壁パネル			
・ 重量シャッター	・ 軽量シャッター		

⑫. 設計G.L.
※ 図 示 ・ 現状平均地盤高

⑬. 技 能 士 (1.5.2)
・ 下表で技能士を適用することとした職種に 、１級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用することとした職種に 、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも 、技能士の配置に努めること 。

工 事 種 目	技能検定職種（技能検定作業）
仮設工事	・とび（とび作業）
鉄筋工事	⊙鉄筋施工（鉄筋組立作業）
コンクリート工事	⊙型枠施工（型枠工事作業）
	・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
鉄骨工事	・とび（とび作業）
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）
	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
防水工事	・防水施工（・アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業 ）
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り（タイル張り作業）
木工事	・建築大工（大工工事作業）
屋根及びとい工事	⊙建築板金（内外装板金作業）
	・スレート施工（スレート工事作業）
金属工事	⊙内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
	・建築板金（内外装板金作業）
	・バルコニー施工（金属バルコニー工事作業）
左官工事	⊙左官（左官作業）
建具工事	⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	⊙ガラス施工（ガラス工事作業）
	・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工（金属製ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事作業）
	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）
	・ガラス施工（ガラス工事作業）
塗装工事	⊙塗装（建築塗装作業）
内装工事	⊙内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ⊙ボード仕上工事作業 ）
	・表装（壁装作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面標示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業 ）
植栽工事	・造園（造園工事作業）

⑭. 完成図等
 工事完成検査における完成書類一覧(営繕工事)(石巻市ホームページ参照)により作成する。
※ 白焼2つ折製本(青表紙黒文字) １部
※ 白焼縮小(A3)2つ折製本(黒表紙金文字) ３部
※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式 CD/DVD-R ２枚

⑮. 工事写真
※ 作成する ・ 作成しない
 電子データ(PDF形式及びJPG形式) CD/DVD-R １枚

⑯ 設備工事との取合い
施工範囲 各工事の区分表による。
施 工 図 設備機器の位置, 取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑰. 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について, 次により保険に付す 。
 保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険
 保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで

18. 住宅瑕疵担保責任
住宅瑕疵担保履行法に基づく保険の加入又は保証金の供託の義務付け
 ・あり（新築住宅の場合） ・なし（新築住宅以外の場合）

2 仮設工事

①. 仮囲い
※ 設ける ・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による 。
 ⊙キャスターゲート（H=2.0m , W=16.0m,9.0m,6.0m ）× 3箇所
 ・シートゲート（H= , W= ）× 箇所

②. 危害防止
※ シート張り ・ 金網養生

③. 交通誘導員
⊙ 配置する（300日×2人 ＋ 20日×1人 ＝ 620人日） ※ 配置しない

④. 揚重機械器具
⊙ トラッククレーン（45ｔ吊り）× 85日
・ （ ｔ吊り）× 日

⑤. 監督職員事務所
※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）
・ 設ける（規模 ㎡程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否）
 備品（ ）

⑥. 工事表示板
※ 設置する （設置枚数 1枚） ・ 設置しない
 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑦. 事業コスト表示板
・ 設置する（1億円以上の事業が対象） ⊙ 設置しない
 営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成１４年２月６日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑧. 工事用水
構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

⑨. 工事用電力
構内既存の施設 ・ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

⑩. 工事用通路
※ 指定しない ⊙ 指定する（図示）

⑪. 足場等 (2.2.4)
 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし 、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること 。

3 土木工事

①. 埋戻し及び盛土の種別
種別 ・Ａ種 ※Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 (3.2.3)(表3.2.1)
 Ｃ種の場合 建設発生土受入数量 ㎡
 発生場所

②. 建設発生土の処理 (3.2.5)
・ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。
⊙ 構外指示の場所に搬出する。
 受入れ施設名・所在地（km)
 （齋藤建設(株) 石巻市北村字草田31-8/3.8km)

③. 有害物質含有調査
⊙ 有害物質の含有を調査する。
 調査範囲及び項目 ※図示

4 地業工事

＜※下記は構造特記仕様書による＞

1．支持地盤
(3.2.1)(4.2.4)(4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)(4.5.5)(4.5.6)
・杭基礎
 支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端の位置含む)
 ・図示による ・
・直接基礎
 支持層の位置及び土質(基礎底部の位置含む)
 ・図示による ・
・地盤の載荷試験(平板載荷試験)
 ・行う
 試験の方法、位置及び載荷荷重は図示による

2．既製コンクリート杭地業
(4.2.2)(4.3.1)(4.3.3)～(4.3.6)(4.3.8)
杭の種類
・ 遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・ プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・ 外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
 SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490

杭の種類、性能及び曲げ強度等による区分(種別)、寸法、継手の箇所数等

		種類種別	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備 考
試験杭	上杭 中杭 下杭								
本 杭	上杭 中杭 下杭								

杭先端部形状
 ・開放型 ・半開放形 ・閉そく形

工法
 ・セメントミルク工法
  ・図示による
 ・特定埋込杭工法
  ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α＝250を採用できる工法 ・図示による
  ・上記以外の特定埋込杭工法 ・図示による
  工法
   ・プレボーリング拡大根固め工法
   ・中堀り拡大根固め工法
   ・
杭の精度
 水平方向の位置ずれ
  ・杭径の1/4かつ100mm以下 ・・評定等の評価内容による
 建込み時の杭の鉛直度
  ・1/100以内 ・ ・評定等の評価内容による

杭の継手の工法
 ・アーク溶接継手
  溶接材料
   ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・
 ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
  工法
   ※評定等を受けた工法

杭頭の処理等
 ・処理しない
 ・処理する
  処理方法(切断にともなう補強方法含む)
   ・図示による ・

3．鋼杭地業
(4.2.2)(4.4.3)～(4.4.6)
鋼杭の材料
 ・図示による
杭の種類、寸法、継手の箇所数等

		種類	杭径(mm)	厚さ(mm)	杭長(mm)	継手数	セット数	長期設計支持力(kN/本)	備 考
試験杭	上杭 中杭 下杭								
本 杭	上杭 中杭 下杭								

特定埋込杭工法
 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で α＝250を採用できる工法 ・図示による
 ・上記以外の特定埋込杭工法 ・図示による
 工法
  ・（ ）
杭の継手の工法
 ・アーク溶接継手
  形状
   ・JIS A 5525による ・
  溶接材料
   ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による ・
 ・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
  工法
   ※評定等を受けた工法

杭頭の処理等
 ・処理しない
 ・処理する
  処理方法(切断にともなう補強方法含む)
 ・図示による ・

4 地業工事

4．場所打ちコンクリート杭地業 (4.5.1)

工法
- ・アースドリル工法(安定液　※使用する　・使用しない)
- ・リバース工法
- ・オールケーシング工法(孔内の水張り　・行う　・行わない)

併用する工法
- ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
  鋼管巻き材料
  - ・SKK400　・SKK490　・
- ・拡底杭工法(安定液　・使用する　・使用しない)
- ・

寸法等
- ・図示による　・

孔壁測定 (4.5.5)
- ・行う
  測定方法、測定箇所は図示による
- ・行わない

材料その他 (4.5.4)
- 帯筋　・図示による
- 鉄筋の最小かぶり厚さ　・図示による
- セメントの種類
  - ※高炉セメントB種　・
- コンクリートの種別
  - ・A種　・B種　・評定等の評価内容による
- スランプ
  - ・18cm　・21cm
- コンクリートの設計基準強度　(　　)N/mm2
- 構造体強度補正値(S)
  - ・3N/mm2　・評定等の評価内容による　・

⑤ 砂利地業 (4.6.2～3)

材料
- 砂利　※　再生クラッシャラン　・

範囲
- ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下
- ・図示による

厚さ
- ※60mm　・

⑥ 捨コンクリート地業

範囲
- ・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・図示による

厚さ
- ※50mm　・

設計基準強度
- ※18N/mm2　・

スランプ
- ※15cm又は18cm　・

⑦ 床下防湿層 (4.6.2)(4.6.5)

材料
- ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・

範囲
- ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
- ・

8．地盤改良工法

種類及び施工方法等
- ・図示による　・

9．置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状等
- ・図示による　・

支持地盤
- ・図示による　・

5 鉄筋工事

① 鉄筋 (5.2.1)

鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径 (mm)	備考
※　SD295		
※　SD345		

2．溶接金網 (5.2.2)

鉄線の形状等

種類	種類の記号	形状、網目寸法、径(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手 (5.3.4)

鉄筋の継手の方法等

種類	種類の記号	継手の方法	呼び径 (mm)
柱、梁の主筋		※ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	※D19以上
耐力壁の鉄筋		※重ね継手　・	※D16以下
その他の鉄筋(　　)		・重ね継手　・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ
- ※図示による

継手位置
- ※図示による

耐力壁の重ね継手の長さ
- ※図示による

④ 鉄筋の定着 (5.3.4)

鉄筋の定着長さ
- ※図示による　・

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む） (5.3.5)

最小かぶり厚さ
- ※図示による　・

軽量コンクリートを適用する場合
- ・有り(※図示による)　適用箇所(　　)

耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
- ・有り(※図示による)　適用箇所(　　)

＜※下記は構造特記仕様書による＞

6．特殊な鉄筋継手

- ・機械式継手 (5.5.1～5.5)
  - 適用箇所
    - ※図示による　・
  - 性能(H12建告第１４６３号に適合するもの)
    - ・A級　・
  - 機械式継手の種類(　　)
  - 鉄筋相互のあき
    - ※図示による　・
  - 施工完了後の試験
    - ※図示による　・

- ・溶接継手 (5.6.1～6.5)
  - 適用箇所
    - ※図示による　・
  - 性能(H12建告第１４６３号に適合するもの)
    - ・A級　・
  - 機械式継手の種類(　　)
  - 鉄筋相互のあき
    - ※図示による　・
  - 施工完了後の試験
    - ※図示による　・

⑦ 各部配筋

各部の配筋は，図示による。図示がなければ，標準仕様書　末尾　資料の「各部配筋　参考図」による。 (5.3.7)

⑧ 柱の帯筋

※　H形　・　W-Ⅰ形　・ＳＰ形　(参考図　図2.2)

⑨ 耐震壁を除く壁の開口部補強

・　Ａ形　※　Ｂ形　(参考図　表4.3～4.4)

⑩ はり貫通孔の補強

補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(参考図　表7.1～7.3)

① 圧接完了後の圧接部の試験

外観試験 (5.4.10)
- ※　行う(全数)

抜取試験
- ※　超音波探傷試験　・引張試験

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類

種　別　※　Ⅰ類　・　Ⅱ類　**(6.2.1)(表6.2.1)**

② 設計基準強度

普通コンクリート (6.2.2)

Ｆｃ　(N/mm2)	適用箇所
・　２４	
・　２１	

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

軽量コンクリート

Ｆｃ　(N/mm2)	適用箇所

構造体強度補正値　※標準仕様書表6.3.2による

③ スランプ

基礎，基礎梁，土間スラブ　※　１５cm　・　１８cm (6.2.4)(表6.2.2)
柱，梁，スラブ，壁　※　１８cm

④ セメントの種類 (6.3.1)

セメントの種類	適用箇所
※ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ、高炉ｾﾒﾝﾄA種、ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種又はﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄA種	建物躯体（下記以外）
・ 高炉ｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁
・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種	基礎、地中梁

⑤ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
- ・A　・B

6．軽量コンクリート

種類 (6.10.1)(表6.10.1)
- ・1種　・2種

⑦ 無筋コンクリート

適用箇所 (6.14.1)
- ・標準仕様書6.14.1(4)による箇所
- ・標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所
  - ・図示による　・

設計基準強度
- ※18N/mm2　・

スランプ
- ※15cm又は18cm　・

8．打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
- ※標準仕様書6.6.4(1)による　・図示による

目地寸法
- ※標準仕様書9.7.3(1)(ア)による　・図示による

ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
- ・図示による

9．打増し厚さ（打放し仕上げ部）

- ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)
  - ・20mm　・
- ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
  - ・10mm　・20mm　・

⑩ 型枠

せき板の材料及び厚さ (6.8.2)
- ・合板(※12mm　・　　)
- ・断熱材を兼用した型枠材
  - 使用箇所　※図示による　・
- ・MCR工法用シート
  - 適用箇所　※図示による　・
  - 打増し厚さ　・20mm　・
  - 打増し範囲　※図示による　・

スリーブの材種・規格等
- ・図示による　・

＜※下記は構造特記仕様書による＞

7 鉄骨工事

1．鉄骨の製作工場 (7.1.3)

※　指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
- ・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ
- ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有し、監督職員の承諾する工場

※　施工監理技術者（※配置する　・配置しない） (7.1.4)

2．鋼材の種別 (7.2.1)(表7.2.1)

種類の記号	適用箇所	規格
	※図示による(　　)	※JISによる　・
	※図示による(　　)	※JISによる　・
	※図示による(　　)	※JISによる　・

3．高力ボルト

高力ボルトの種類 (7.2.2)
- ※　トルシア形高力ボルト
- ・　ＪＩＳ形高力ボルト
- ・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
- ・図示による　・

すべり試験の実施 (7.4.2)
- ・行う(試験方法等　・図示による)　※行わない

4．普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
- ・標準仕様書 表7.2.3による　・

座金
- ・標準仕様書7.2.3(4)による　・

ボルトの径
- ・図示による　・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
- ・図示による　・

5．溶融亜鉛めっき高力ボルト

溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 (7.2.3)
- ・図示による　・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
- ・図示による　・

摩擦面の処理方法 (7.4.2)
- ・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
- ・
- ・

すべり試験の実施
- ・行う(試験方法等　・図示による)　※行わない

6．アンカーボルト

構造用アンカーボルト (7.2.4)

種類
- ・ABR400　・ABR490　・

建方用アンカーボルト

種類
- ・SS400　・

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
- ・標準仕様書 表7.2.3による　・

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)
- ・図示による　・

7．溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
- ・標準仕様書7.2.5(1)(2)による
- ・

8．ターンバックル

種類 (7.2.6)

建築用ターンバックルボルト
- ※羽子板ボルト　・

建築用ターンバックル胴
- ※割枠式　・

9．床構造用のデッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)(7.7.8)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			
・			

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)
- ・図示による　・

鉄骨部材への溶接方法
- ・図示による　・

耐火認定
- ・あり　耐火時間　・図示による　・
- ・なし

10．スタッド

種類等 (7.2.8)

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

11．柱底均しモルタル

無収縮モルタルとする場合の材料、調合等 (7.2.9)
- ※標準仕様書7.2.9(2)(ア)から(エ)による　・

12．仮組

仮組を行う範囲 (7.3.10)
- ※図示による　・

13．溶接技能者の技量付加試験

試験の要領 (7.6.3)
- ・図示による　・

14．溶接接合

開先の形状　※図示による　・ (7.6.4)(7.6.7)

鋼製エンドタブを切断する部分
- 切断する箇所　・図示による　・
- 切断範囲　・

スカラップの形状　※図示による　・

＜※下記は構造特記仕様書による＞

15．溶接部の試験

溶接部の外観試験 (7.6.12)

平12建告第1464号第二号に関する試験方法等
- ・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3．5.2　受入検査による
- ・抜き取り検査①　※抜き取り検査②

JASS 6 付則6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
- ・JASS6 10.4［受入検査］e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。
  ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６　・	

16．錆止め塗装

塗料の範囲 (7.8.2)(7.8.4)(18.3.2)

耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
- ・図示による　・

耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
- ※標準仕様書7.8.2(1)による　・図示による

塗料の種別
- ・下記以外の鉄鋼面は、18章[塗装工事]による
- ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
  - ※A種　・
- ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
  - ・

17．耐火被覆 (7.9.2～8)

種別	材料＼工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	※半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	-		
・耐火塗料	・		

18．アンカーボルトの設置等

構造用アンカーボルトの形状及び寸法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
- ・図示による　・

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
- ・図示による　・

建方用アンカーボルトの形状及び寸法
- ・図示による　・

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
- 種別　・A種　・B種

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
- 厚さ　・
- 種別　※A種　・B種

19．軽量形鋼構造

ボルトの接合部 (7.11.2)
- ・普通ボルト接合　・

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造塀

ブロックの種類 (8.4.2～5)(表8.4.2～4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法 長さ	高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・						

各部の背筋　※図示による　・

目地仕上げ　・押し目地仕上げ　・化粧目地仕上げ

まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
- ※図示による　・

2．コンクリートブロック塀壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2～4)(表8.3.1)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	モデュール呼び寸法 長さ	高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
※空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・						

壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
- ※図示による　・

各部の配筋
- ※図示による　・

3．ＡＬＣパネル

(8.4.2～5)(表8.4.2～4)

区分			単位荷重(N/m²) 正荷重	負荷重	厚さ(mm)	幅及び長さ	耐火性能(時間)	構法の種別	耐風圧性能	耐震性能
・外壁	・一般 ・コーナー	・平 一意匠	・	・	・	図示による	・なし ・１	・A種 ・B種		
・間仕切壁	・一般 ・コーナー	・平 意匠	–	–	・	図示による	・なし ・１	・C種 ・D種 ・E種		
・屋根	–	–	・	・	・	図示による	・0.5	※F種		
・床	–	–	・	–	・	図示による	・１ ・２			

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
- ・

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
- ・図示による　・

目地幅　※20mm　・

外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
- ・適用する　・適用しない

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板工事

④ 押出成形セメント板

ECPの種類等 (8.5.2～5)(表8.5.1～2)

パネルの種類	形状	長さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
⊙外壁パネル	⊙F	・50⊙・60・	※600・	⊙A種 ・B種	
	・D	・50・60			
	・T	・60			
・間仕切壁パネル	・F	・50・60・	※600・	・A種 ・B種	
	・D	・50・60			
	・T	・60			

(注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル

パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による ・
パネル相互の目地幅
⊙長辺(10mm) 短辺(15mm)
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
※15程度 ・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様 ・

9 防水工事

1. アスファルト防水

屋根保護防水 (9.2.2～5)(表9.2.3～9)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・A-1			※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度・
・A-2			
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・A1-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA(スキン層付き) (厚さ)(mm) ・	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度・
・A1-2			
・A1-3			
・B1-1			
・B1-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による ・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による ・

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
立上り部の保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類 厚さ( )mm 幅( )mm
・れんが押え（※JIS R 1250 ・ ）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量
・D-1			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様・	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様・
・D-2				
・D1-1		標準仕様書9.2.2(9)(種類)・		
・D1-2		(厚さ)(mm)・		

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による ・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による ・
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による ・
絶縁工法及び絶縁断熱工法のだっき装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・( )個

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層
・設ける(※図示による ・)
・設けない
E-1の工程３を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・
防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し立上り部の保護工法 標準仕様書表6.2.4のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する(施工範囲 ※図示による ・)
・適用しない
屋上排水溝 ※図示による ・

2. 改質アスファルトシート防水

屋根露出防水 (9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1～3)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・AS-T1				・改質アスファルトシートの製造所の仕様・	※改質アスファルトシートの製造所の仕様・	
・AS-T2						
・AS-T3						
・AS-T4						
・AS-J1						
・ASI-T1		標準仕様書(9.3.2(3)(ウ)(種類)・	・設ける(改質アスファルトシートの製造所の仕様)			
・ASI-J1		(厚さ)(mm)・	・設けない			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による ・
粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による ・
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による ・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・( )個

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別 (9.4.2～4)(表9.4.1～3)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止シートの材質	断熱性	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・S-F1				※カラー	・シルバー	
・S-F2						
・S-M1				※カラー	・シルバー	
・S-M2						
・SI-F1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)	※カラー	・シルバー	
・SI-F2						
・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)	※カラー	・シルバー	
・SI-M2		※発泡ポリエチレンシート・				

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様 ・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する ・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※7mm以下・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1～表9.4.2による ・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれらの銅板の両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様
・( )個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う(・図示による ・)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、SI-F1の場合)
・行う(・図示による ・)
・行わない

4. 塗膜防水

(9.5.3)(表9.5.1、2)
防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	備考
・X-1		※カラー	・シルバー		
・X-2		※カラー	・シルバー		
・Y-1	※地下外壁防水・				
・Y-2	※屋内防水・			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※主材料の製造所の仕様
・( )個

⑤ ケイ酸質系塗布防水

(9.6.4)(表9.6.1)
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
⊙C-SUI	⊙図示による	・C-SUP	・図示による

防水層の下地
壁 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)
・
天井部 ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種)
・
下地処理(コンクリートの打継ぎ箇所の処理)
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
・図示による ・

⑥ シーリング

(9.7.2)(9.7.3)(9.7.5)(表9.7.1)
下表以外は、標準仕様書表9.7.1による。
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げを行わない施工箇所(・図示による ・)
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ)による
・図示による ・
接着性試験
※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

⑦ 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

10 石工事

1. 施工

石材の割付け (10.1.3)
※図示による ・

2. 石材等

天然石 (10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・床石		・図示による			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無
・あり ・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5～12・	・300型 ・400型		

その他の材料
取付け用モルタル
※専門工事業者の指定する製品
・
既調合の目地モルタル
※専門工事業者の指定する製品
・
浸透性吸水防水剤
※専門工事業者の指定する製品
・
石裏面処理材
※専門工事業者の指定する製品
・
裏打ち処理材
※専門工事業者の指定する製品
・
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・
金物の固定に使用する充填材料等
※専門工事業者の指定する製品
・

3. 外壁湿式工法

受金物 (10.2.2、3)(10.3.2、3)
材質
※SUS304 ・
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm
・
アンカーの材質及び寸法
材質
※SS400 ・
寸法
・
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類 ・
材質 ・
寸法 ・
ドレンパイプ
・設ける(設置位置：図示による)
・設けない
石裏面処理
・適用する ・適用しない
裏打ち処理
・適用する ・適用しない
下地ごしらえ
※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
・流し筋工法
目地
一般目地
・目地モルタル (目地幅 ・)
・既調合の目地モルタル (目地幅 ・)
※シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・)
(目地幅及び深さ ・)
伸縮調整目地
位置
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

4. 内壁空積工法

受金物 (10.2.2)(10.4.2、3)
材質
※SUS304 ・
形状及び寸法
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ100mm又は150mm
・
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類 ・
材質 ・
寸法 ・
石裏面処理
・適用する ・適用しない
裏打ち処理
・適用する ・適用しない
下地ごしらえ
※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
一般目地
・目地モルタル (目地幅 ・)
・既調合の目地モルタル (目地幅 ・)
・シーリング材 (種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・)
(目地幅及び深さ ・)
伸縮調整目地
位置
・6m程度
・
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
・

5. 外壁乾式工法

(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
※標準仕様書表10.2.4による
(方式： ・スライド方式 ・ロッキング方式)
・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類 ・
材質 ・
寸法 ・
だぼ用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による
・図示による
裏打ち処理
・適用する ・適用しない
シーリング材
種類
※標準仕様書9.7.1による
・
目地幅及び深さ
・

10 石工事

6. 床及び階段の石張り

浸透性吸収防水材 (10.6.2、3)
（床石張り） ・適用する ・適用しない
石裏面処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
（階段張り） ・適用する ・適用しない
裏打ち処理
（床石張り） ・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

7. 笠木、甲板等の石張り

取付け工法 (10.2.2) (10.7.2)
・湿式工法
・乾式工法
特殊部位用金物
材質
※SUS304 ・
寸法等
引金物
※標準仕様書表10.2.3による
・
だぼ
※標準仕様書表10.2.3による
・
かすがい
※標準仕様書表10.2.3による
・
受金物
※標準仕様書10.2.2(1)(イ)による
・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー
※標準仕様書表10.2.4に準ずる
（方式：・スライド方式 ・ロッキング方式）
・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法
種類 ・
材質 ・
寸法 ・
石裏面処理
・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代
※70mm程度 ・
石材の裏面の補強用モルタル
・適用する ・適用しない
一般目地
・目地モルタル （目地幅 ・ ）
・既調合の目地モルタル （目地幅 ・ ）
・シーリング材 （種類 ※標準仕様書表9.7.1による ・ ）
（目地幅及び深さ ・ ）
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
・図示による

11 タイル工事

1. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 (11.1.3)(表11.1.1)
※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

2. 見本焼き 試験施工

見本焼き (11.1.4)
・行う(施工箇所：) ※行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による) ※行わない

3. セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性	耐滑
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無	り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・		・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
※改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
※マスク張り
・モザイクタイル張り

④ 有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2～5)

施工箇所	種類	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			耐凍害性	耐滑
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準	特注		有	無	り性
F-4		300角	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	⊙	⊙	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法（高圧水洗処理）
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う ・行わない

12 木工事

① 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)
※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(ウ)(b)による
・

② 製材

(12.2.1) (12.4.1) (12.5.1) (12.6.1) (12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・	
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・	
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・	

⊙JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
W-2,W-2b	W150 t24	（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ⊙適用しない	※A種 ・B種 ・
		（ ） 造作材の場合 （※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

3. 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法 (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・

4. 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)

施工箇所	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない
				・適用する ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法 (mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能 (使用環境)	樹種名	寸法 (mm)

⑤ 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 (12.2.1)

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級
OR-1,OR-1b, F-1,F-2, W-2	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ⊙適用しない	⊙適用する （ ） ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法 (mm)

・MDF

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

6. 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（標準仕様書表12.2.3～5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度）
・ （形状： 寸法： 材質： ）

⑦ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)
※F☆☆☆☆ ・

8. 防腐・防蟻処理

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1、2)
適用部位：（ ）

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位（ ）

9. 内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） (12.4.1)
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

10. 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） (12.5.1)
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

11. 床板張り

(12.6.1)
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※ひのき ・

⑫ 壁及び天井下地

(12.7.1)
・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・

設計図

担当・資格等	
福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号

Spirit Of Place 関・空間設計
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号
管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号

石巻市建設部建築課

工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事
図面名	建築工事特記仕様書4
縮尺	A1:— A3:—
設計年月日	令和7年5月

備考

図面番号 A-004

13 屋根及びとい工事

1. 長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
OR-1, OR-1b	※JIS G 3322 の屋根用（着色　・有）	⊙5類（AZ150） ・	※0.4 ・0.5 ・	※心木なし 瓦棒葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ⊙横葺 ・	

下葺材料
　・アスファルトルーフィング 940
　⊙改質アスファルトルーフィング下葺材
　　⊙一般タイプ　・複層基材タイプ　・粘着層付タイプ）
横葺きの場合のけらば納め
　⊙つかみ込み納め　・けらば包み納め
雪止め
　⊙設置する　（形状及び施工箇所　⊙図示による　・　　）
　・設置しない

2. 折板葺

(13.2.2)(13.3.2)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
	・重ね形 ・はぜ締め形 ・かな合形			（　　）種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し

材料
　折板の材質の種類（※JIS G 3302の屋根用（着色　・有）　・　　）
　　塗膜の耐久性の種類、めっき付着量（・5類(AZ150)　・　　）
断熱材張り
　・行う　（断熱材の種別：　　厚さ(mm)：　　防火性能：　　）
　・行わない
耐雪性能に対応した工法の適用
　・適用する　・適用しない
折板のけらば納め
　※けらば包みによる方法
雪止め
　・設置する　（形状及び施工箇所　・図示による　・　　）
　・設置しない

3. 粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	形状による区分	寸法による区分	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
						・適用する ・適用しない
						・適用する ・適用しない

桟瓦の防災瓦の使用　・適用する　・適用しない
JISA5208に基づく凍害試験等
　・行う　・行わない
瓦桟木
　材質
　　※杉　・
　寸法
　　※幅21×高さ15(mm)以上
　　・
棟補強用心材
　材質
　　※杉　・
　寸法
　　※幅40×高さ30(mm)
　　・
瓦緊結用釘及びねじ
　種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等
　材質
　　・ステンレス製
　　・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
　形状、寸法及び留付け方法
　　※図示による　・
工法
　風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等
　　※図示による　・
瓦桟木の留付け工法
　※図示による　・
棟の工法
　・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
　・のし積み棟
　・
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
　・モルタル　・瓦葺き用しっくい

④ とい

(13.5.2、3)(表13.5.4)

といその他の材種
　・配管用鋼管
　⊙硬質ポリ塩化ビニル管
　・ルーフドレン
　⊙表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類 ⊙アルミ⊙ガルバリウム鋼板）
　・
とい受金物
　材種
　　※標準仕様書13.5.2による　（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
　　・
　形状
　　※市販品（とい径 100 以下）
　　・25×4.5(mm)以上（とい径 100 を超えるもの）
　　・
　取付け間隔
　　※標準仕様書13.5.2による
　　・
足金物
　材種
　　※標準仕様書13.5.2による　（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
　　・
　形状
　　※市販品　・
　取付け間隔
　　※標準仕様書13.5.2による
　　・
多雪地域
　・適用する　⊙適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
　※標準仕様書13.5.4による
　・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
※ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100 ・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100 ・125　・150	
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

14 金属工事

1. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
・BB-1種		
・BB-2種	・標準色 ・特注色	
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法
　※二次電解着色
　・三次電解着色

2. 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
・ 溶融亜鉛めっき	・A種	
	・B種	
	・C種	
・ 電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

(14.4.2～4)(表14.4.1)

野縁等の種類
　屋外
　　※25形　・19形
　屋内
　　※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
　野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による　・
　周辺部の端からの間隔　・図示による　・
　野縁の間隔　・図示による　・
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
・屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強
（補強箇所　※図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）

④ 軽量鉄骨壁下地

(14.5.3、4)(表14.5.1)

スタッド、ランナの種類
　※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
　・図示による
　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
　※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※標準仕様書14.5.4.(5)による
　・

5. 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理 種別	色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形				
	・プレス ・	パネル形				

取付け用下地
　※標準仕様書14.4による
　・図示による
伸縮調整継手
　・設ける
　　（施工箇所　・図示による　・　　）
　・設けない

6. アルミニウム製笠木

(14.7.2、3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類
　・250形　・300形　・350形
表面処理
　種別（　　）種
　色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）

15 左官工事

1. モルタル塗り

(15.3.2、5)

モルタル
　・現場調合材料
　・既調合材料
既製目地材
　・設ける
　　施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
　・設けない
床の目地
　・設ける
　　目地割り
　　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
　　・
　　目地の種類
　　※押し目地
　　・
　・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験
　・適用する　・適用しない

2. ラス系下地

(15.2.4)

ラス系下地
　・二層下地通気構法
　・単層下地通気構法
　　換気口部の措置　（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｳ)　・　）
　・直張りラスモルタル下地
　・直張りラスシートモルタル下地
ラスの材料
　種類及び記号　（　　）
　単位面積当たりの質量（　　）
ラスシートの材料
　ラス目による区分（※M　・　　）
　山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
　　（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・　　）
　ステープルの形状及び寸法（　　）
　直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

3. せっこうボード / その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　(15.2.5)
　種類（・GB-R　・GB-L　・　　）　厚さ（　　mm）
木質系セメント板の種類及び厚さ
　種類（・　　）　厚さ（　　mm）

4. こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）　(15.2.6)

5. 木ずり下地

木ずり用小幅板の種類（※すぎ(心去り材)　・　　）　(15.2.7)

6. 仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
　※F☆☆☆☆
　・

仕上塗材の種類
　・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
	・着色骨材砂壁状 ・	・吹付け ・こて塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・適用する	・
	・凹凸状	・吹付け		
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・
・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			

・複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	※ゆず肌状	※ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

設計図	担当・資格等	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事
						図面名	建築工事特記仕様書5　縮尺 A1:― A3:―
						設計年月日	令和7年5月

備考

図面番号 A-005

15 左官工事

・軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・吹付用軽量塗材	・
・こて塗用軽量塗材	・

7．マスチック塗材塗り

種別 (15.7.2)
・A種　・B種

8．ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量 (15.12.2、3)
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
※図示による
・25mm
・

9．しっくい塗り

しっくい (15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1　・
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2　・
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による　・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3　・
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上　・パターン仕上げ

10．こまい壁塗り

のり (15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類（　　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・

塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　　）
・
こまい壁の工程
※A種　・B種

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による　・

16 建具工事

1．防火戸

※建具表による (16.1.3)
・

2．見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　※行わない (16.1.4)
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）　※行わない

3．防犯建物部品

・適用する（・建具表による　・　　） (16.1.6)
※適用しない

④ アルミニウム製建具

性能値等 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）（表16.2.1、2）
耐風圧性の等級（⊙ S-5　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
気密性の等級（⊙ A-3　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
水密性の等級（⊙ W-4　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　　）
⊙B種（建具符号　⊙建具表による　・　　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法（※建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　　）
（建具符号：・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
※BB-1　・BB-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
※標準色　・特注色
屋内の建具
種別
※BC-1　・BC-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
※標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない　・適用する

⑤ 網戸等

(16.2.3)

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

6．樹脂製建具

性能値等 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1～3）
耐風圧性の等級（　　）
気密性の等級　（　　）
水密性の等級　（　　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1　・T-2 ）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8 ）
（建具符号　・建具表による　・　　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級　・
枠の見込み寸法　※建具表による　・
材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板　※図示による　・
木下地の場合の内付け建具　・適用しない　・適用する

⑦ 鋼製建具

性能値等 (16.2.2)（16.4.2～4）（16.4.6）（表16.4.2）
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　⊙建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・　使用箇所（　　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による　・

⑧ 鋼製軽量建具

性能値等 (16.2.2)（16.5.2～4）(16.5.6)（表16.5.1）
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　⊙建具表による　・　　）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
⊙カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（mm）
※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所（　　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による　・

9．ステンレス製建具

性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号　・建具表による　・　　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（　　）
（建具符号　・建具表による　・　　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL　・鏡面仕上げ　・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））
・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））

⑩ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)
※A種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(イ)(a)による　・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木 化粧合板	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・MDF		

⊙格子戸
樹種（　スプルス　）
表面板の厚さ
※表16.7.6による　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠、くつずりの材料
・建具表による　・

⑪ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)(表16.8.1～5)
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・

⑫ 鍵

マスターキー (16.8.4)
⊙製作する　・製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）　・
鍵箱
※有り　・無し

13．自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 (16.9.2、3)
・建具表による　・
・引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式　（　　）
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.2（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
温度上昇　（　　）
耐久性（サイクル）　（　　）
防錆　（　　）
電源　（　　）
・引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.3（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　　）
防錆　（　　）
防滴　（　　）
電源　（　　）
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4
・建具表による　・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　※行わない

14．自閉式上吊り引戸装置

性能値等 (16.10.3)（表16.10.1）
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力　（　　）
手動閉じ力　（　　）
閉じ速度の調整　（　　）
制動区間　（　　）
開閉繰返し　（　　）
耐衝撃性　（　　）

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	建築工事特記仕様書6　縮尺 A1:― A3:―
						設計年月日	令和7年5月

備考

図面番号 A-006

16 建具工事

15. 重量シャッター　シャッターの種類　(16.11.2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　　）pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
管理用シャッターのシャッターケース
※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

16. 軽量シャッター　開閉方式の種類　(16.12.2～4)
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（　　）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

17. オーバーヘッドドア　(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　※建具表による　・　　）

18. ガラス　(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)
・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・

・型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による
・
断熱性による区分
⊙T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
⊙G　・S
乾燥気体の種類
⊙空気　・アルゴン　・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
※建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材の種別	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	※シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・

19. ガラスブロック積み　(16.14.5)

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)　・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質　(17.3.2～6)(表17.3.1、2)
・ステンレス製　・アルミニウム製　・
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・

17 カーテンウォール工事

1. 取付け形態、性能等　(17.1.3)
取付け形態による分類
・層間方式
・柱・梁方式
・方立方式
・スパンドレル方式
・

性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・

性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

2. メタルカーテンウォール　金属系材料の種類　(17.2.2、3、5、6)
・アルミニウム材
・鋼材
・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類（・SR-2　・SR-1）
・構造ガスケット
形状、寸法等　※図示による
断熱材
種類及び範囲　※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.1による
・
見え掛かり部の仕上げ
（アルミニウム材の場合）
規格等　標準仕様書16.2.3による
種別　・　（標準仕様書表14.2.1）
着色　・標準色　・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
・
ガラス溝の寸法、形状等
※カーテンウォールの製造所の仕様
・
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm　・
水平方向
※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±3mm　・
目地の心の通り
※0～2mm　・
目地両側の段差
※0～2mm　・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±3mm　・
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
※4辺支持　・

3. PCカーテンウォール
材料
コンクリート
種類（・普通コンクリート　・軽量コンクリート1種　・　　）
品質
設計基準強度(Fc)　※30N/mm2　・
スランプ　※12cm　・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合　2.1t/m3を超え2.5t/m3以下
・軽量コンクリートの場合　1.8t/m3～2.1t/m3
・
単位水量の最大値
※185kg/m3　・
鉄筋
種類の記号　※SD295　・
補強鉄線
径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット
形状、寸法等　・図示による
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
断熱材　種類（　　）
種類及び範囲　※図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
辺長
※±3mm　・
対角線長の差
※0～5mm　・
版厚
※±2mm　・
開口部内法寸法
※±2mm　・
ねじれ、反り
※0～5mm　・
曲がり
※0～3mm　・
面の凸凹
※0～3mm　・
先付け金物の位置
※0～5mm　・
PCカーテンウォールの仕上げ
・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
※図示による　・
製作
PC版の配筋　※図示による
取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm　・
水平方向
※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±5mm　・
目地の心の通り
※0～3mm　・
目地両側の段差
※0～4mm　・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5mm　・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

① 材料　屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：　　）

② 素地ごしらえ　(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外 ）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　⊙B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

③ 錆止め塗料塗り　(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種　・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

④ 塗装　(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	−
	木部屋内	※B種　・A種	
	鉄鋼面	※B種　・A種	
	亜鉛めっき鋼面	−	
⊙クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	−
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	−
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	−	上塗り塗料の等級（１）級
	亜鉛めっき鋼面	−	上塗り塗料の等級（１）級
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種	−
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	−
	屋内の鉄鋼面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種　・A種	−
⊙合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	−
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	−
⊙ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	−
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	−

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤形着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

19 内装工事

① 接着剤 (19.2.2)

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤の
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による ・

② 下地の工法 (19.2.3)

標準仕様書19.2.3(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法
・図示による ・
・

③ ビニル床シート (19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

4．ビニル床タイル (19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450 ・500×500 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

⑤ 特殊機能床材 (19.2.2)

・帯電防止床シート
種類 （ ）
性能 （ ）
厚さ(mm)（ ）

・帯電防止床タイル
種類 （ ）
性能 （ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列は
JIS T 9251による。
種類 （ ）
形状 （ ）

⊙耐動荷重性床シート
種類 （ 高弾性長尺スポーツシート ）
厚さ(mm)（ 6.0mm ）

・防滑性床シート
種類 （ ）
厚さ(mm)（ ）

・防滑性床タイル
種類 （ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）

⑥ ビニル幅木

材質の種類 (19.2.2)
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・

7．ゴム床タイル

種類 (19.2.2)
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ(mm)
・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法(mm)（ × ）

8．カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織り方	パイル形状
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・5～7 ・ ・4～6 ・ ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による ・

9．合成樹脂塗床 (19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

⑩ フローリング張り (19.5.2～5)(表19.5.1～6)

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※標準仕様書19.5.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
・なら ・

・単層フローリング （フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・

⊙複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法 ⊙特殊張り工法
樹種
・なら ⊙カバ
種別
⊙A種 ・B種 ・C種

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

11．畳敷き (19.6.2)(表 19.6.1)

種別
・A種 ・B種
※C種 ・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）

衝撃緩和型畳 （畳表：・C1 ・C2）

⑫ せっこうボード、その他のボード及び合板張り (19.7.2、3)(表 19.7.1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

13．壁紙張り

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板	
⊙木毛セメント板 ⊙硬質(HW)・中質(MW)・普通(NW)	※図示による ・15 ・20 ・25
・木片セメント板 ・硬質(HF) ・普通(NF)	※図示による ・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
⊙けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK	※図示による ⊙6 ・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類 ※図示による ・	※図示による ・
繊維板	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18 ・
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による ・10（難燃） ・12（難燃） ・
吸音材料	
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9 （不燃） ・12（不燃） ・12（不燃） ・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による ・25 ・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み） ・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃）・15（不燃）・
⊙ｿｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	⊙12.5（・不燃 ⊙準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃）・15（不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）
合板類	
・普通合板 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾟﾘﾝﾄ ・塗装 ・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない	※図示による ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による ・
合板類の張付け
・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ ・スクェアエッジ

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2、3)
※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類						防火性能
	紙	繊維	塩化ビニルチック	プラスチック	無機質	その他	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃

⑭ 断熱材

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

(19.9.2～4)

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・断熱材打込み工法

種類	厚さ（mm）	施工箇所
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 （・ ）	・	
⊙押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし） （・2種bA ⊙3種bA ・3種bC ・3種bD ）	※25 ⊙100	OR-1
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	

⊙断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
・A種1 ⊗A種1H ・
吹付け厚さ（mm）
⊙ 50
施工箇所
・図示による ⊙ OW-1,OW-2

20 ユニット及びその他の工事

1．フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱 調整式	・500×500 ・		・1.0G ※0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（ ）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（ ）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（ ）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上

2．可動間仕切 (20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ※36	※不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による ・ ）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、
標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆ ・

3．移動間仕切 (20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び
変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した
値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

設計図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	建築工事特記仕様書8 縮尺 A1:ー A3:ー
						設計年月日	令和7年5月

備考

図面番号 A-008

20 ユニット及びその他の工事

④ トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
※メラミン樹脂系化粧板（標準色） ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

⑤ 手すり (20.2.6)

材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
⊙鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき　⊙SOP
（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　）種）
・アルミニウム　表面処理
（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　）種）
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種：　　）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製 ⊙鋼製	⊙SOP	⊙35程度 ・45程度 ・		

⑥ 階段滑り止め (20.2.7)

材種
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法(幅)
・35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

7. 黒板及び ホワイトボード (20.2.9)

・黒板
区分
※焼き付け　・
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑　・
・ホワイトボード

8. 鏡 (20.2.10)

取付け箇所（　　）
寸法（mm）
・図示による　・
厚さ（mm）
※5　・

9. 表示 (20.2.11)

衝突防止表示
・設置する　（設置場所：※図示による　・　　）
形状・寸法（※30φ　・　　）
材質　（※ステンレス製　・　　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

⑩ タラップ (20.2.12)

材質及び仕上げ
⊙SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし）
⊙鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種））

11. 煙突ライニング (20.2.13)

適用安全使用温度
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

12. ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示による ・
	・電動	－				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図示による ・
	・電動	－				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13. ロール スクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

14. カーテン (20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所
・ｼﾝｸﾞﾙ・片引き ・ﾀﾞﾌﾞﾙ・引分け	※手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示による ・

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

15. カーテンレール (20.2.16)

材料による区分
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

⑥ ブラインド ボックス 及びカーテン ボックス

材種
・集成材（仕上げ：　　）
※アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種　・BC-2種　・
色合い
・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

⑦ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ
		・気密形			

⑱ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600 ・	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

19. 耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

20. 止水板

形式
・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所
・図示による　・

21. くつふきマット

材種	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

㉒ 流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
⊙流し台	・1200 ・1500 ⊙1750	・550 ⊙600 ・650	⊙800 ・850	トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	－	－	市販品 ステンレス製 ※1段式　・

形状
※図示による　・

23. 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製 ・	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

24. 旗竿受金物

材種
※ステンレス製（SUS 304）
・

25. 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

㉖ フェンス

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
⊙図示による　・

27. プレキャスト コンクリート (20.3.3、4)

コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示による
取付け方法
※図示による　・

28. 間知石及び コンクリート 間知ブロック 積み (20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	－	－	
・コンクリート 間知ブロック	－		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による　・
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

29. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

30. 屋内掲示板

枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

31. 洗面カウンター

材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き(mm)
・約450　・約600

32. 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

33. 屋外掲示板

照明器具
・有り　・無し
施錠
・有り　・無し
製造所
・

34. 収納家具

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・
材質、形状、寸法
※図示による　・

21 排水工事

① 屋外雨水排水

材料 (21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋 コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示による ・	
⊙硬質ポリ塩化 ビニル管	・RS-VU		・図示による ・	
	⊙VP		⊙図示による ・	
	・VU		・図示による ・	

基床の厚さ及び種類
⊙図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤　・
側塊の形状及び寸法
・図示による　・
排水桝の種類
⊙図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン
・切込砂利又は切込砕石
⊙現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm2)
※18　・
スランプ(cm)
※15又は18　・
⊙現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295　・
・排水枡が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(ｵ)
材質
・ステンレス製
・鋼製
・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

2. 鋳鉄製ふた (21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マン ホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾟｯｷﾝ式） ・密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形 （ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

3. グレーチング (21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ
※鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた ・U字溝用	・歩行用	・細目 ・
			⊙T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ⊙T-20用	・普通目 ・細目
・ｽﾃﾝﾚｽ製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・歩行用	・
			・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・

④ 街きょ、縁石 及び側溝

街きょ、縁石、側溝 (21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状・寸法
⊙縁石	⊙図示による　・
・L形側溝	・図示による　・
⊙U形側溝	⊙図示による　・
・U形側溝ふた	・図示による　・
・	・図示による　・

砂地業に用いる材料
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm）
※100　・図示による

設計図	担当・資格等	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号 A-009
						図面名	建築工事特記仕様書9　縮尺 A1:— A3:—		
						設計年月日	令和7年5月		

21 排水工事

・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度（N/mm2）
※18　・
スランプ（cm）
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　・行わない

5．埋戻し土

※B種　・　(21.2.1)

22 舗装工事

① 路床

路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
⊙盛土	・A種　※B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土	⊙図示による ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による）	・図示による ・
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験　）
・行う
※行わない
・路床安定処理
安定処理の方法
・置き換え工法
・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類
※普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m3（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　※行わない
路床締固め度の試験
※行う　・行わない
現場CBR試験
・行う　・行わない

② 路盤　(22.3.2、3)(表 22.3.1)

路盤の厚さ
⊙図示による　・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
・クラッシャラン
・粒度調整砕石
※再生クラッシャラン
・再生粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③ アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22.4.2～6)(表 22.4.4)
※図示による　・
材料
アスファルト
・再生アスファルト
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
・ストレートアスファルト
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
⊙密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
・密粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
※行わない

4．コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示による	・図示による　・
	歩行者用通路	・図示による	※70　・

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類　（　　）
設計基準強度（N/mm2）　（　　）
所定のスランプ（cm）　（※8　・　　）
粗骨材の最大寸法（mm）　（　　）
早強ポルトランドセメント
・使用する　※使用しない
注入目地材料
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類　・
間隔　・（　　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

5．カラー舗装

・加熱系カラー舗装　(22.6.2～4)
構成・厚さ
・図示による　・
加熱系混合物の結合材
※アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　　%）
添加材
着色骨材（　　）
自然石　（　　）
・常温系カラー舗装
工法
・ニート工法（配合その他：　　）
・塗布工法　（配合その他：　　）
着色部の下部
・アスファルト舗装
・コンクリート舗装
・
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

6．透水性アスファルト舗装

舗装の構成　(22.7.2、3、6)
・図示による　・
材料
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材
（標準仕様書表22.4.1による種類：・60～80　・80～100）
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
※行わない

7．ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装　(22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・900角	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm2)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70 ・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70 ・

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。
・

・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm(10kgf/5cm)以上　・
透水係数
・1.5×10^{-1}cm/sec以上　・

8．砂利敷き

種別　(22.9.2)
※A種（施工範囲：　・図示による　※通路　・　）
※B種（施工範囲：　⊙図示による　※建物周囲その他　・　）

23 植栽及び屋上緑化工事

1．植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　(23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験
・行う　・行わない

2．植栽基盤の整備

樹木の植栽基盤の整備　(23.2.2、4)
・適用する　・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備
・設ける（※図示による　・　）
・設けない

3．植込み用土

※現場発生土の良質土　(23.2.3)
・客土

4．土壌改良材

種類及び指定量等　(23.2.3)(23.2.4)
・バーク堆肥
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・　L　・　）

5．樹木

樹種、寸法、株立数等　(23.3.2)
※図示による　・

6．支柱

支柱材　(23.3.2、3)
※丸太（間伐材）　・真竹　・
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材　・
形式
・図示による　・

7．幹巻き用材料

材料　(23.3.2)
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

8．芝

種類　(23.4.2、3)
※コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地
※目地張り　・べた張り
法面
※べた張り法面　・目地張り

9．吹付けは種

(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内） ・	※発芽率80%以上 ・		

10．地被類

(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

11．新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置

(23.3.4、6)（23.4.7)(23.5.5)
新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

12．屋上緑化

植栽基盤及び材料　(23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・図示による　・
排水層
・軽量骨材（層の厚さ：　　）
・板状成形品
植込み用土
※改良土
・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による　・
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による
・
かん水装置
・設置する
・設置しない
種類
・図示による
・

24 総揮発性有機化合物（TVOC）測定仕様書

1．一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2．測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3．測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100　μg/m3	0.08　ppm
②トルエン	260　μg/m3	0.07　ppm
③キシレン	200　μg/m3	0.05　ppm
④エチルベンゼン	3,800　μg/m3	0.88　ppm
⑤スチレン	220　μg/m3	0.05　ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240　μg/m3	0.04　ppm
⑦テトラデカン	330　μg/m3	0.04　ppm
⑧アセトアルデヒド	48　μg/m3	0.03　ppm
⑨ノナナール	(暫定)41　μg/m3	0.007　ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17　μg/m3	0.0015　ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100　μg/m3	0.0063　ppm
⑫クロルピリホス	1　μg/m3	0.00007　ppm
⑬ダイアジノン	0.29　μg/m3	0.00002　ppm
⑭フェノブカルブ	33　μg/m3	0.0038　ppm
⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ）	400　μg/m3	（暫定目標値）

4．測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
・　室名：

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・
・

5．測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6．その他

表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

25 その他

① 工事関係者銘板

工事受注者等からの申し出により工事関係者銘板を設置できるものとする。
⊙銘板の大きさは概ね600×400程度とし、定礎板の大きさを超えないこと。
⊙銘板の表示内容及び設置場所は監督員との協議による。
⊙銘板の作成、設置に係る費用については受注者の負担とする。

各工事の区分表

工　事　項　目	建築	電気	機械					備　考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○					各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○					
工場製作間仕切及び同左の天井，床，各種設備器具の穴開け，取付枠及び補強								
天井付各種設備器具の穴開け，取付枠及び補強・補修	※	○	○					※下地補強のみ建築
設備関係諸室のシンダーコンクリート								
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎	○							
同上　仕上（防水）								
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ，埋込み		○	○					
自動ドア・防火扉（シャッター含む）								※煙感からの信号、１次配線
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整								ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ除く
同上ダクト接続								
同上電源用配管，配線及び接続								
ユニットバス（ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ含む以下同じ）墨出し及び据付工事								
浴槽及び据付								浴槽パン共建築工事
ユニットバス内シャワー水栓及び取付								
同上廻りシーリング打ち								
同上への配線及び配管接続								※１次側のみ
キッチンキャビネット及び据付工事								
同上への配管接続								
吊戸棚，水切棚及び取付（バックガード共）								
同上への照明用電源配線及び接続								
洗面台及び据付			○					
流し台（製作物のみ）	○							
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
洗濯パン								
設備機器用スリーブ，給気用スリーブ及び取付			○					
ダクト用ベントキャップ及び取付			○					
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○							設備壁用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付，配線		※	○					※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付			○					
床暖房工事								※1仕上げは建築　※2電気又は空調は電気式・温水式区分による
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器			○					
同上表示及び収納箱	○							
各種配管，ダクトの両掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○					
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック								
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板								
三方枠廻りのノロ詰め								
エレベーター機械室床，穴開け復旧工事								
資材搬入口の仮設並びに復旧工事	○							
機器類取付後の出入口廻り（壁・床・枠等）仕上工事	○							
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）	○							
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ、アンカーボルト取付工事		○						
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※					※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）								※照明器具の設置及び配線
自転車置場（屋外）	○							
同上照明器具及び接続								
プロパンボンベ庫								
同上配管工事								設置は衛生
便所の目皿・手摺り	○							便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー								
手洗い乾燥機			○					
浄化槽・受水層・オイルタンク躯体								※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場，歩道工事	○							
雨水排水側溝設置工事	○							
同上排水管接続	○		○					

工　事　項　目	建築	電気	機械					備　考

	工事項目・・・・・	建築	電気	機械						備　考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金，	○	○	○						
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○						
3	１，２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○						
4	上下水道・ガス・電気の加入金，負担金									

設　計　図	担当・資格等		
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	

Spirit Of Place　関・空間設計
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号
管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号

石巻市建設部建築課

工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		
図面名	工事区分表	縮尺	A1:ー A3:ー
設計年月日	令和7年5月		

備考

図面番号 A-011

工　事　概　要　書

1．工事名称その他

工事名称	前谷地小学校屋内運動場改築工事	建築主（発注者）	石巻市長	建設地 地名地番	宮城県石巻市前谷地字沖埣125番	主要用途	体育館	工事種別	⊙新築　・増築　・改築　・改修　・模様替　・その他

2．敷　地　状　況

敷地面積	都市計画区域	用途地域	防火地域	道路種別幅員	都市計画道路	規制地域等の指定	その他の許可届出等　（根拠法規等・届出・許可番号・年月日）
15,835.36 ㎡	・内　・市街化区域 ・市街調整区域 ⊙外　・区域区分非設定	・有（　　） ⊙無	・防　火 ・準防火 ⊙22条地域	敷地　側前面道路 （北側）隣地 （東側）県道29号河南築館線　幅員8.5m （南側）市道　高張西柳原道路　幅員4.0m、隣地 （西側）市道　根方定川道路　幅員4.0m	⊙無　・計画決定　・事業決定 名称幅員 処置	・騒音規制 ・振動規制 ・その他	⊙だれもが住みよい福祉のまちづくり条例・人にやさしいまちづくり条例 ・省エネルギー措置届出書　・日影許可 ・60条証明 証明日　年 月 日　⊙石巻市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例 ・建築基準法第 条第 項許可 証明日　年 月 日

3．構造・規模面積

	計画部分	計画以外の部分	合計	棟別名	構造	基礎工法	階数	建築面積	床面積 1階	2階	3階	階	階	合計
建築面積	1253.60 ㎡	2049.19 ㎡	3302.79 ㎡	屋内運動場	鉄骨造	杭基礎	地上 1階建て	1187.83 ㎡	1025.70 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	1025.70 ㎡
延床面積	1114.80 ㎡	3814.53 ㎡	4929.33 ㎡	渡り廊下	鉄骨造	杭基礎	地上 1階建て	30.00 ㎡	49.30 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	49.30 ㎡
増築予定 ・有 ⊙無	その他			外部倉庫	鉄骨造	杭基礎	地上 1階建て	33.22 ㎡	33.22 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	33.22 ㎡
				駐輪場	鉄骨造	直接基礎	地上 1階建て	2.55 ㎡	6.58 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	6.58 ㎡
								㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
								㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
								㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡
				合計				1253.60 ㎡	1114.80 ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	1114.80 ㎡

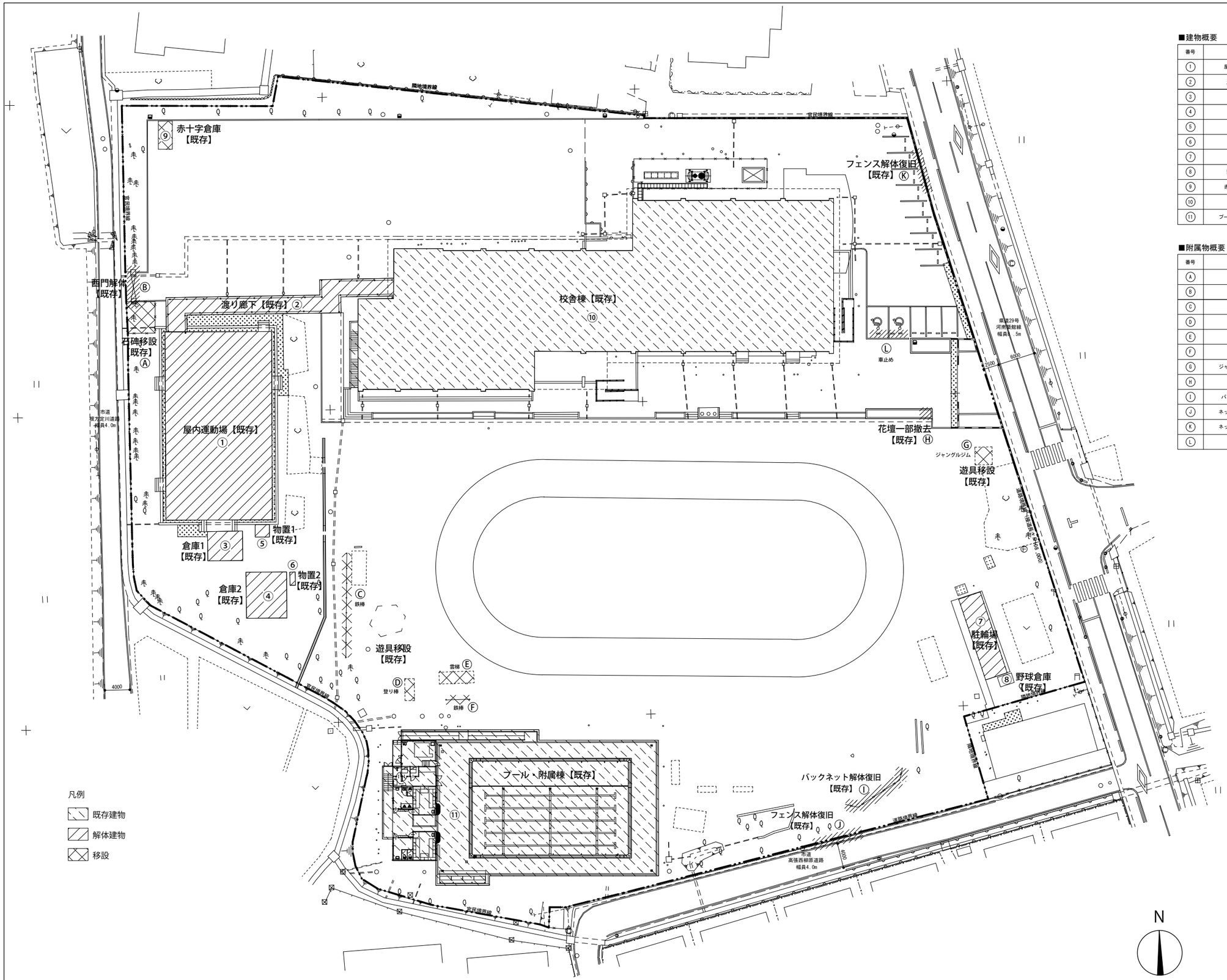
4．法規制概要

項目		規制概要	計画実施概要	備考（参照図面等）
一般事項	建蔽率	指定なし	―	
	容積率	指定なし	―	
	斜線制限 道路	―	―	
	斜線制限 隣地	―	―	
	斜線制限 北側（日影規制）	―	―	
	最高の高さ	―	12.70　m	
	最高の軒の高さ	―	7.30　m	
	床高	―	―	
	地域規模による構造（耐火・準耐火）	法27条	―	
一般構造及び設備規制	階段 幅員（踊場）	―	図示	
	階段 蹴上・踏面	―	蹴上：図示 踏面：図示	
	階段 手摺高	―	図示	
	屋上広場等の手摺高（バルコニー含）	令126条　1,100以上	―	
	有効採光面積	法28条　1/20×A	―	
	居室の換気	法28条　1/20×A	OK	
	避雷針	法33条　20m以上	―	
	便所・浄化槽	法31条	水洗	

項目		規制概要	計画実施概要	備考（参照図面等）
防火規制	屋根	令109条の5	―	
	防火壁	法26条	準耐火建築物	
	防火区画 位置	令112条	―	
	防火区画 構造	令112条	―	
	防火区画 区画部の外壁	令112条	―	
	貫通部の処理	令112条	―	
	開口部に設けられる防火設備（開口部設備）	S46建告2563号 H12建告1360号	―	
	内装制限	令128条の3の2	―	
避難規制	採光上無窓の検討	令111条及び令116条 1/20×A	OK	
	廊下の幅員	令119条	3室以下の専用のもの	
	階段の数及び種類	令120条・令121条	―	
	階段までの歩行距離	令120条	―	
	排煙	令126の2　1/50×A	―	
	非常用照明	令126の4	―	
	非常用進入口	令126の6	―	
	敷地内の連絡通路	令128条	1.5m以上	
	非常用出入口の開錠方法及び表示	令125条の2	―	

項目		規制概要	計画実施概要	備考（参照図面等）
消防規制	普通階・無窓階	消防法　令10	無窓階	
	防火対象物	消防法　別表第一	(7)項	
その他				

設計図	担当・資格等	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
						図面名	工事概要書	縮尺 A1:― A3:―		A-012
						設計年月日	令和7年5月			



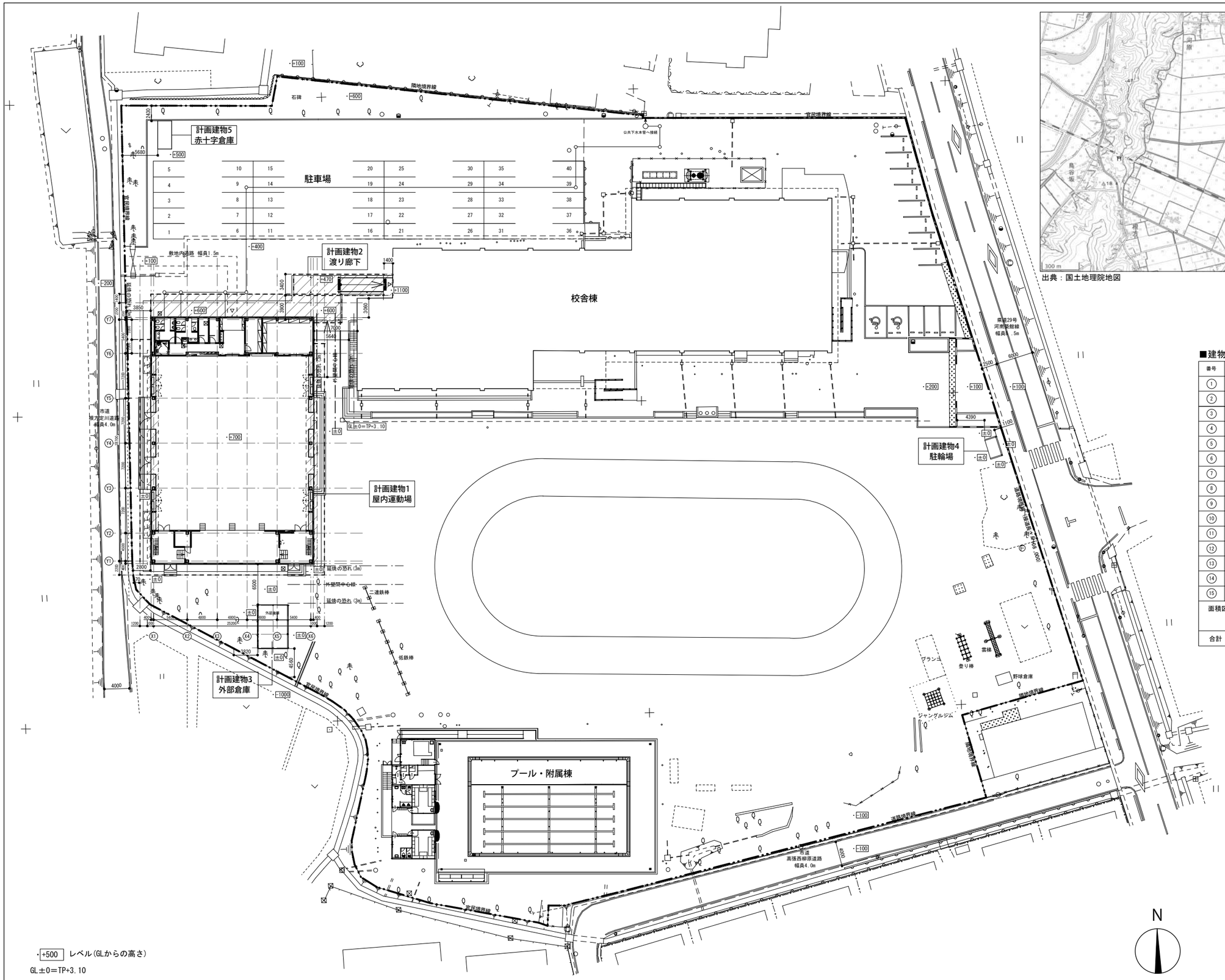
■建物概要

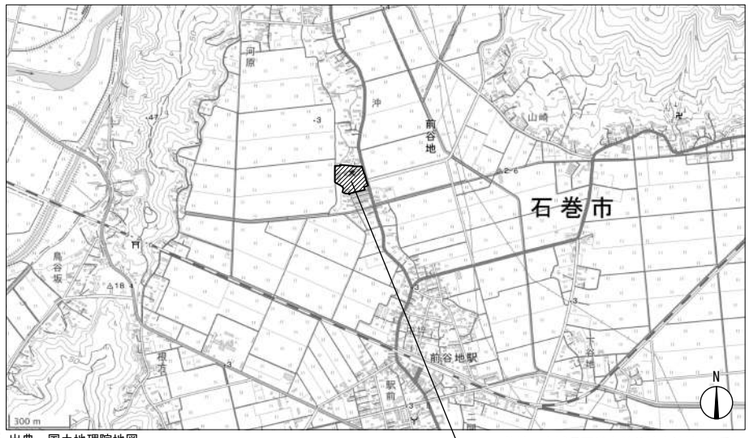
番号	名称	建築面積	延べ面積	構造・階数	備考
①	屋内運動場	493.00	496.00	S-2F	解体
②	渡り廊下	98.15	95.40	S-1F	解体
③	倉庫1	24.84	24.84	W-1F	解体
④	倉庫2	46.40	46.40	S-1F	解体
⑤	物置1	3.88	3.88	S-1F	解体
⑥	物置2	1.89	1.89	S-1F	解体
⑦	駐輪場	48.60	48.60	S-1F	解体
⑧	野球倉庫	4.75	4.75	S-1F	
⑨	赤十字倉庫	9.90	9.90	S-1F	移設復旧
⑩	校舎棟	1895.32	3662.17	RC-3F	
⑪	プール・附属棟	139.22	137.71	RC-1F	

■附属物概要

番号	名称	寸法	備考
Ⓐ	石碑	W=1200、H=2600 2か所	解体移設
Ⓑ	西門	W=4595、H=2245	解体新設
Ⓒ	鉄棒	W=12600	解体移設（仮移設有り）
Ⓓ	登り棒	W=4100、D=1200	解体移設（仮移設有り）
Ⓔ	雲梯	W=5550、D=2300	解体移設（仮移設有り）
Ⓕ	鉄棒	W=3600	解体移設（仮移設有り）
Ⓖ	ジャングルジム	W=2500、D=2500	解体移設（仮移設有り）
Ⓗ	花壇		一部解体補修
Ⓘ	バックネット	H=4100	解体復旧
Ⓙ	ネットフェンス	H=1200	解体復旧
Ⓚ	ネットフェンス	H=1200	解体復旧
Ⓛ	車止め		解体復旧

設 計 図		担当・資格等	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337379号		図面名	敷地現況図 縮尺 A1:1/300 A3:1/600		A-013
					設計年月日	令和7年5月		





出典：国土地理院地図

敷地：宮城県石巻市前谷地字沖埣125番地

案内図

■建物概要

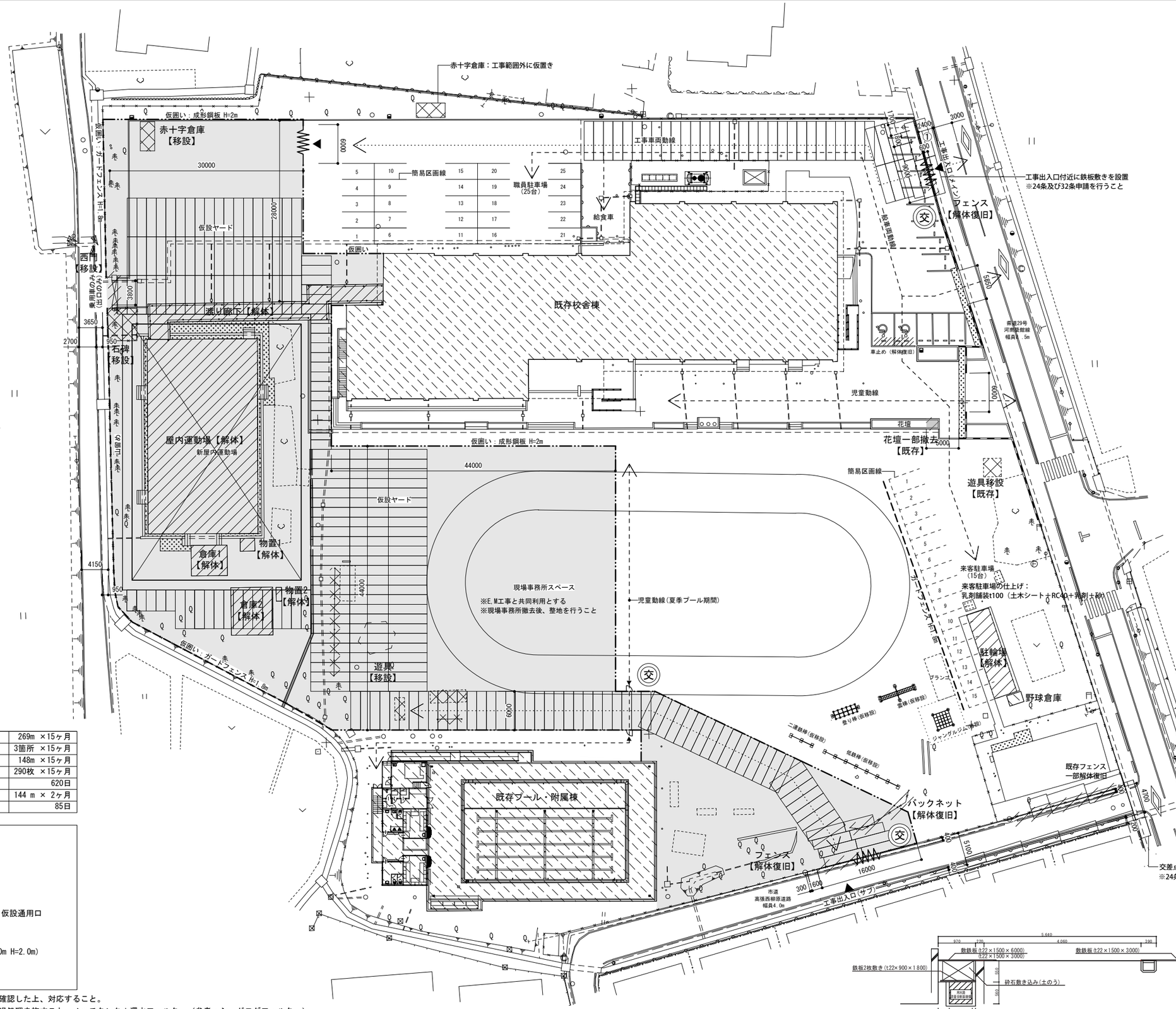
番号	名称	建築面積	延べ面積	構造・階数	備考
①	屋内運動場	499.00	499.00	S-2F	解体
②	渡り廊下	98.15	95.40	S-1F	解体
③	倉庫1	24.84	24.84	W-1F	解体
④	倉庫2	46.40	46.40	S-1F	解体
⑤	物置1	3.88	3.88	S-1F	解体
⑥	物置2	1.89	1.89	S-1F	解体
⑦	駐輪場	48.60	48.60	S-1F	解体
⑧	野球倉庫	4.75	4.75	S-1F	
⑨	赤十字倉庫	9.90	9.90	S-1F	移設復旧
⑩	校舎棟	1895.32	3662.17	RC-3F	
⑪	プール・附属棟	139.22	137.71	RC-1F	
⑫	屋内運動場	1187.83	1025.70	S-1F	新築
⑬	渡り廊下	30.00	49.30	S-1F	新築
⑭	外部倉庫	33.22	33.22	S-1F	新築
⑮	駐輪場	2.55	6.58	S-1F	新築
面積区分	申請部分	1253.60	1114.80		
	申請以外の部分	2049.19	3814.53		
合計		3302.79	4929.33		

・+500 レベル(GLからの高さ)

GL±0＝TP+3.10

FL＝GL+700

設 計 図		担当・資格等		関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田幹輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	配置図・案内図 縮尺 A1:1/300 A3:1/600	A-014
						設計年月日	令和7年5月	



＜指定仮設＞

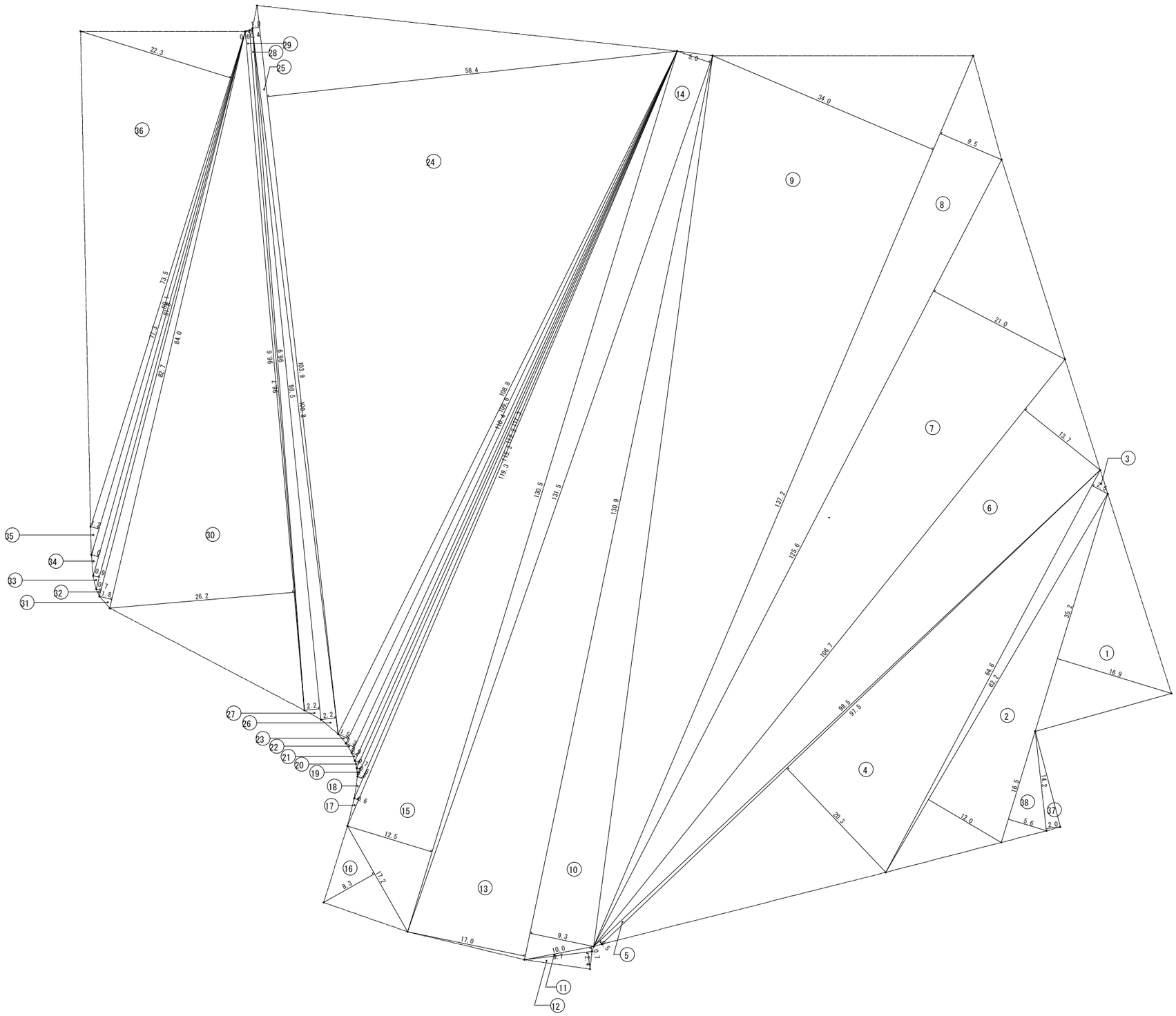
仮囲い	成型鋼板 H=2.0m	269m ×15ヶ月
キャスターゲート	W=16.0m,9.0m,6.0m H=2.0m	3箇所 ×15ヶ月
ガードフェンス	H=1.8m	148m ×15ヶ月
敷き鉄板	1.5m×6.0m	290枚 ×15ヶ月
交通誘導員	2人（夏季プール期間は3人）	620日
山留め	シートパイル H=6.5m	144 m × 2ヶ月
揚重機	トラッククレーン 45t	85日

凡例

- 既存建物
- 解体建物
- 移設
- 仮囲い（成型鋼板 H=2.0m）　仮設通用口
- 山留め
- キャスターゲート（W=16.0m,9.0m,6.0m H=2.0m）
- 交通誘導員

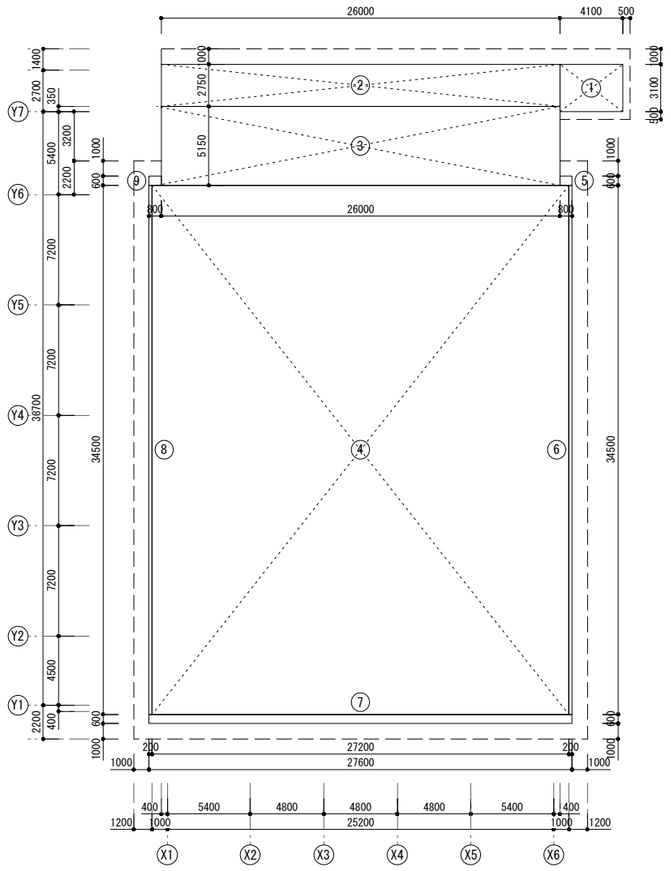
※工事期間中の雨水排水経路については、現地を確認した上、対応すること。
※杭工事・基礎工事の際、既存水路への排水は濾過処理を施すこと。ノッチタンク＋濁水フィルター（参考：シードログフィルター）
※工事期間中は備品収納用のプレハブ（30㎡程度　リース）を設置すること。設置位置については、学校管理課との協議により決定とする。

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 茨城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301649号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	仮設計画図	縮尺 A1:1/300 A3:1/600	A-015
						設計年月日	令和7年5月	備考	

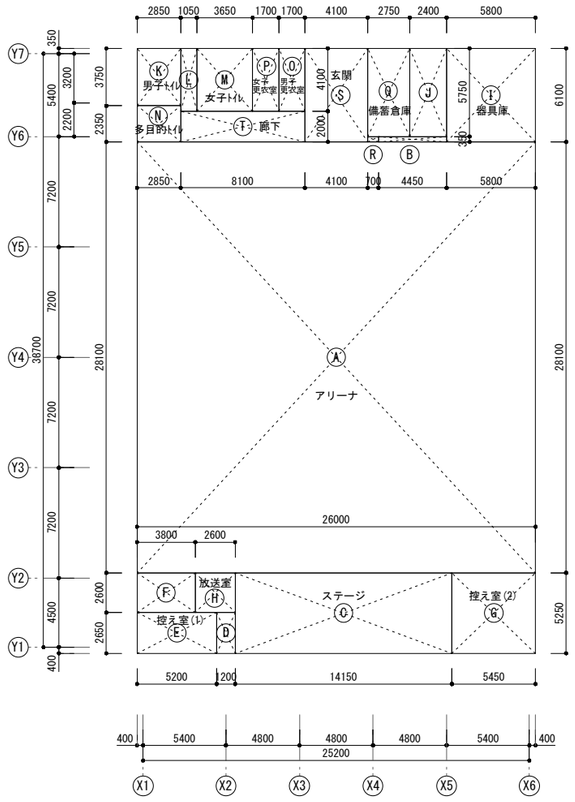


敷地面積求積図				
符号	計算式			面積（㎡）
①	35.20	×	16.90	594.88
②	62.20	×	12.00	746.40
③	64.60	×	2.50	161.50
④	97.50	×	20.30	1979.25
⑤	98.50	×	0.50	49.25
⑥	106.70	×	13.70	1461.79
⑦	125.60	×	21.00	2637.60
⑧	137.20	×	9.50	1303.40
⑨	137.20	×	34.00	4664.80
⑩	130.90	×	9.30	1217.37
⑪	10.00	×	0.70	7.00
⑫	9.70	×	2.40	23.28
⑬	130.90	×	17.00	2225.30
⑭	131.50	×	5.00	657.50
⑮	130.50	×	12.50	1631.25
⑯	17.20	×	8.30	142.76
⑰	119.30	×	0.60	71.58
⑱	115.30	×	0.80	92.24
⑲	112.30	×	0.60	67.38
⑳	111.30	×	0.70	77.91
㉑	110.40	×	0.90	99.36
㉒	109.60	×	1.30	142.48
㉓	108.80	×	1.50	163.20
㉔	103.90	×	58.40	6067.76
㉕	103.90	×	1.00	103.90
㉖	100.80	×	2.20	221.76
㉗	98.50	×	2.20	216.70
㉘	96.90	×	0.40	38.76
㉙	96.70	×	0.60	58.02
㉚	96.60	×	26.20	2530.92
㉛	84.00	×	1.80	151.20
㉜	82.70	×	0.70	57.89
㉝	81.80	×	0.90	73.62
㉞	80.10	×	1.00	80.10
㉟	77.30	×	1.20	92.76
㊱	73.50	×	22.30	1639.05
㊲	14.20	×	2.00	28.40
㊳	16.50	×	5.60	92.40
倍面				31670.72
倍面積/2				15835.36
計				15835.36

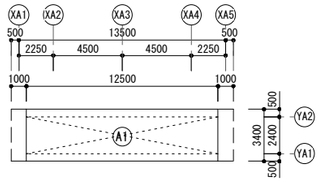
設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸雄 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	敷地求積図	縮尺 A1:1/300 A3:1/600	A-016
						設計年月日	令和7年5月	備考	



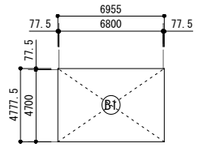
建築面積求積図



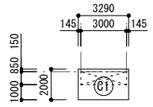
1階床面積求積図



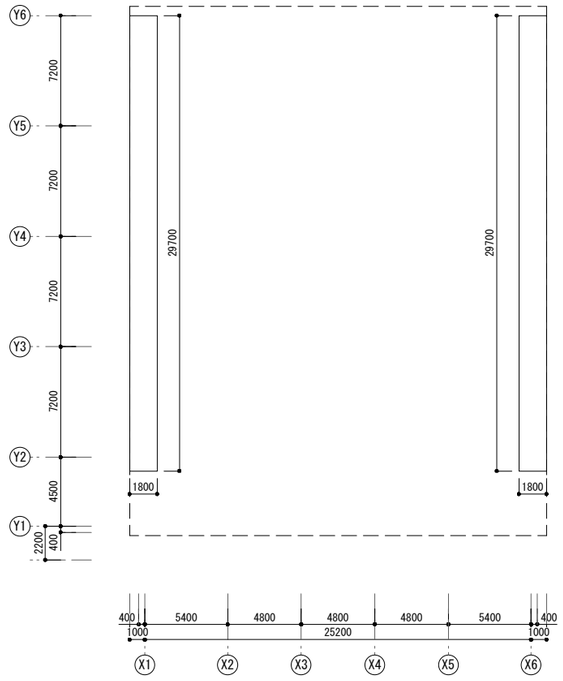
渡り廊下求積図



外部倉庫求積図



駐輪場求積図



ギャラリー床面積求積図

※ギャラリーは保守点検を目的とするため床面積不算入とする　。

■建築面積（屋内運動場）

記号	計算式				面積（㎡）
1	4.100	×	3.100	＝	12.710
2	26.000	×	2.750	＝	71.500
3	26.000	×	5.150	＝	133.900
4	27.200	×	34.500	＝	938.400
5	0.800	×	0.600	＝	0.480
6	0.200	×	34.500	＝	6.900
7	27.600	×	0.600	＝	16.560
8	0.200	×	34.500	＝	6.900
9	0.800	×	0.600	＝	0.480
				合計	1187.83

■床面積（屋内運動場）

室名	記号	計算式					面積（㎡）
アリーナ	A	26.000	×	28.100	＝	730.6000	732.1575
	B	4.450	×	0.350	＝	1.5575	
ステージ	C	14.150	×	5.250	＝	74.2875	77.4675
	D	1.200	×	2.650	＝	3.1800	
控え室(1)	E	5.200	×	2.650	＝	13.7800	23.6600
	F	3.800	×	2.600	＝	9.8800	
控え室(2)	G	5.450	×	5.250	＝	28.6125	28.6125
放送室	H	2.600	×	2.600	＝	6.7600	6.7600
器具庫	I	5.800	×	6.100	＝	35.3800	49.1800
	J	2.400	×	5.750	＝	13.8000	
男子トイレ	K	2.850	×	3.750	＝	10.6875	14.9925
	L	1.050	×	4.100	＝	4.3050	
女子トイレ	M	3.650	×	4.100	＝	14.9650	14.9650
多目的トイレ	N	2.850	×	2.350	＝	6.6975	6.6975
男子更衣室	O	1.700	×	4.100	＝	6.9700	6.9700
女子更衣室	P	1.700	×	4.100	＝	6.9700	6.9700
備蓄倉庫	Q	2.750	×	5.750	＝	15.8125	16.0575
	R	0.700	×	0.350	＝	0.2450	
玄関	S	4.100	×	6.100	＝	25.0100	25.0100
廊下	T	8.100	×	2.000	＝	16.2000	16.2000
						合計	1025.70

■法チェック

室名	記号	面積(㎡)	室面積	居室	採光面積（令第111条及び令第116条）											換気面積（法第28条）								
					必要面積		実面積					補正係数	有効面積		判定	必要面積		有効面積						判定
					割合	面積	記号	幅	高さ	個数	各面積		各面積	合計		割合	面積	記号	幅	高さ	個数	各面積	合計	
アリーナ ステージ	A	732.1575	809.62	○	1/20	40.49	AW-2	0.80	1.35	64	69.12	3.00	207.36	207.36	OK	1/20	43.10	AW-2	0.80	1.35	16	17.28	46.68	OK
	B																	SD-4	1.60	2.10	2	6.72		
	C	77.4675					A=5.27/0.77×10-1=67.44 改め3.00											SD-5	2.70	2.10	2	11.34		
	D																	SD-6	2.70	2.10	2	11.34		
控え室1,2	E	52.2725	52.27																					
	F																							
	G																							

■建築面積・床面積（渡り廊下）

記号	計算式				面積（㎡）
A1	12.500	×	2.400	＝	30.000
				建築面積合計	30.00
A1	14.500	×	3.400	＝	49.300
				床面積合計	49.30

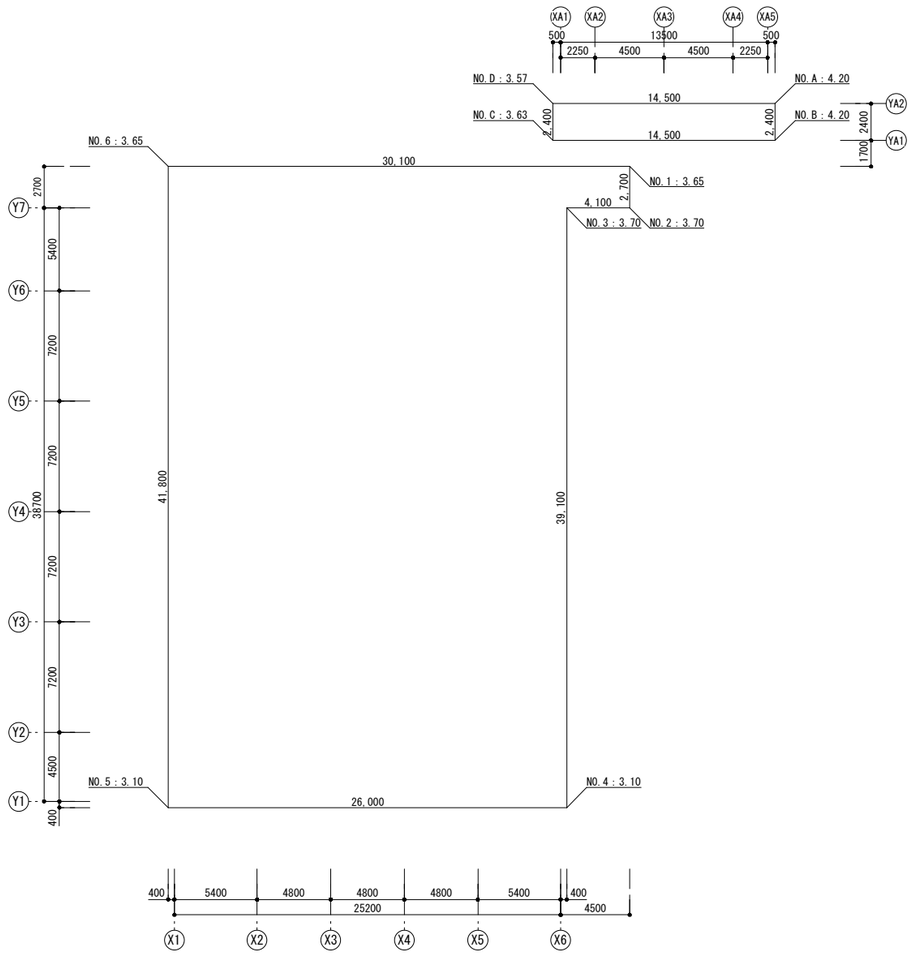
■建築面積・床面積（外部倉庫）

記号	計算式				面積（㎡）
B1	6.955	×	4.7775	＝	33.227
				建築面積合計	33.22
B1	6.955	×	4.7775	＝	33.227
				床面積合計	33.22

■建築面積・床面積（駐輪場）

記号	計算式				面積（㎡）
C1	3.000	×	0.850	＝	2.550
				建築面積合計	2.55
C1	3.290	×	2.000	＝	6.580
				床面積合計	6.58

設　計　図		担当・資格等		関・空間設計 一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸雄　一級建築士　第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	建物求積図・面積表・法チェック　縮尺　A1:1/200 A3:1/400	A-017
						設計年月日	令和7年5月	備考



屋内運動場 地盤面算定図

■地盤面算定表（屋内運動場）

	区間			L	H1	H2	H=H1+H2	面積＝L×H/2
	No.1	－	No.2	2.700	3.65	3.70	7.35	9.9225
	No.2	－	No.3	4.100	3.70	3.70	7.40	15.1700
	No.3	－	No.4	39.100	3.70	3.10	6.80	132.9400
	No.4	－	No.5	26.000	3.10	3.10	6.20	80.6000
	No.5	－	No.6	41.800	3.10	3.65	6.75	141.0750
	No.6	－	No.1	30.100	3.65	3.65	7.30	109.8650
計				143.800				489.5725

平均地盤面H＝面積/周長L
＝489.572/143.800
＝3.404
GL±0＝3.10より平均地盤面H＝+0.30

■地盤面算定表（渡り廊下）

	区間			L	H1	H2	H=H1+H2	面積＝L×H/2
	No.A	－	No.B	2.400	4.20	4.20	8.40	10.0800
	No.B	－	No.C	14.500	4.20	3.63	7.83	56.7675
	No.C	－	No.D	2.400	3.63	3.57	7.20	8.6400
	No.D	－	No.A	14.500	3.57	4.20	7.77	56.3325
計				33.800				131.8200

平均地盤面H＝面積/周長L
＝131.820/33.800
＝3.900
GL±0＝3.10より平均地盤面H＝+0.80

仕　上　凡　例

本表は本工事に用いる内外装仕上げを一括して表す。
凡例・共通事項・材料表に記載の事項は本表以外の設計図にも適用する。

	記　号	名　　称	品質・規格・寸法など	認定番号	備　考
床 壁 天井	ＲＣ型	コンクリート型枠外しのまま			
	ＲＣ化	コンクリート化粧打放し（Ａ種）			
	ＲＣ直	コンクリート金ゴテ押さえ			
	ＭＫ	モルタル金ゴテ押さえ			
	ＣＢ	軽量コンクリートブロック			
	ＣＴ	コンポジションビニル床タイル（半硬質）			
	ＣＴＳ	コンポジションビニル床タイル（軟質）			
	ＮＣ	ビニル床シート			
	ＧＢ－Ｒ	石膏ボード（不燃）	ｔ１２．５mm，１５mm，２１mm	ＮＭ－８６１９	
		石膏ボード（準不燃）	ｔ９．５mm	ＱＭ－９８２８	
	ＧＢ－Ｒ－Ｈ	普通硬質石膏ボード（不燃）	ｔ９．５mm，１２．５mm，１５mm	ＮＭ－９６４５（個別認定）	
	ＧＢ－Ｓ	シージング石膏ボード（不燃）	ｔ１２．５mm	ＮＭ－９６３９（個別認定）	
		シージング石膏ボード（準不燃）	ｔ９．５mm，１２．５mm，１５mm	ＱＭ－９８２６	
	ＧＢ－Ｄ	化粧石膏ボード（不燃／準不燃）	ｔ９．５mm	ＮＭ－０８７９/ＱＭ－９８２４	
	ＧＢ－Ｔ	化粧石膏ボード　　トラバーチン模様	ｔ９．５mm		
	ＧＢ－Ｐ	化粧吸音石膏ボード	ｔ９．５mm	ＮＭ－０８７９/ＮＭ－９８２２	正方形模様/ランダム穴あき
	ＤＲ	ロックウール吸音板（岩綿吸音板）	ｔ１２mm，９mm	ＮＭ－９９７２	
	ＧＢ－Ｆ	強化石膏ボード	ｔ１２．５mm，１５mm，２１mm	ＮＭ－８６１５	
	ＦＫ	ケイ酸カルシウム板	ｔ５mm～１５mm	ＮＭ－２７７３	
	ＲＷ	吹付けロックウール			
	ＧＷ	グラスウール			
	ＧＷ－Ｂ	グラスウールボード　ガラスクロス額貼			
	ＰＣ	プレキャストコンクリート			
防水	ＡＳ防水	アスファルト防水			
塗料	ＥＰ	合成樹脂エマルジョンペイント		ＮＭ－８５８５（不燃下地） ＱＭ－９８１６（準不燃下地） ＲＭ－９３６４（難燃下地）	
	ＥＰ－Ｇ	つや有合成樹脂エマルジョンペイント			
	ＳＯＰ	合成樹脂調合ペイント			
	ＤＰ	耐候性塗料（フッ素）			
	ＣＬ	クリアクラッカー			
	ＵＣ	ウレタンクリアー			
	ＯＳ	ステイン			JASS 18M-306
	ＯＳＵＣ	ステイン・ウレタンクリアー			
	ＷＰ	木材保護塗装			・油性タイプ　　・水性タイプ　　・自然塗料タイプ
	ＷＰＣ	ウッド・プラスチック・コンビネーション			
内装		ビニルクロス（不燃）	不燃下地	ＮＭ－１０９６	
		ビニルクロス（準不燃）	不燃下地/準不燃下地	ＱＭ－９４０１	

共　通　事　項

下記事項は共通とし指示がなくとも適用する。
但し異なる指示のある場合を除く。

【鉄筋コンクリート工事】
- ■　躯体レベルは仕上表による。
- ■　型枠緊結金物はコーン付のものとし、コーン跡は既成セメント系充填用コーンを樹脂ノロにて充填する。
  不良箇所はすみやかに、ケレン及びモルタル補修を行う。
- ■　地下外壁の内側コンクリート面の型枠緊結金物は凹部にハツリ込み防水モルタル詰めとする。
- ■　外壁内断熱の内部仕上げは石膏ボード１２．５ジョイント工法（ＧＬ工法）とする。
- ■　機械基礎は建築工事に含み、仕上げは打放し補修仕上げとする。（位置・形状・寸法は別図参照）
- ■　コンクリート化粧打放し
  型枠緊結金物の処理は前記に従う。
  ウレタン樹脂塗装型枠（新品）ｔ１２を使用し、施工計画割付け図作成し、監理者の承認を得ること。
- ■　コンクリート打放し面の補修
  不陸２．０mm／Ｍ以内とする。化粧打放し面の補修は、監理者の指示による。
- ■　コンクリート化粧打放し面には化粧（伸縮）目地を設けること。　　@３，６００程度
- ■　コンクリート増打ち寸法（mm）は以下による。

仕上	Ａ種（化粧打放）	Ｂ種（モルタル補修）	Ｃ種（ＧＬ工法）	Ｃ種
外部	２５	２５	—	２５
内部	２５	２５	０	１０

【鉄骨工事】
- ■　外部に使用する部材は溶融亜鉛メッキを施すこと。

【防水工事】
- ■　室内防水押え等のコンクリートには溶接金網（６．０φ　１００□）を打ち込む。
- ■　外壁に取り付ける金物両掛かり部周囲は、シール材（特記無き限りＳＲ－２）を充填する。
- ■　外壁を貫通する樋はツバ付貫通とし、外側の周囲はシール材を充填する。
- ■　地下外壁の打ち継ぎ箇所には打継ぎ止水剤を打込みの上、シール材を充填のこと。
- ■　防水押さえコンクリートには溶接金網（６φ×１００目）とし、その端部と防水層の立上り部の間には成形緩衝材を、中間部には伸縮調整目地を設ける。

【金属工事】
- ■　内外部に使用するステンレスは、特記無き限りＳＵＳ３０４とする。
- ■　ステンレス金物はヘアーライン仕上を原則とし、鏡面仕上げの場合８００#程度とする。
- ■　床の仕上材の異なる部分には、特記無き限りステンレスＦＢ－６×３２を使用する。
- ■　特記無き限り外部鉄部は溶融亜鉛メッキ（Ｂ種）を行うこと。
- ■　ＰＣ壁及びＬＧＳ下地ボード貼部分をダクト及びパイプ等が貫通する場合は開口部補強及びシーリング等を行うこと
- ■　天井点検口はアルミ（ＦＢ）枠とし、表面仕上げは天井と同材とする。
- ■　外部スチール手摺にＥＸＰＪを設けること。

【左官工事】
- ■　コンクリート直押えはコンクリート打設時に特記無き限り金ゴテ押えとする。但し仕上げ厚さは仕上げ及びコンクリートの増打ちで合計１０mmとする。
- ■　GL工法下地を除く内部コンクリート打放し（B種）部分は樹脂モルタルで目違い等を補修すること。

【塗装工事】
- ■　壁面の塗装はローラー仕上げとする。
- ■　天井の塗装はローラー仕上げとする。
- ■　階段室内の塗装は、不燃基材同等品とする。
- ■　内部木部は特記なき限りＯＳＣＬとする。
- ■　外部木部は特記なき限りＷＰ２回塗りとする。
- ■　内部の見え掛かりとなる鉄部で特記なき場合はＳＯＰ塗りとする。
- ■　外部の見え掛かりとなる鉄部はＤＰ塗りとする。

【内装工事】
- ■　床仕上げレベルは仕上表による。
- ■　ビニルシート等は樹脂ワックス仕上げを行う。
- ■　外壁内断熱の内部仕上げは石膏ボード１２．５ジョイント工法（ＧＬ工法）とする。
- ■　ボード張り、石膏プラスターのコーナー部はコーナービートを使用する。
- ■　天井岩綿吸音板の下張りは石膏ボードｔ９．５とする。
- ■　防火上主要な間仕切壁・遮音壁の石膏ボード二重張りの範囲は、屋根・スラブ・梁下端まで立上げとする。
- ■　特記無き限り異種材取合い部は、目透かし処理をすること。
  又、屋根・スラブ・梁との接合部はメーカー指定による防火処理を行う。
- ■　天井廻り縁は特記なき場合は塩ビ目透かしタイプとする。

【その他】
- ■　建材・内装材・家具類等について、Ｆ☆☆☆☆のものを使うこと。
  ホルムアルデヒドの放出を伴う材料については、監督員に資料を提出し、確認を受けること。
- ■　建材・内装材・家具類等について、クロルピリホス、石綿を添加した建材を使用しないこと。
- ■　石綿を使用した建材を使用しないこと
- ■　天井裏などへの措置については、天井裏・床裏・壁・収納に用いる建材はF☆☆☆以上を使用すること。

【準耐火建築物(ロ-2)】
- ■　主要構造部：不燃材料（鉄骨）
- ■　屋根：不燃材料（カラーガルバリウム鋼板）
- ■　外壁：準不燃材料または不燃材料（カラーガルバリウム鋼板、押出成形セメント板）
  押出成形セメント板 防火構造認定番号：PC030NE-0065
- ■　階段：準不燃材料または不燃材料（鉄骨階段）
- □　延焼の恐れのある開口部：防火設備

外部仕上表

区分	部位	記号	仕　上
屋根	勾配屋根	OR-1	カラーガルバリウム鋼板t0.4横葺き,ゴムアスファルトルーフィングt1.0,構造用合板t12,断熱材t100,高圧木毛セメント板t25 EP
		OR-1b	カラーガルバリウム鋼板t0.4横葺き,ゴムアスファルトルーフィングt1.0,構造用合板t12,高圧木毛セメント板t25 EP
軒天		OC-1	ケイ酸カルシウム板 t6.0 EP ,GB-R t9.5下地
外壁		OW-1	押出成形セメント板t60 W900 縦貼り(工業塗装品)
	アリーナ上部	OW-2	カラーガルバリウム鋼板t0.4横葺き,ゴムアスファルトルーフィングt1.0,高圧木毛セメント板t25,鉄骨横胴縁@455

区分	部位	記号	仕　上
外部床		OF-1	コンクリート刷毛引き仕上
雑金物	竪樋	TP-1	竪樋 アルミ製φ114
		TP-2	竪樋 アルミ製φ89
		TP-3	竪樋 ガルバリウム製φ75
	屋根点検タラップ		SUS 背かご付
	雪止め		L-50×50×4 溶融亜鉛めっきのLDP塗装

内部仕上表

区分	記号	名　称
床	F-1	弾性スポーツシートt6.0 構造用合板t12+12,鋼製床組H=600
	F-2	大型積層フローリングt18(サンダー掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り)(ササウレ抑制処理) 構造用合板t12,鋼製床組H=1000
	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地
	F-3b	耐汚長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地
	F-3c	長尺塩ビシートt2.0 構造用合板t15+12,鋼製床組H=1000
	F-4	磁器質タイル300角 t9.0
	F-5	鉄骨C-100×50×20×2.3@150 SOP スノコ張り
壁	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地
	W-2	杉羽目板t12 OSCL 構造用合板t12,木胴縁(18×40@303以下)【FL+2100より下部】
	W-3	化粧ケイ酸カルシウム板t6(突付)GB-St12.5下地
	W-4	有孔シナ合板t9 目透かし貼 OSCL 木胴縁(33×40@303以下)表冷砂 GW24K t50充填【FL+2100より上部】

区分	記号	名　称
天井	C-1	GB-D t9.5 GB-R t9.5下地
	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板t25 EP) 鉄骨梁現し SOP
	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-R t9.5下貼り

間仕切（非耐力壁）	記号	場所・仕様	名　称

巾木	記号	名　称
	H-1	木製巾木OSUC H60
	H-2	ビニルソフト巾木 H60
	H-3	床材立上げ H60

断熱材	場所	記号	名　称
	外壁	H-1	現場発泡ウレタンA種1H(ノンフロン)吹付 t50
	屋根	H-2	押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種bA t100
	1階床	H-3	押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種bA t50
	外気に面する基礎梁	H-4	押出法ポリスチレンフォーム保温板 3種bA t50 スラブ下～設計GL-400までの範囲

設　計　図		担当・資格等	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名：前谷地小学校屋内運動場改築工事
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号		図面名：仕上共通事項・外部仕上表　縮尺：A1:— A3:—
					設計年月日：令和7年5月

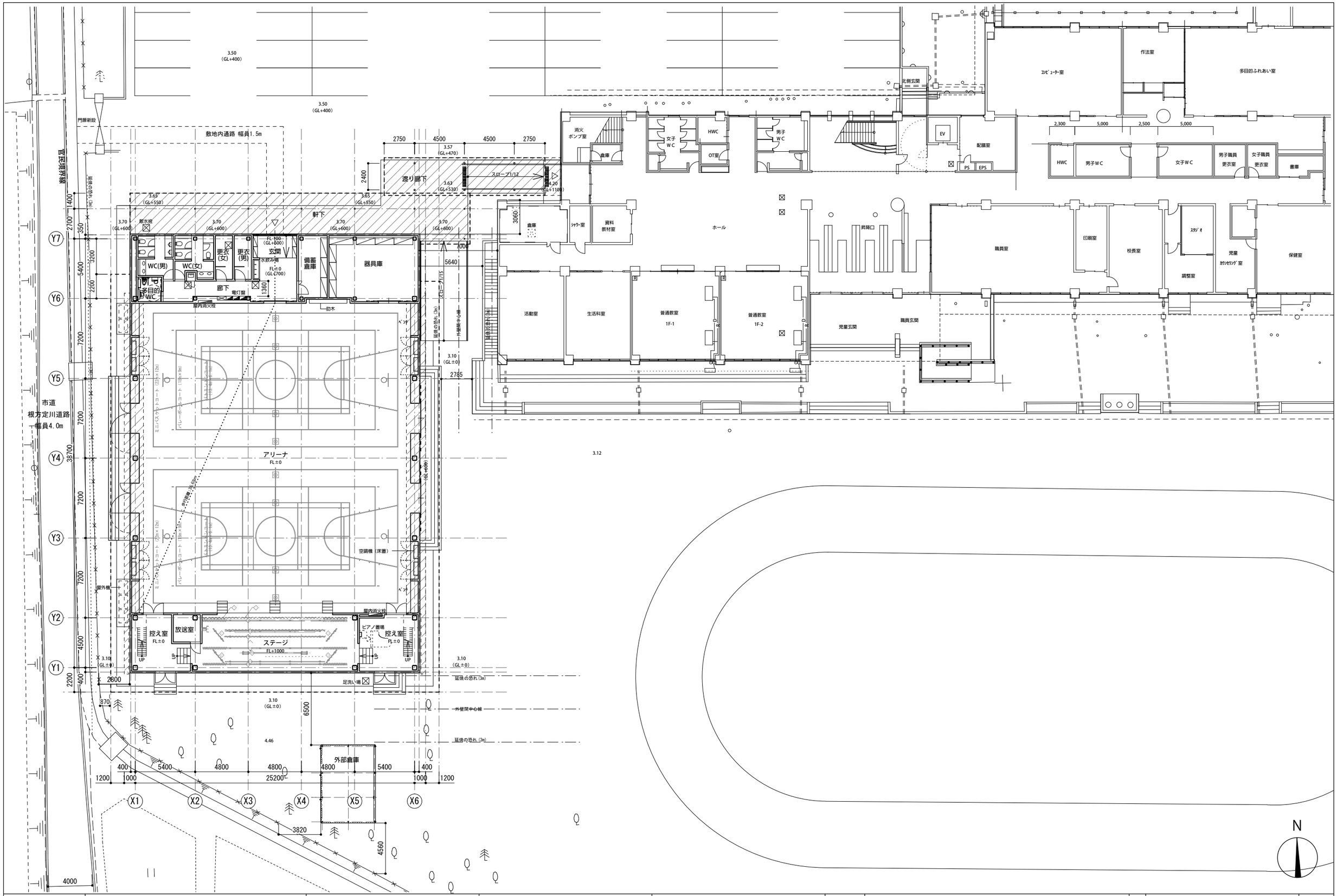
備考

図面番号 A-019

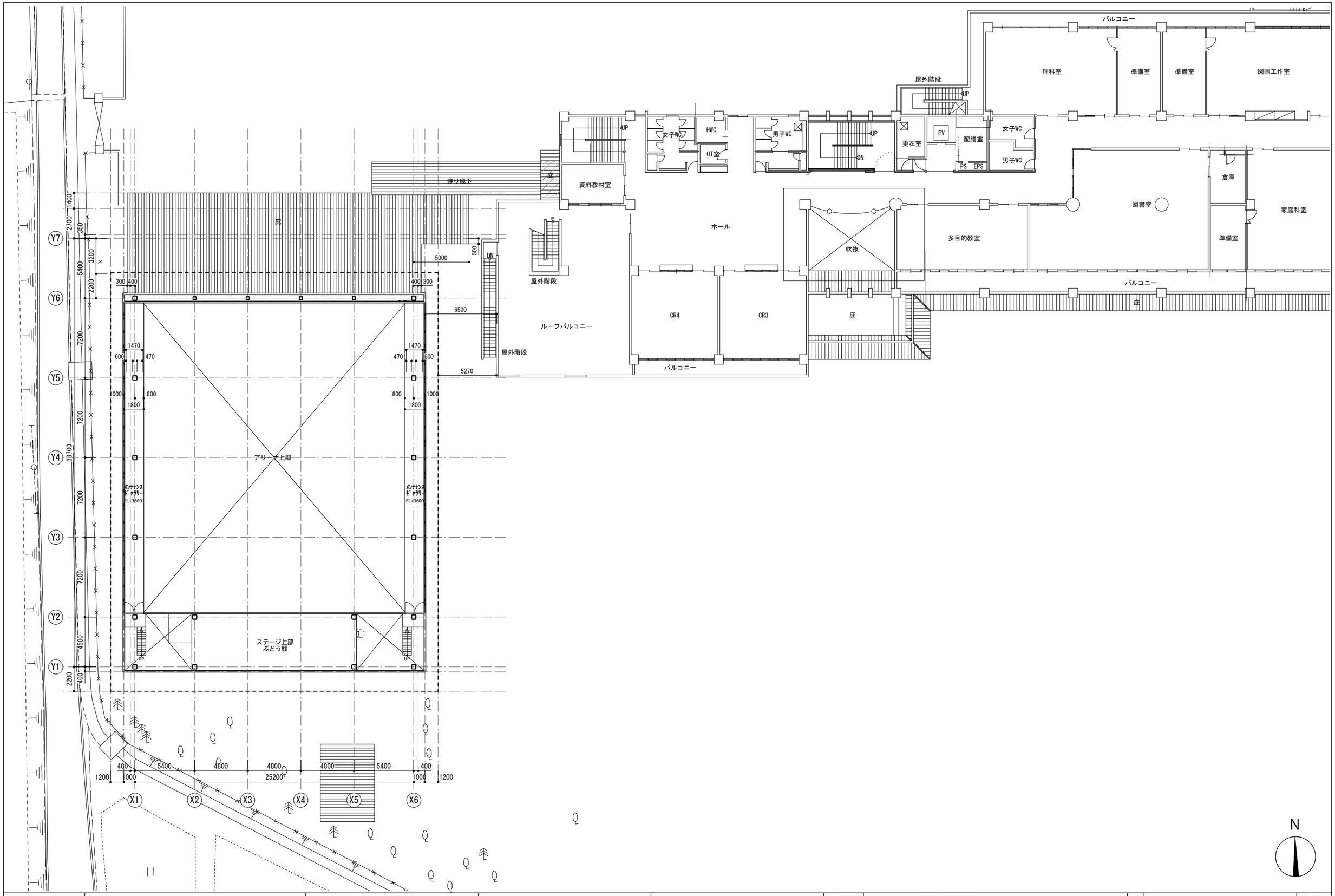
内部仕上表

位置	室名	(記号)	床	下地	仕上レベル	(記号)	巾木	高さ	(記号)	壁	下地	見切縁	(記号)	天井	下地	天井高	内装制限	備考
1階	アリーナ	F-1	弾性スポーツシートt6.0 構造用合板t12+12, 鋼製床組H=600	RC直	FL±0 SL=FL-600	H-1	木製巾木OSUC H60	60	W-2 W-4	杉羽目板t12 OSCL 構造用合板t12,木胴縁(18×40@303以下)【FL+2100より下部】 有孔シナ合板t9 目透かし貼 OSCL 木胴縁(33×40@303以下)寒冷紗, GW24K t50充填 【FL+2100より上部】	LGS	—	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板t25 EP) ,鉄骨梁現し SOP	—	直天		肋木、折畳式バスケットゴール、防球ネット、移動式階段、暗幕、防球格子戸
	ステージ	F-2	大型積層フローリングt18(サンダー掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り)(ササクレ抑制処理), 構造用合板t12, 鋼製床組H=1000	RC直	FL+1000 SL=FL±0	H-1	木製巾木OSUC H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	—	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板t25 EP) ,鉄骨梁現し SOP	—	直天		収納台車、舞台機構
	控え室1・2	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-1	木製巾木OSUC H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板t25 EP) ,鉄骨梁現し SOP	LGS	直天		
	放送室	F-3c	長尺塩ビシートt2.0 構造用合板t15+12, 鋼製床組H=1000	RC直	FL+1000 SL=FL±0	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-R t9.5下貼り	LGS	2400		
	器具庫	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地 (耐静荷重性)	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-1	GB-D t9.5 GB-R t9.5下地	LGS	2400		
	トイレ(男・女・多目的)	F-3b	耐汚長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-3	床材立上げ H60	60	W-3	化粧ケイ酸カルシウム板t6(突付)GB-St12.5下地	LGS	塩ビ	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-R t9.5下貼り	LGS	2400		
	更衣室(男・女)	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-R t9.5下貼り	LGS	2400		隔て板、収納棚
	備蓄倉庫	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-1	GB-D t9.5 GB-R t9.5下地	LGS	2400		収納棚
	玄関	F-4 F-3	磁器質タイル300角 t9.0 長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-1	GB-D t9.5 GB-R t9.5下地	LGS	2400		下足入れ、水飲み場
	廊下	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直	FL±0 SL=FL-10	H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	塩ビ	C-1	GB-D t9.5 GB-R t9.5下地	LGS	2400		
—	メンテナンスギャラリー	F-3	長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金ゴテ下地	RC直		H-2	ビニルソフト巾木 H60	60	W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	—	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-R t9.5下貼り	—	2550		
	ぶどう棚	F-5	鉄骨C-100×50×20×2.3@150 SOP スノコ張り	RC直		—			W-1	EP GB-R t12.5+9.5下地	LGS	—	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板t25 EP) ,鉄骨梁現し SOP	—	直天		
	ピット	—	コンクリート金ゴテの上、ケイ酸質系塗膜防水	RC直	FL-2000 SL=FL-2000	—			—	コンクリート打放し補修の上、ケイ酸質系塗膜防水	—	—			—	—		

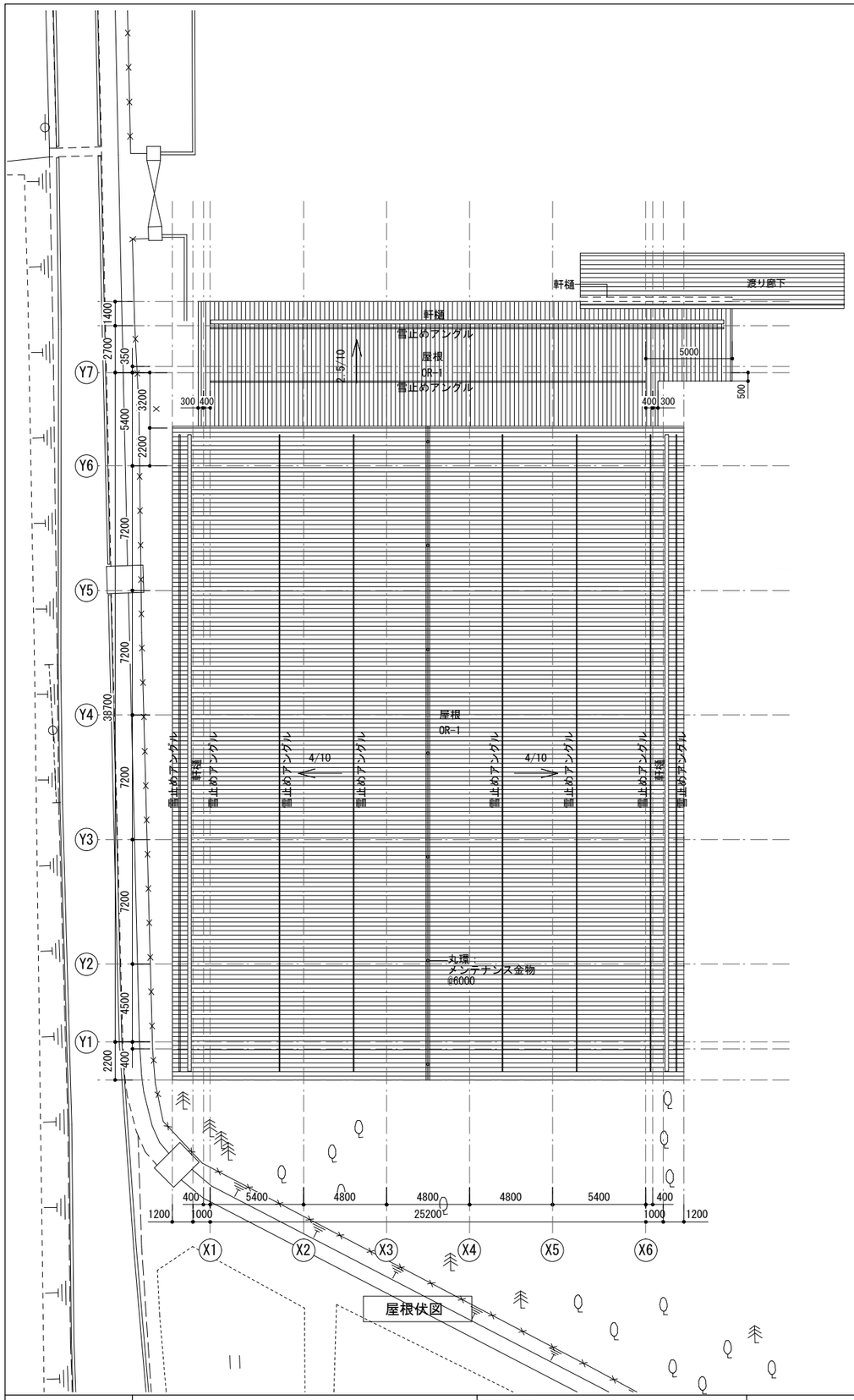
設計図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	内部仕上表 縮尺 A1:— A3:—	A-020
						設計年月日	令和7年5月	備考



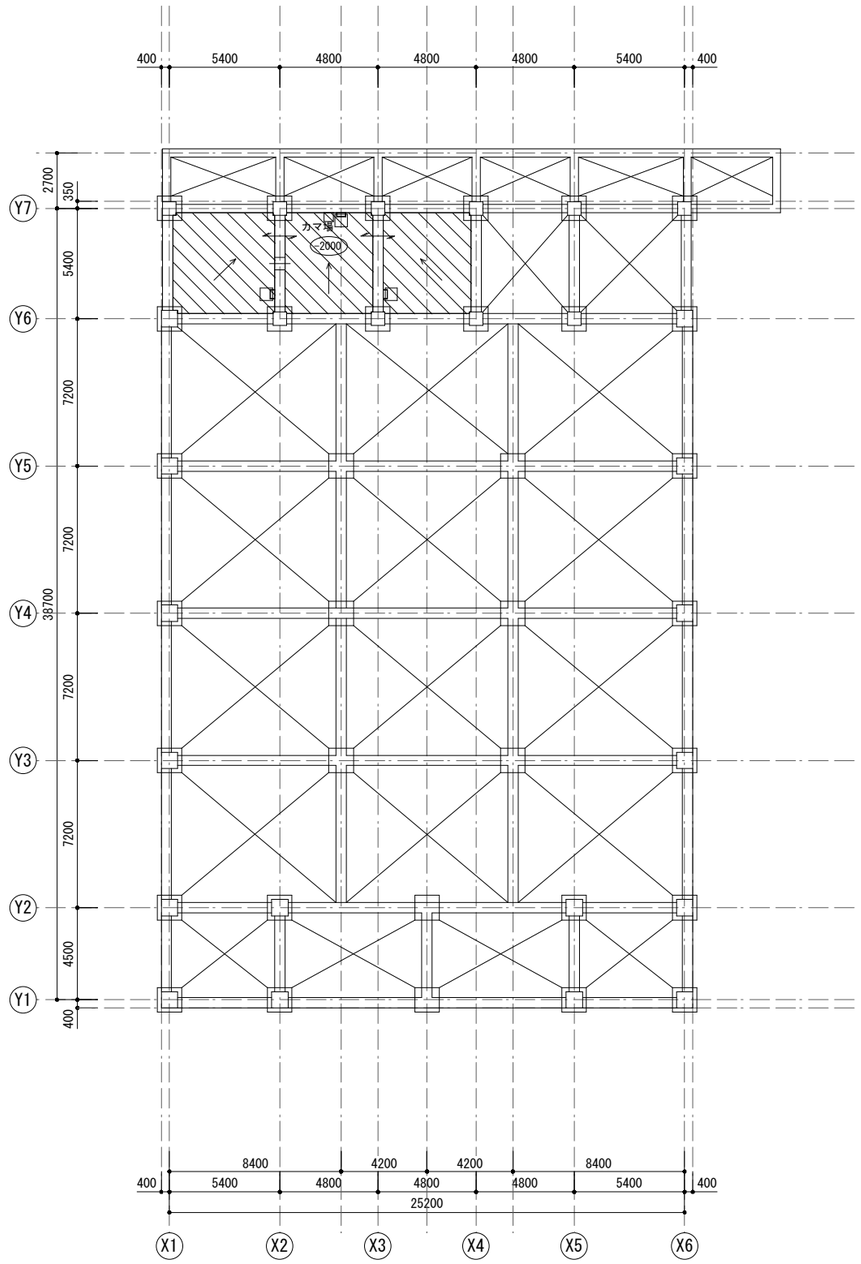
設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	1階平面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	A-101
						設計年月日	令和7年5月	備考	



設 計 図		担当・資格等		関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	メンテナンスギャラリー平面図 縮尺 A1:1/150 A3:1/300		A-102
						設計年月日	令和7年5月		



屋根伏図

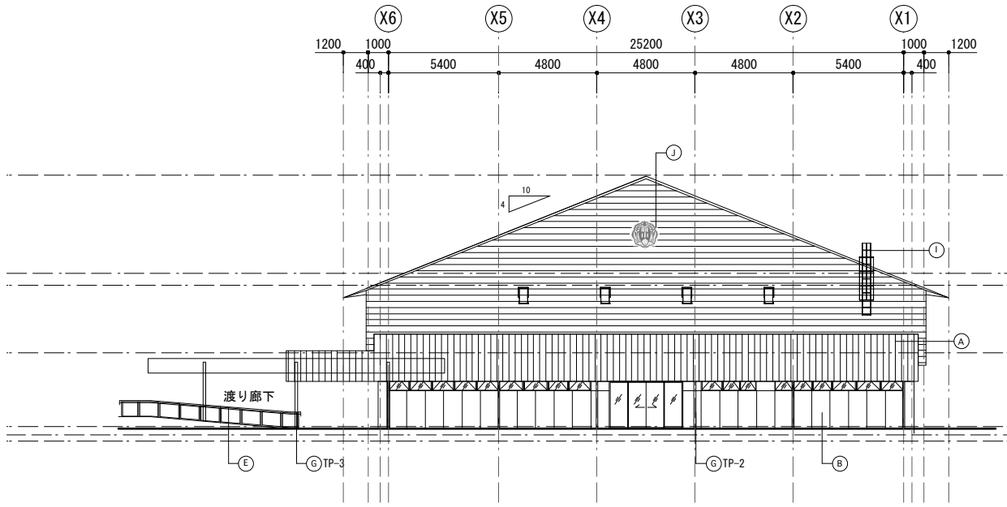


ピット平面図

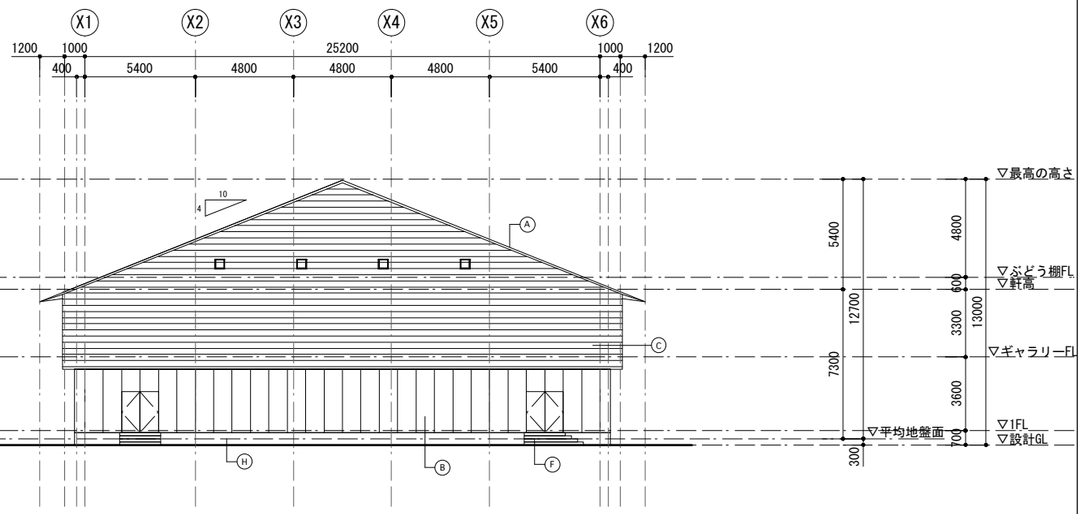
凡　例	
	ピット範囲 -2000 1FLからのレベル（水下）
	鉄筋コンクリート（柱．地中梁．土止壁）
	人通孔600φ（梁中央）
	通水管；VU100半割り打ち込み（土間上）
	地中梁の下端主筋からのかぶりを確保すること
←	水勾配（釜場に向かって１／３００く）
	ステンレスタラップ、上部点検口
	カマ場、450×450×D300

N

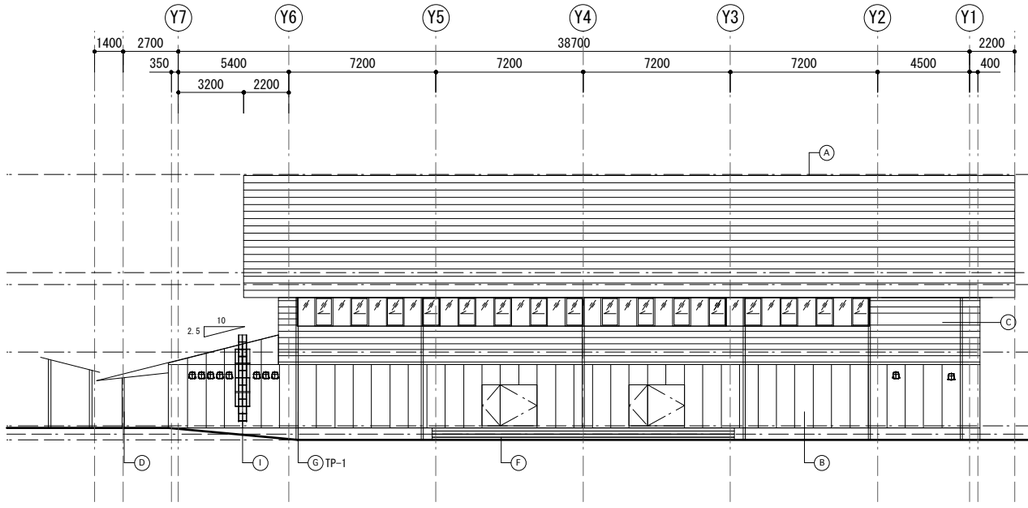
設　計　図		担当・資格等		関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	屋根伏図・ピット平面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300	A-103
						設計年月日	令和7年5月	備考	



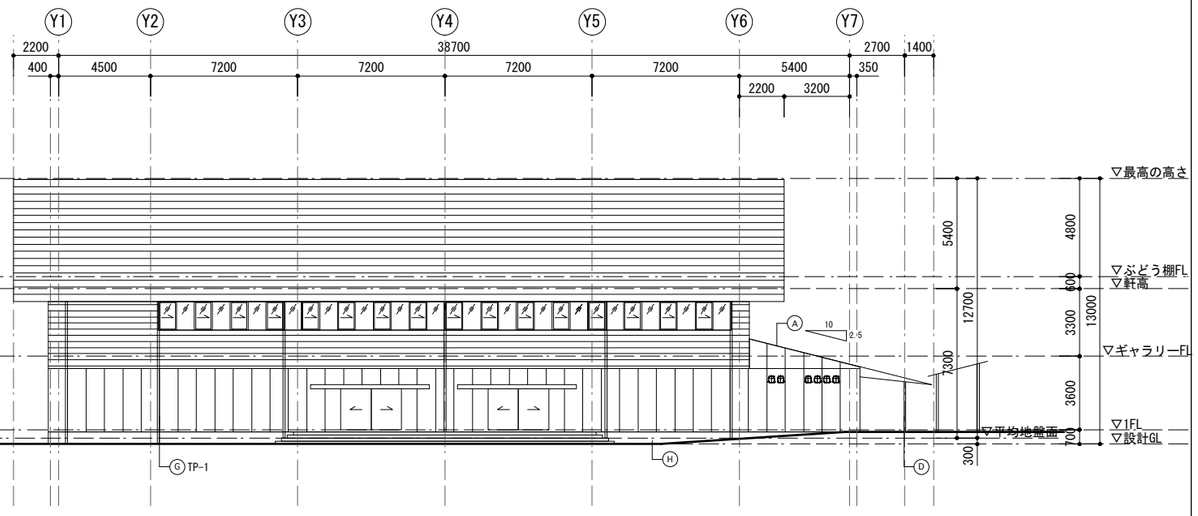
北立面図



南立面図



西立面図

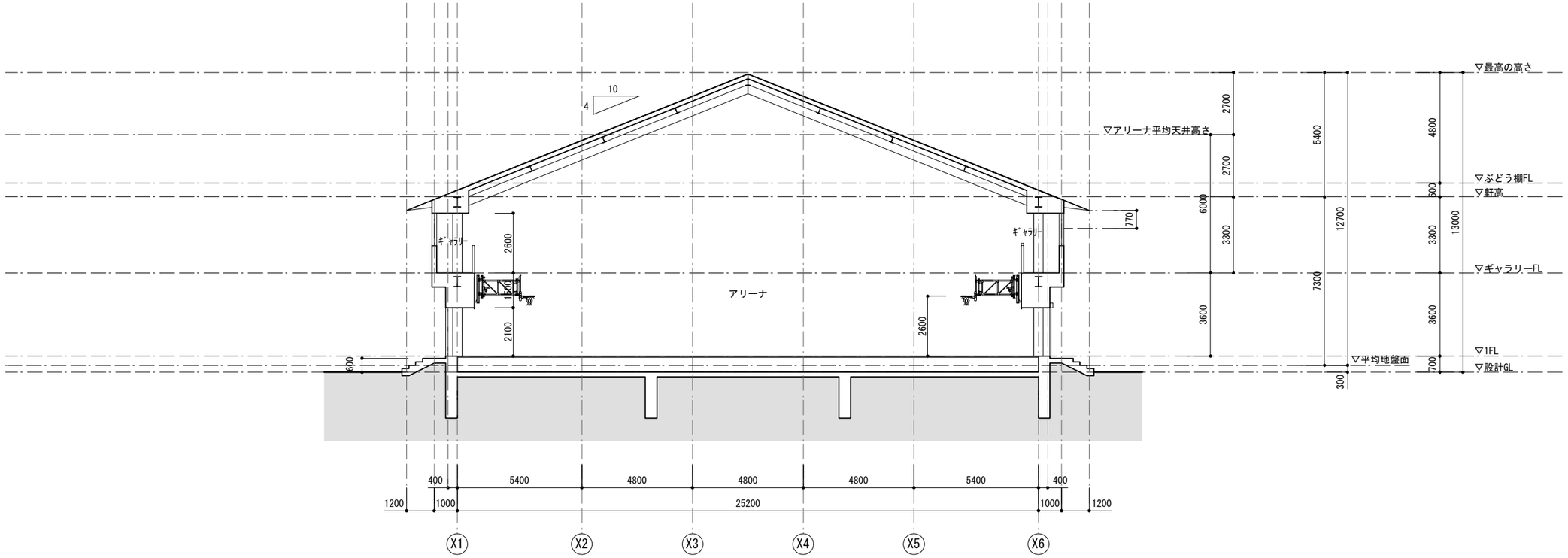


東立面図

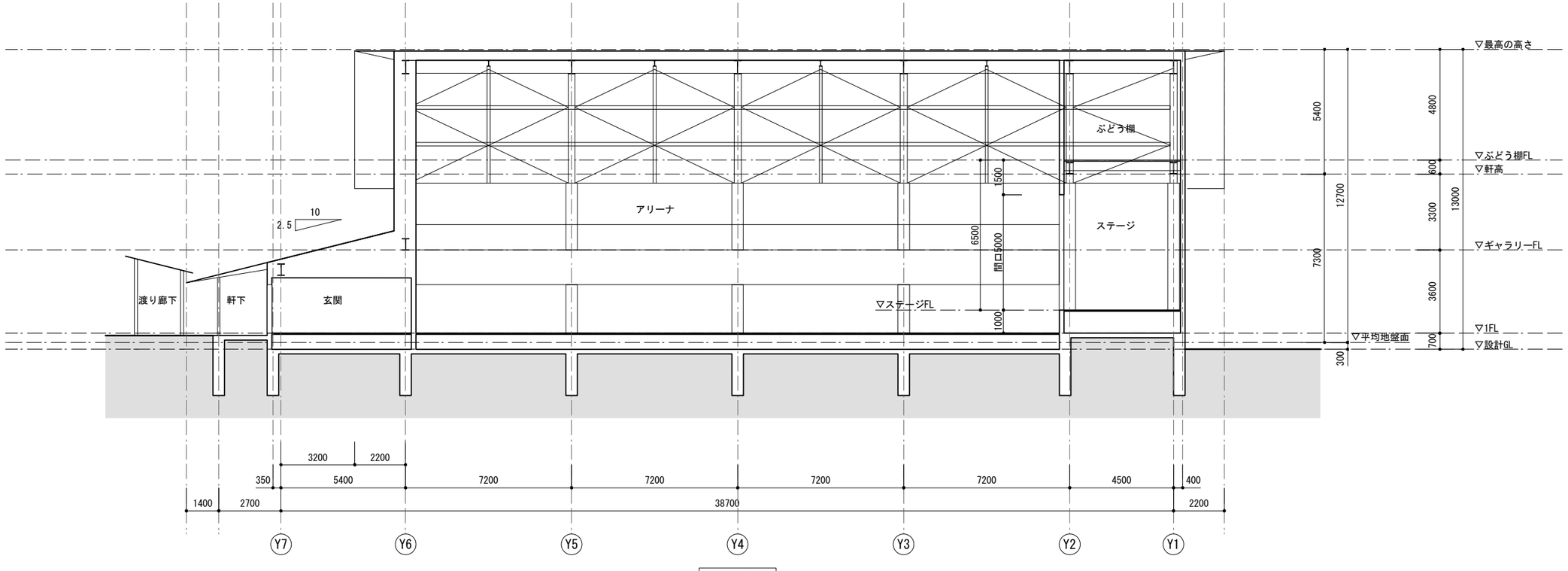
凡例

Ⓐ 屋根(OR-1)：カラーガルバリウム鋼板t0.4横葺き ,ゴムアスファルトルーフィングt1.0, 構造用合板t12,断熱材t100
Ⓑ 外壁(OW-1)：押出成形セメント板t60 W900 縦貼り（工業塗装品）
Ⓒ 外壁(OW-2)：カラーガルバリウム鋼板t0.4横葺き , ゴムアスファルトルーフィングt1.0, 高圧木毛セメント板t25, 鉄骨横胴縁@455
Ⓓ 鉄骨柱：溶融亜鉛めっきの上DP
Ⓔ 手摺：溶融亜鉛めっきの上DP
Ⓕ 外部階段：コンクリート刷毛引き仕上
Ⓖ 竪樋(TP-1,2,3)：アルミ既製品
Ⓗ RC立上り：コンクリート打放し補修 浸透性撥水材
Ⓘ タラップ：SUS 背かご付
Ⓙ 校章(OS-1)：SUS BOX加工

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	立面図	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		A-104
						設計年月日	令和7年5月			

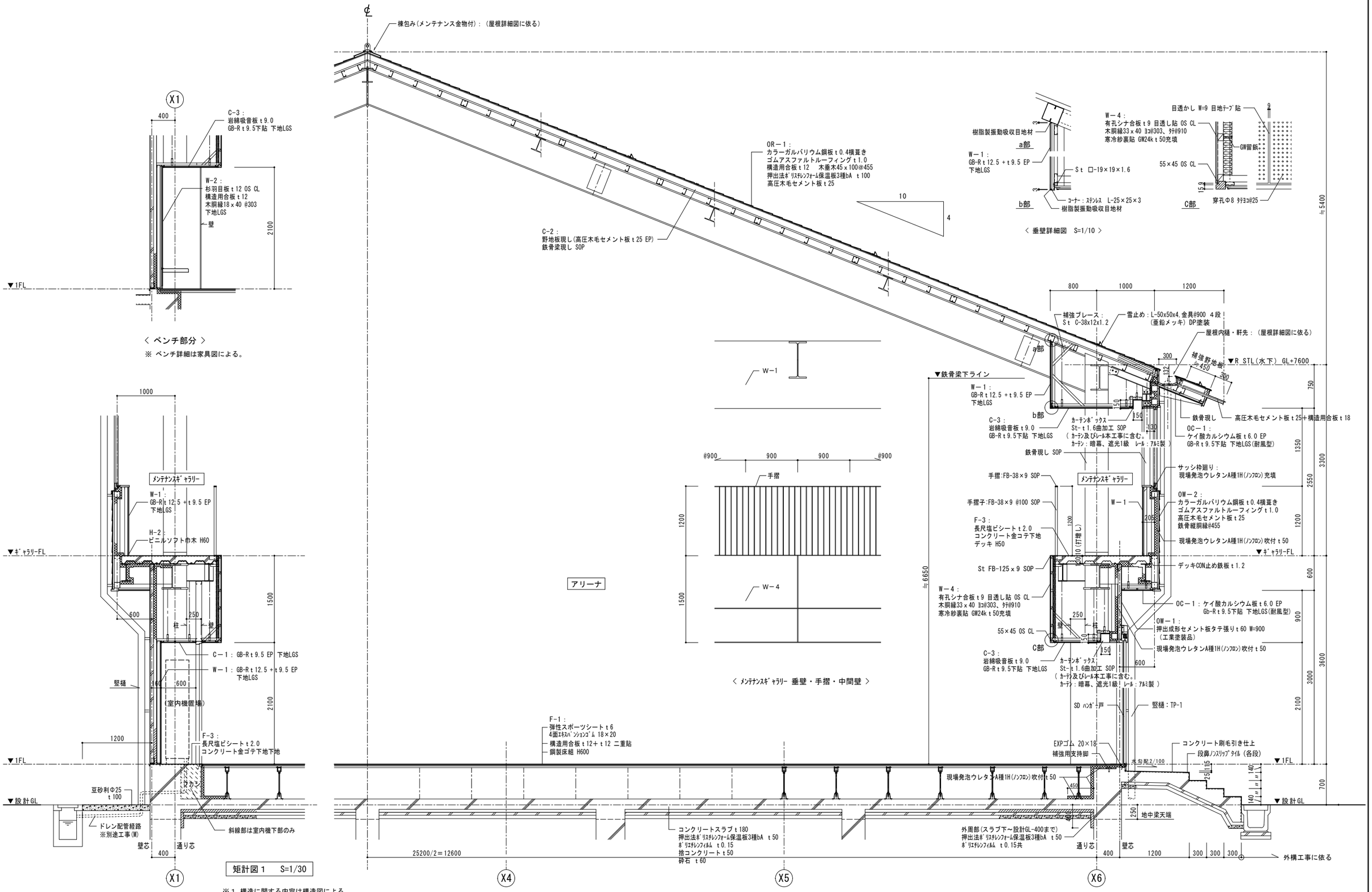


東西断面図



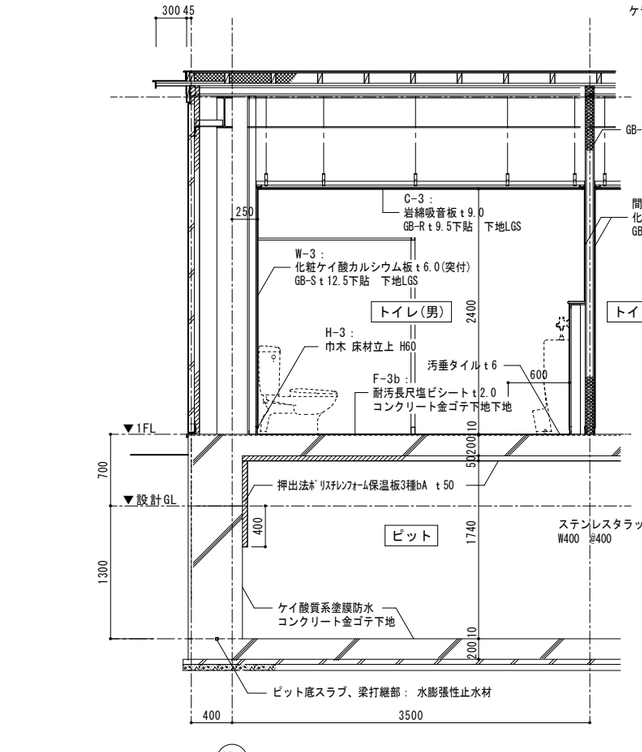
南北断面図

設計図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	断面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	A-105
						設計年月日	令和7年5月	備考	



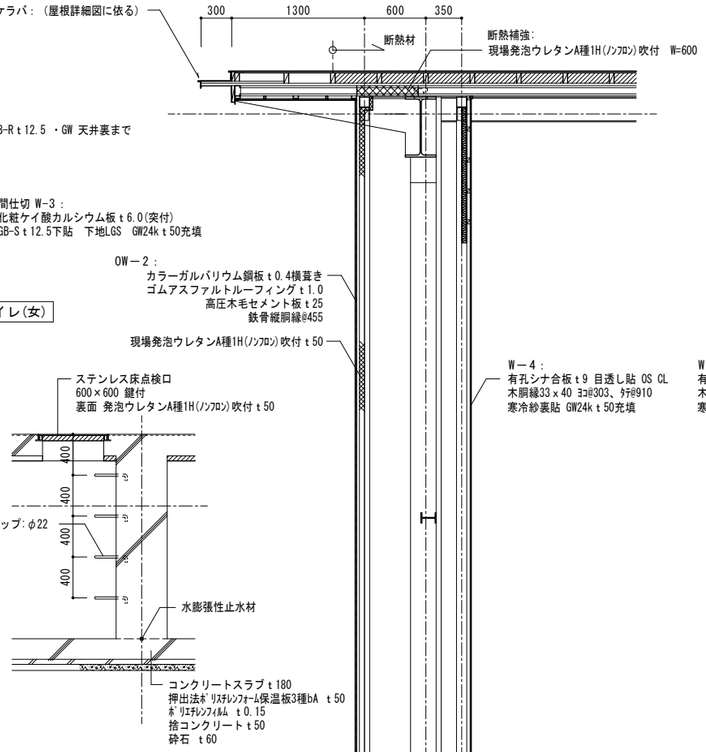
※１ 構造に関する内容は構造図による。
※２ 外部現し鉄骨部材は 溶融亜鉛メッキ塗装＋ＤＰ塗装とする。

設　計　図	担当・資格等		Spirit Of Place	関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号		一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号		図面名	矩計図１　縮尺 A1:1/30　A3:1/60	A-106
						設計年月日	令和7年5月	備考

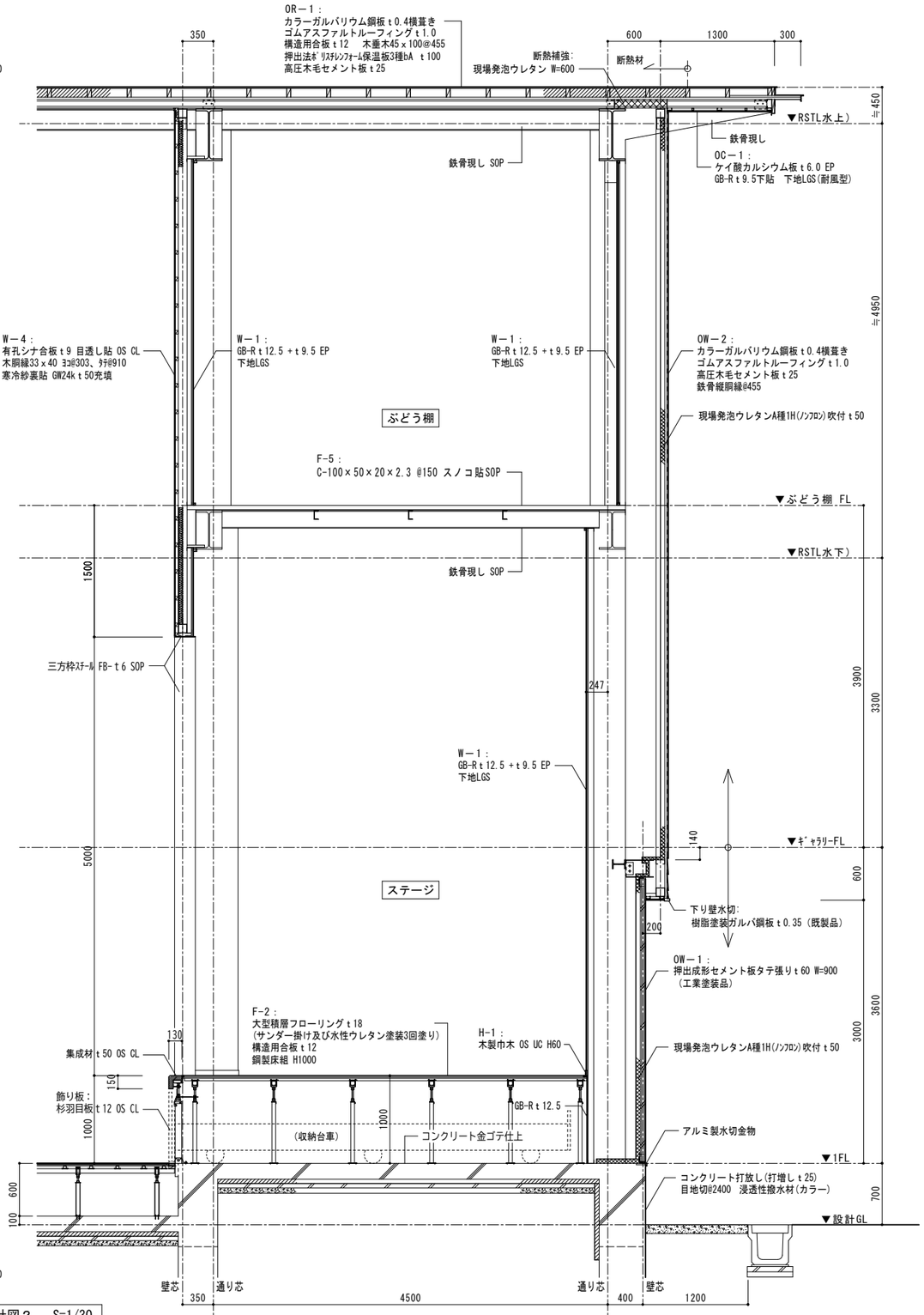


X1

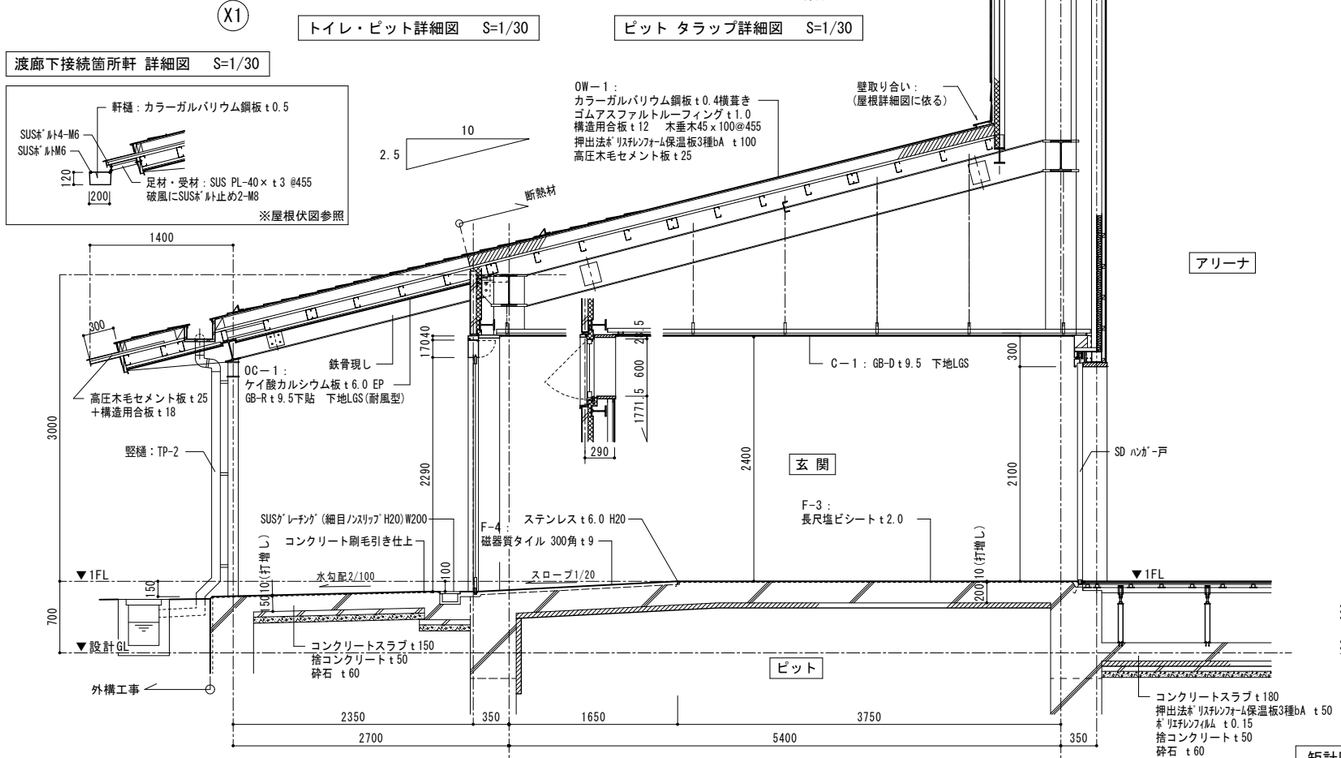
トイレ・ピット詳細図　S=1/30



ピット タラップ詳細図　S=1/30



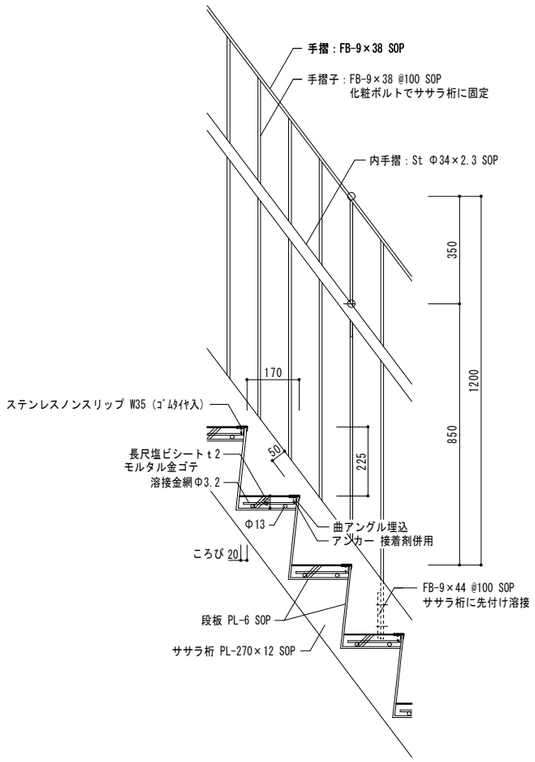
矩計図２　S=1/30

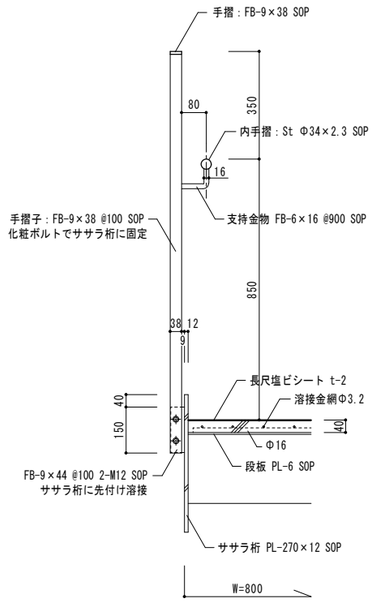


Y7　Y6

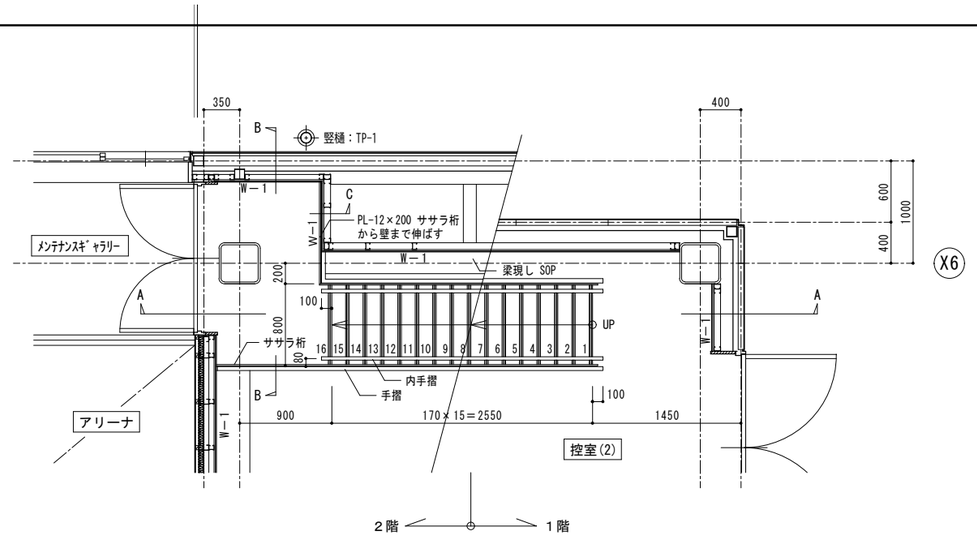
※１ 構造に関する内容は構造図による。
※２ 外部現し鉄骨部材は 溶融亜鉛メッキ塗装＋ＤＰ塗装とする。

設 計 図	担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号		図面名	矩計図２　縮尺 A1:1/30　A3:1/60		A-107
					設計年月日	令和7年5月		

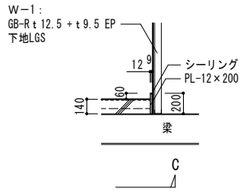


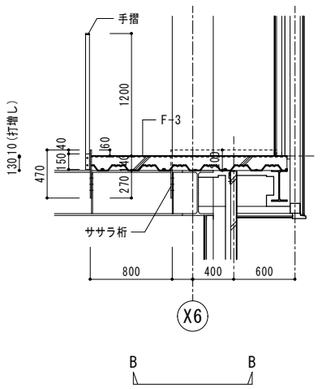


部分詳細図　S=1/10

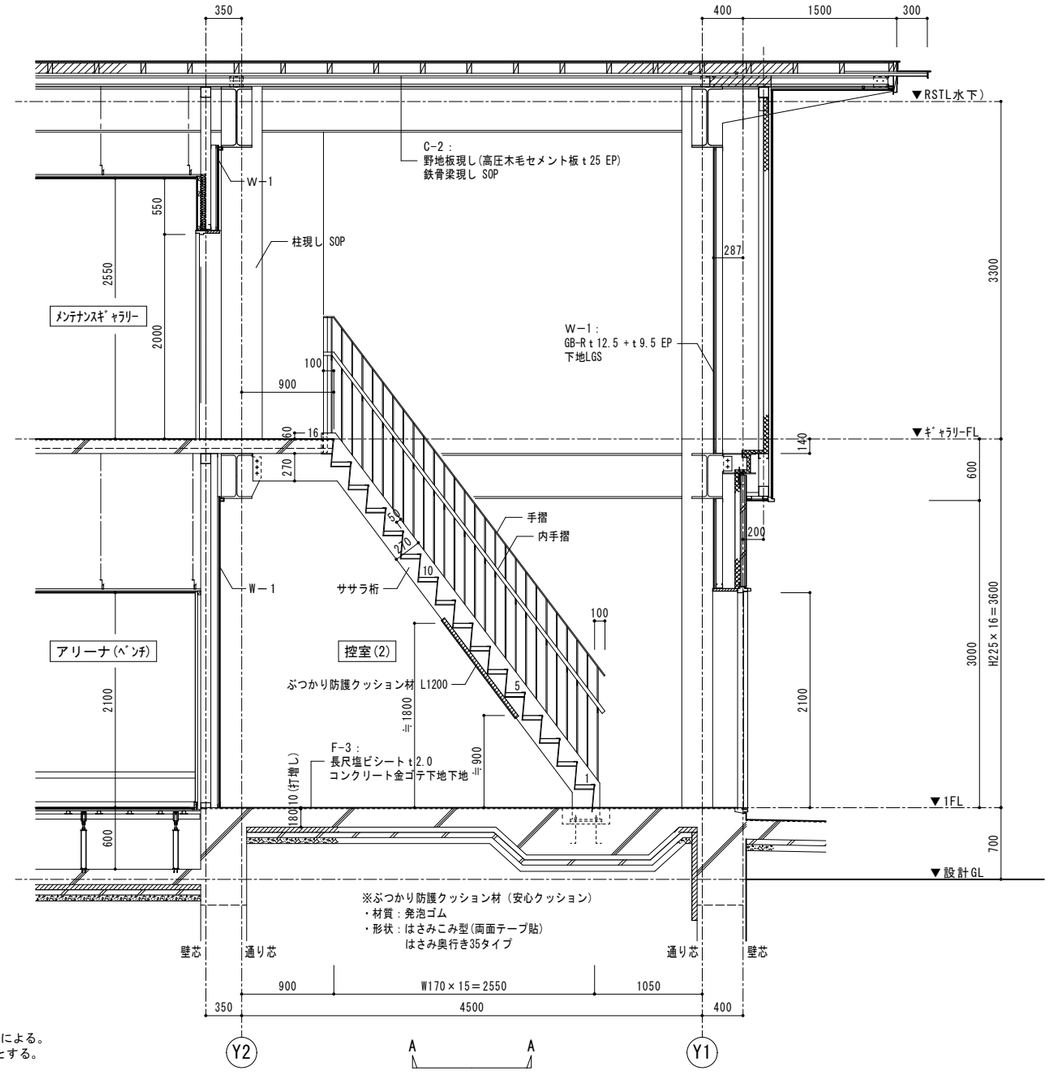


平面詳細図　S=1/30



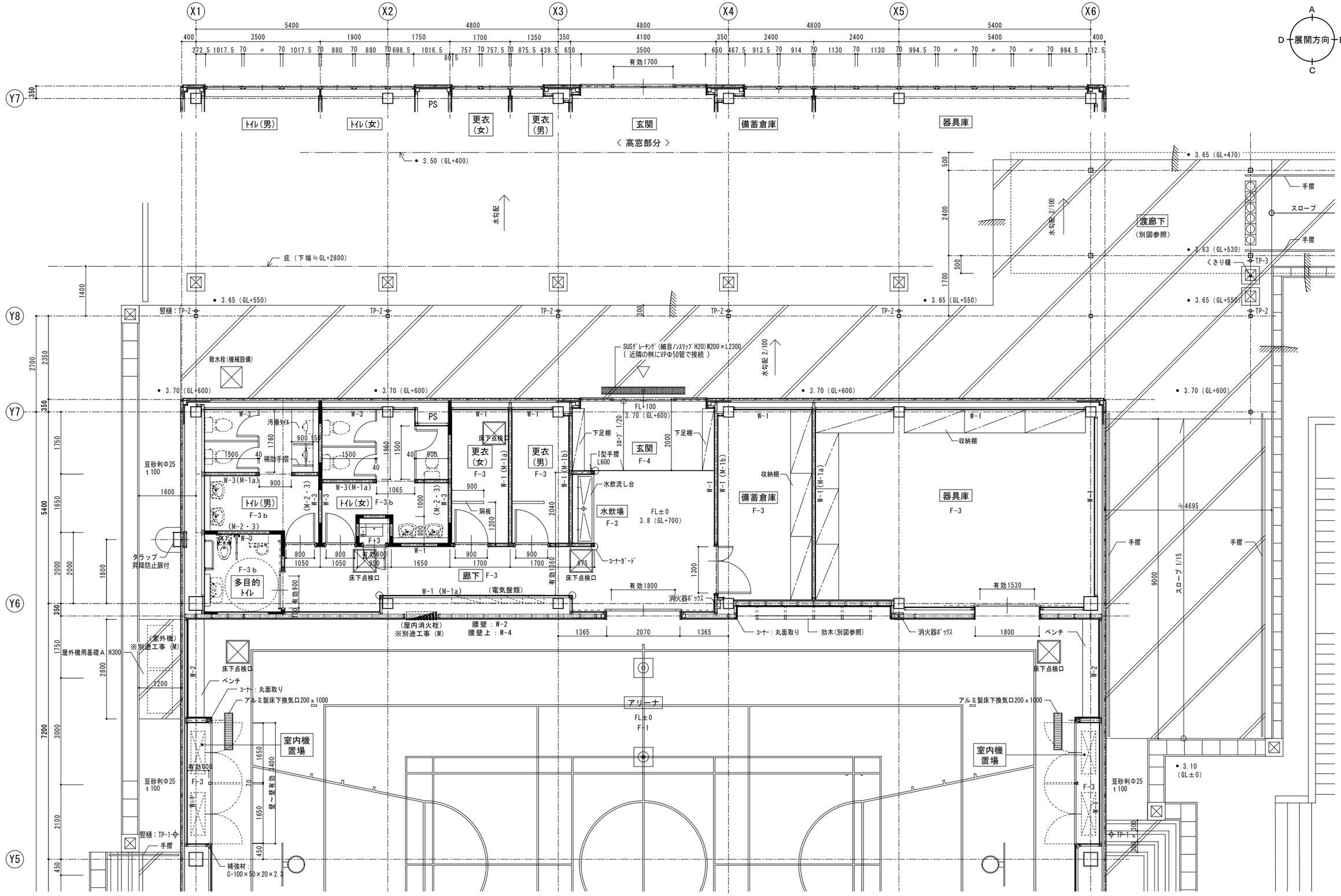


断面詳細図　S=1/30



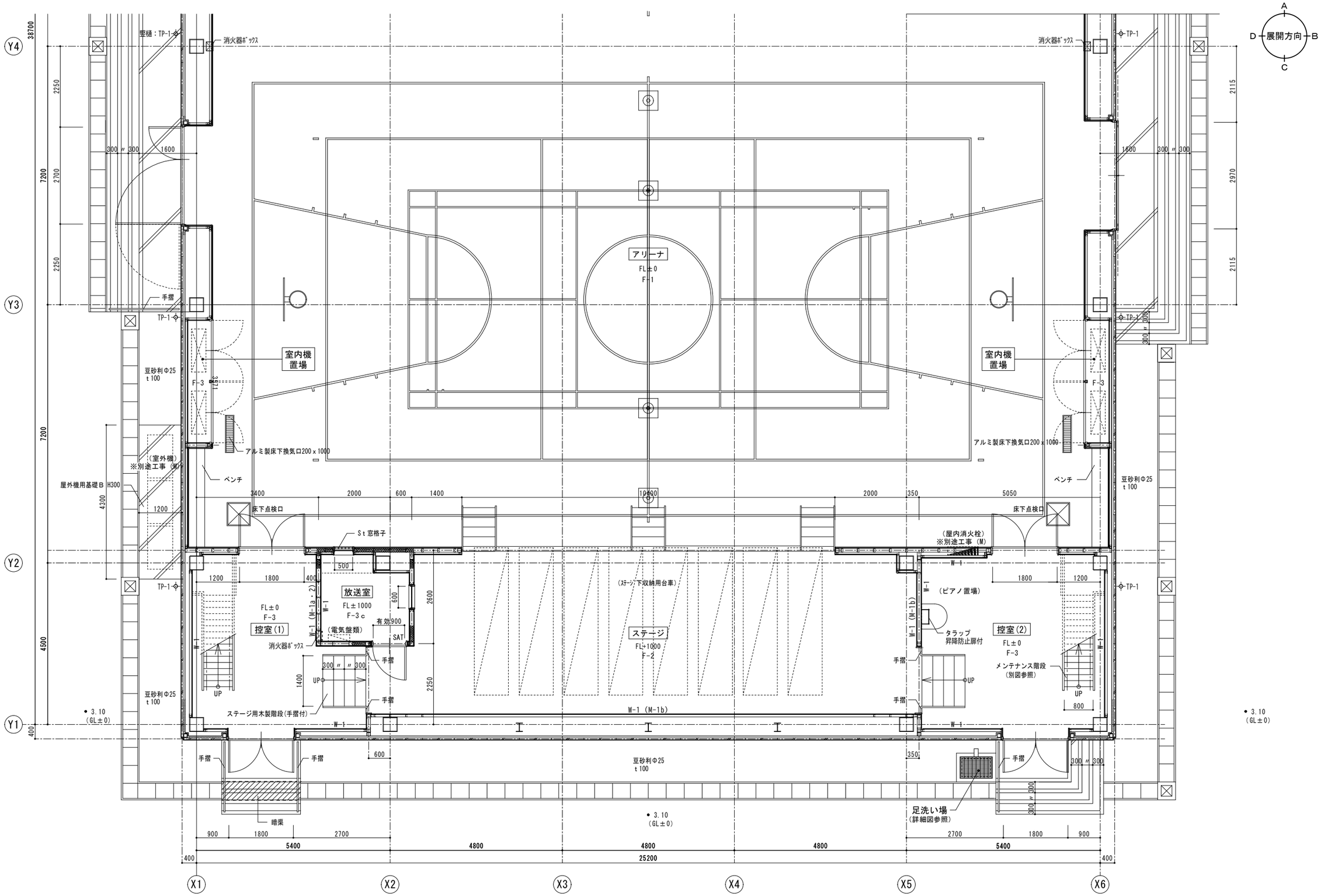
※1 構造に関する内容は構造図による。
※2 見掛り鉄骨部材はSOP塗装とする。

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	階段詳細図	縮尺 A1:1/30 A3:1/60	A-108
						設計年月日	令和7年5月	備考	



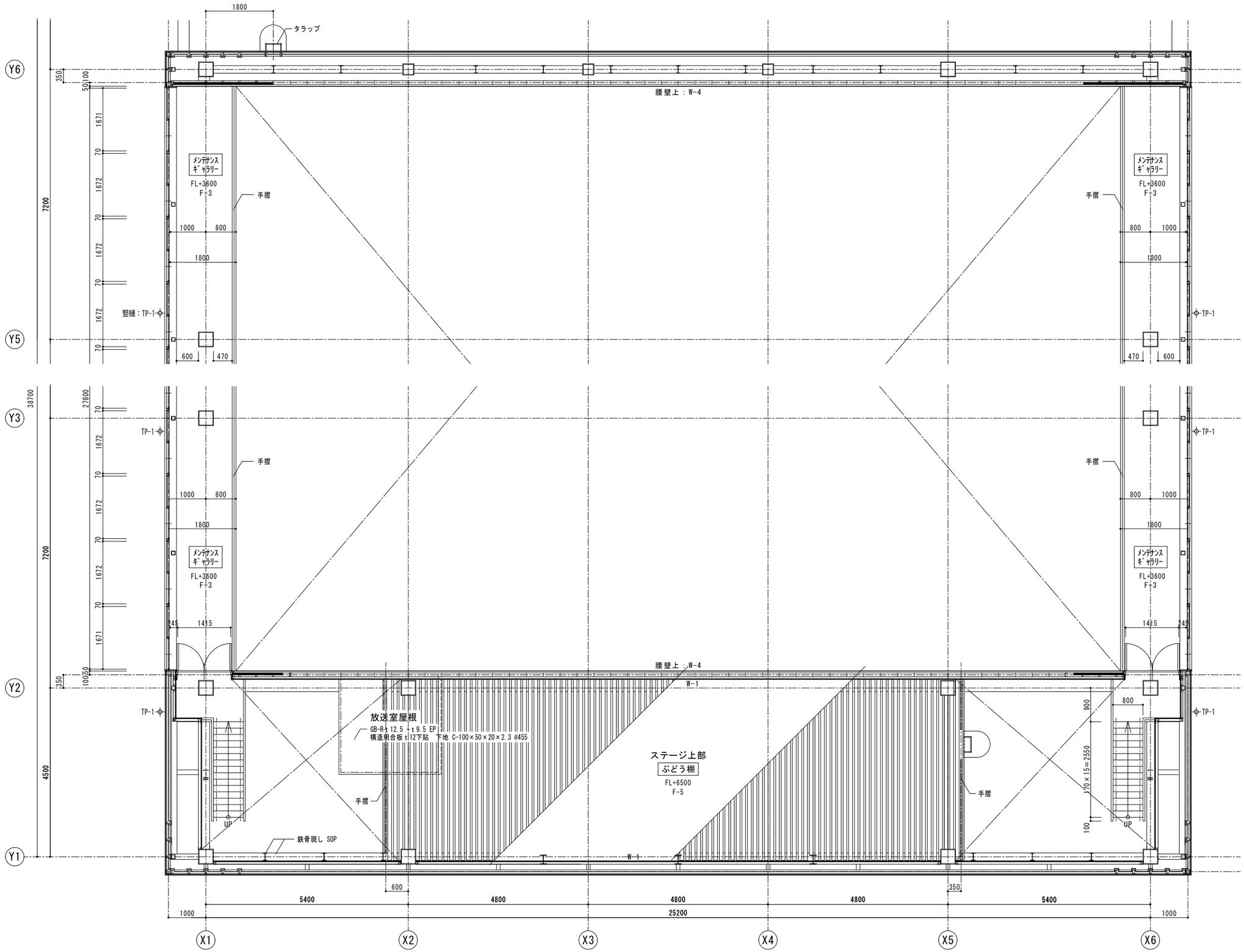
凡例								
床	F-1： 弾性スポーツシート t6 4面ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｺﾞﾑ 18×20 構造用合板 t12＋t12 二重貼　鋼製床組	F-2： 大型積層フローリング t18（ｻﾝﾀﾞｰ掛け 及び水性ウレタン塗装3回塗り） 構造用合板 t12　鋼製床組	F-3： 長尺塩ビシート t2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3b： 耐汚長尺塩ビシート t2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3c： 長尺塩ビシート t2.0 構造用合板 t15+t12　鋼製床組	F-4： 磁器質タイル 300角　t9	F-5： 鉄骨C-100×50×20×2.3 @150 SOP スノコ貼	
壁	W-1： EP　GB-R t12.5+GB-R t9.5 LGS下地	W-2： 杉羽目板 t12 OS CL　構造合板 t12下貼 木胴縁18×40 @303以下	W-3： 化粧ケイ酸カルシウム板 t6.0(突付) GB-S t12.5下貼　下地LGS	W-4： 有孔シナ合板 t9 目透し貼 OS CL 木胴縁33×40 ﾖｺ@303以下、ﾀﾃ@910 寒冷紗裏貼 GW24k t50充填				

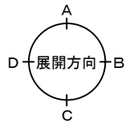
設計図	担当・資格等	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place	関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
							図面名	1階平面詳細図 1	縮尺 A1:1/50　A3:1/100		A-109
							設計年月日	令和7年5月			



凡 例	床	F-1： 弾性スポーツシート t 6 4面エキスパンションゴム 18×20 構造用合板 t 12+ t 12 二重貼 鋼製床組	F-2： 大型積層フローリング t 18 (サンダー掛け 及び水性ウレタン塗装3回塗り) 構造用合板 t 12 鋼製床組	F-3： 長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3b： 耐汚長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3c： 長尺塩ビシート t 2.0 構造用合板 t 15+ t 12 鋼製床組	F-4： 磁器質タイル 300角 t 9	F-5： 鉄骨C-100×50×20×2.3 @150 SOP スノコ貼	壁	W-1： EP GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地	W-2： 杉羽目板 t 12 OS CL 構造合板 t 12下貼 木胴縁18×40 @303以下	W-3： 化粧ケイ酸カルシウム板 t 6.0(突付) GB-S t 12.5下貼 下地LGS	W-4： 有孔シナ合板 t 9 目透し貼 OS CL 木胴縁33×40 ヨコ@303以下、タテ@910 寒冷紗裏貼 GW24k t 50充填

設 計 図	担当・資格等	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337376号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第2IX10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
						図面名	1階平面詳細図2	縮尺 A1:1/50 A3:1/100		A-110
						設計年月日	令和7年5月			

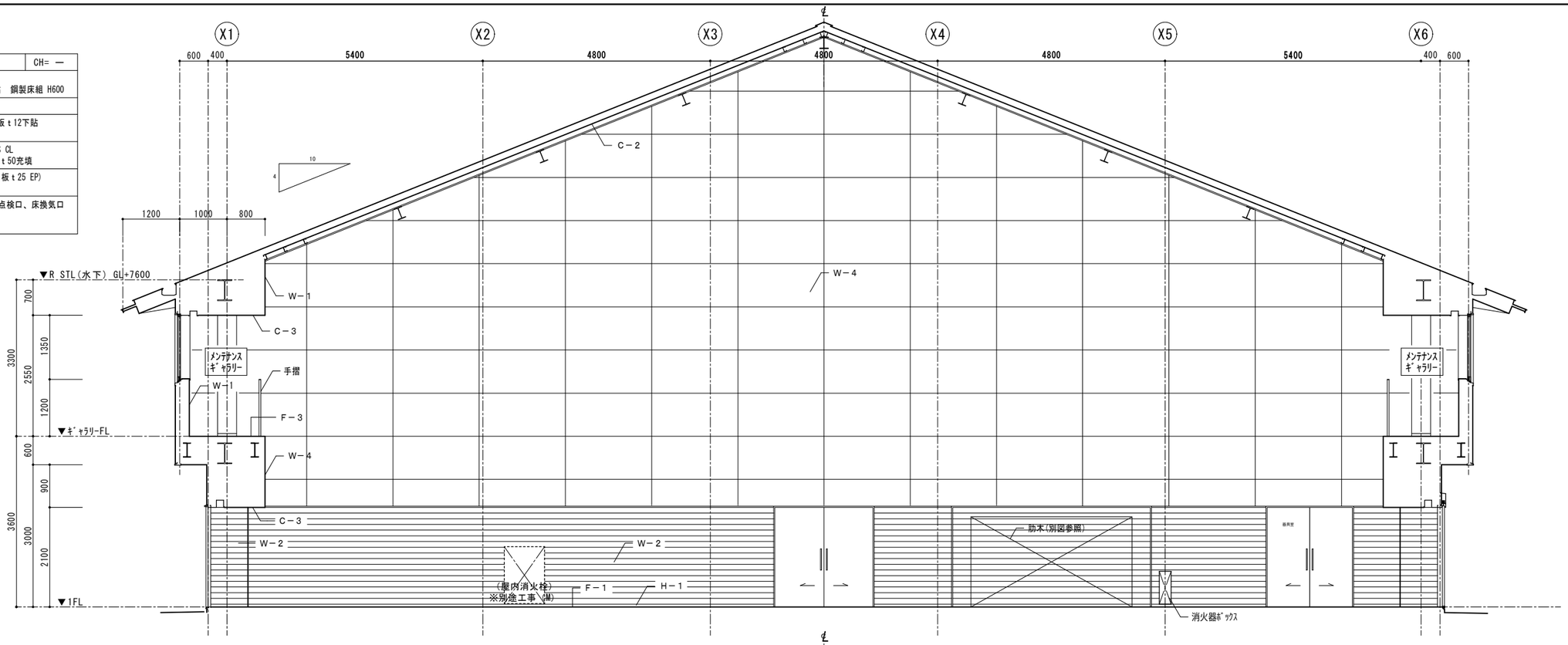




凡　例	床	F-1：弾性スポーツシート t 6 4面ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｺﾞﾑ 18×20 構造用合板 t 12+ t 12 二重貼　鋼製床組	F-2：大型積層フローリング t 18（ｻﾝﾀﾞｰ掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り） 構造用合板 t 12　鋼製床組	F-3：長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3ｂ：耐汚長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金ゴテ下地下地	F-3ｃ：長尺塩ビシート t 2.0 構造用合板 t 15+ t 12　鋼製床組	F-4：磁器質タイル 300角　t 9	F-5：鉄骨C-100×50×20×2.3 @150 SOP スノコ貼	壁	W-1：EP　GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地	W-2：杉羽目板 t 12 OS CL　構造合板 t 12下貼 木胴縁18×40 @303以下	W-3：化粧ケイ酸カルシウム板 t 6.0(突付) GB-S t 12.5下貼　下地LGS	W-4：有孔シナ合板 t 9 目透し貼 OS CL 木胴縁33×40 @303以下、ﾀﾃ@910 寒冷紗裏貼 GW24k t 50充填

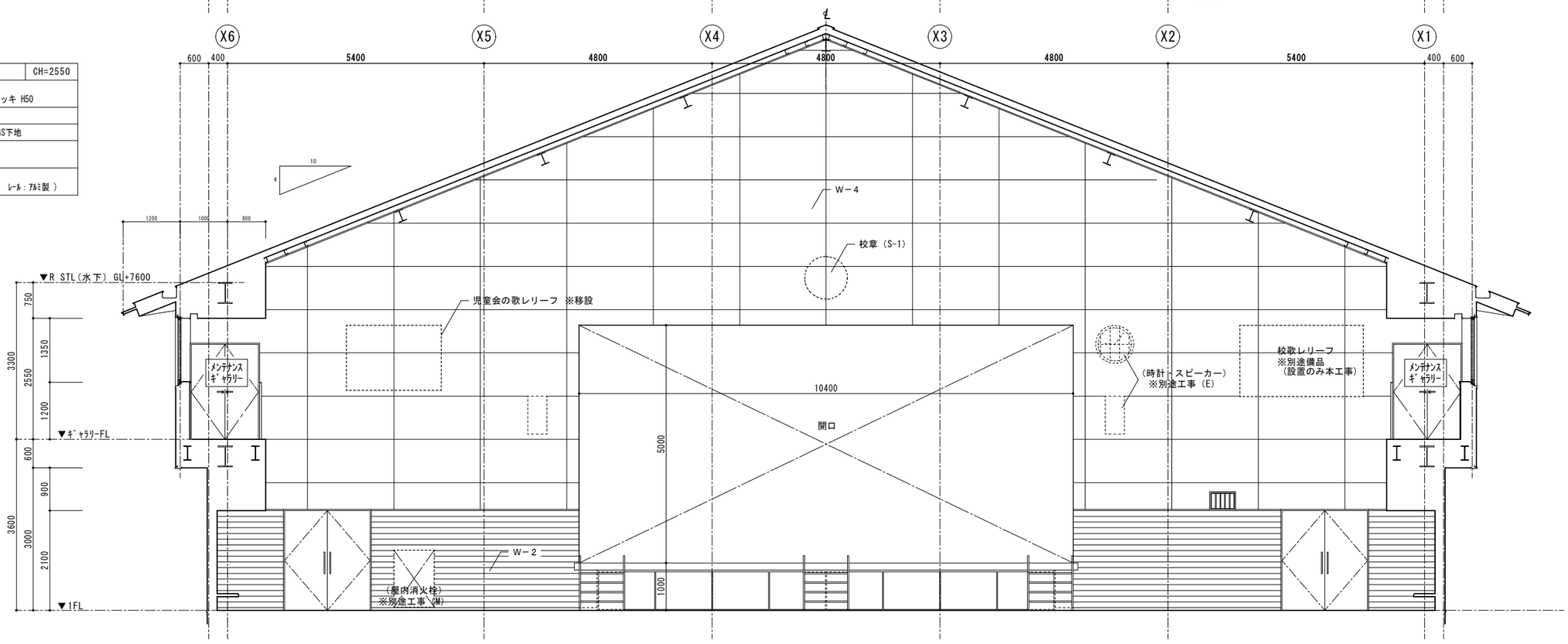
設　計　図	担当・資格等	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
						図面名	点検歩廊平面詳細図	縮尺 A1:1/50　A3:1/100		A-111
						設計年月日	令和7年5月			

アリーナ		CH= ー
床	F-1	弾性スポーツシート t 6 構造用合板 t 12 +t 12 二重貼　鋼製床組 H600
巾木	H-1	木製巾木 OS UC H60
壁	W-2	杉羽目板 t 12 OS CL　構造合板 t 12下貼 木胴縁18 x 40 @303以下
	W-4	有孔シナ合板 t 9 目透し貼 OS CL 木胴縁組　寒冷紗裏貼 GW24k t 50充填
天井	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板 t 25 EP) 鉄骨梁現し SOP
備考		ベンチ、エアコン室内機置場、床下点検口、床換気口 肋木、折畳式バスケットゴール 移動式階段



アリーナ A 面

メンテナンスギャラリー		CH=2550
床	F-3	長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金コテ下地　デッキ H50
巾木	H-2	ビニルソフト巾木 H60
壁	W-1	EP　GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地
天井	C-3	岩綿吸音板 t 9.0 GB-R t 9.5下貼　下地LGS
備考		手摺 ｶｰﾃﾝ及びﾚｰﾙ (ｶｰﾃﾝ : 暗幕、遮光1級　ﾚｰﾙ : ｱﾙﾐ製)



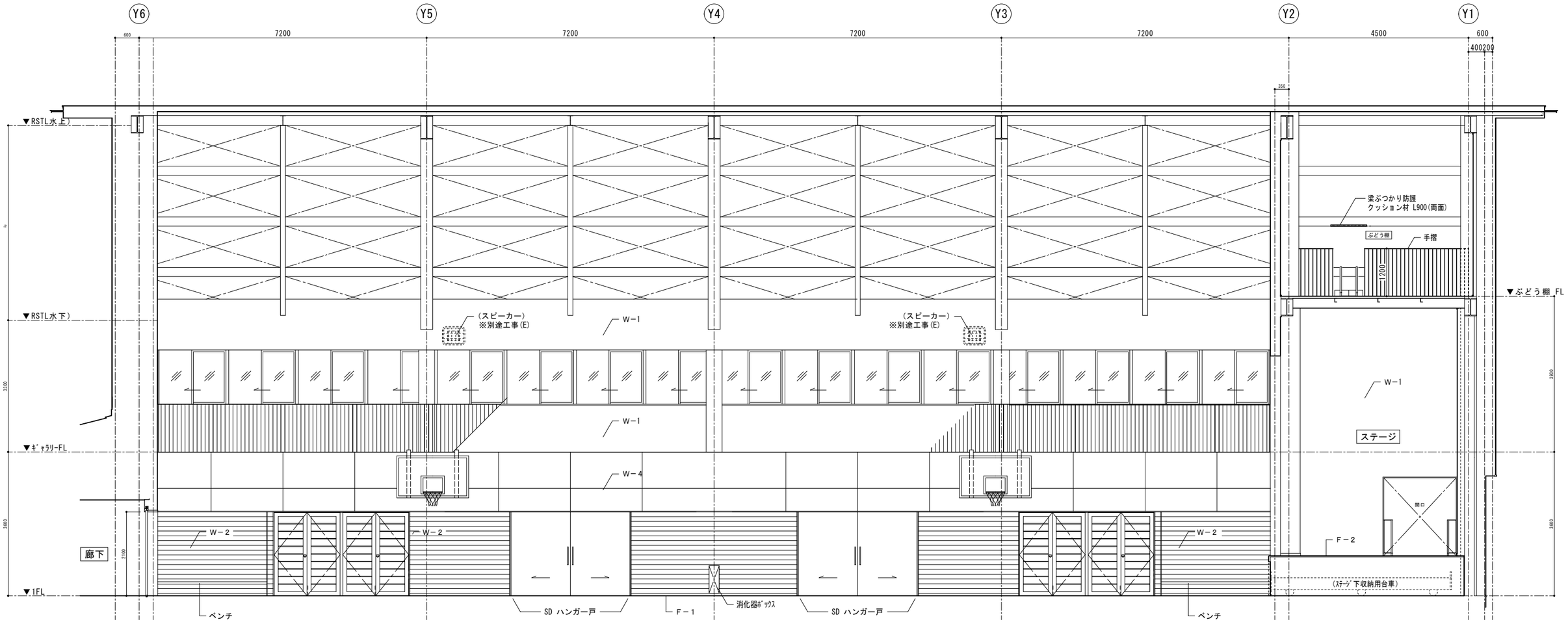
アリーナ C 面

設計図	担当・資格等	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事			備考	図面番号 A-112
						図面名	展開図 1	縮尺	A1:1/50　A3:1/100		
						設計年月日	令和7年5月				

アリーナ		CH= ー
床	F-1	弾性スポーツシートｔ6 構造用合板ｔ12 ＋ｔ12 二重貼　鋼製床組 H600
巾木	H-1	木製巾木 OS UC H60
壁	W-2	杉羽目板ｔ12 OS CL　構造合板ｔ12下貼 木胴縁18ｘ40 @303以下
	W-4	有孔シナ合板ｔ9 目透し貼 OS CL 木胴縁組　寒冷紗裏貼 GW24kｔ50充填
天井	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板ｔ25 EP) 鉄骨梁現し SOP
備考		ベンチ、エアコン室内機置場、床下点検口、床換気口 肋木、折畳式バスケットゴール 移動式階段

メンテナンスギャラリー		CH=2550
床	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0 コンクリート金コテ下地　デッキ H50
巾木	H-2	ビニルソフト巾木 H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-3	岩綿吸音板ｔ9.0 GB-Rｔ9.5下貼　下地LGS
備考		手摺 ｶｰﾃﾝ及びﾚｰﾙ（ ｶｰﾃﾝ：暗幕、遮光1級　ﾚｰﾙ：ｱﾙﾐ製 ）

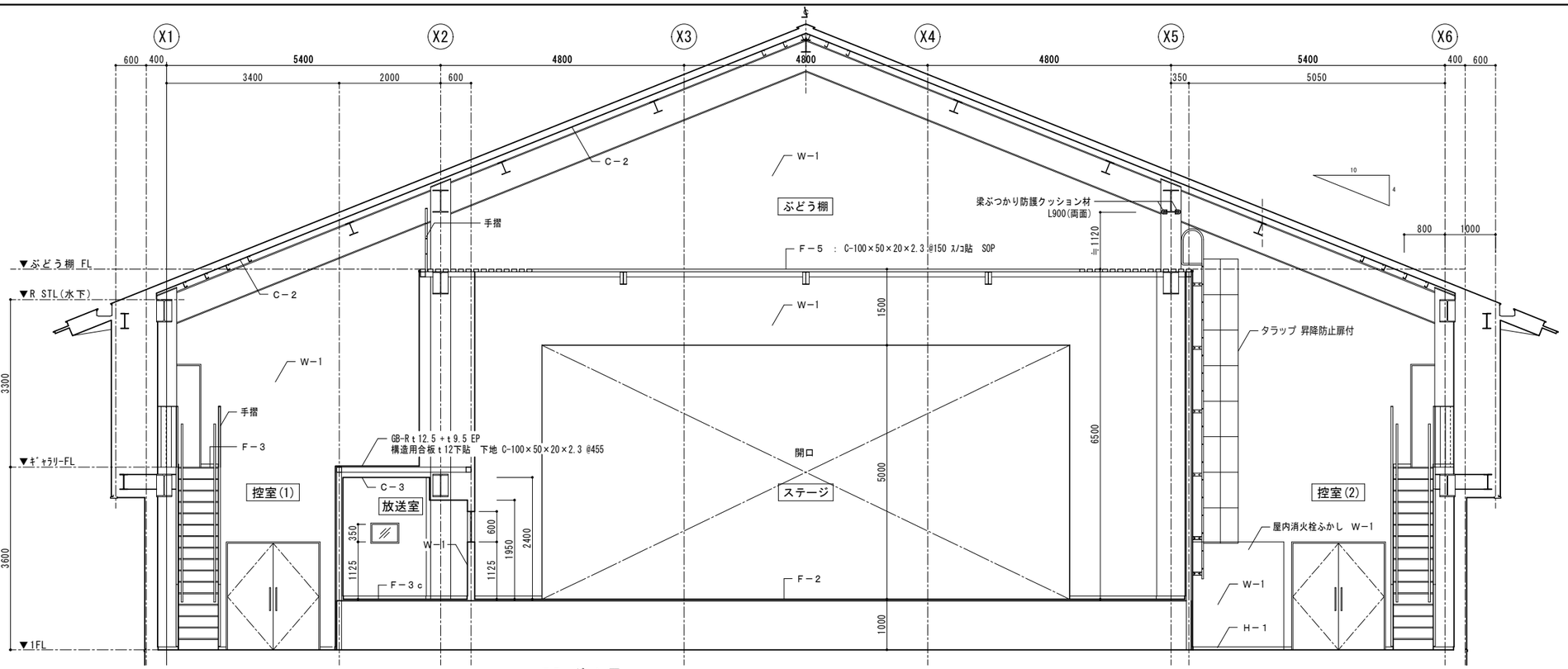
ステージ		CH= ー
床	F-2	大型積層フローリングｔ18 (サンダー掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り) 構造用合板ｔ12 貼　鋼製床組 H1000
巾木	H-1	木製巾木 OS UC H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-2	野地板現し(高圧木毛セメント板ｔ25 EP) 鉄骨梁現し SOP
備考		ぶどう棚



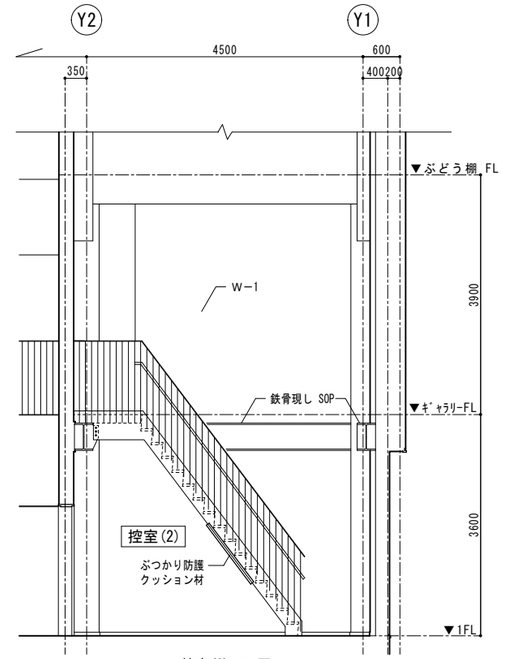
アリーナ Ｂ 面
（Ｄ面準ずる）

特記事項
1. SDハンガー戸はＤ面ではSD親子扉の仕様となる。
2. ﾒﾝﾃﾅﾝｽｷﾞｬﾗﾘｰ上部垂壁の(スピーカー)※別途工事(E)は
　Ｄ面の同位置に取り付くものとする。

設計図	担当・資格等	関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
	福島 直人	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号		図面名	展開図２	縮尺 A1:1/50　A3:1/100		A-113
	岩根敦 一級建築士 第337378号			設計年月日	令和7年5月			



ステージ A 面

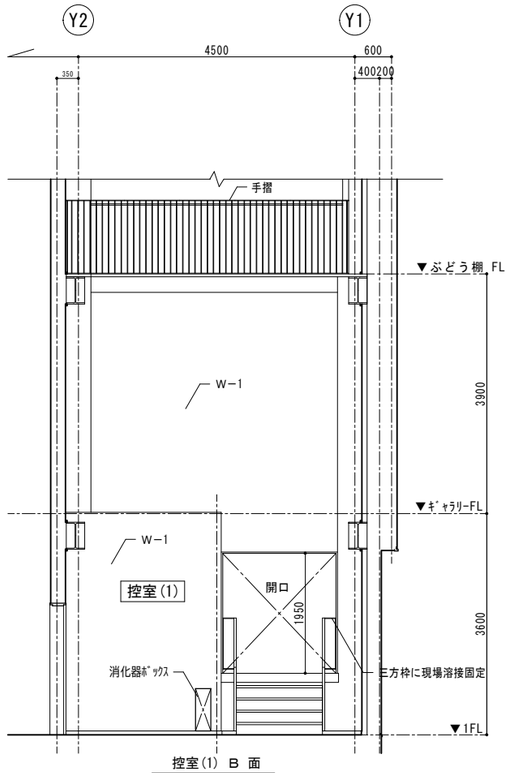


控室(2) B 面

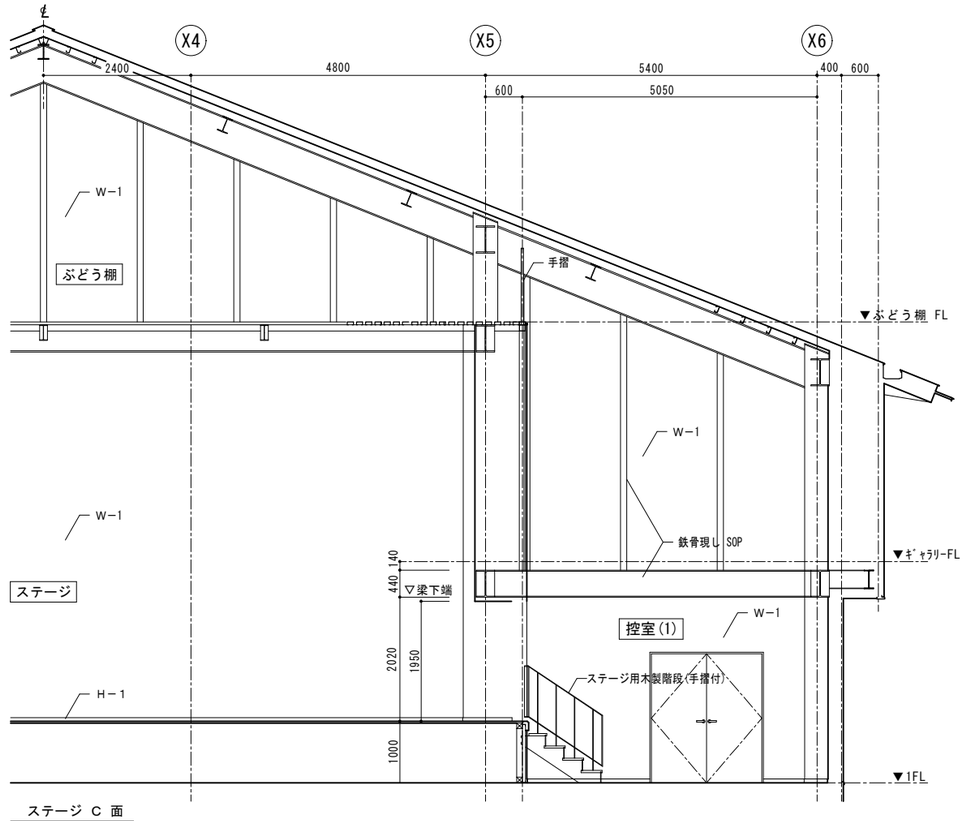
ステージ		CH= ―
床	F-2	大型積層フローリング t 18 (ｻﾝﾀﾞｰ掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り) 構造用合板 t 12下貼 鋼製床組 H1000
巾木	H-1	木製巾木 OS UC H60
壁	W-1	EP GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地
天井	C-2	野地板現し(高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t 25 EP) 鉄骨梁現し SOP
備考	収納台車、舞台装置	

控 室(1)・(2)		CH= ―
床	F-3	長尺塩ビシート t 2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-1	木製巾木 OS UC H60
壁	W-1	EP GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地
天井	C-2	野地板現し(高圧木毛ｾﾒﾝﾄ板 t 25 EP) 鉄骨梁現し SOP
備考	鉄骨階段、ステージ用木製階段(手摺付) タラップ	

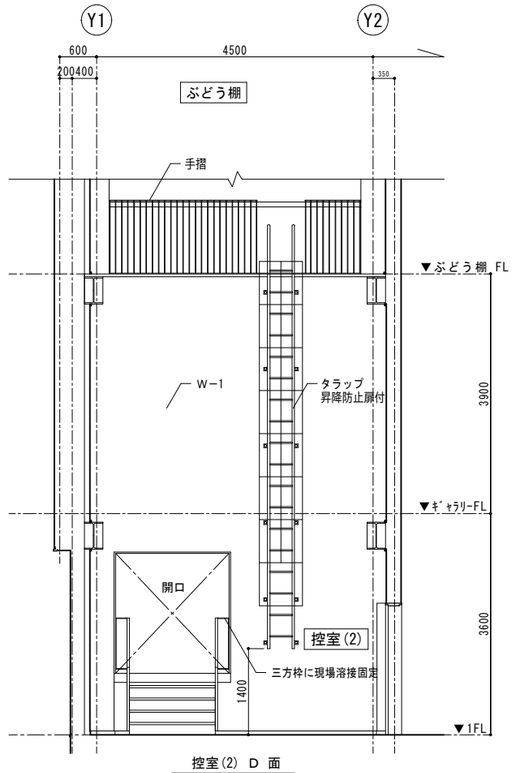
放送室		CH=2400
床	F-3 c	長尺塩ビシート t 2.0 構造用合板 t 15+ t 12 下貼 鋼製床組 H1000
巾木	H-2	ビニルソフト巾木 H60
壁	W-1	EP GB-R t 12.5+GB-R t 9.5 LGS下地
天井	C-3	岩綿吸音板 t 9.0 GB-R t 9.5下貼 下地LGS
備考	窓格子	



控室(1) B 面



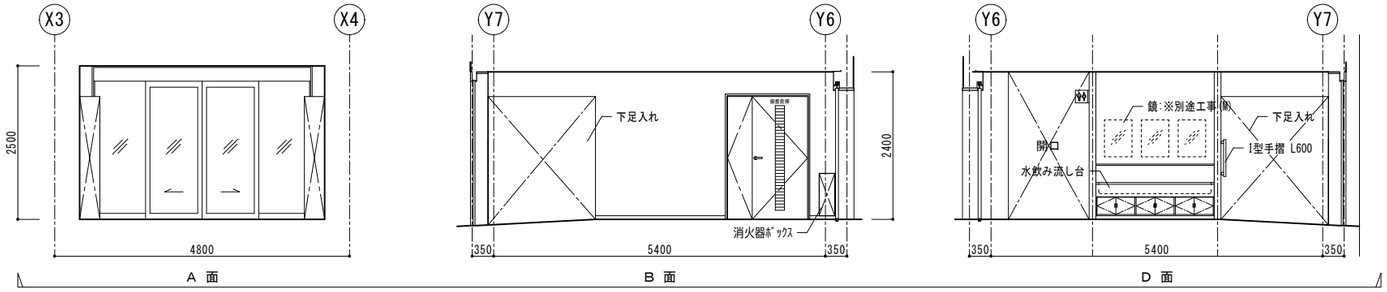
ステージ C 面



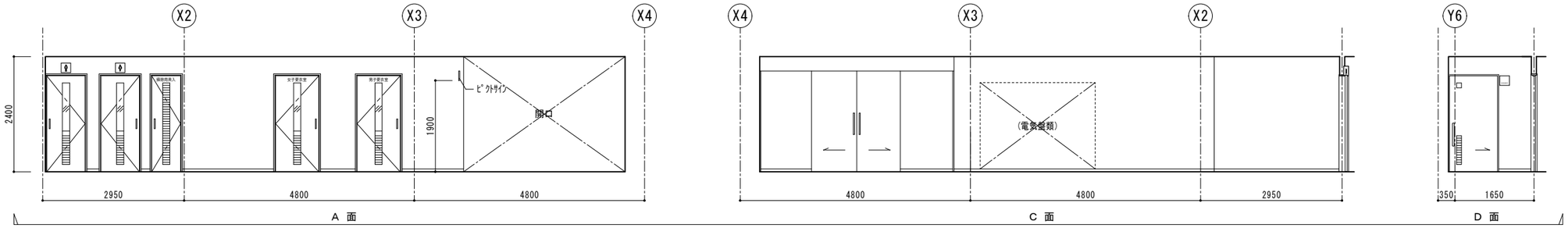
控室(2) D 面

設 計 図		担当・資格等	福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事			備考		図面番号
							図面名	展開図３	縮尺	A1:1/50 A3:1/100			A-114
							設計年月日	令和7年5月					

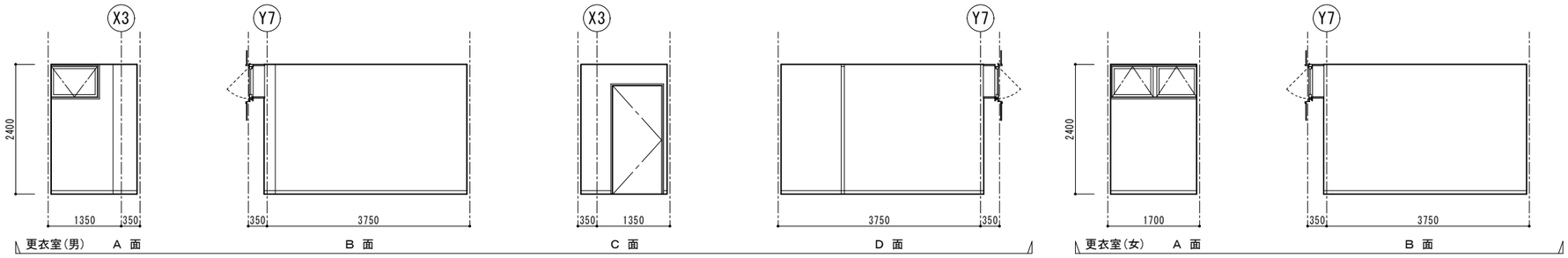
玄関・水飲み場		CH=2400～2500
床	F-4	磁器質タイル　300角ｔ9
	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-2	ビニルソフト巾木　H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-1	GB-Dｔ9.5　LGS下地
備考	下足入れ、水飲み流し台、手摺	



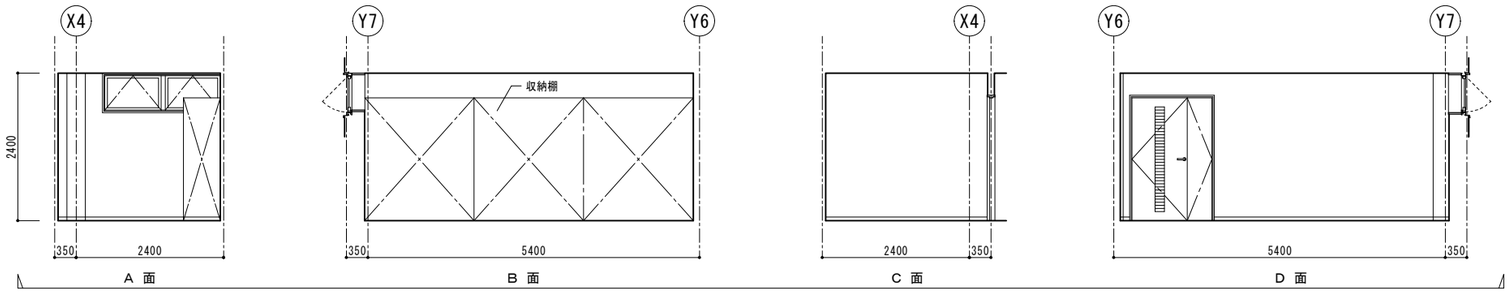
廊　下		CH=2400
床	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-2	ビニルソフト巾木　H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-1	GB-Dｔ9.5　LGS下地
備考	床下点検口	



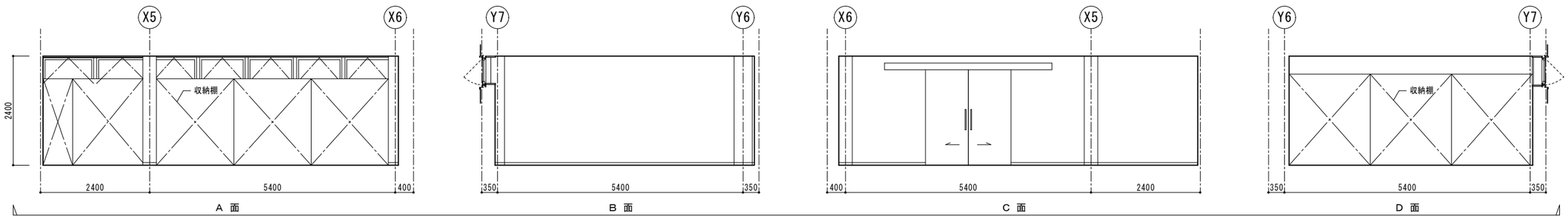
更衣室(男・女)		CH=2400
床	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-2	ビニルソフト巾木　H100
壁	W-1	EP　LGS、GB-R等
天井	C-3	岩綿吸音板ｔ9.0 GB-Rｔ9.5下貼　下地LGS
備考	隔て板、床下点検口(女)	



備蓄倉庫		CH=2400
床	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0（耐静荷重性） コンクリート金コテ下地
巾木	H-2	ビニルソフト巾木　H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-1	GB-Dｔ9.5 LGS下地
備考	収納棚	

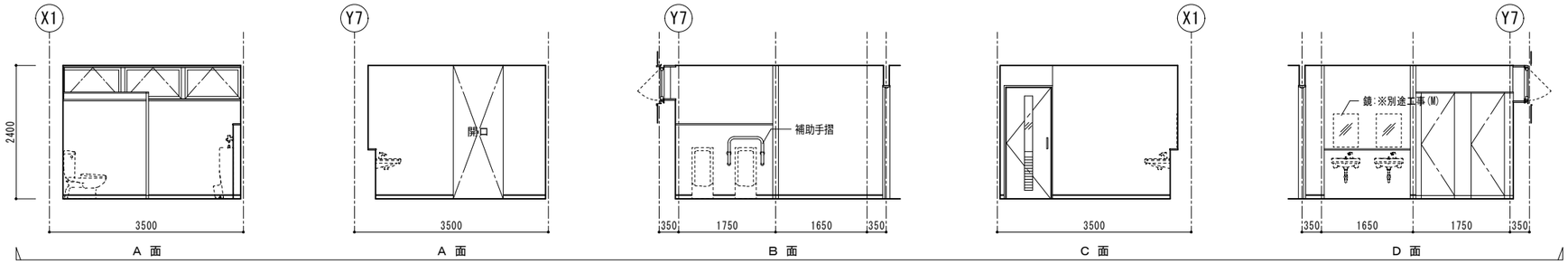


器具庫		CH=2400
床	F-3	長尺塩ビシートｔ2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-2	ビニルソフト巾木　H60
壁	W-1	EP　GB-Rｔ12.5+GB-Rｔ9.5 LGS下地
天井	C-1	GB-Dｔ9.5 LGS下地
備考	収納棚	

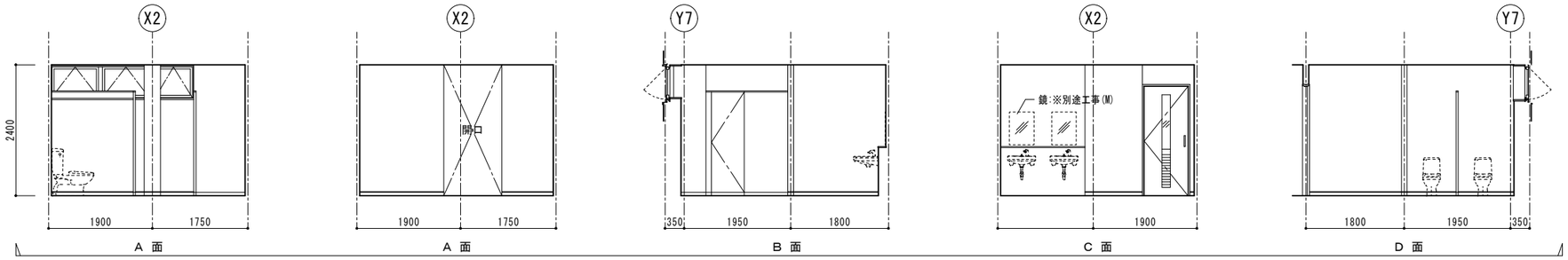


設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	展開図４	縮尺 A1:1/50　A3:1/100	A-115
						設計年月日	令和7年5月	備考	

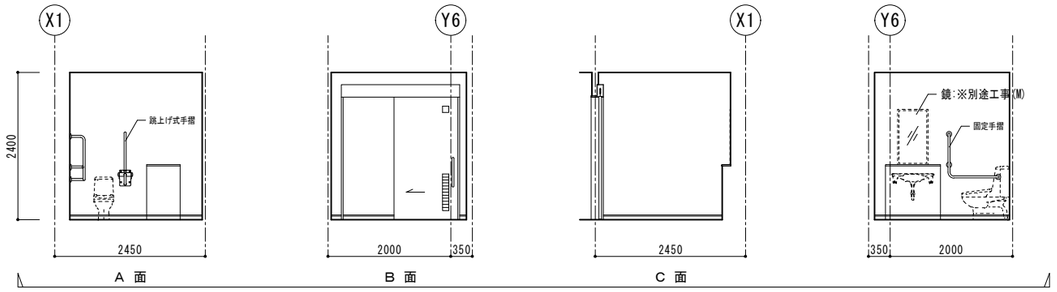
トイレ(男)		CH=2400
床	F-3b	耐汚長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-3	床材立上げ H60
壁	W-3	化粧ケイ酸カルシウム板t6.0(突付) GB-St12.5下貼　下地LGS
天井	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-Rt9.5下貼　下地LGS
備考		配管ライニング 汚垂タイルt6×D600



トイレ(女)		CH=2400
床	F-3b	耐汚長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-3	床材立上げ H60
壁	W-3	化粧ケイ酸カルシウム板t6.0(突付) GB-St12.5下貼　下地LGS
天井	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-Rt9.5下貼　下地LGS
備考		配管ライニング



多目的トイレ		CH=2400
床	F-3b	耐汚長尺塩ビシートt2.0 コンクリート金コテ下地
巾木	H-3	床材立上げ H60
壁	W-3	化粧ケイ酸カルシウム板t6.0(突付) GB-St12.5下貼　下地LGS
天井	C-3	岩綿吸音板t9.0 GB-Rt9.5下貼　下地LGS
備考		手摺、配管ライニング



設　計　図		担当・資格等	
		福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号

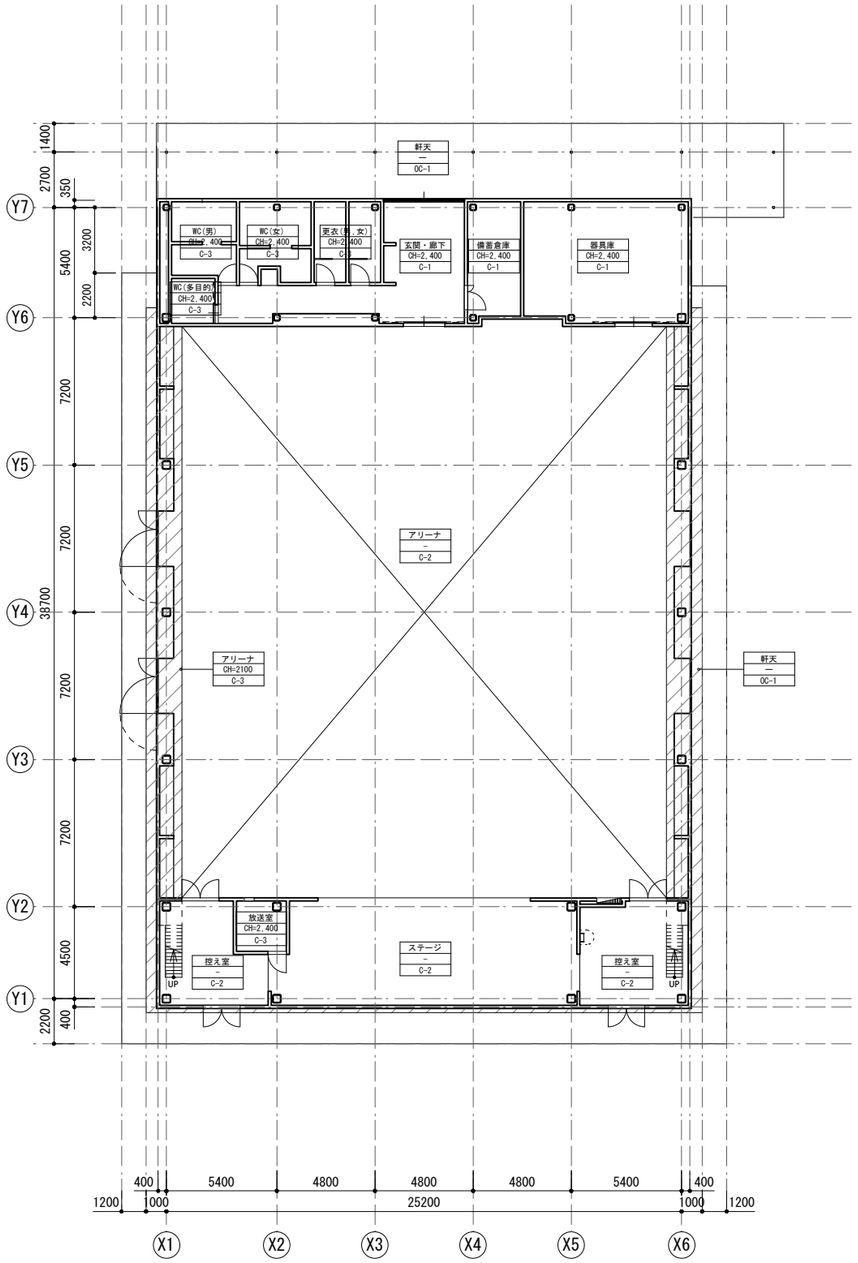
Spirit Of Place　関・空間設計
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号
管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301846号

石巻市建設部建築課

工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		
図面名	展開図５	縮尺	A1:1/50　A3:1/100
設計年月日	令和7年5月		

備考

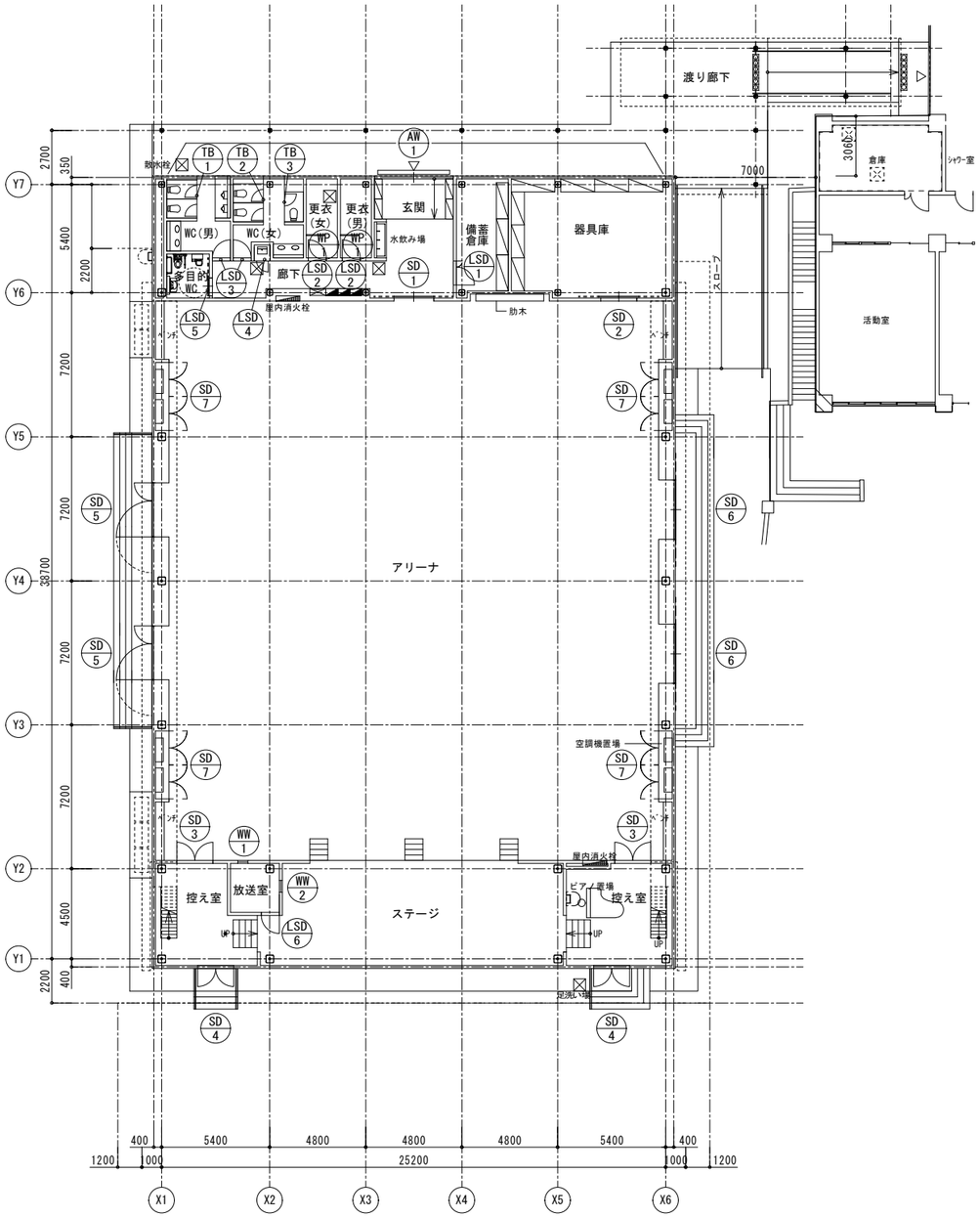
図面番号 A-116



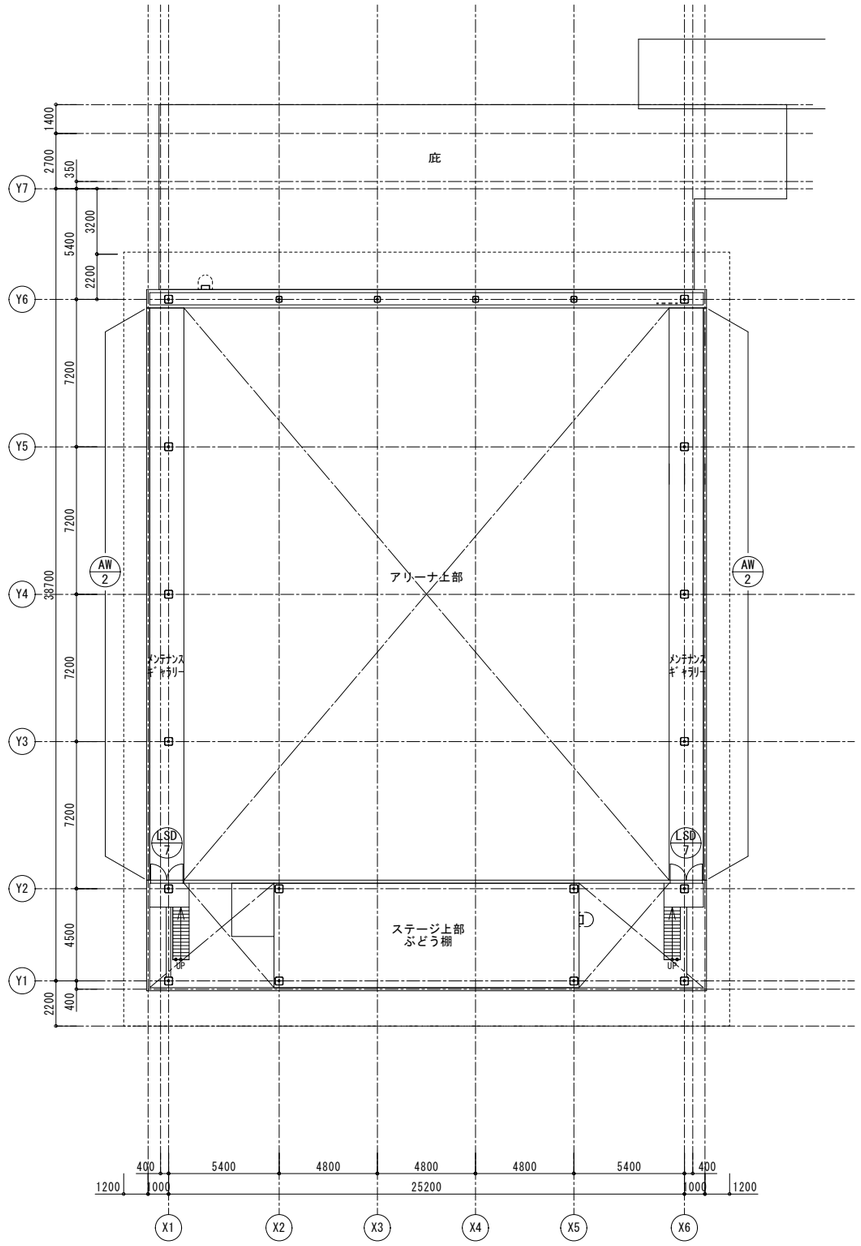
■凡例
C-1：GB-D t9.5　GB-R t9.5下地
C-2：野地板現し（高圧木毛セメント板t25 EP），鉄骨梁現し SOP
C-3：岩綿吸音板t9.0　GB-R t9.5下貼り
OC-1：ケイ酸カルシウム板 t6.0 EP GB-R t9.5下地

N

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事			図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	天井伏図	縮尺	A1:1/150 A3:1/300	A-117
						設計年月日	令和7年5月		備考	



1階平面図　S=1/150



2階平面図　S=1/150

N

凡 例

AW：　アルミ製窓(戸)
SD：　鋼製戸
LSD：鋼製軽量戸
WD：　木製戸
WW：　木製窓
WP：　木製パーティション
TB：　トイレブース

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事			図面番号
		福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	建具キープラン	縮尺	A1:1/150 A3:1/300	A-118
						設計年月日	令和7年5月		備考	

一般事項　本特記に記載なき事項は、国土交通省大臣官房庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（最新版）又は係員との協議による。

1．符号

符号	材　種	符号	材　種	符号	材　種	符号	材　種
SSD	ステンレス製戸	SSW	ステンレス製窓	SP	鋼製パーティション	EP	合成樹脂エマルジョンペイント
SD	鋼製戸	SW	鋼製窓	AP	アルミ製パーティション	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント
PD	鉛戸	SWG	鋼製枠ガラスブロック	WP	木製パーティション	SOP	合成樹脂調合ペイント
LSD	鋼製軽量戸	SWP	鋼製排煙パネル窓	GP	ガラスパーティション	DP	耐候成塗料（フッ素）
AD	アルミ製戸	AW	アルミ製窓	AL	アルミ製ルーバー	CL	クリアクラッカー
WD	木製戸	AWG	アルミ製枠ガラスブロック窓	SL	鋼製ルーバー	UC	ウレタン樹脂ワニス
SF	スチール三方枠	AWP	アルミ製排煙パネル窓			OS	オイルステン
		AWT	アルミ製トップライト	F	フスマ	WS	水性ステイン
		WW	木製窓	S	障子	WP	木材保護塗装
		SCW	鋼製カーテンウォール	TB	トイレブース		
SS	鋼製シャッター	ACW	アルミ製カーテンウォール	SLW	可動間仕切		
GS	グリルシャッター	SG	鋼製ガラリ	ACD	アコーディオンドア		
HS	横引きシャッター	AG	アルミ製ガラリ				

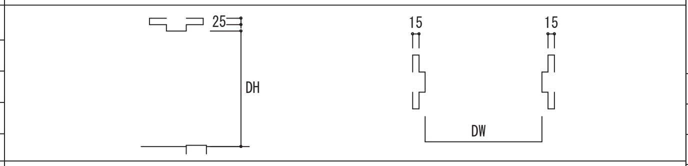
ガラス記号

FL	フロートガラス	FRL	ファイアライト(耐熱ガラス)	R	熱線反射
G	スリ板ガラス	T	強化ガラス	+A+	複層ガラスの空気層
F	型板ガラス	SK	スクールテンパーガラス	AP	アルミ断熱パネル
WK	網入型板ガラス	FT	型板強化ガラス	GB	ガラスブロック
PW	網入磨き板ガラス	H	熱線吸収	PG	プロフィリットガラス

2．共通特記事項

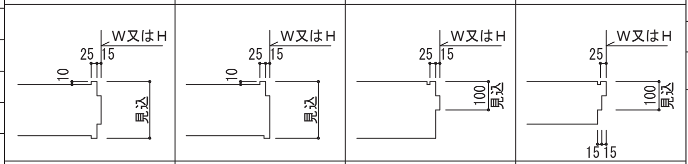
□	特記以外の金物は付属金物一式とする。
□	感知器連動の防火設備はレリースまでとする。
□	特記なき限り各扉に付くガラリは扉と同仕様とする。
□	ドアチェックの表示のない場合でも(ヒンジ・クローサーなど)将来取付け可能な補強を行う。
□	特記なき限り特定防火設備のスチール扉は重量ドアとする。
□	特記なき限り沓摺はステンレス製 ┌┐ 型とし、建具製造所の付属品とする。
□	特記なき限り、建具枠は大枠を原則とする。
□	特記なき限り、木製建具で仕上が銘木練付の枠は大枠・銘木練付枠とする。
□	特記なき限り、スチール・ステンレス・アルミ・木の各扉は扉・幕板とも両面フラッシュとする。
□	特記なき限り、外壁同一面納まりのサッシはＦＩＸ部、障子、扉部とも枠外同一納まりとする。
□	特記なき限り、外壁同一面納まりの場合、フラッシング機構を設ける。
□	マスターキーシステムは２系統とし、グランドマスターキーを組み込む。
□	金物関係
○	吊元は建具重量に十分耐え得るものとする。
○	ドアチェックは常閉式防火設備以外は全てストップ式とする。
○	特記なき限り、戸当りは床付タイプとする。戸当り部分は硬質ゴム、支柱部はＳＵＳ ＨＬ。
○	常閉式防火設備で両開き又は親子開きのものはドアチェック２個、順位調整装置付きとする。
○	戸受けについて、開閉衝撃音緩和の為に、開き戸の３方枠、召し合せ部分、引き戸の縦枠にはピンチブロック、ゴムビード等を取付ける。
○	特記なき限り、外部はシリンダー箱錠とする。ただし、外部自動扉(引戸)は引戸用本締錠とする。
○	特記なき限り、内部一般扉の錠は本締付きモノロックとする。
○	特記なき限り、押板・押し棒の場合はシリンダー本締り錠とする。
○	特記なき限り、PS、EPS、DSの点検扉の錠等は、ケースハンドル・シリンダー本締り錠とする。
○	便所等の施錠を必要としない箇所は空錠とし、押板・押し棒の場合は錠不要とする。
○	鋼製気密建具はグレモン締り、シリンダー本締り錠とする。
□	特記なき限り、沓摺の種別は下記による。
○	床仕上が異なる場合　：建築工事標準詳細図〈４－３１－２〉
○	内部気密扉　：建築工事標準詳細図〈４－４５－２〉
○	外部廻り出入口及び内部水掛部出入口　：建築工事標準詳細図〈４－４１－２〉
□	ダクト接続のガラリには四方枠（PL-2.3加工、見こみ180mm、見付30mm、SOP仕上)を付ける。
□	排煙窓のクレセント及び操作レバー等の位置は床面から1500mm以下とする。
□	外気と面するフラッシュ戸はＧＷ等断熱材充填とする
□	特記無き限り、木製建具はＵＣ仕上げとする
□	ＳＤ額付建具のガラスは建具上部からの落し込みとする。
□	扉の握り玉、レバーハンドル、把手、クレセント、引違戸錠、引戸錠の取付高さについては施工図作成の上、監督員の承諾を得ること。
□	特記なき限り、ドアクローザーの取付け位置は室内側を原則とする。
□	特記なき限り、開き戸の把手はレバーハンドルとする。
□	ガラリの補強材は適宜設ける。
□	ドアガラリ寸法・開口率に関しては機械設備工事業者と再確認すること。
□	ペアガラスは強化ガラスを室内側に設置すること。

□　寸法　　※ AWのSt額縁もこれにならう

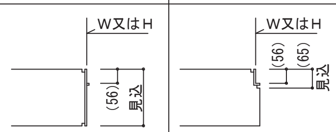


□　扉枠（特記なき限り、大枠はA、小枠はCとする。）　※特記なき限り（　）寸法を原則とする。

A（大枠１）　B（大枠２）　C（小枠１）　D（小枠２）



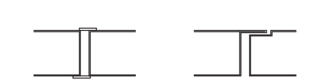
E（平鋼枠１）　F（平鋼枠２）



※壁厚にそろえること

□　召し合わせ

・外部一般　・内部一般



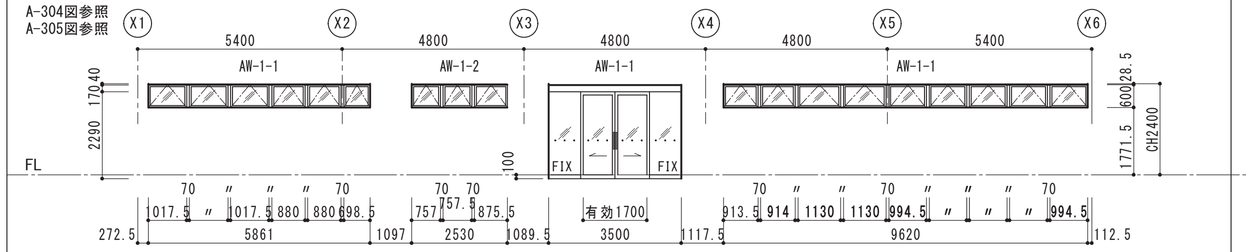
□　設備工事との区分は以下のようにする。

項　目	工 事 範 囲	別 途 工 事
防 火 戸	本体（自動閉鎖装置の切り込み・補強共）	自動閉鎖装置・連動制御装置・感知器
上部電動式ｼｬｯﾀｰ	本体・制御盤・手動開閉装置・ﾋｭｰｽﾞ 装置	自動閉鎖装置・感知器
排 煙 窓	本体・自動開閉装置	自動閉鎖装置・感知器
防煙たれ壁	本体・駆動装置	自動閉鎖装置・感知器
自 動 扉	本体・駆動装置・制御装置・検出装置	手許電源スイッチ

建具表

符号・位置・個数：AW-1　玄関・更衣室(男)・更衣室(女)・トイレ(男)・トイレ(女)・備蓄倉庫・器具室　1

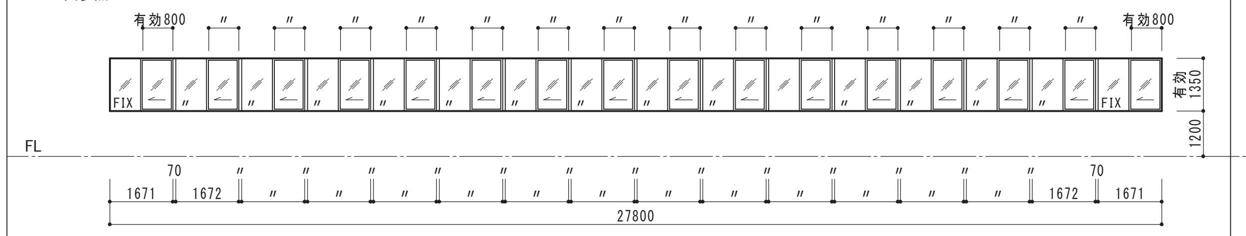
形状・寸法：A-304図参照　A-305図参照



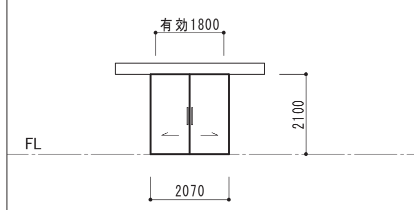
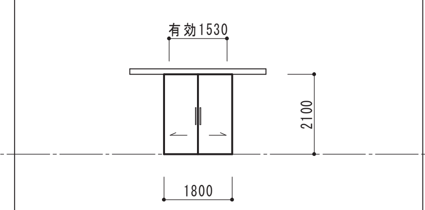
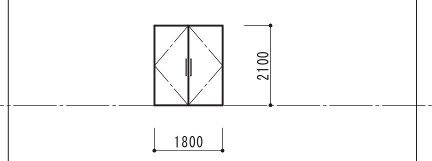
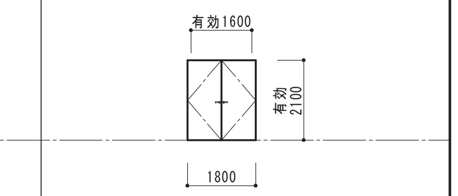
項目	＜窓＞	＜扉＞
見込	見込70	見込100
型式	突出し窓	引分けハンガー戸＋両袖FIX
材質	標準色	標準色
硝子	FL5+A12+F4	T6+A12+T6
金物	オペレーター(ﾜﾝﾀｯﾁ隠蔽) 付属金物一式	ハンガー戸金物、戸車、下枠SUSレール、握り棒 シリンダー本締り錠、付属金物一式
備考	アミ戸付	衝突防止ステッカー

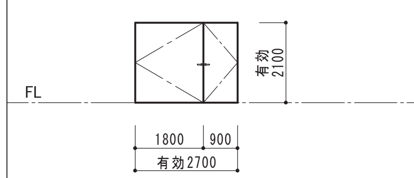
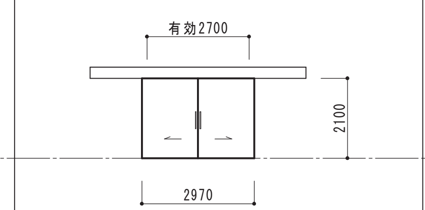
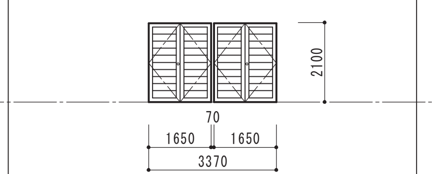
符号・位置・個数：AW-2　メンテナンスギャラリー

形状・寸法：A-306図参照

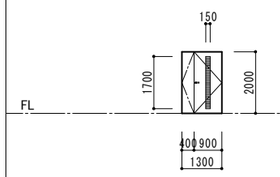
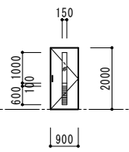
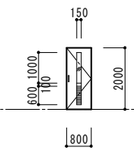
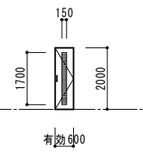
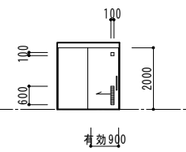
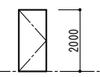


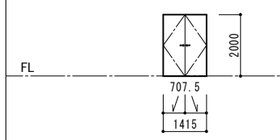
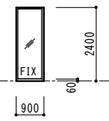
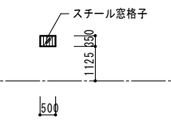
項目	内容
見込	見込70
型式	突出し窓＋FIX
材質	標準色
硝子	FL5+A12+FL5
金物	戸車、クレセント 付属金物一式
備考	アミ戸付、　ｶｰﾃﾝ及びﾚｰﾙ本工事に含む。(ｶｰﾃﾝ：暗幕、遮光1級　ﾚｰﾙ：ｱﾙﾐ製)

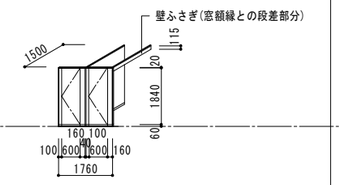
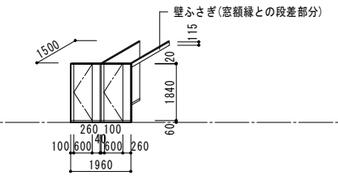
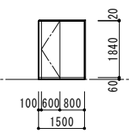
符号・位置・個数	SD-1　アリーナ出入口　1	SD-2　器具庫　1	SD-3　控室　2	SD-4　控室外部出入口　2
形状・寸法				
見込	大枠100　扉40	大枠100　扉40	大枠245　扉40	大枠100　扉40
型式	引分けハンガーフラッシュ戸	引分けハンガーフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸	両開きフラッシュ戸
材質	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠:SOP	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠:SOP	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠:SOP	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠：DP・木額縁:SOP
硝子	―		―	―
金物	引戸用本締り錠 、ハンガー引戸クローザー、振止めローラー スライドレール、握棒、SUS沓摺、付属金物一式	引戸用本締り錠 、ハンガー引戸クローザー、振止めローラー スライドレール、握棒、SUS沓摺、付属金物一式	丁番、握棒、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 フランス落し　付属金物一式	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り SUS沓摺(水切)、上枠SUS雨切付、フランス落し、付属金物一式
備考				

符号・位置・個数	SD-5　アリーナ テラス　2	SD-6　アリーナ テラス　2	SD-7　室内機置場　4
形状・寸法			
見込	大枠100　扉40	大枠100　扉40	大枠100　扉40
型式	両開きフラッシュ戸	引分けハンガーフラッシュ戸	両開きガラリ戸
材質	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠：DP・木額縁:SOP	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠：DP・木額縁:SOP	ｽﾁｰﾙｔ1.6 焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ)　枠:SOP
硝子	―	―	―
金物	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り SUS沓摺(水切)、上枠SUS雨切付、フランス落し、付属金物一式	引戸用本締り錠 、ハンガー引戸クローザー、振止めローラー SUSスライドレール(水抜き付)、握棒,付属金物一式	丁番、取手ケースハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り SUS沓摺、フランス落し、付属金物一式
備考		ロックウール充填 40kg/m3	格子：St □-40×16×1.6@200　SOP

設 計 図	担当・資格等		Spirit Of Place　関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
	福島 直人	岩根敦　一級建築士 第337378号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号　管理建築士　江田紳輔　一級建築士 第301848号		図面名	建具表１　縮尺 A1:1/100 A3:1/200		A-119
					設計年月日	令和7年5月		

符号・位置・個数	LSD 1 備蓄倉庫 1	LSD 2 更衣室(男)・更衣室(女) 2	LSD 3 トイレ(男)・トイレ(女) 2	LSD 4 掃除用具入 1	LSD 5 多目的トイレ 1	LSD 6 放送室 1
形状・寸法						
見込	大枠130 扉40	大枠130 扉40	大枠126 扉40	大枠130 扉40	大枠100 扉40	大枠165 扉40
型式	両開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片開きフラッシュ戸	片引きフラッシュ戸(外付け型)	片開きフラッシュ戸
材質	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠・額縁:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP
硝子	—	FT4	FT4		明り窓：FT4	
金物	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 フランス落し 付属金物一式	丁番、握棒、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 付属金物一式	丁番、握棒、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 付属金物一式	丁番、握棒、シリンダー錠 、ＤＣ(ｽﾄｯﾊﾟｰ)、SUS沓摺 付属金物一式	表示錠 、引戸クローザー、振止めローラー、握棒、戸当り、SUS沓摺 付属金物一式	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 付属金物一式
備考	ガラリ付（有効0.028m2 ）	ガラリ付（有効0.014m2 ）	ガラリ付（有効0.05m2 ）	ガラリ付（有効0.007m2 ）	三方額縁：ｽﾁｰﾙｔ1.6曲加工 ガラリ付（有効0.021m2 ）	セミエアタイト(SAT)

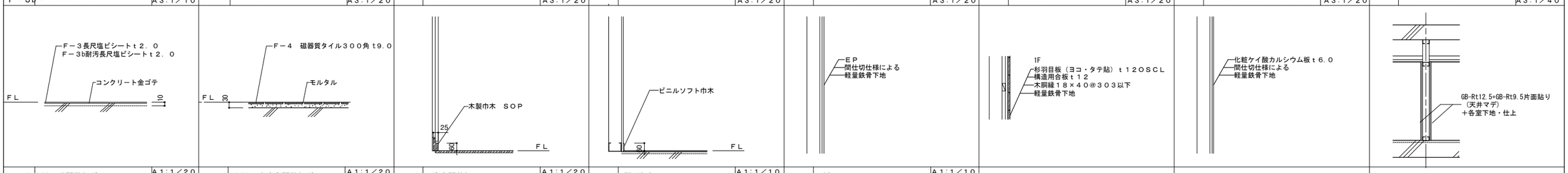
符号・位置・個数	LSD 7 メンテナンスギャラリー 2		WP 1 更衣室(男)・更衣室(女) 隔板 2		WW 1 放送室 1	WW 2 放送室 1
形状・寸法						
見込	大枠130 扉40		60		大枠250	大枠165
型式	両開きフラッシュ戸		パーティション		FIX窓	FIX窓
材質	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠:SOP		枠 スプルース SOP		焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠・押縁:SOP	焼付塗装(ｳﾚﾀﾝ) 枠・押縁:SOP
硝子	—		中空ポリカーボネート板ｔ6		T4(二重)	T4(二重)
金物	丁番、レバーハンドル、シリンダー錠 、ＤＣ、戸当り、SUS沓摺 フランス落し 付属金物一式		金物一式			
備考			目隠し不透明フイルム貼		フレーム・窓格子：St □-40×16×1.6@100 SOP	

符号・位置・個数	TB 1 トイレ(男) 1	TB 2 トイレ(女) 1	TB 3 トイレ(女) 1			
形状・寸法						
見込	パネル厚40	パネル厚40	パネル厚40			
型式	トイレブース	トイレブース	トイレブース			
材質	メラミン化粧板(標準色)、アルミエッジ	メラミン化粧板(標準色)、アルミエッジ	メラミン化粧板(標準色)、アルミエッジ			
硝子	—	—	—			
金物	SUS頭笠木 SUS巾木 ﾄﾞｱﾋﾝｼﾞ(中心吊型) 表示錠 付属金物一式	SUS頭笠木 SUS巾木 ﾄﾞｱﾋﾝｼﾞ(中心吊型) 表示錠 付属金物一式	SUS頭笠木 SUS巾木 ﾄﾞｱﾋﾝｼﾞ(中心吊型) 表示錠 付属金物一式			
備考	壁ふさぎ	壁ふさぎ				

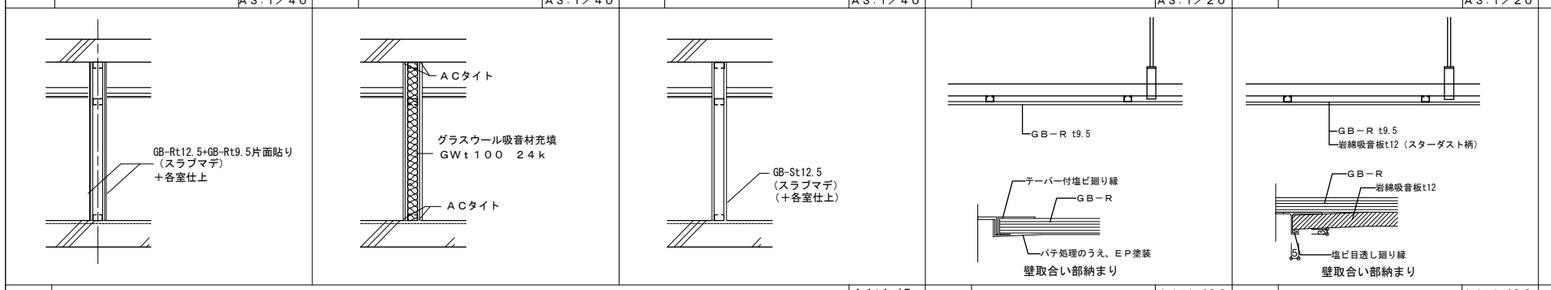
符号・位置・個数						
形状・寸法	FL					
見込	70					
型式						
材質						
硝子						
金物						
備考						

設計図		担当・資格等 福島 直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
						図面名	建具表１ 縮尺 A1:1/100 A3:1/200		A-120
						設計年月日	令和7年5月		

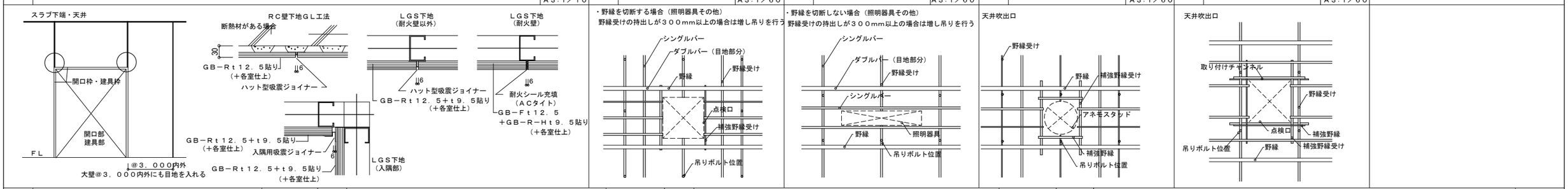
F－3 F－3b	長尺塩ビシート	A1：1／5 A3：1／10	F－4	タイル貼り	A1：1／10 A3：1／20	H－1	木製巾木	A1：1／10 A3：1／20	H－2	ビニルソフト巾木	A1：1／10 A3：1／20	W－1	EP仕上げ	A1：1／10 A3：1／20	W－2	杉羽目板	A1：1／10 A3：1／20	W－3	化粧ケイ酸カルシウム板	A1：1／10 A3：1／20	M－1a	LGS下地間仕切壁	A1：1／20 A3：1／40



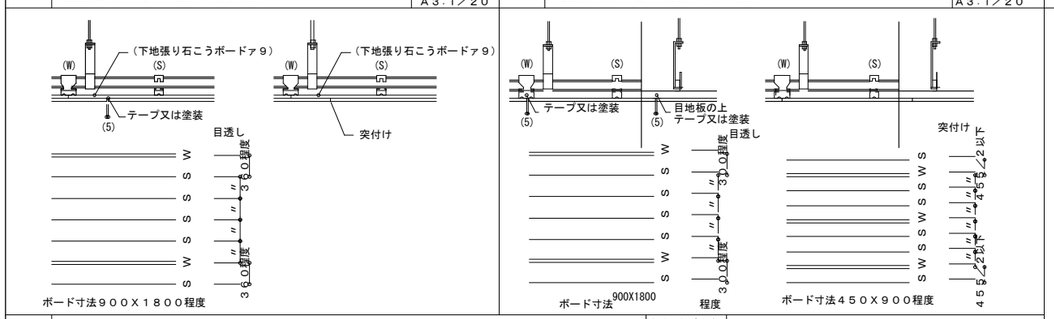
M－1b	LGS下地間仕切壁	A1：1／20 A3：1／40	M－2	LGS下地遮音間仕切壁	A1：1／20 A3：1／40	M－3	防水間仕切	A1：1／20 A3：1／40		EP+GB-R	A1：1／10 A3：1／20	C－3	DR	A1：1／10 A3：1／20



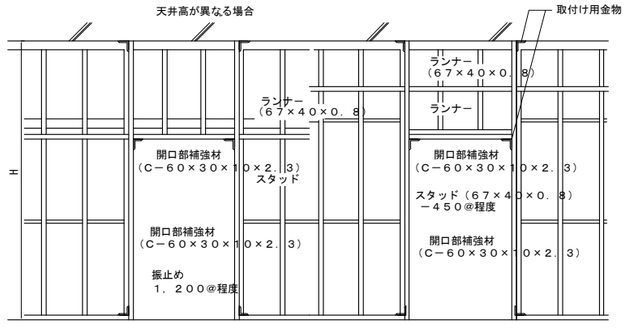
標 1	耐震対策内部ボード（開口部・建具枠 上部壁）	A1：1／5 A3：1／10	標 2	天井開口部下地補強	A1：1／30 A3：1／60	標 3	天井開口部下地補強	A1：1／30 A3：1／60	標 4	天井開口部下地補強	A1：1／30 A3：1／60	標 5	天井開口部下地補強	A1：1／30 A3：1／60

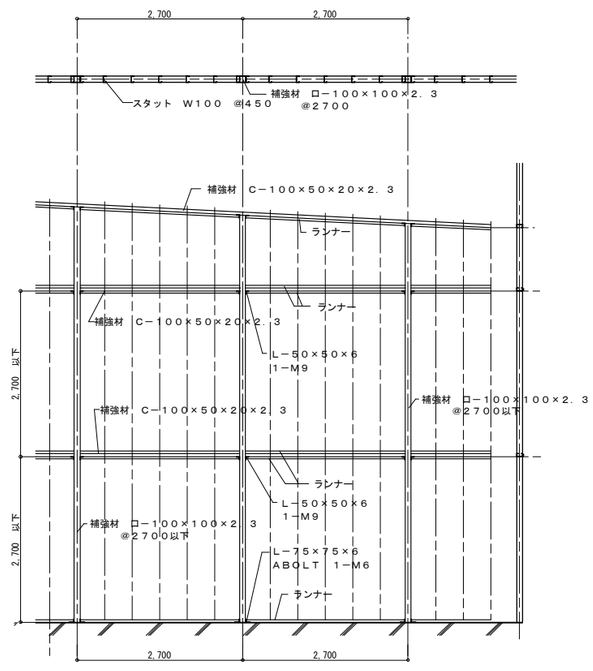


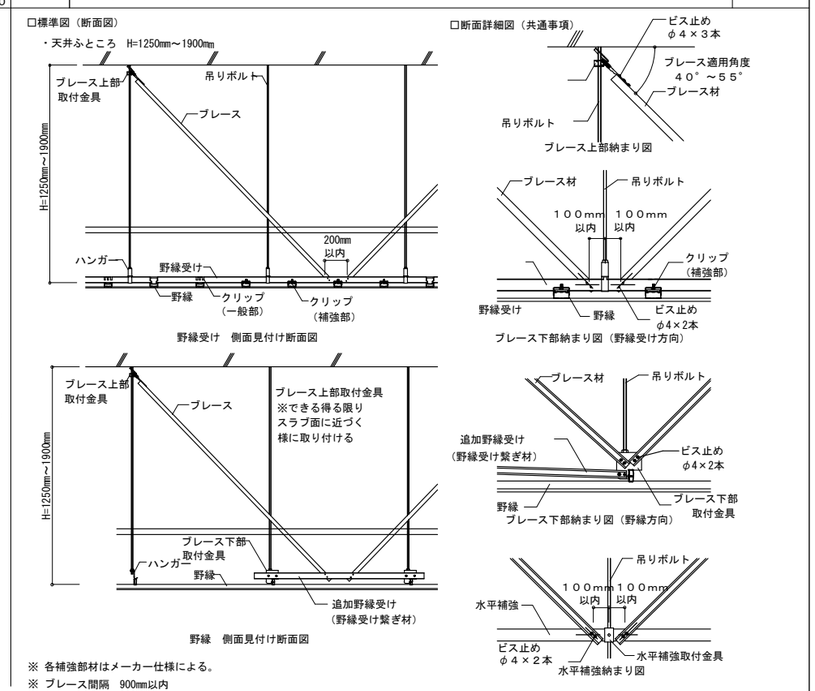
標 6	軽量鉄骨天井下地（下地張りのある場合）	A1：1／10 A3：1／20	標 7	軽量鉄骨天井下地（下地張りのない場合）	A1：1／10 A3：1／20	標 10	LGS間仕切り H＞5，000の場合の補強 詳細図	A1：1／50 A3：1／100	標 11	天井裏下地振止め補強	1/X



標 8	軽量鉄骨壁下地	A1：1／10 A3：1／20



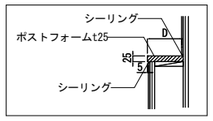


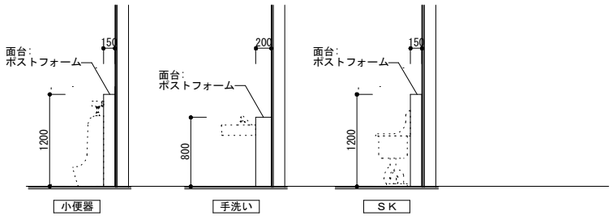


設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	標準詳細図	縮尺 A1:図示 A3:図示			A-201
						設計年月日	令和7年5月				

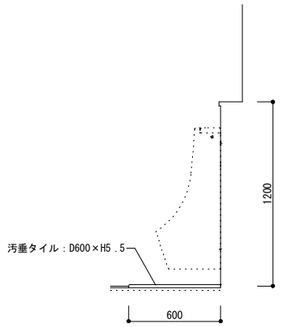
D－1 ライニング
A1：1／40
A3：1／80

＜備考＞
・各壁、床の下地構成は、平詳、矩計図等を参照
・図の衛生機器は、設備図参照





D－2 汚垂タイル
A1：1／20
A3：1／40



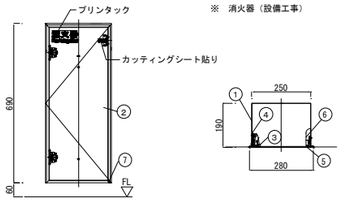
D－3 消火器ボックス（消火器本体は設備工事）
A1：1／15
A3：1／30

＜ユニオン：ＵＦＢ－１Ｆ－３０２５－ＰＷＨ程度＞　　＜参考図＞

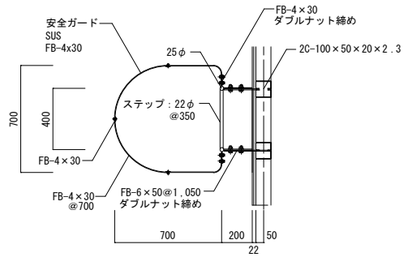
消火器ボックス　＜壁埋込型＞

No	部品名	材質	仕上	数量	備考
①	本体	ボンデ鋼板	指定色　焼付け塗装	1	t=1.6
②	扉	ボンデ鋼板	指定色　焼付け塗装	1	t=2.3
③	スライドヒンジ	SPCC	指定色　焼付け塗装	2	H-705
④	スライドヒンジ調整ベース	ボンデ鋼板		2	□60x66x2.3t
⑤	マグネットキャッチ	SU5430	HL仕上	1	□15x50x1.5t
⑥	プッシュラッチ	POM	ホワイト	1	
⑦	戸当り(バンポン)	ポリウレタン	透明	1	φ8.5xt2.2

※　壁切カキ　　Ｗ２７２×Ｄ２０２×Ｈ６８２
※　消火器（設備工事）

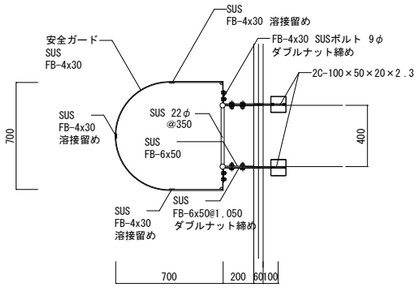


D－4 タラップ（背かご付）内部
A1：1／20
A3：1／40



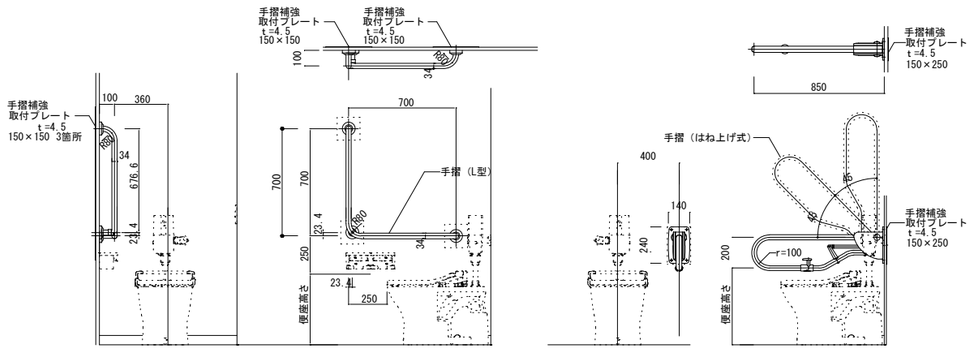
※背かご昇降防止扉付き

D－5 タラップ（背かご付）外部
A1：1／20
A3：1／40

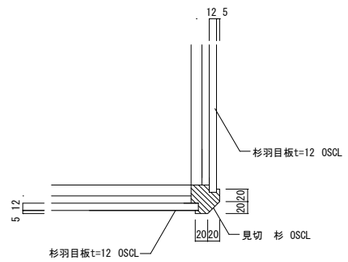


※背かご昇降防止扉付き
※西面外壁のタラップ上部はケラバの切り欠き加工を行うこと

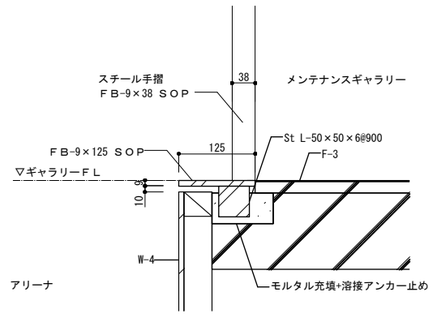
D－6 ライニング
A1：1／20
A3：1／40



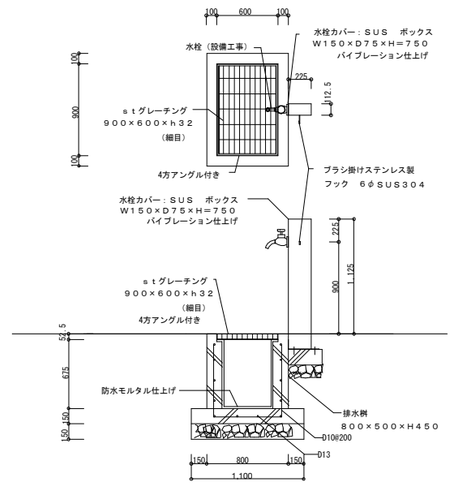
D－7 アリーナ壁見切
A1：1／5
A3：1／10



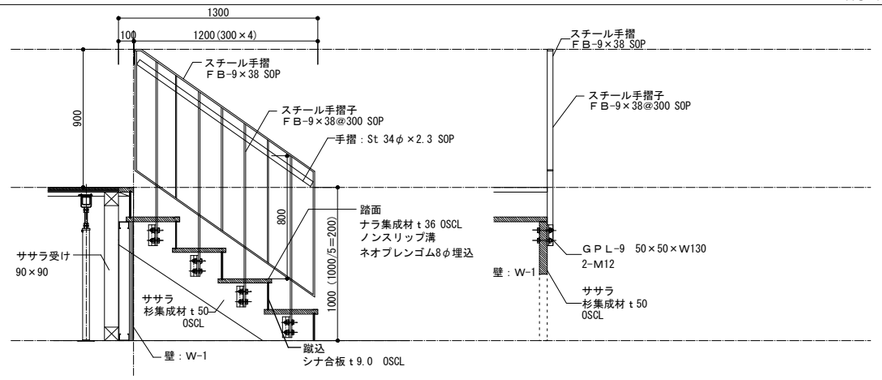
D－8 メンテナンスギャラリー手摺
A1：1／5
A3：1／10



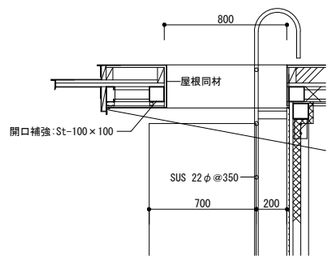
D－10 足洗い場
A1：1／30
A3：1／60



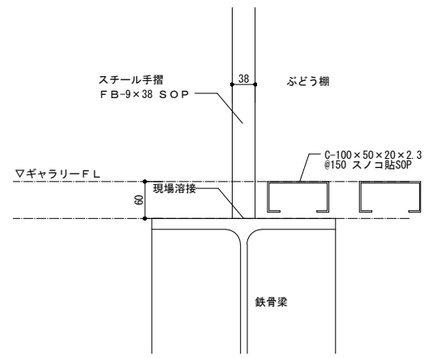
D－9 木製階段
A1：1／20
A3：1／40



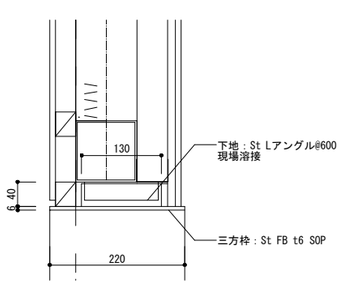
D－11 タラップ（背かご付）外部
A1：1／20
A3：1／40



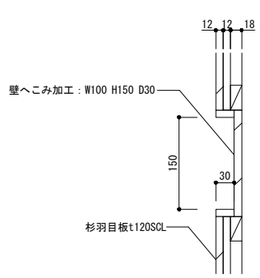
D－12 ぶどう棚手摺
A1：1／5
A3：1／10



D－13 ステージ三方枠
A1：1／5
A3：1／10



D－14 アリーナ壁へこみ加工
A1：1／5
A3：1／10



必要箇所は設備図による

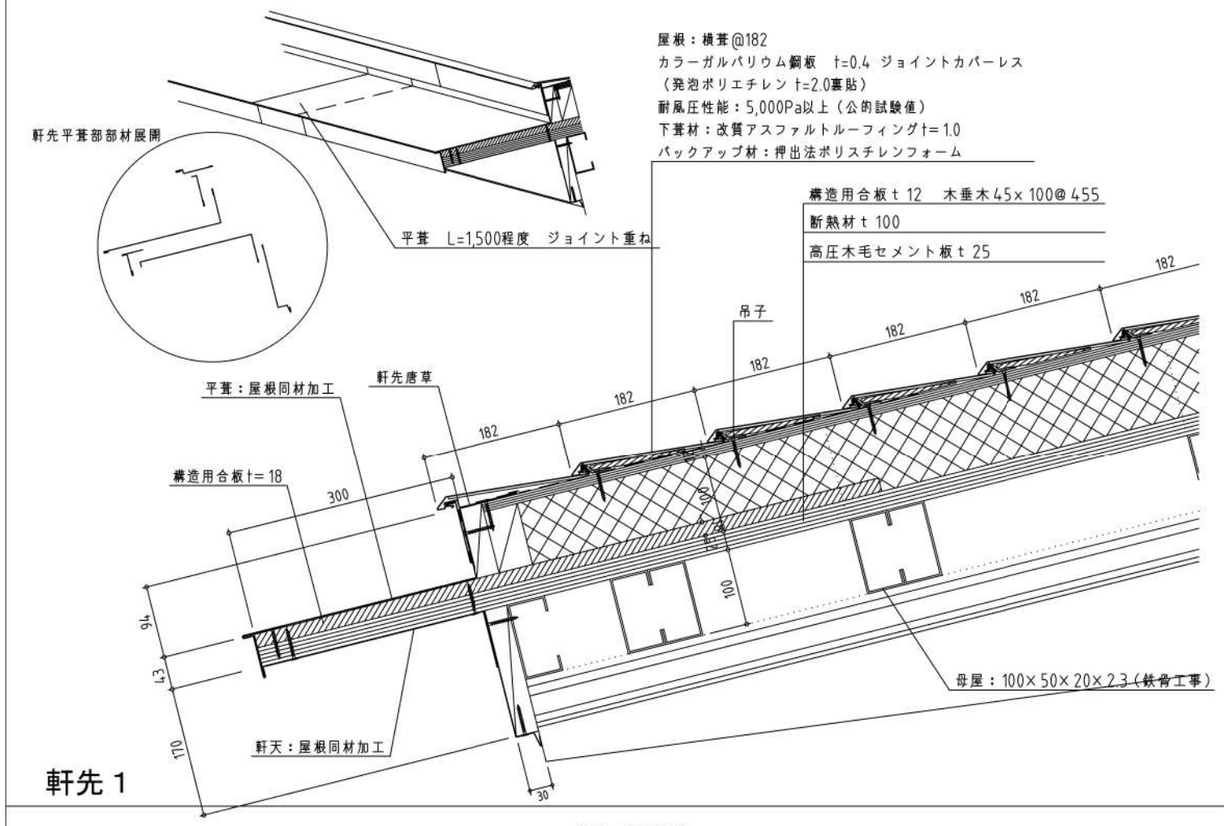
設備工事に伴う開口補強リスト

		計	機械			電気	
天井開口							
	150×150	8	3	3	2		
	200×200	1	1				
	250×250	2	2				
	300×300	4	2	2			
	800×150	2	2				
	610×560	1	1				
	100φ	8				8	
	150φ	25				25	
	200φ	8				8	
	350×350	4				4	
	150×1235	13				13	
天井点検口	450×450	26	8			18	
	300×600	12				12	
基礎梁貫通補強	75φ	11				8	3
	100φ	29	16	3		10	
	150φ	17	15	2			
	175φ	4	4				

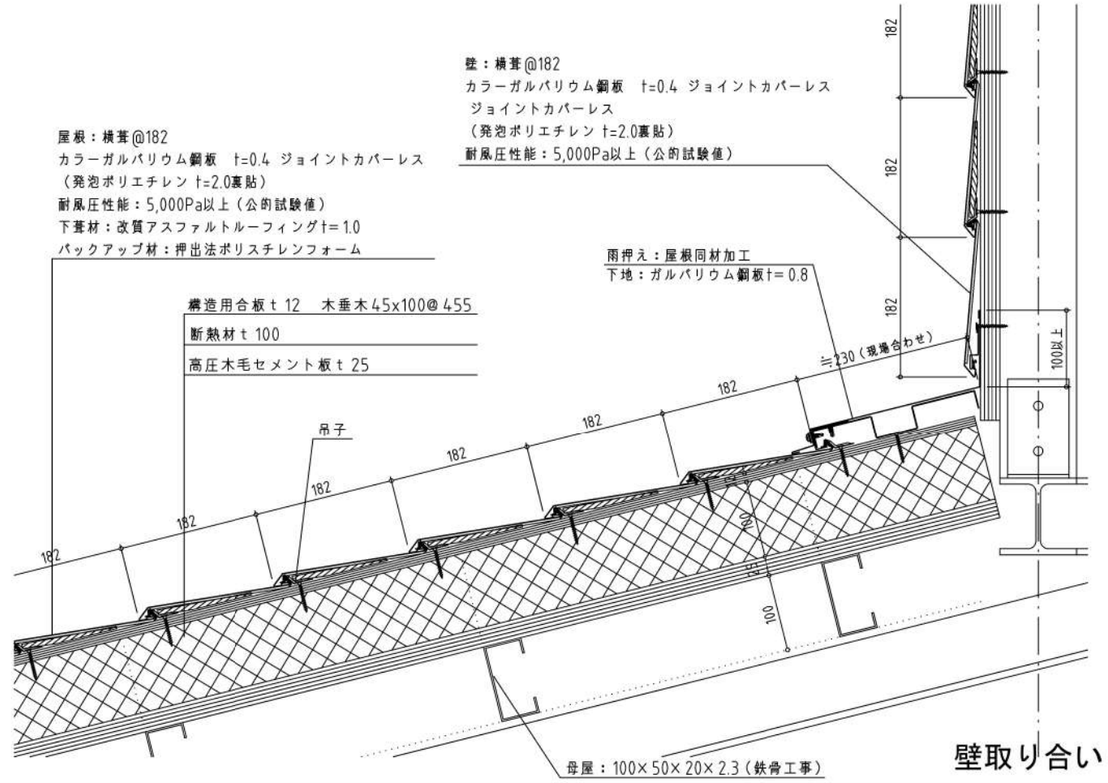
設計図	担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301848号	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	石巻市建設部建築課	図面名	雑詳細図　縮尺　A1：図示　A3：図示
				設計年月日	令和7年5月

備考

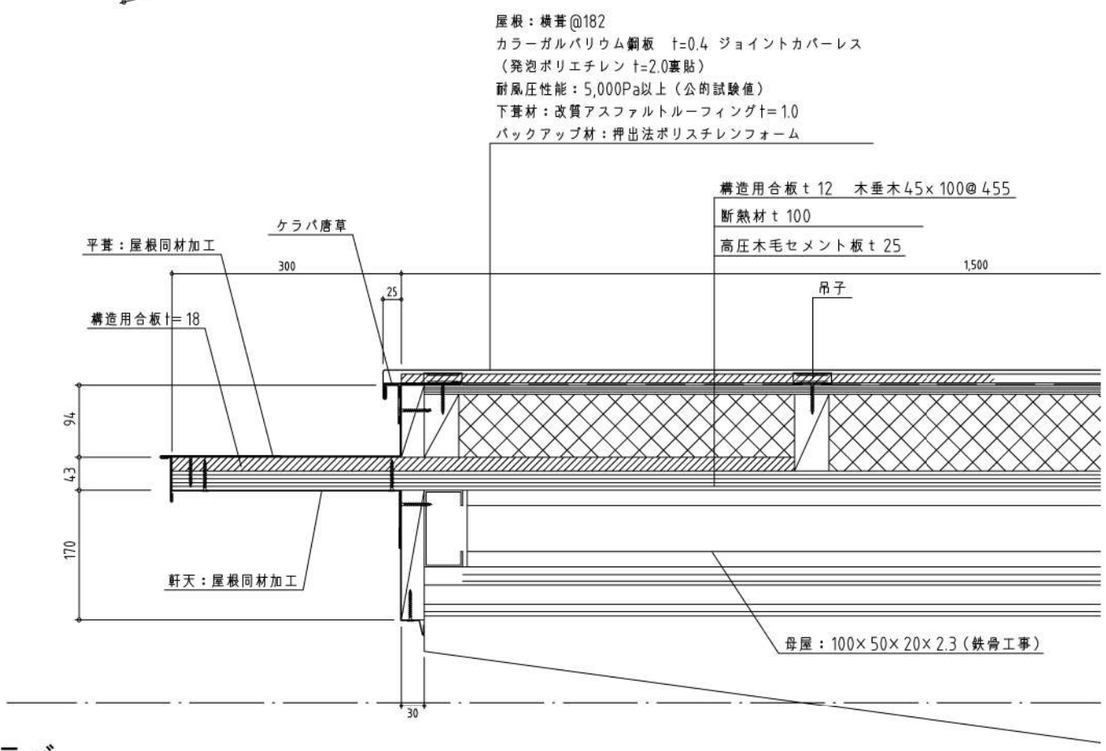
図面番号 A-202



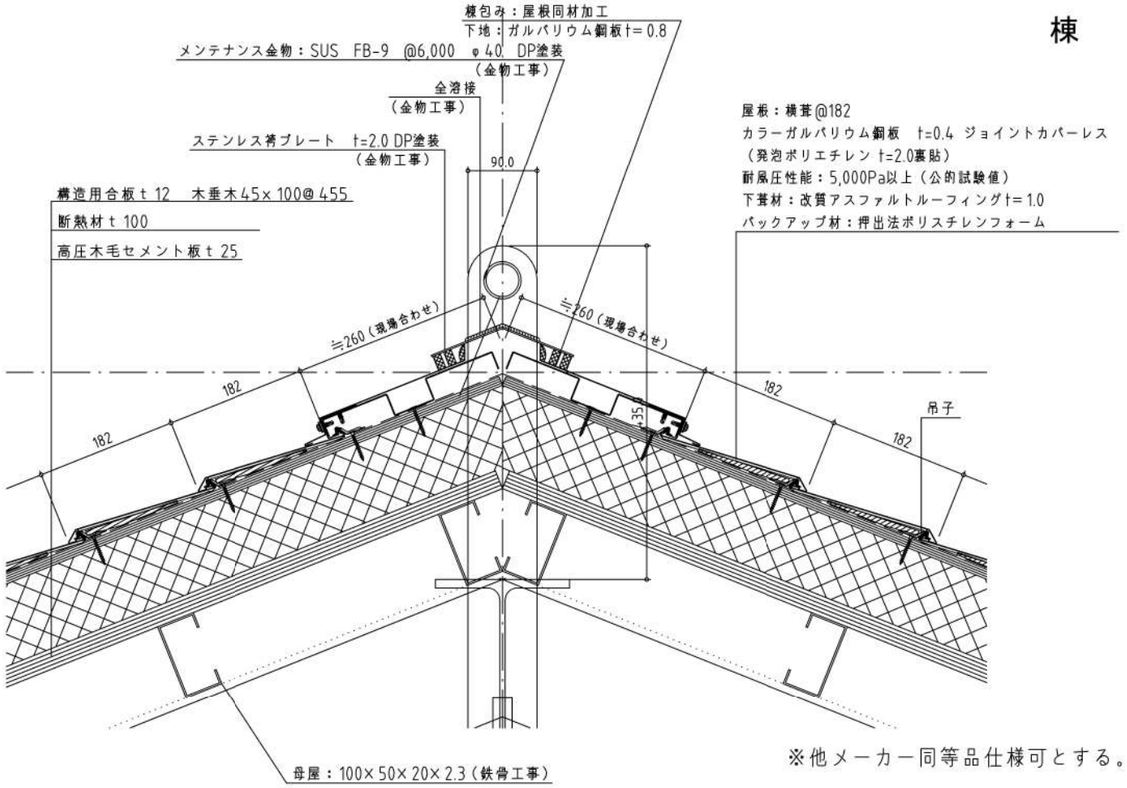
軒先 1



壁取り合い



ケラバ

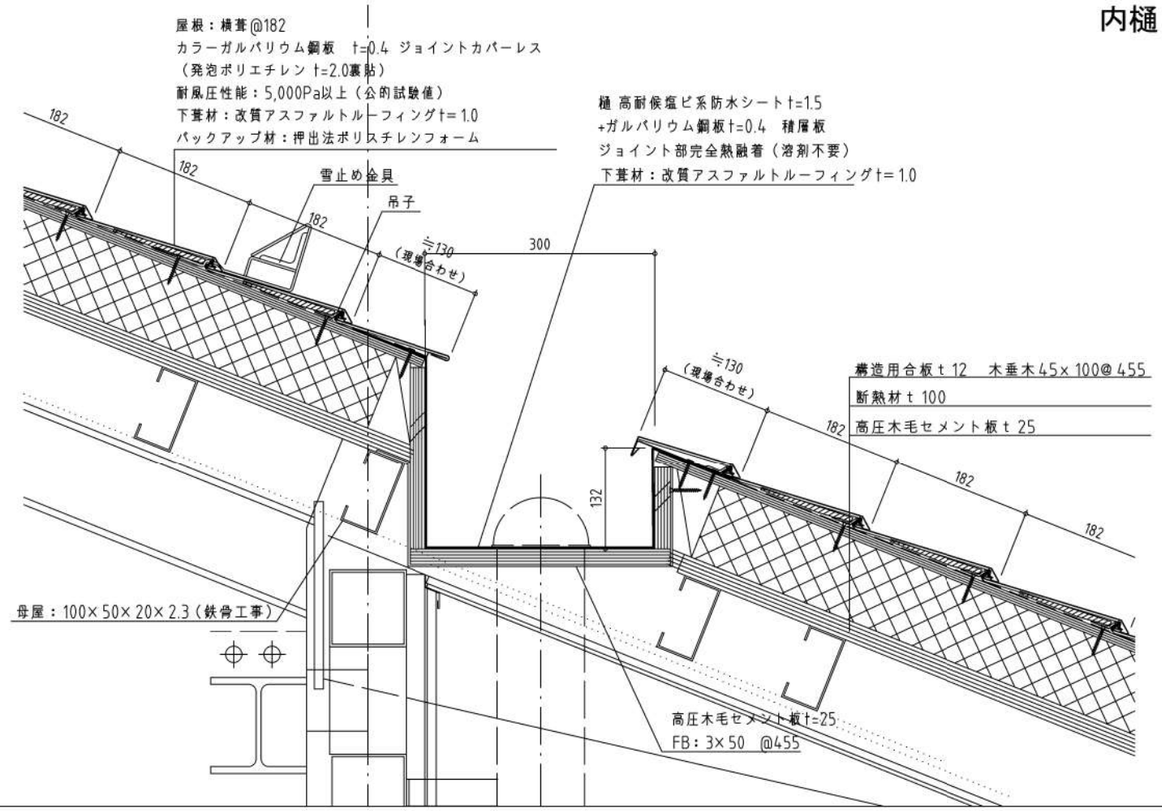


棟

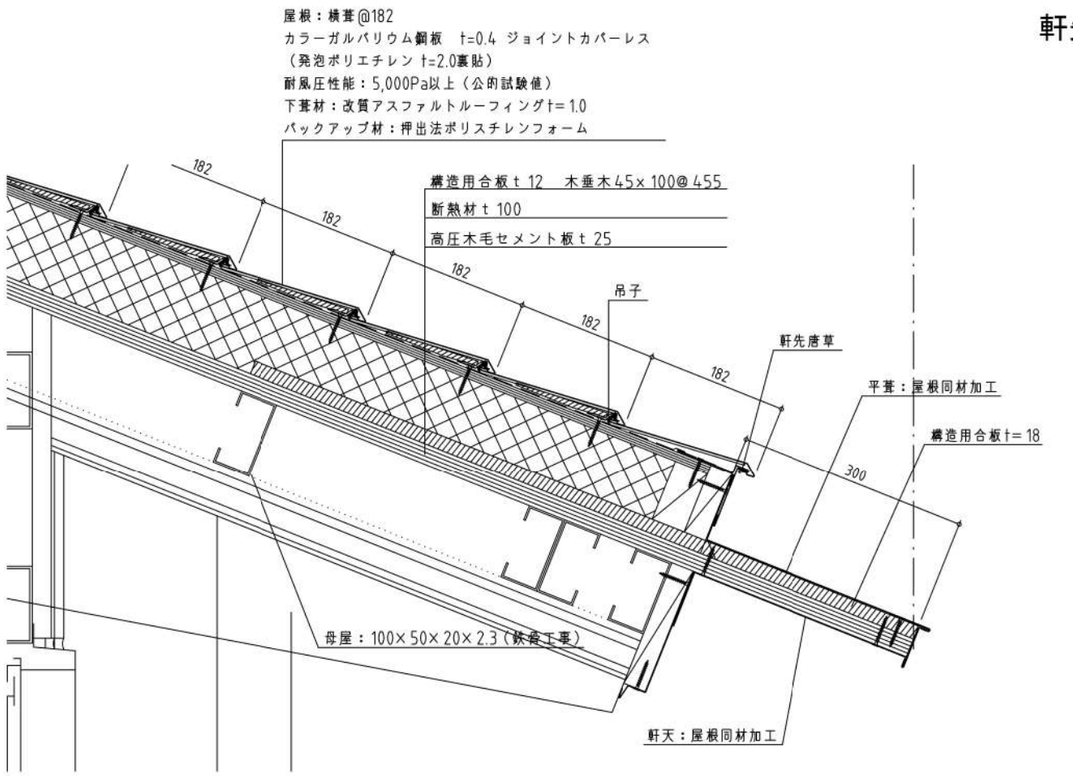
※他メーカー同等品仕様可とする。

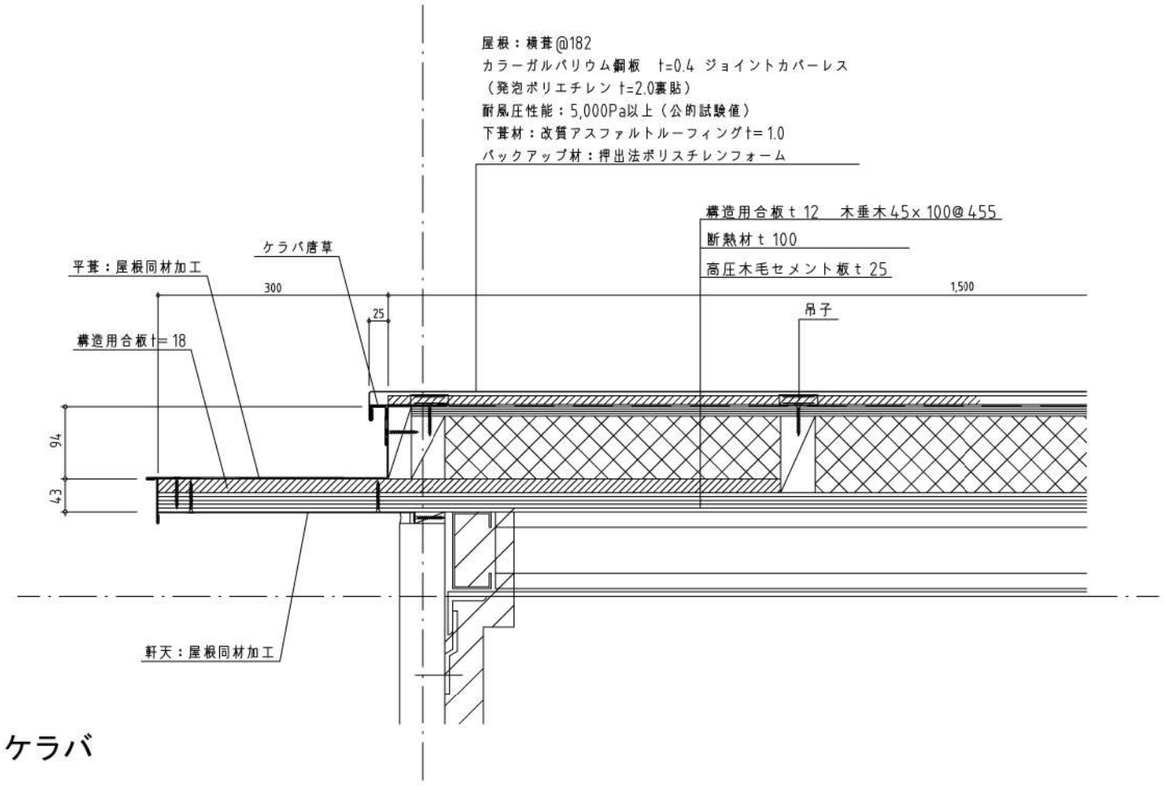
設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X101359号 管理建築士 江田静穂 一級建築士 第301848号		図面名	屋根詳細図1　縮尺 A1:1/4 A3:1/8	A-301
						設計年月日	令和7年5月	備考

内樋



軒先２



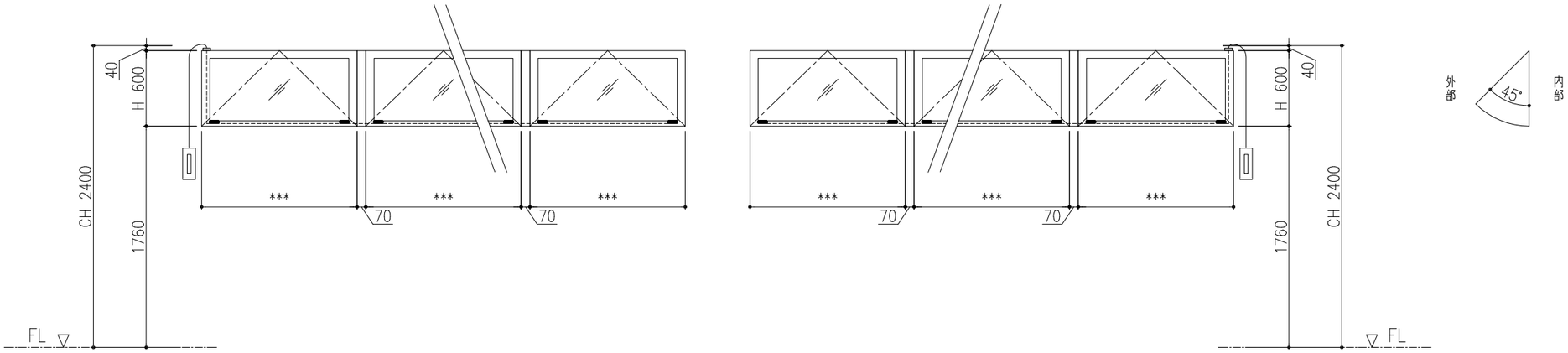


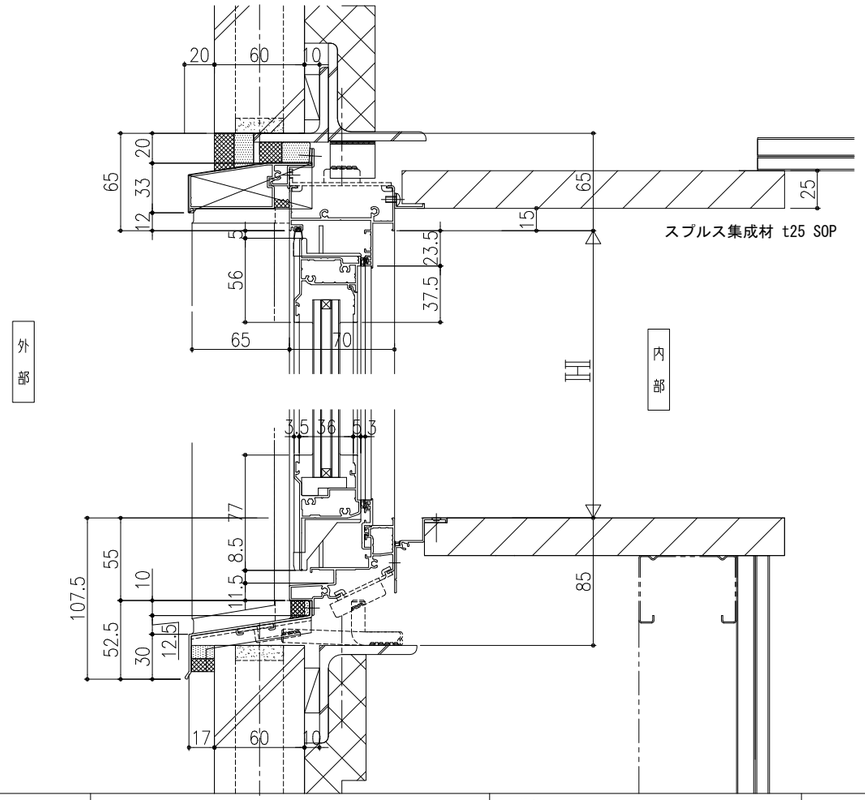
ケラバ

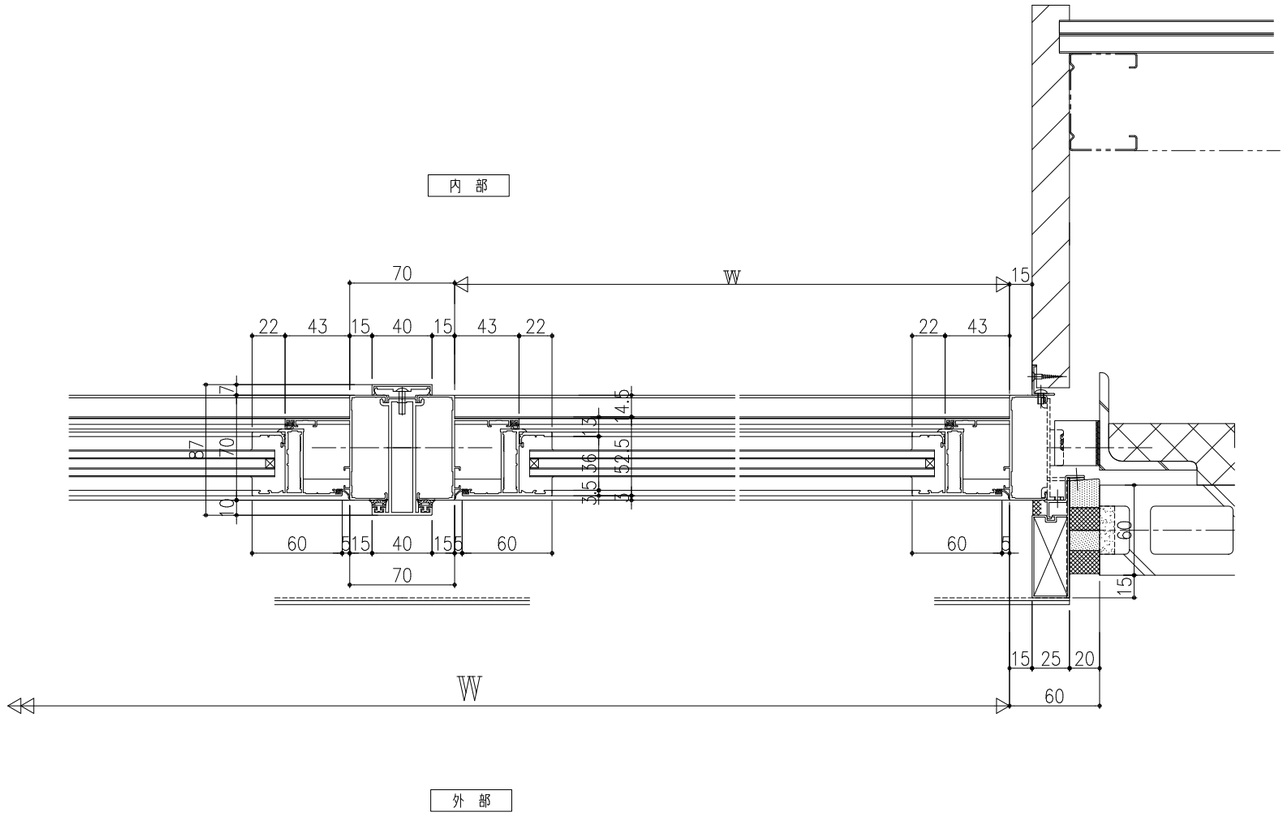
※他メーカー同等品仕様可とする。

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田静雄 一級建築士 第30184号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337578号			図面名	屋根詳細図2　縮尺 A1:1/4 A3:1/8		A-302
						設計年月日	令和7年5月		

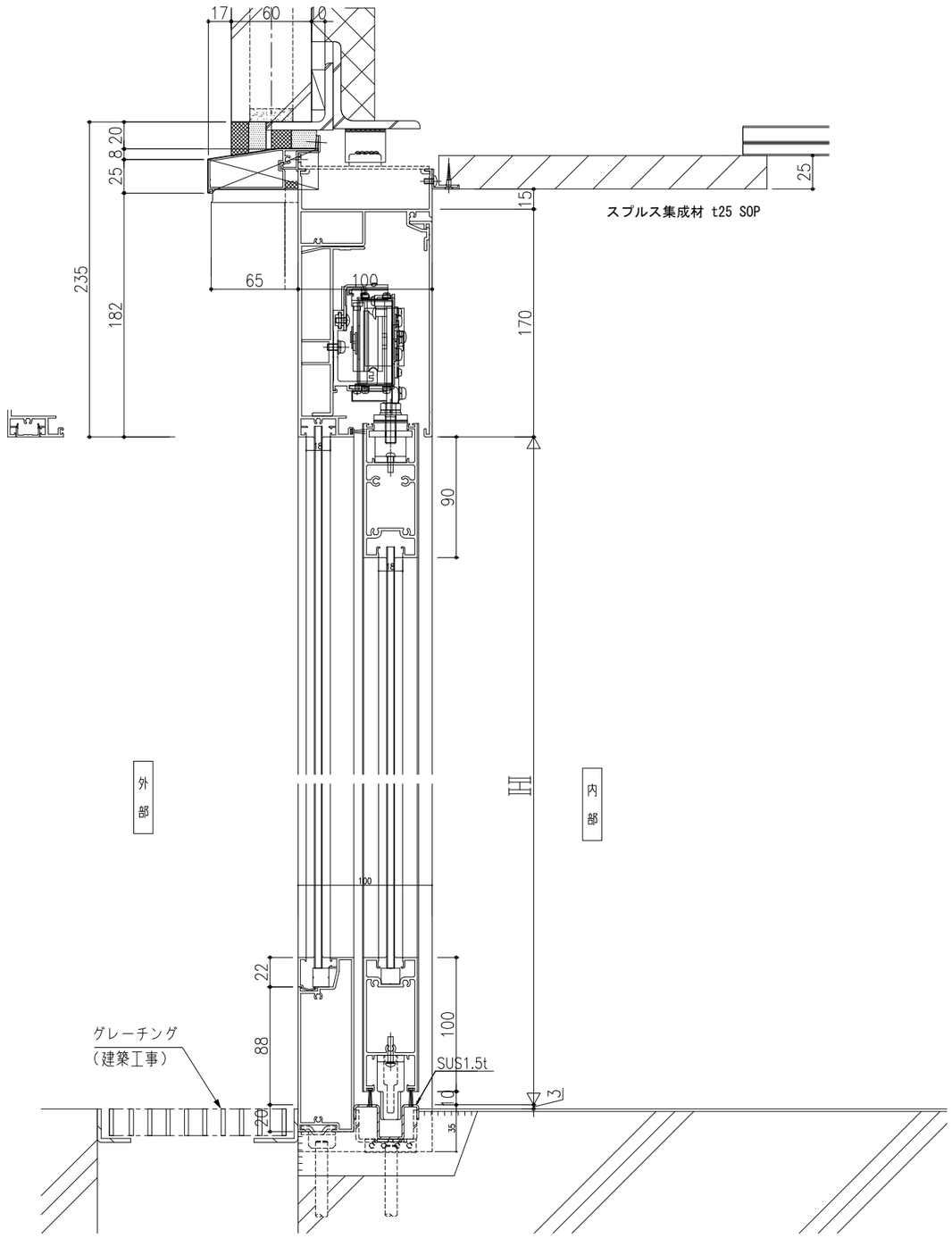
外観姿図
S:1/40(A3)

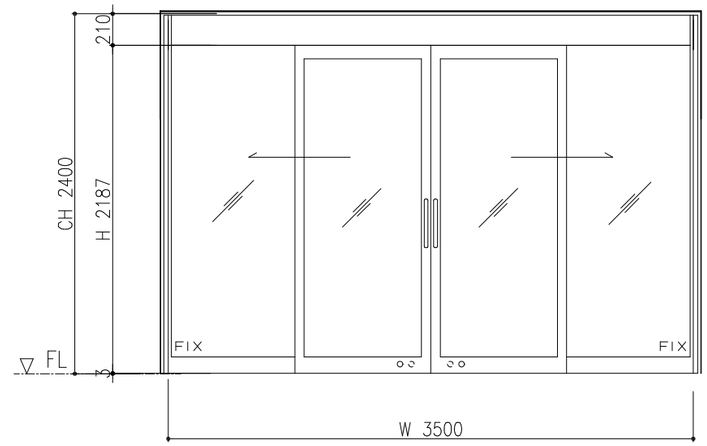


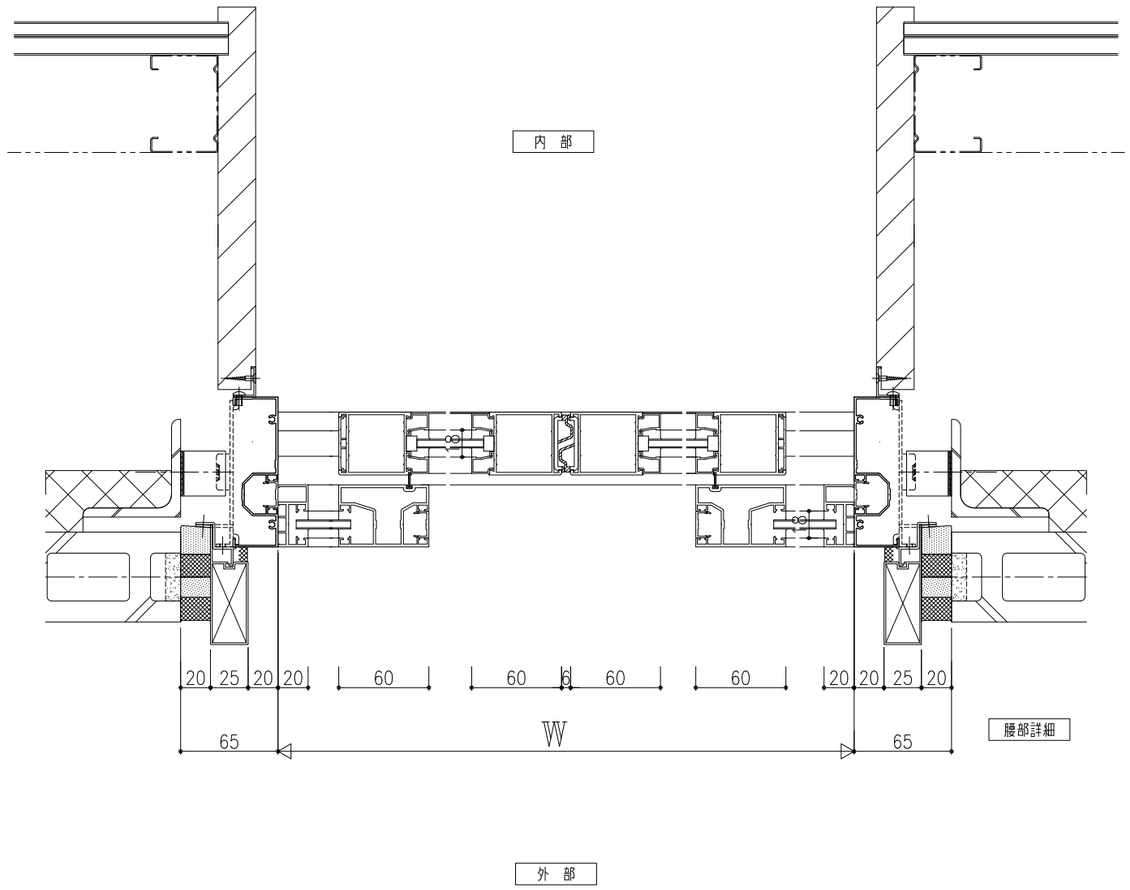




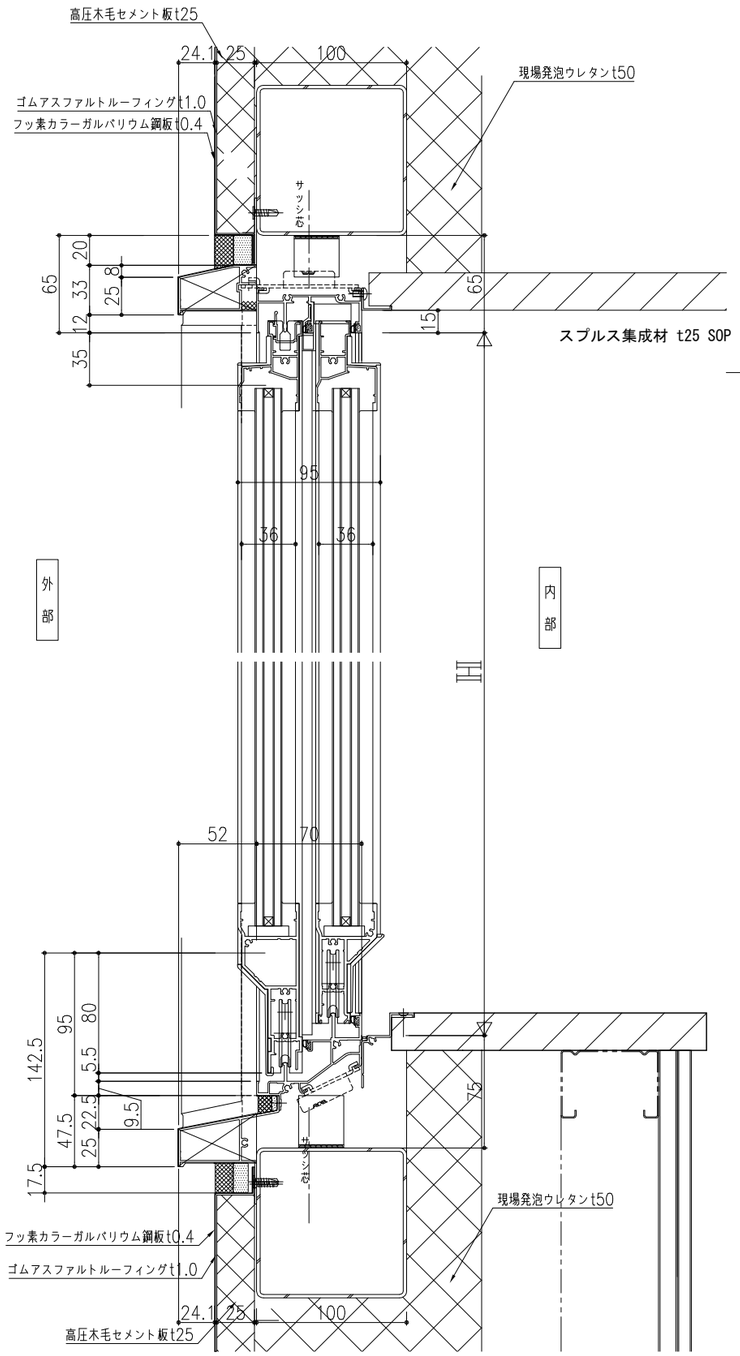
設計図	担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21001035号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号		図面名	アルミ製建具詳細図1	縮尺 A1: 1/2 A3: 1/4		A-303
					設計年月日	令和7年5月			

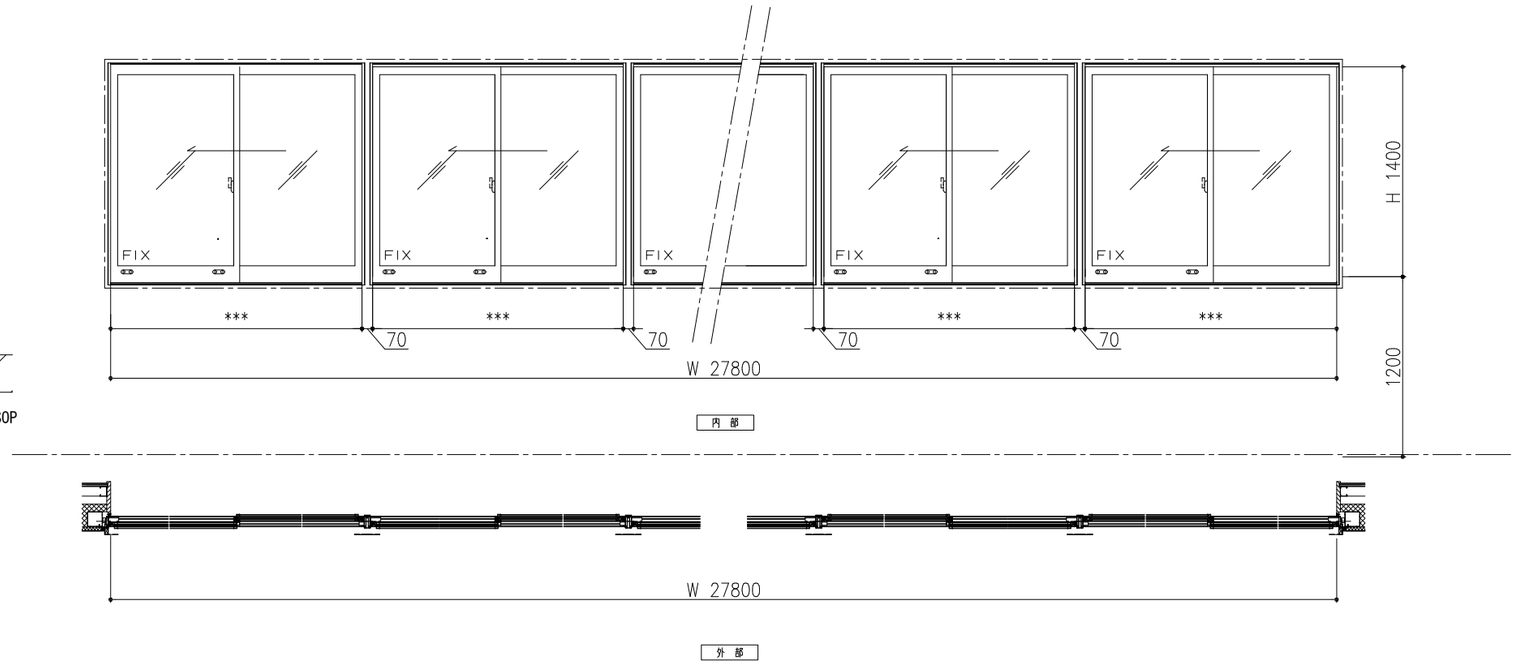


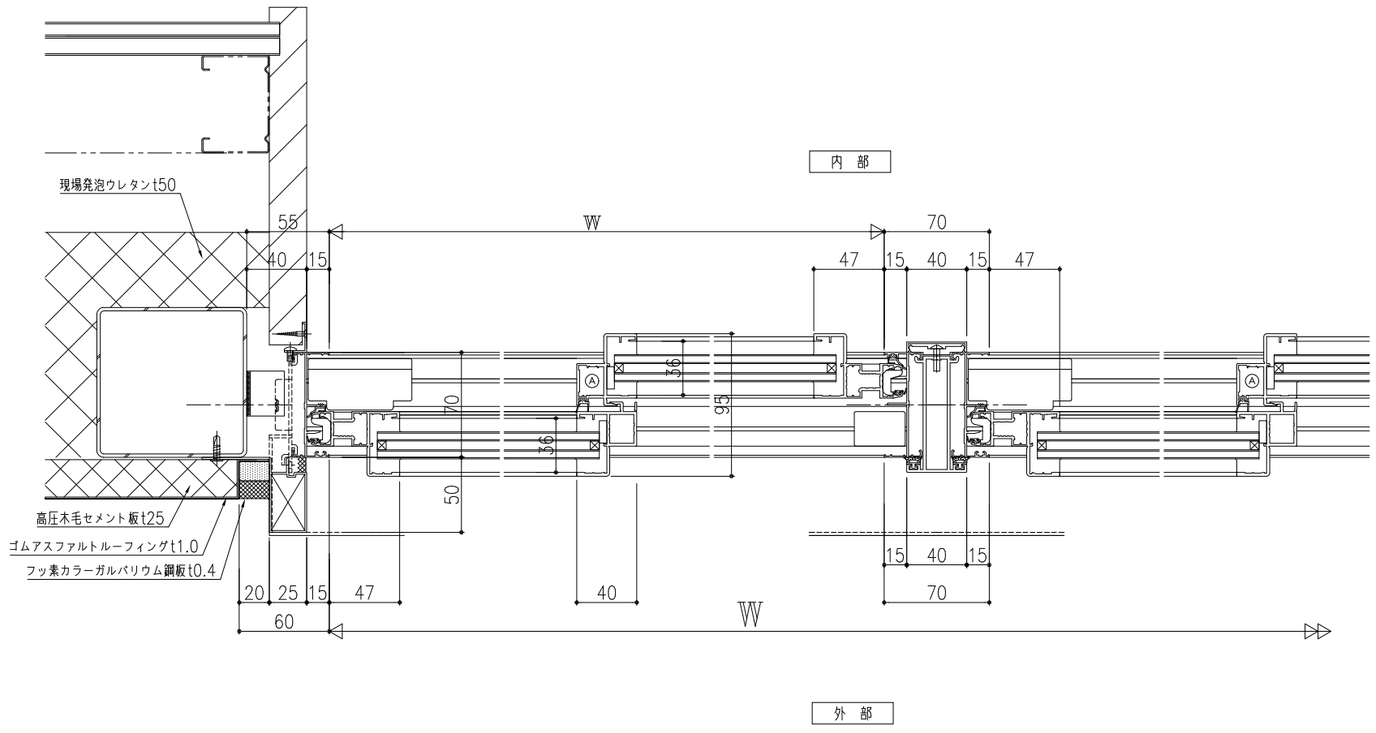




設計図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21000135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	アルミ製建具詳細図２	縮尺 A1: 1/2 A3: 1/4	A-304
						設計年月日	令和7年5月	備考	

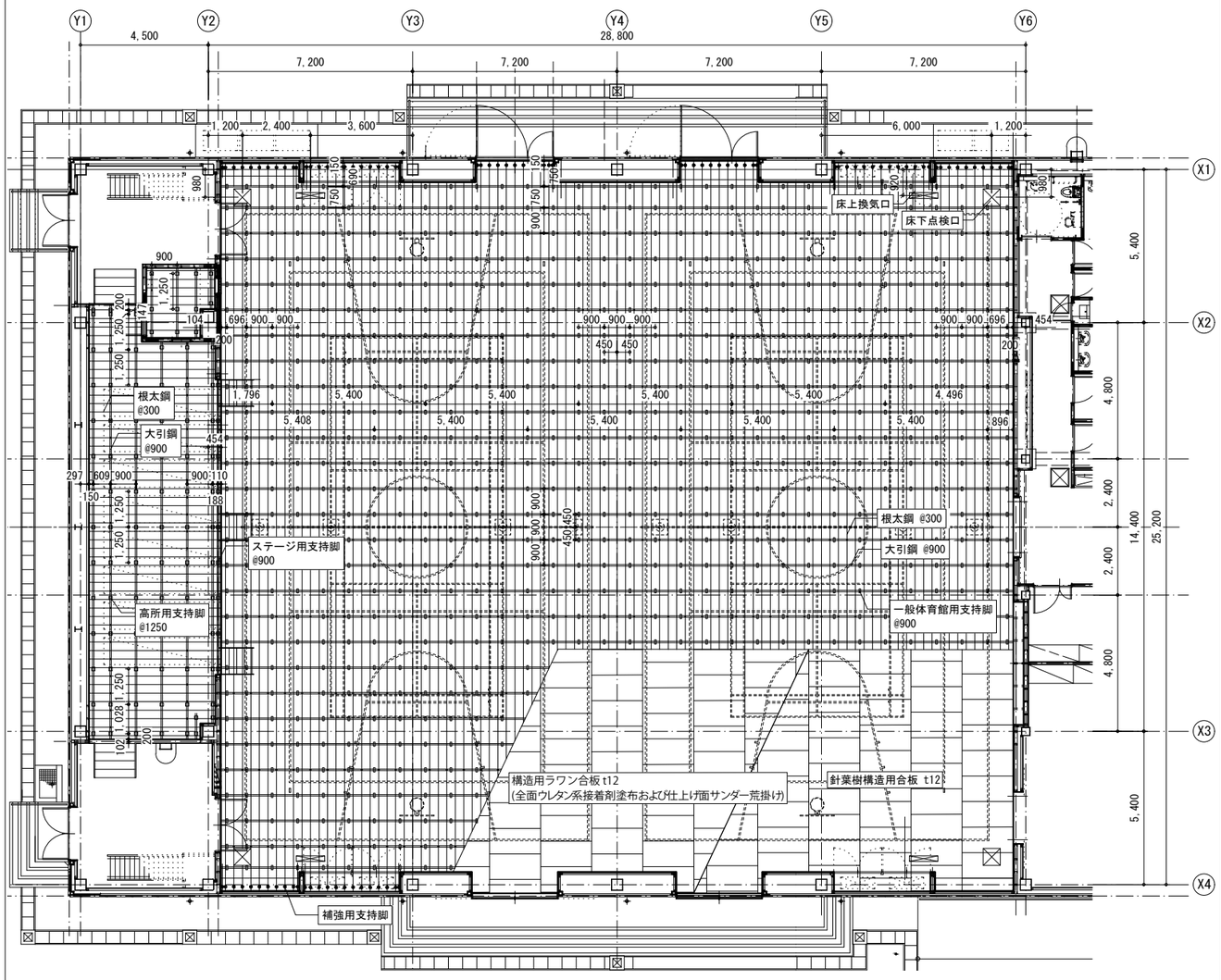






設計図		担当・資格等		Spirit of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X0135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301846号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	アルミ製建具詳細図 3	縮尺 A1: 1/2 A3: 1/4		A-305
						設計年月日	令和7年5月			

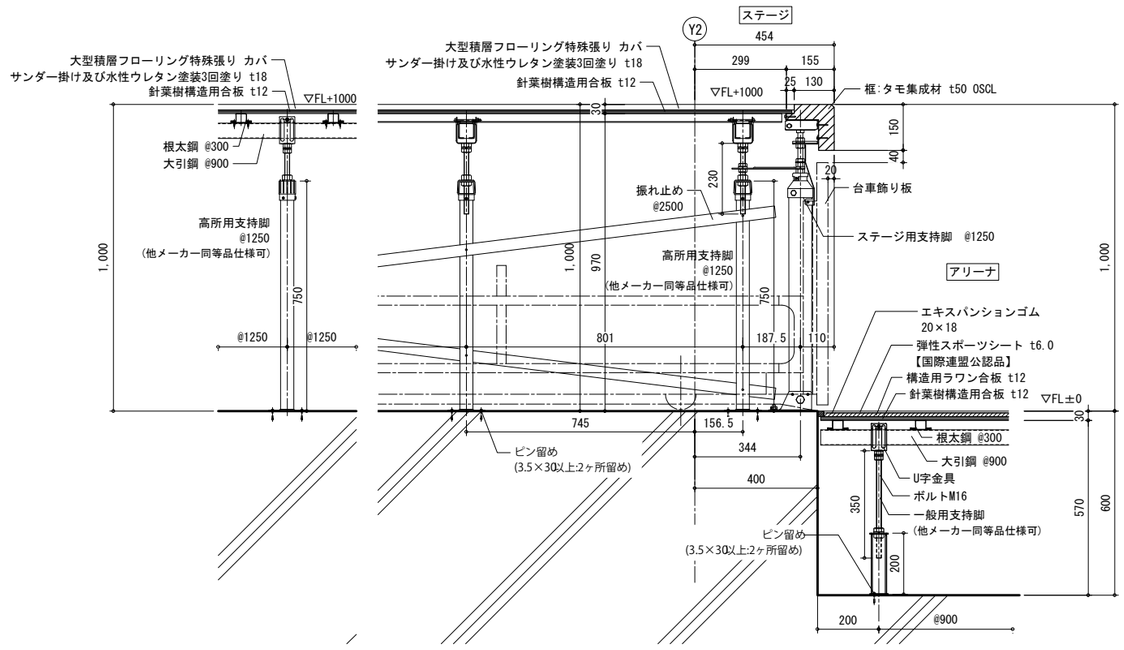
アリーナ 鋼製床下地割付図 縮尺1/100



ステージ	FL+1000・H=1000
鋼製床下地組	
支持脚：高所用支持脚 @1250	
※振れ止め @2500	
大引鋼：50×50×t2.3 @900	
根太鋼：29×35×64×t1.2 @300	
捨　貼：針葉樹構造用合板 t12	
仕上貼：大型積層フローリング特殊張り カバ	
サンダー掛け及び水性ウレタン塗装3回塗り t18	

アリーナ	FL±0・H=500
鋼製床下地組	
支持脚：一般体育館用支持脚 @900	
大引鋼：50×50×t1.6 @900	
根太鋼：29×35×64×t1.2 @300	
捨　貼：針葉樹構造用合板 t12	
構造用ラワン合板 t12	
(全面ウレタン系接着剤塗布および仕上げ面サンダー荒掛け)	
仕上貼：弾性スポーツシート t6.0　【国際連盟公認品】	
床上換気口：1000×200 4台	
アルミ製 シルバー 開閉板付	
床下点検口：600×600 4ヶ所 カギ付	

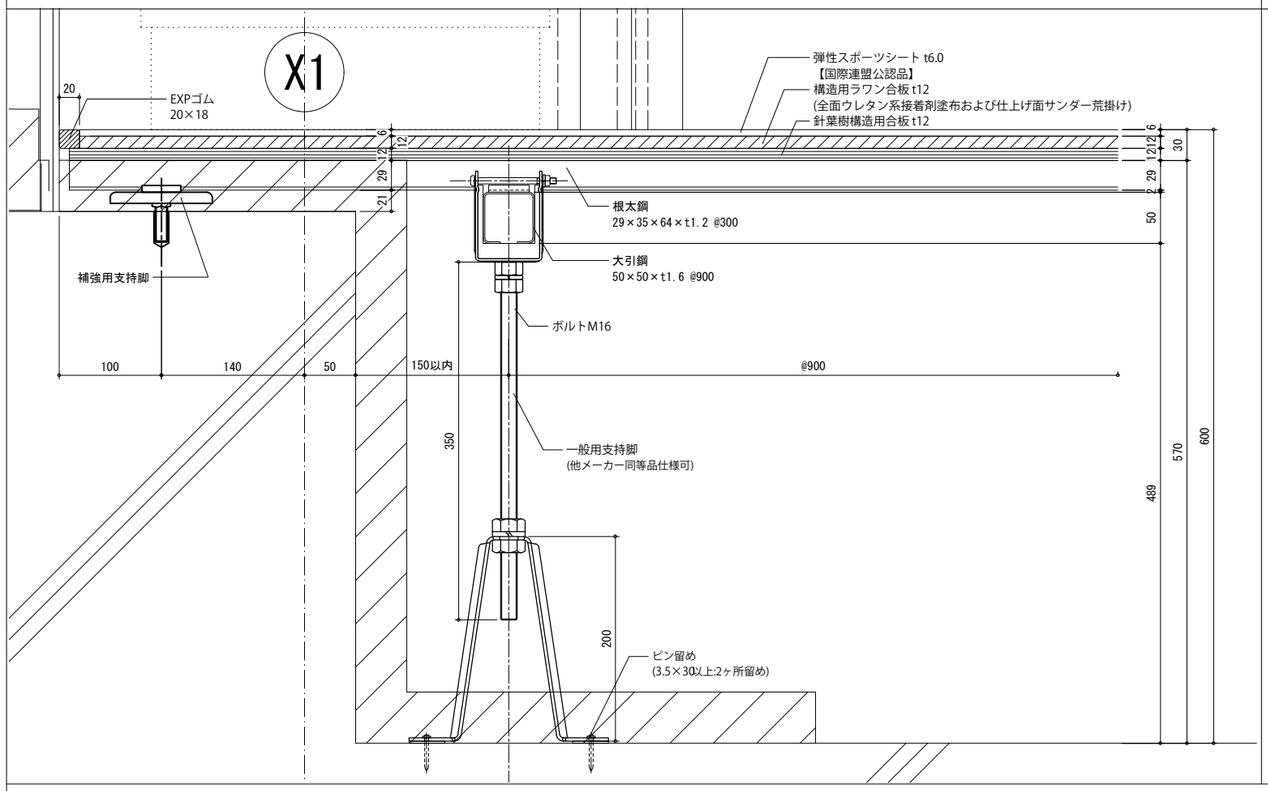
ステージ～アリーナ 鋼製床下地断面詳細図 縮尺1/10



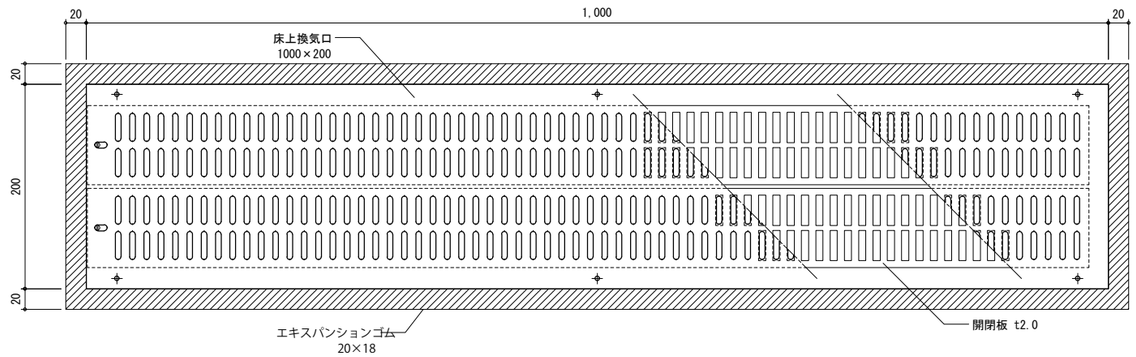
※他メーカー同等品仕様可

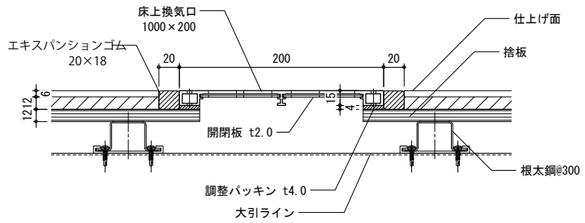
設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事			備考		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337376号			図面名	鋼製床詳細図1	縮尺	A1:1/50　A3:1/100			A-306
						設計年月日	令和7年 5月					

アリーナ 鋼製床下地断面詳細図 縮尺1/5



床上換気口取付詳細図 縮尺1/3

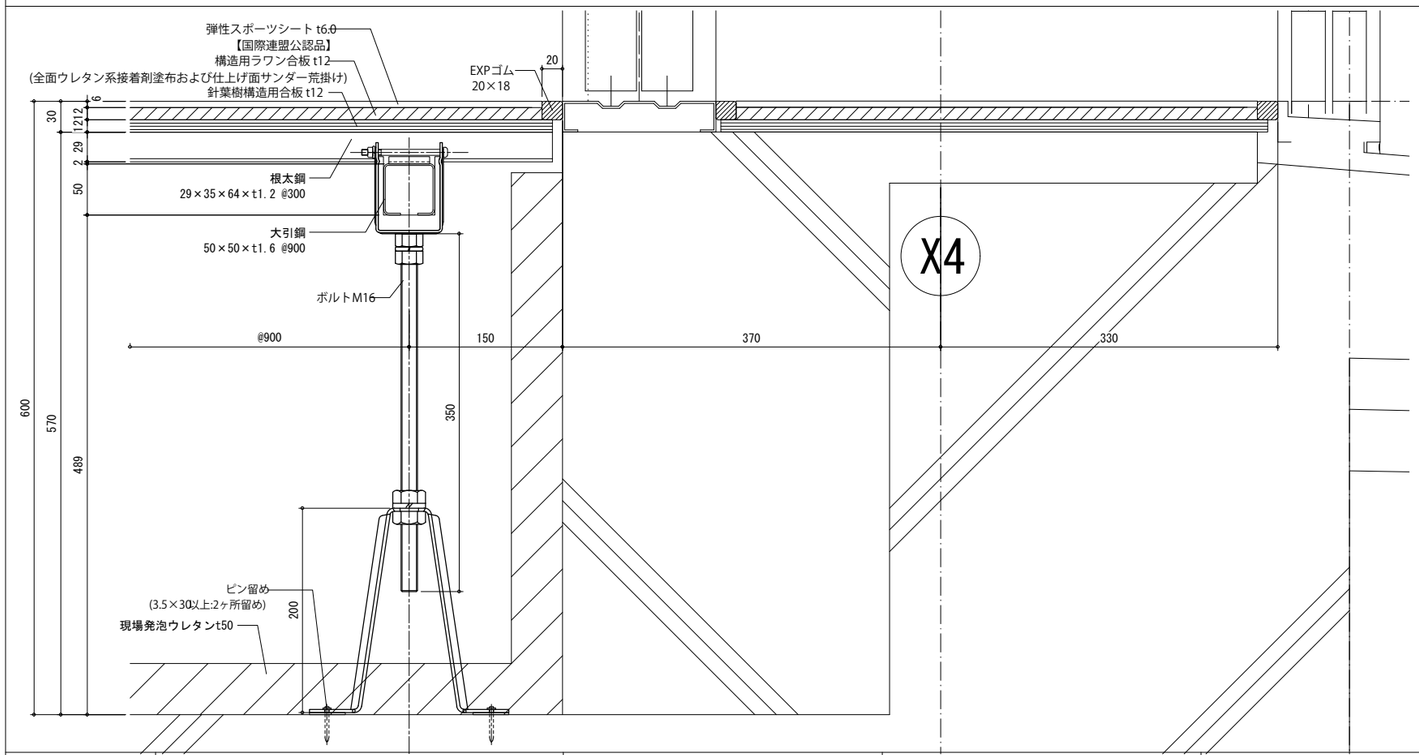




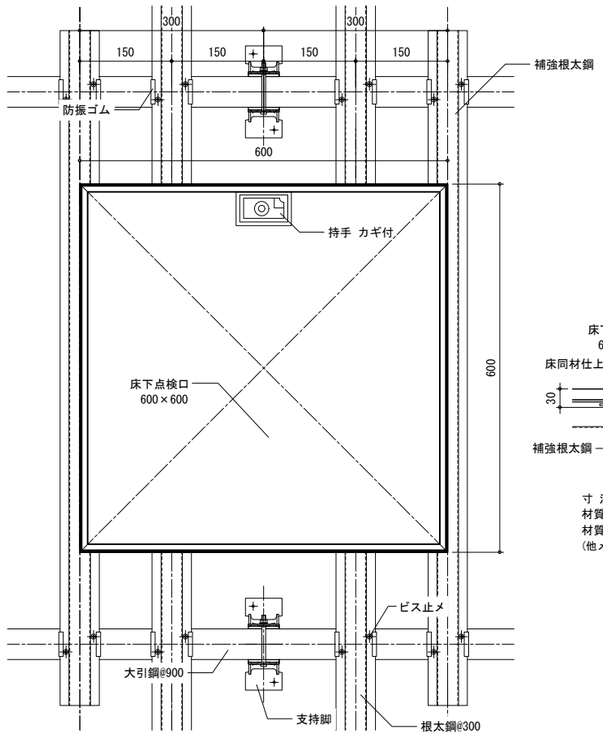
寸 法:W-200×L-1000×H-14.5mm
材質:アルミ合金
(他メーカー同等品仕様可)

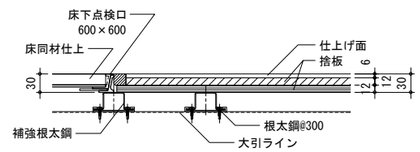
※他メーカー同等品仕様可

アリーナ(防護木格子戸部) 鋼製床下地断面詳細図 縮尺1/5



床下点検口取付詳細図 縮尺1/5

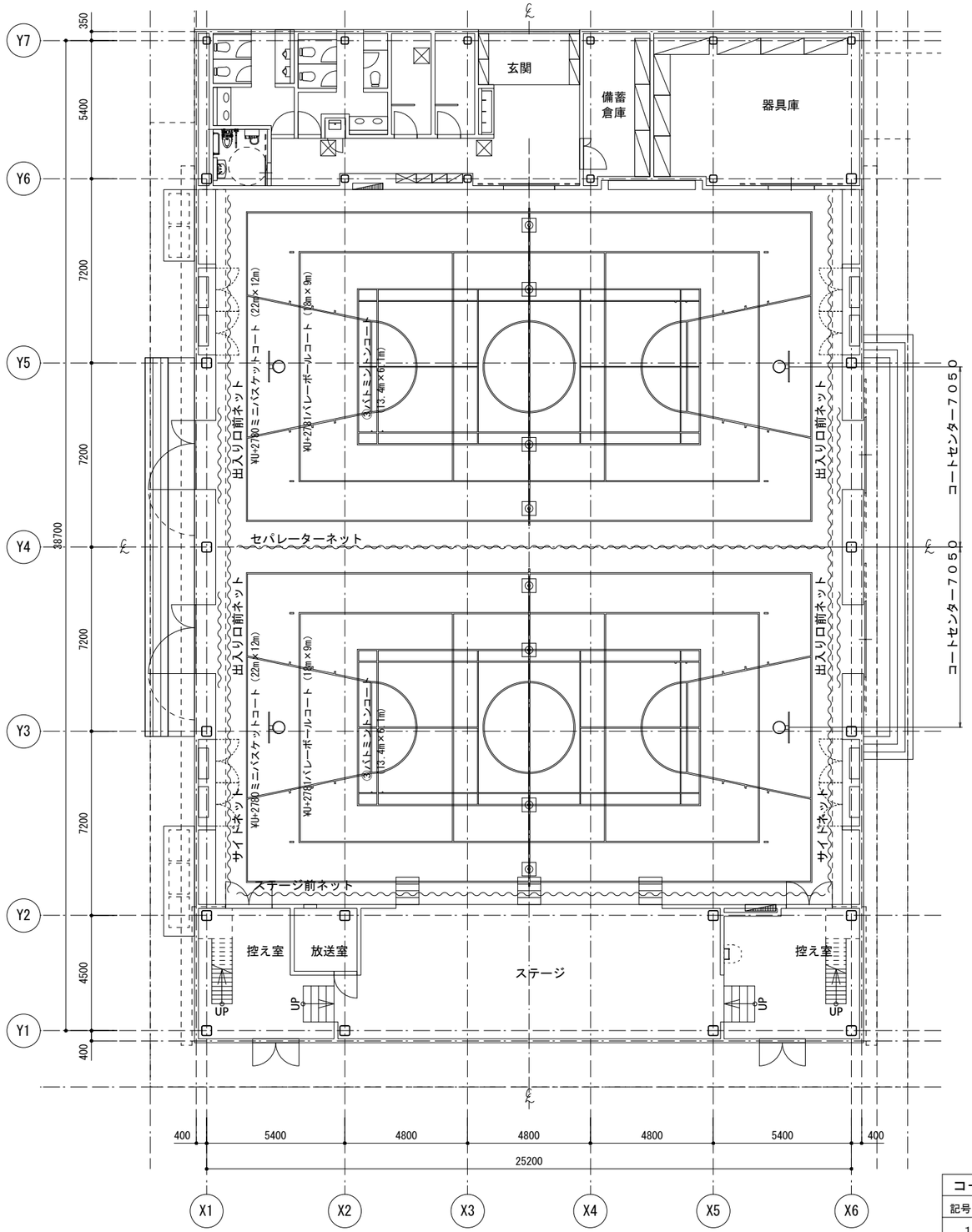




寸 法:600×600
材質(枠 部):アルミ合金押出型枠
材質(底 部):表面処理鋼板 t=3.2mm
(他メーカー同等品仕様可)

※他メーカー同等品仕様可

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337376号			図面名	鋼製床詳細図2 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A-307
						設計年月日	令和7年 5月	備考

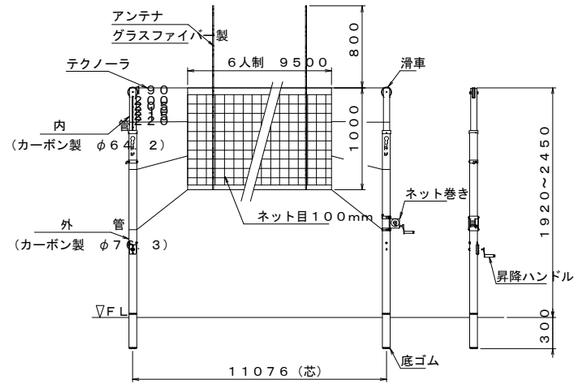


コート、体育器具配置図　Ｓ＝１／１００

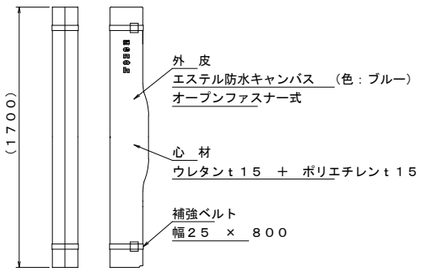
ＤＥ５３０００００　バレーボール用支柱　　カーボン製　ベベルギヤー式　日本バレーボール協会推薦品　Ｓ＝１／３０

ＤＥ８２０２００　６人制バレーボール用ネット　　日本バレーボール協会公認品　検定ＡＡ級　ポリエチレン　６０本　黒

ＤＥ９４１１００　バレーボール用アンテナ　　ワンタッチ式　国際バレーボール連盟認定品、日本バレーボール協会公認品



ＤＥ１９０１００　支柱カバー　　Ｓ＝１／２０
日本バレーボール協会推薦品

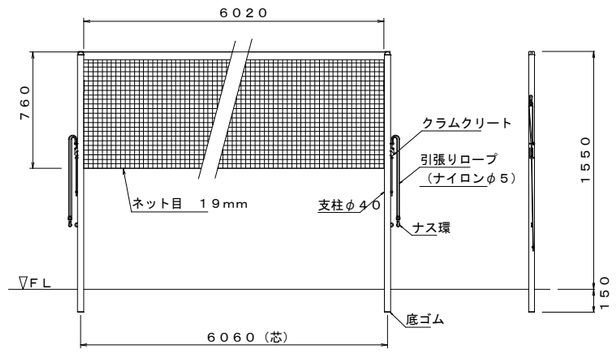


ＤＧ０１２１００　バドミントン用支柱

差込式　日本バドミントン協会検定審査合格品　　Ｓ＝１／３０

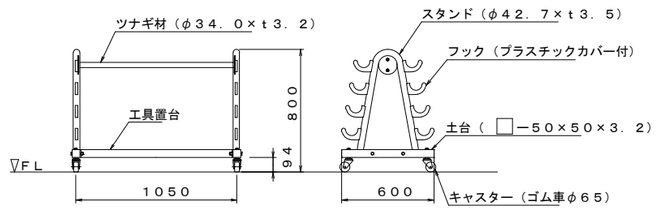
ＤＧ８１１０００　バドミントン用ネット

日本バドミントン協会検定審査合格品　ナイロン　１５本　ワインカラー



ＤＫ０１１０００　ポールバー整理台

移動車付　工具台付　８本掛　　Ｓ＝１／２０
※バレーボール支柱積載４本まで

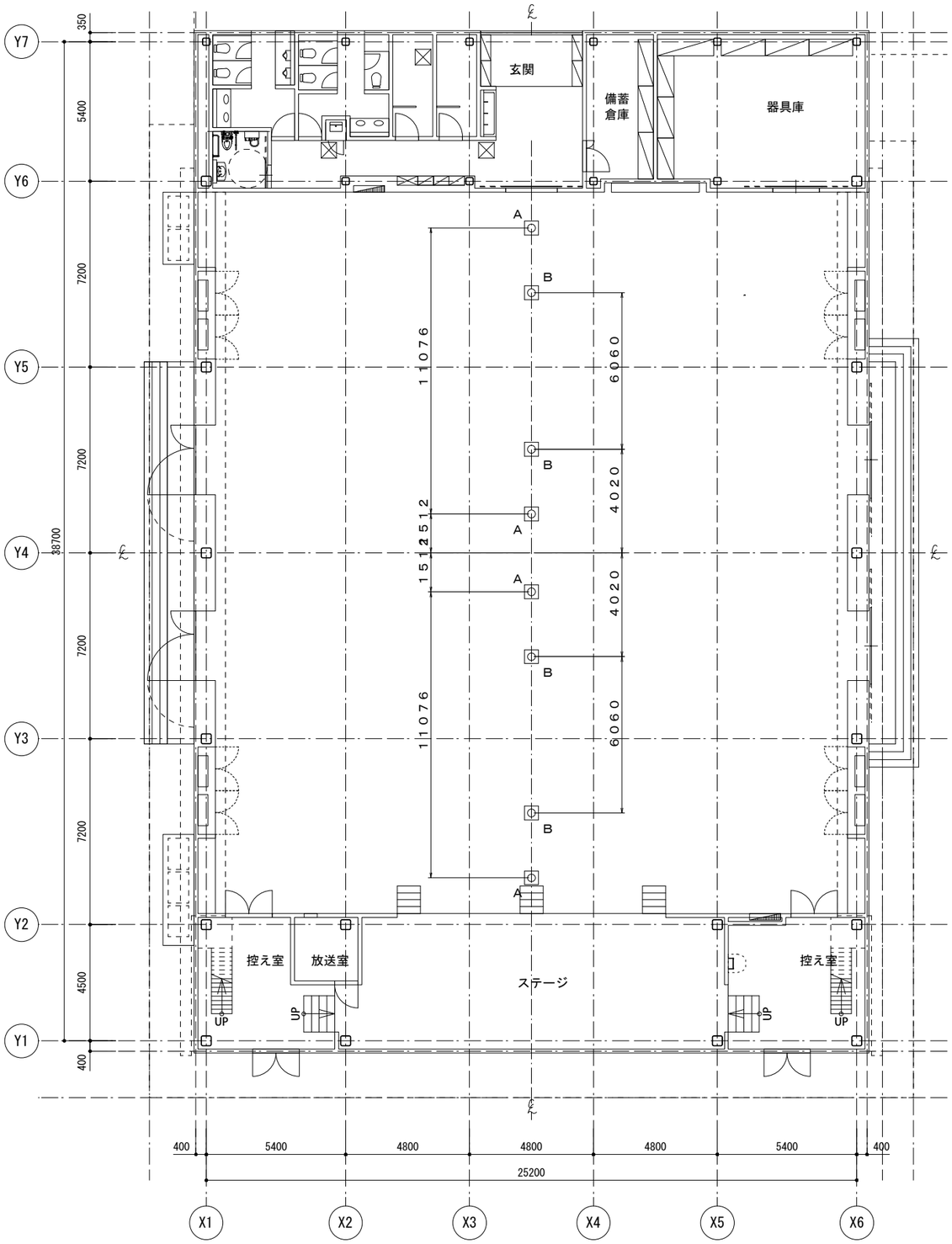


コートライン内訳表

記号	種　別	寸　法	面数	備　考	優先順位	色
1	ミニバスケットボールコート	２２０００×１２０００	２面	実線　ライン幅５０mm	1	白
2	バレーボールコート（６人制）	１８０００×　９０００	２面	実線　ライン幅５０mm	2	黄
3	バドミントンコート	１３４００×　６１００	２面	実線　ライン幅４０mm	3	緑

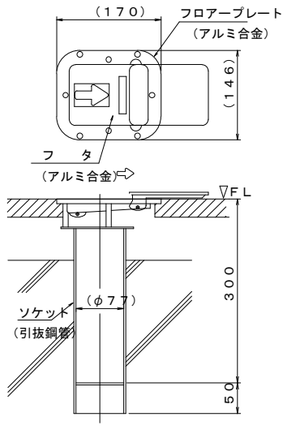
他メーカー同等仕様可

設　計　図	担当・資格等	関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
	福島直人　岩根敦 一級建築士 第337378号	一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301846号		図面名	体育器具詳細図１　縮尺　A1:図示　A3:図示		A-308
				設計年月日	令和7年5月		

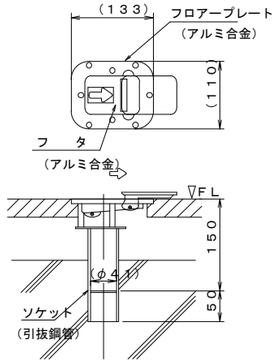


コート、体育器具配置図　Ｓ＝１／１００

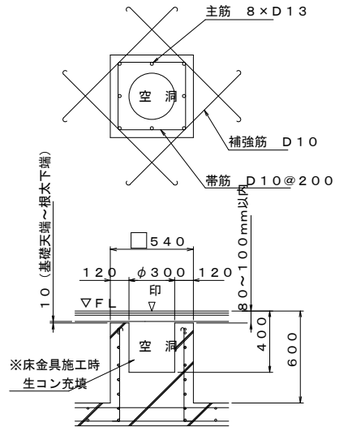
Ａ部：ＫＤ０１４０００　床金具ＡＳ型φ７６用
板張床用　（バレーボール用）Ｓ＝１／５



Ｂ部：ＫＤ０５４０００　床金具ＡＳ型φ４０用
板張床用　（バドミントン用）Ｓ＝１／５



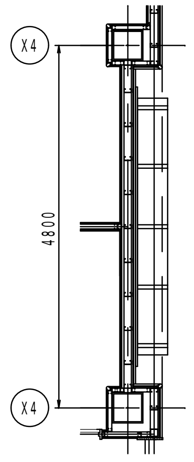
基礎詳細　Ｓ＝１／２０
※建築工事に含む
※Ａ、Ｂ部形状共通

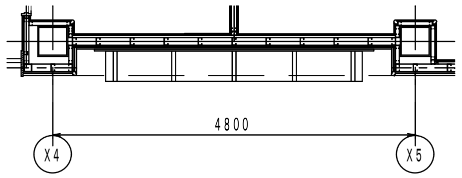


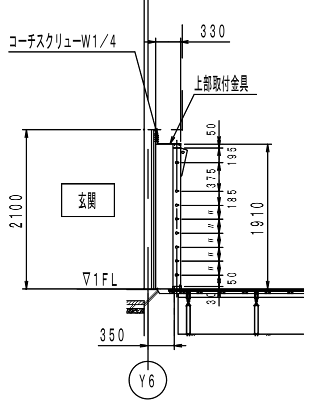
基礎内訳表		
Ａ	バレーボール用基礎	４個
Ｂ	バドミントン用基礎	４個
合　計		８個

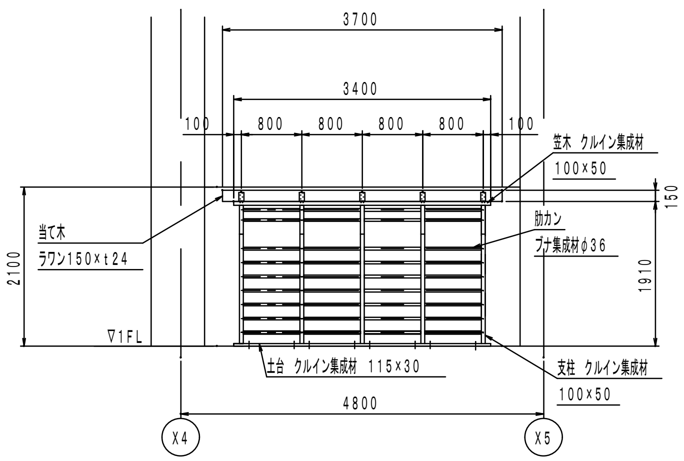
他メーカー同等仕様可

設　計　図		担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	体育器具詳細図２　縮尺 A1:図示 A3:図示		A-309
						設計年月日	令和7年5月		





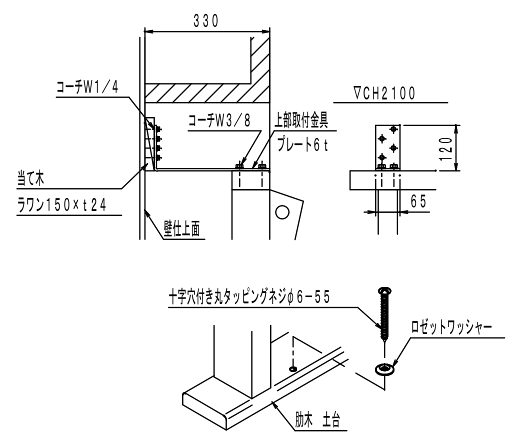


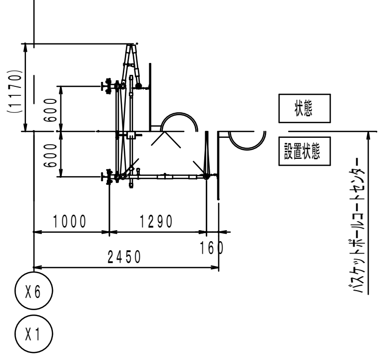


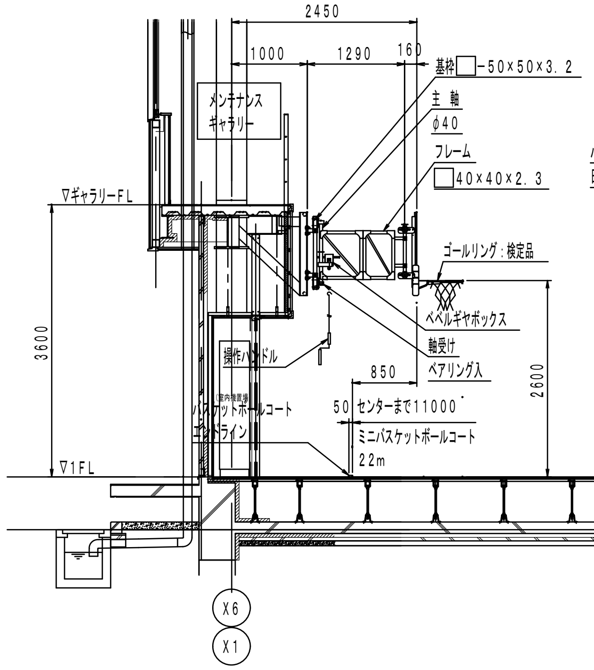
HB011179 肋木 4欄型 S=1/50

※肋木設置個所に床換気口が無きこと

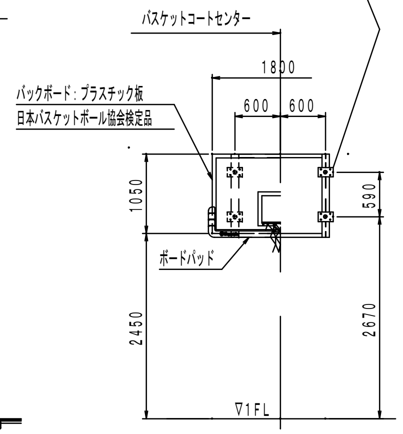
肋木取付部詳細 参考図 S=1/10





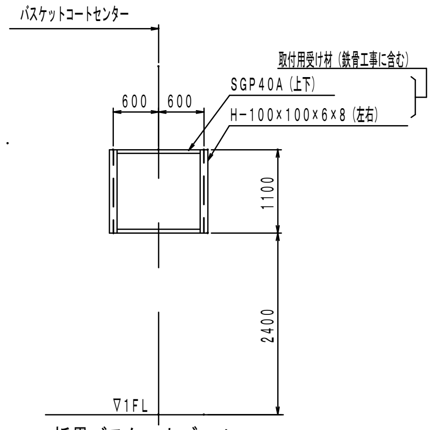


※H鋼フランジ前側部分をプレートで
挟み込みボルト止めにより固定実施。
プレート固定箇所に鉄骨ジョイント等障害物が無き事。

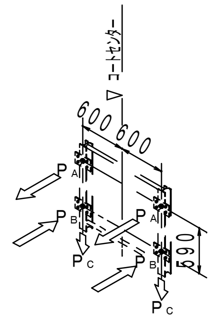


DC112000
(日本バスケットボール協会装置検定品)

折畳バスケットゴール
床ハンドル操作式 S=1/50



折畳バスケットゴール
取付用受け材 正面図
※鉄部の仕上げ SOP



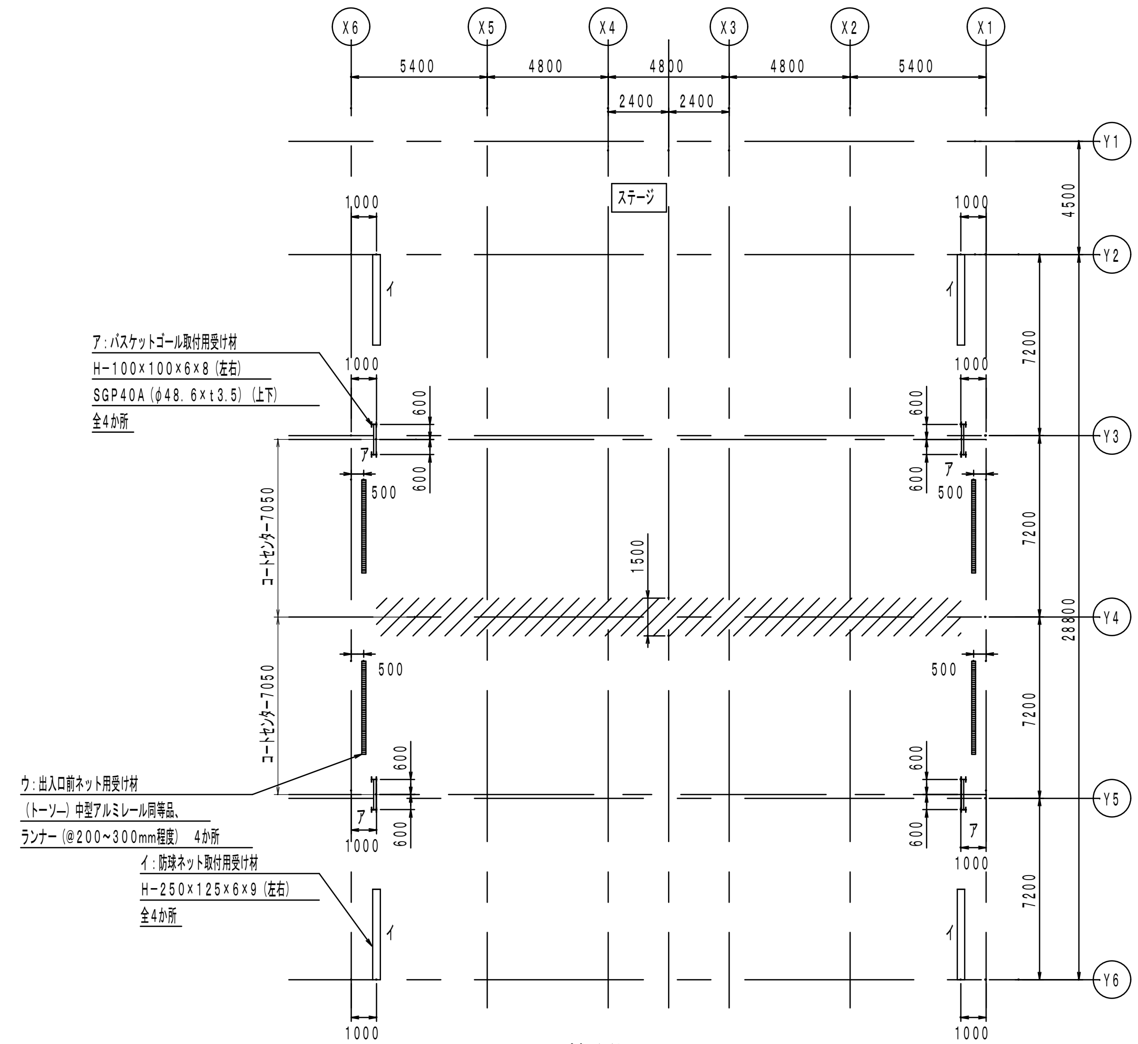
u 折畳バスケット 荷重参考値

全重量：約200kg
リング先端にかかる短期荷重：約1.5KN

PA：取付上部にかかる引張荷重
短期（使用時） ―― 約4.23KN

PB：取付下部にかかる圧縮荷重（－PA）
短期（使用時） ―― 約4.23KN

PC：取付下部にかかる垂直荷重
短期（使用時） ―― 約0.87KN



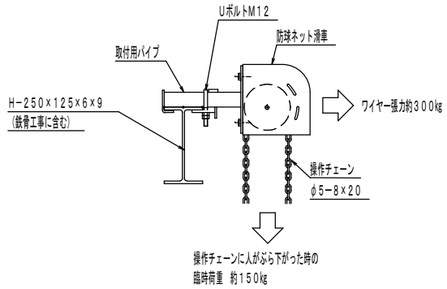
補強伏図 S=1/150

補強材は鉄骨工事に含む
補強鉄骨の取付位置等詳細は姿図を参照のこと
斜線体育器具取付範囲内は電灯を取付ないこと

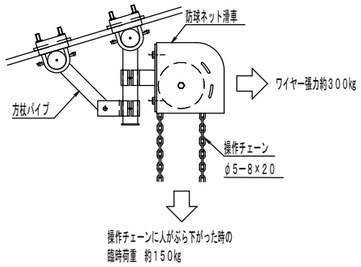
他メーカー同等仕様可

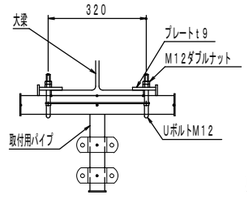
設計図	担当・資格等		
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	
Sport Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田耕輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課		
工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		
図面名	体育器具詳細図3	縮尺	A1:図示A3:図示
設計年月日	令和7年5月		
備考		図面番号	A-310

ステージ前ネット取付詳細　参考図　S=1/10

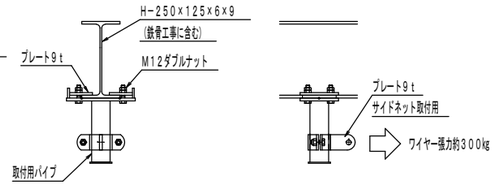


セパレーターネット取付詳細　参考図　S=1/10

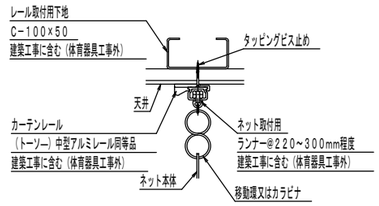


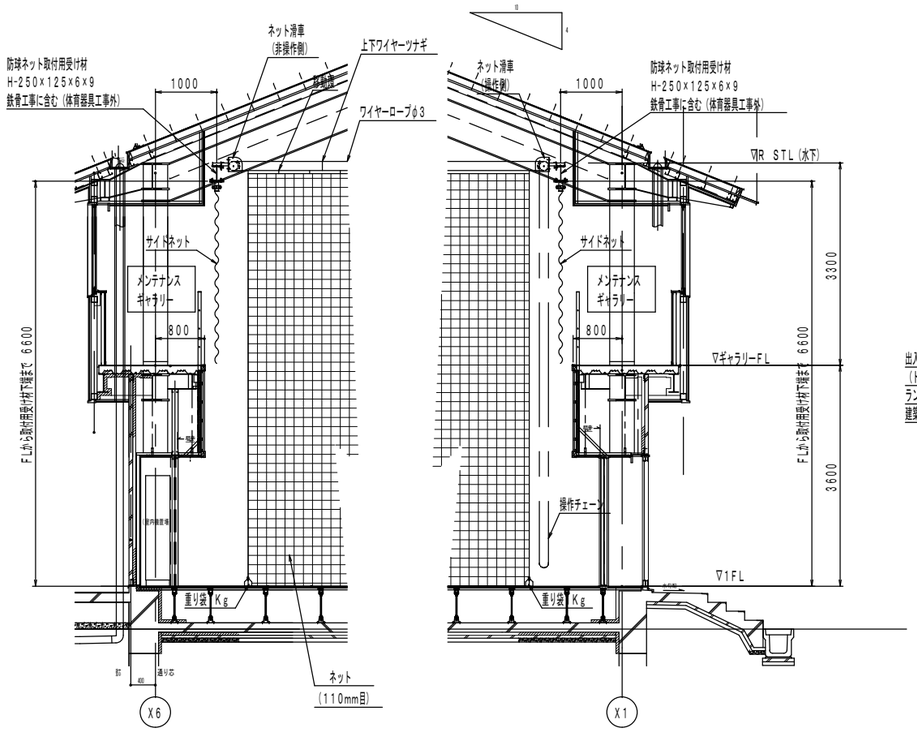


サイドネット取付詳細　参考図　S=1/10

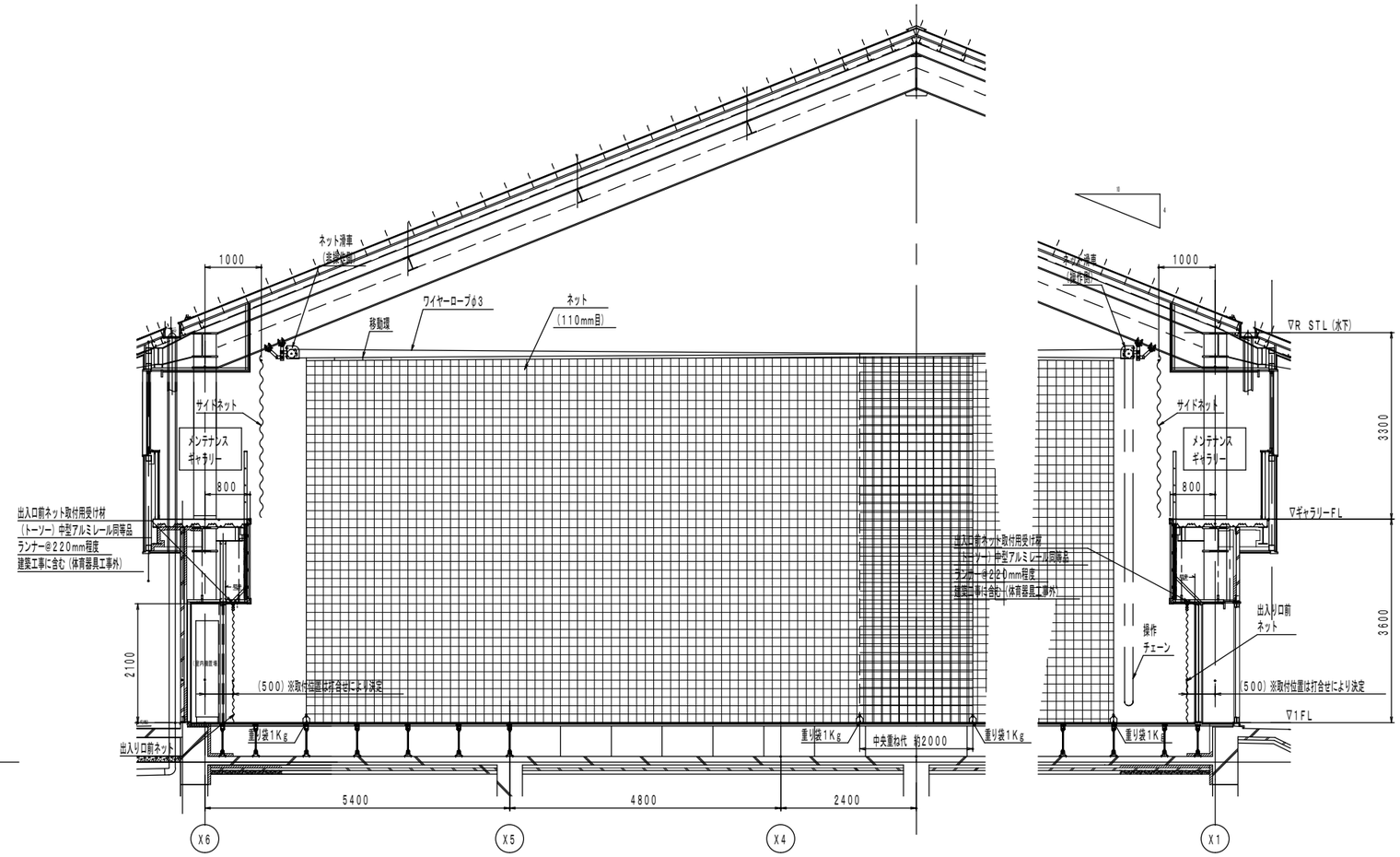


出入り口前ネット取付詳細　参考図　S=1/10





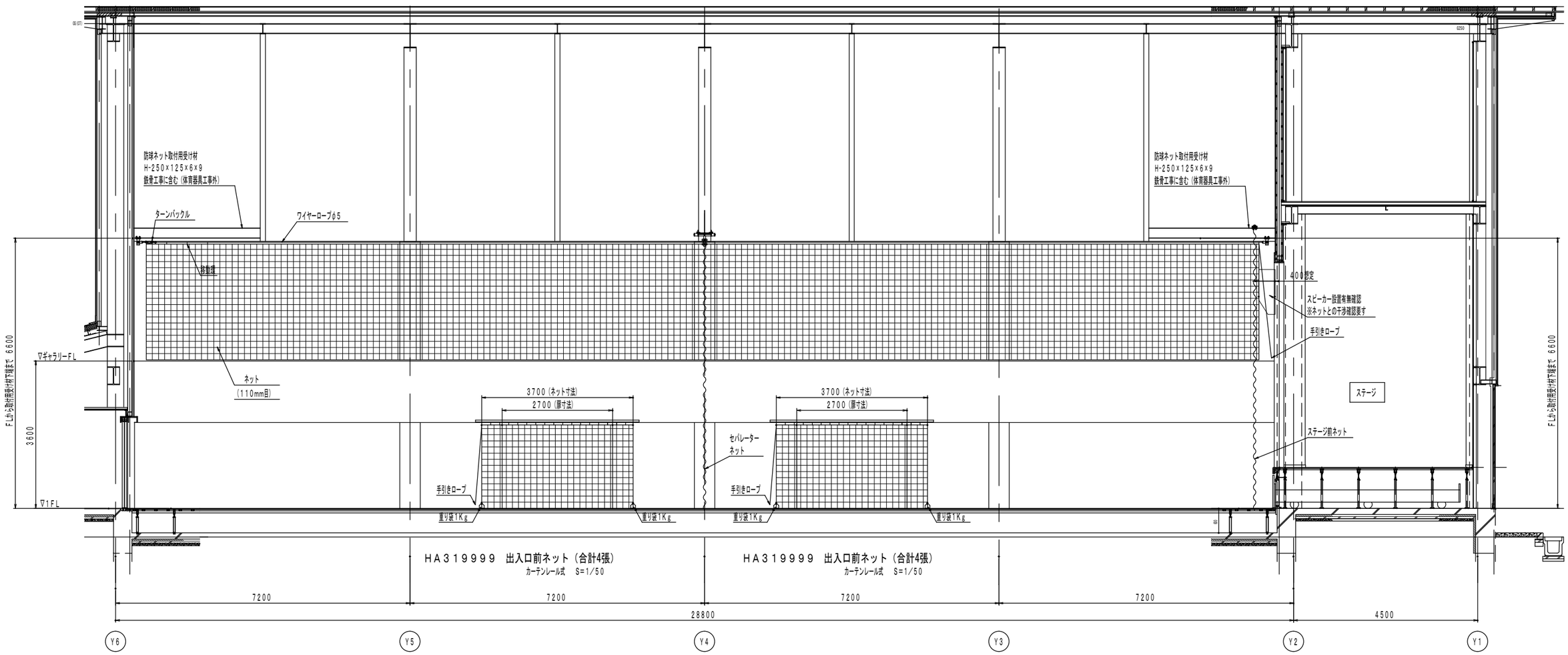
HA111000　ステージ前ネット　　片開きチェーン操作式　S=1/50



HA131000　セパレーターネット　　両開きチェーン操作式　S=1/50

他メーカー同等仕様可

設計図		担当・資格等		Sport of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第2130105号 管理建築士　三宮伸輔　一級建築士 第31104号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島恵人	岩根敦 一級建築士 第307376号			図面名	体育器具詳細図4	縮尺 A1:図示A3:図示		A-311
						設計年月日	令和7年5月			



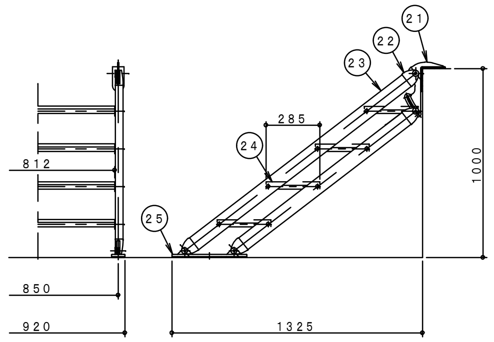
HA311000 サイドネット　片開き手引式 S=1/50

※本図はX6通り側を示す

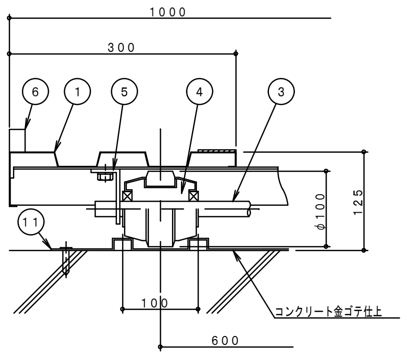
他メーカー同等仕様可

設計図		担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島慶人	岩根敦 一級建築士 第337378号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21101315号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第331084号		図面名	体育器具詳細図S　縮尺 A1:図示A3:図示		A-312
						設計年月日	令和7年5月		

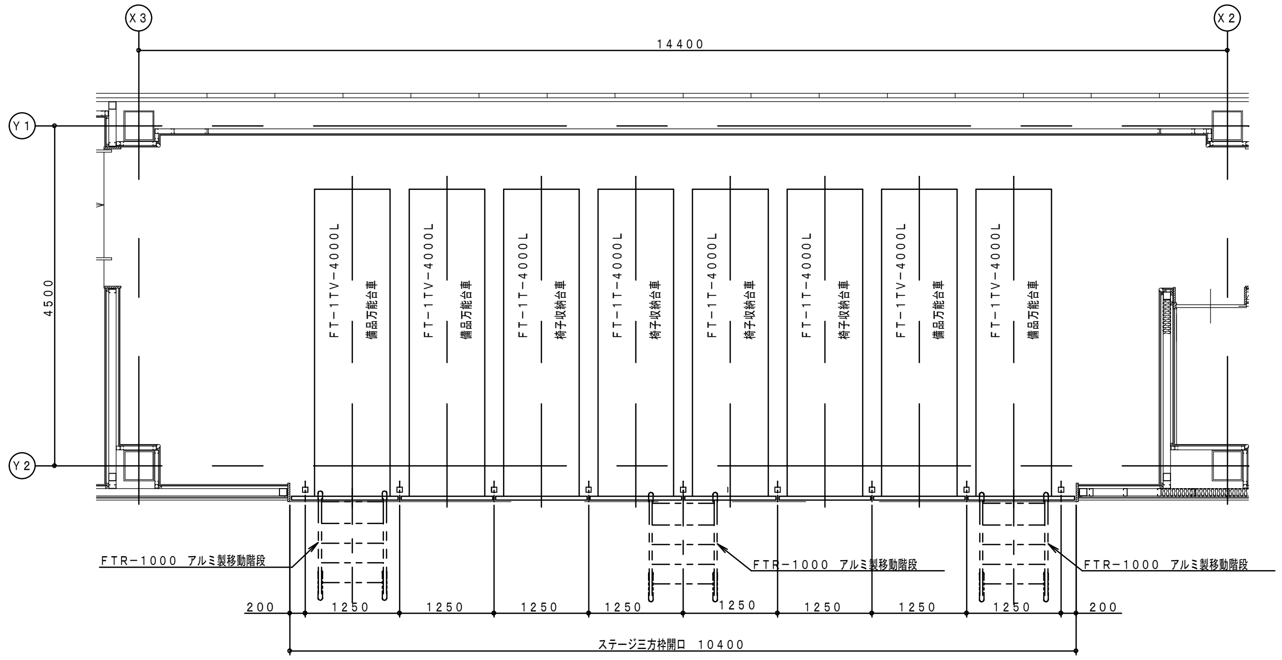
主構成部品			
NO	品名	材料	表面処理
21	トップハンガー	アルミ鋳物	焼付塗装
22	バーヘッド	アルミダイカストA2014S−T5	アルマイト処理
23	フレーム	アルミ押出形材A6063S−T5	アルマイト処理
24	踏板	アルミ押出形材A6063S−T5	アルマイト処理
25	シューズ	アルミ鋳物	焼付塗装



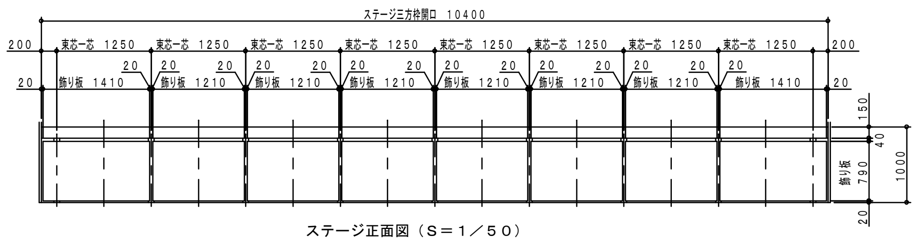
アルミ製移動階段　FTR−1000型　　3台設置（S＝1／20）



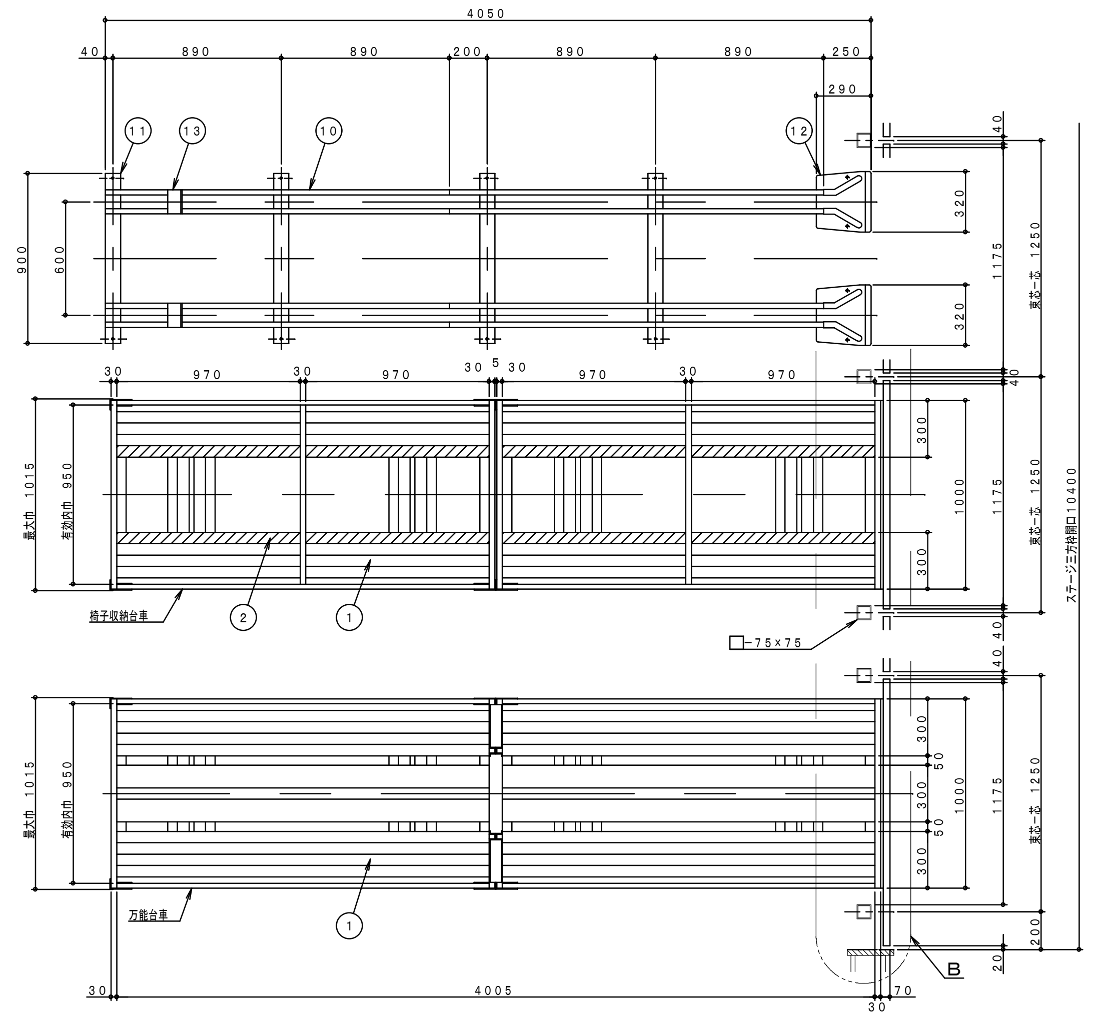
レール、レール床、車輪関係図
（S＝1／5）

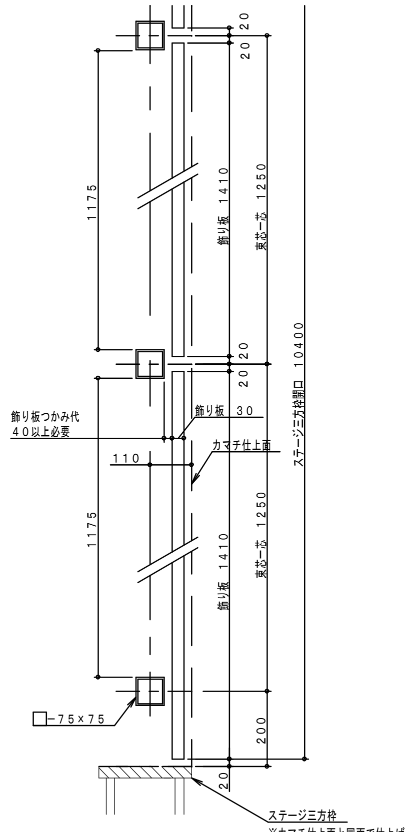


台車収納時平面配置図（S＝1／50）

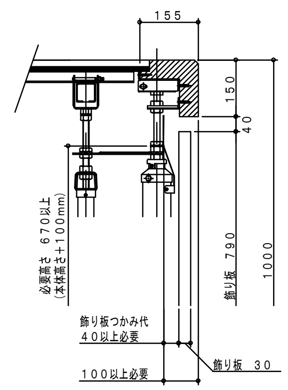


ステージ正面図（S＝1／50）

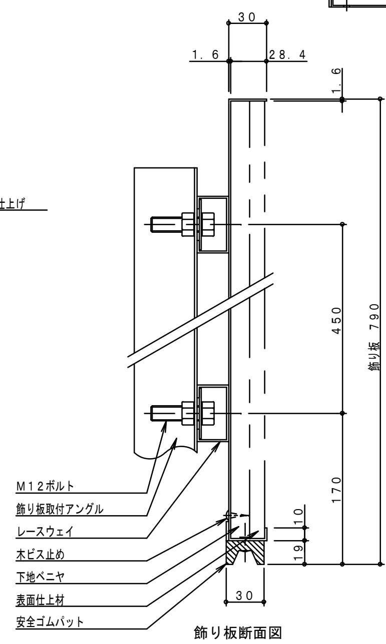




B部取合図（S＝1／10）



A部詳細図（S＝1／10）

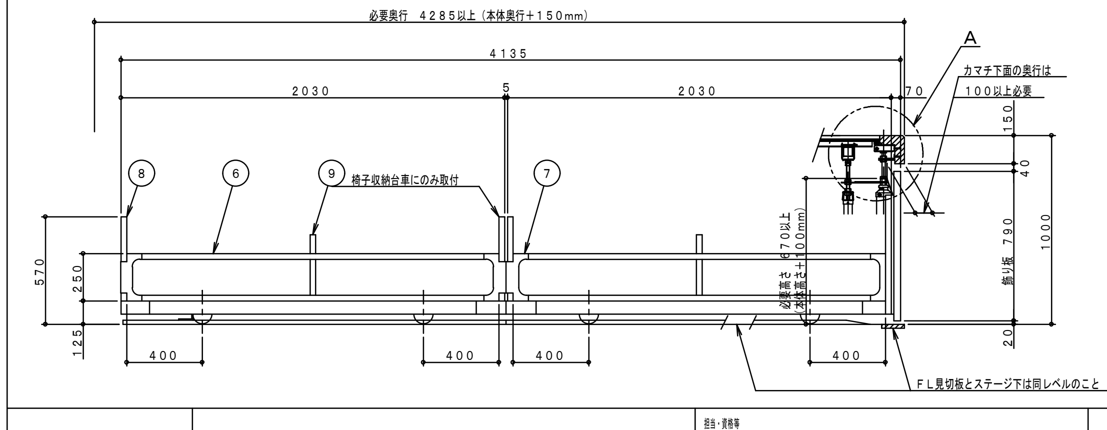


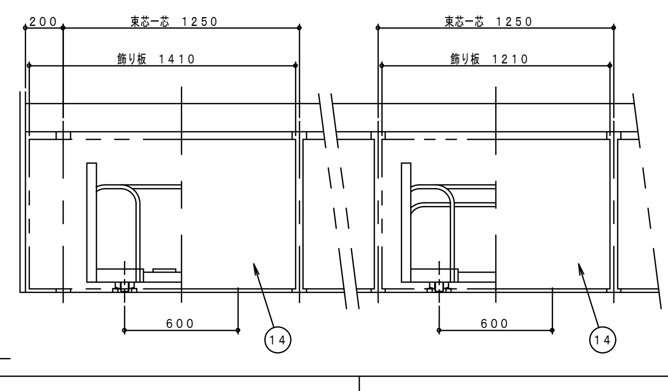
飾り板断面図
（S＝1／3）

主構成部品			
NO	品名	材料・加工	表面処理
1	床板	亜鉛メッキ鋼板t0.9を曲げ加工	亜鉛メッキ
2	椅子滑り	ポリエチレン樹脂発泡材	
	止め		
3	車軸	機械構造用炭素鋼鋼管φ20×t2.5	亜鉛メッキ
4	車輪	冷延鋼板t2.0をプレス加工した後、その	
		外周に合成ゴムを焼付けした一体型	
		車輪（軸受部はベアリング嵌合）	
5	軸受	熱延鋼板t4.5を曲げ加工	焼付塗装
6	サイド枠	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工	亜鉛メッキ
		30×20×t1.2	
7	ジョイント	亜鉛メッキ鋼板t1.6を曲げ加工	亜鉛メッキ
	コネクター		
8	ハンドル	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工	亜鉛メッキ
		30×20×t1.2	
9	椅子倒れ	亜鉛メッキ鋼板をフォーミング加工	亜鉛メッキ
	止め	30×20×t1.2	
10	レール	亜鉛メッキ鋼板t1.6をフォーミング加工	亜鉛メッキ
11	枕板	亜鉛メッキ鋼板t1.6をプレス加工	亜鉛メッキ
12	車輪ガイド	熱延鋼板t1.6をプレス加工	焼付塗装
13	ストッパー	一般構造用圧延鋼板t6.0を曲げ加工	焼付塗装
14	飾り板	熱延鋼板製額縁の中に木製パネルをはめこんだもの	黒色焼付塗装

備考

1　製作数　　4列　4輌　（フジトラックFT−1T−4000L）椅子収納台車
2　製作数　　4列　4輌　（フジトラックFT−1TV−4000L）万能台車
3　製作数　　　3台　（FTR−1000）アルミ製移動階段
4　椅子収納脚数　　80脚程度／輌　（但し折り畳み椅子の厚さは50mm以下で積算）
5　製品総重量　　約170kg／輌　（FT−1T−4000L　椅子収納台車）
約175kg／輌　（FT−1TV−4000L　万能台車）
約35Kg／台（FTR−1000　アルミ製移動階段）

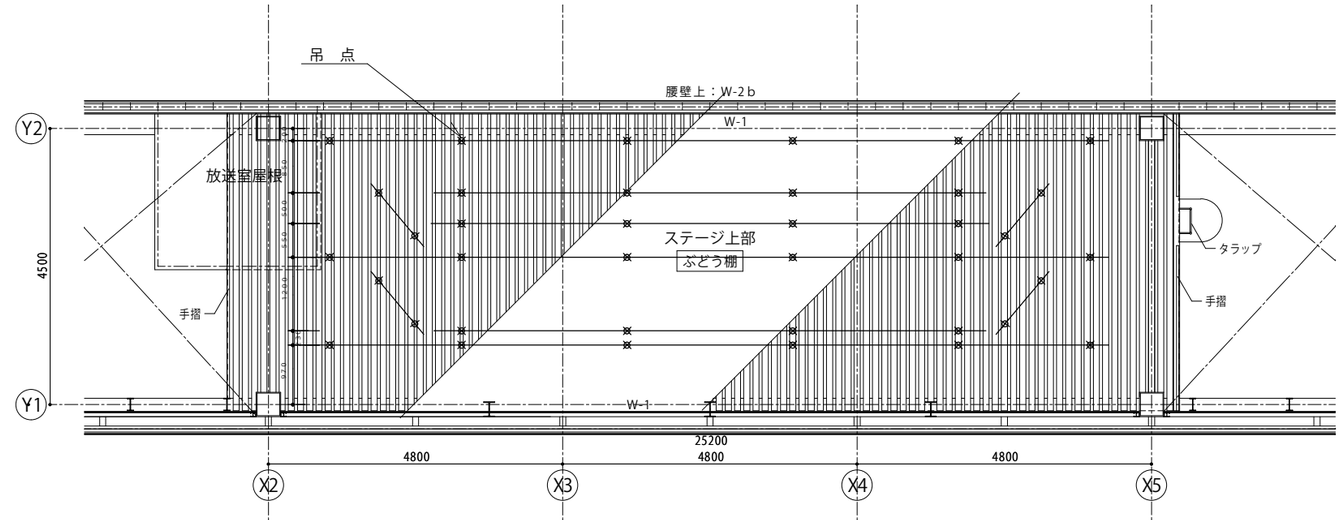


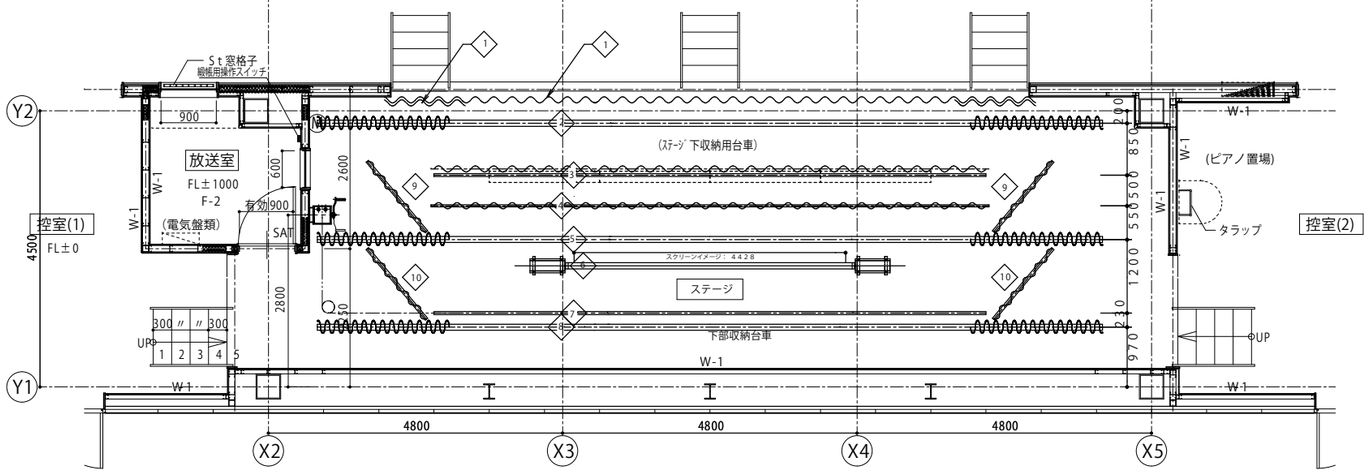


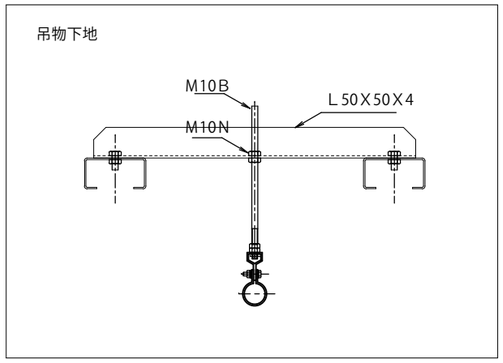
他メーカー同等品仕様可

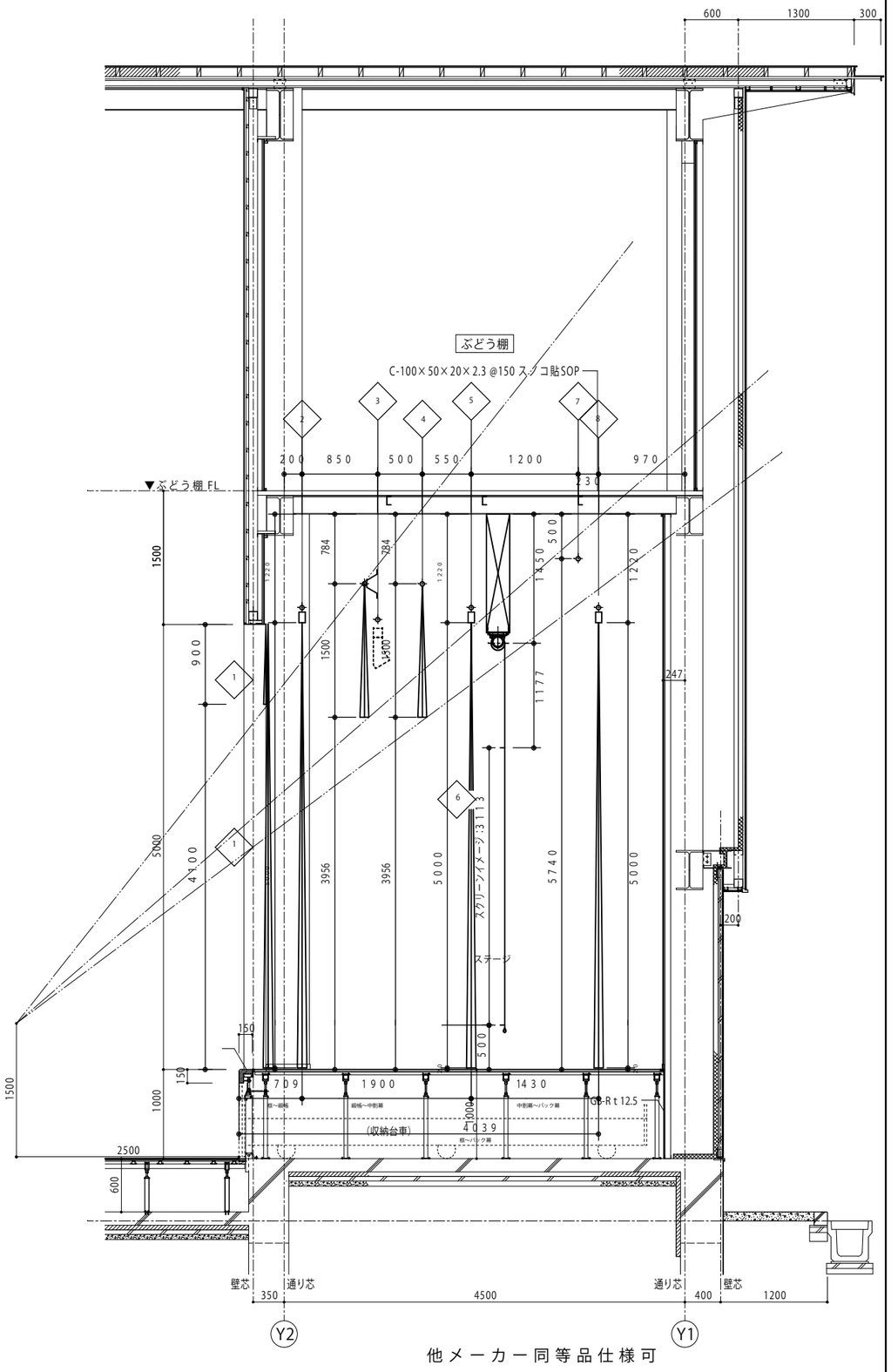
設計図	担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit of Place 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士　江田紳輔　一級建築士 第301848号		図面名	収納台車詳細図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100		A-313
					設計年月日	令和7年5月			

■舞台吊物設備図　-1









他メーカー同等品仕様可

矩計図２　S=1/30

※１ 構造に関する内容は構造図による。

設　計　図	担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
	福島　直人	岩根数 一級建築士 第337378号			図面名	舞台機構詳細図 1	縮尺 A1:1/30 A3:1/60		A-314
					設計年月日	令和 7年 5月			

■舞台吊物設備図　-2

舞台機構設備　仕様表

吊物機構設備

番号	装置名		数量	バトン等 長さ（mm）	バトン等 径等（mm）	ストローク（mm）	駆動方式	速度 (m／min)	速度 (cm／s)	電動機 容量（kw）	電動機 制御方式	吊ワイヤーロープ 径×吊点数	質量（kg） バトン等	質量（kg） フライダクト等	質量（kg） 幕地	質量（kg） その他	質量（kg） 積載	質量（kg） 合計	自動停止ヶ所	備考
1	一文字幕		1	－	－	－	木枠に釘打ち固定	－	－	－	－	－	0	0	20	0	0	40	－	－
	袖幕		1	－	－	－	木枠に釘打ち固定	－	－	－	－	－	0	0	20	0	0			
2	引割緞帳	固定	1	11400	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 6	50	0	90	0	0	210	－	－
		開閉	1	11400	レール	－	電動開閉式　1φ100V	－	－	0.2	直入れ	－	70						－	
3	ボーダーライトバトン（カスミ幕－1共吊）		1	9100	φ27.2	－	共吊り式	－	－	－	－	－	20	90	20	0	80	240	－	－
			1	9000	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	φ4.0 × 4	30						－	
4	カスミ幕－2		1	9100	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 4	30	0	20	0	0	50	－	－
5	中割幕	固定	1	11400	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 6	50	0	90	0	0	210	－	－
		開閉	1	11400	レール	－	手動紐引き開閉式	－	－	－	－	－	70						－	
6	スクリーン		1	－	－	－	電動巻取り式　1φ100V	約10	約16.6	0.1	直入れ	－	100	－	－	－	－	100	2	仕様はスクリーンメーカーによる、スクリーンイメージ：200インチ16：9（W4428×H2491）/約200インチ4：3（W4064×H3048）兼用、継ぎ目有り
7	吊物バトン		1	9000	φ42.7	4200	手動ウィンチ昇降ワイヤードラム巻取り式	－	－	－	－	φ4.0 × 4	30	0	0	0	210	240	－	－
8	バック幕	固定	1	11400	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 6	50	0	90	0	0	210	－	－
		開閉	1	11400	レール	－	手動紐引き開閉式	－	－	－	－	－	70						－	
9	見切り幕－1（上手・下手）	固定	2	1500	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 2	10	0	10	0	0	30	－	－
		開閉	2	1500	レール	－	手動紐引き開閉式	－	－	－	－	－	10						－	
10	見切り幕－2（上手・下手）	固定	2	1500	φ42.7	－	固定吊り式	－	－	－	－	Φ4.0 × 2	10	0	10	0	0	30	－	－
		開閉	2	1500	レール	－	手動紐引き開閉式	－	－	－	－	－	10						－	

幕設備　（※別途備品工事）

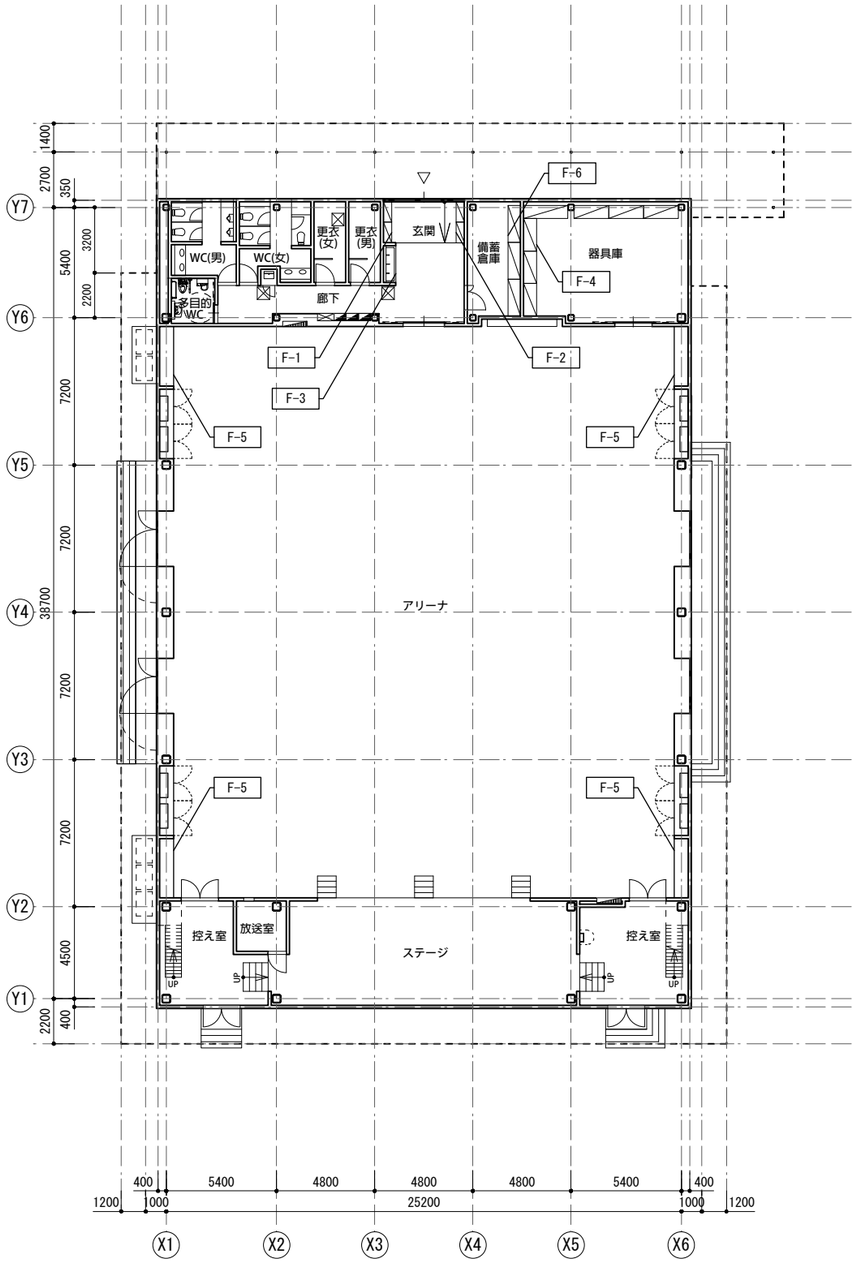
番号	装置名	数量	寸法 W（mm）×H（mm）	幕地仕様	備考
1	一文字幕	1	11000 × 900	貫八別珍　2倍箱ヒダ	裏地付き、フレンジ3寸付、φ450本刺繍校章付
1	袖幕	1対	1300 × 5000	貫八別珍　2倍ヒダ	裏地付き、フレンジ5寸付
2	引割緞帳	1対	6700 × 5200	貫八別珍　2倍ヒダ	裏地付き、フレンジ5寸付
3	カスミ幕－1	1	9100 × 1500	貫八別珍　2倍ヒダ	－
4	カスミ幕－2	1	9100 × 1500	貫八別珍　2倍ヒダ	－
5	中割幕	1対	6700 × 5200	貫八別珍　2倍ヒダ	－
7	バック幕	1対	6700 × 5200	貫八別珍　2倍ヒダ	－
9	見切り幕－1（上手・下手）	1対	1500 × 5200	貫八別珍　2倍ヒダ	－
10	見切り幕－2（上手・下手）	1対	1500 × 5200	貫八別珍　2倍ヒダ	－

工事区分表

工事内容 ＼ 工事区分	建築工事	舞台機構	電気設備工事
吊物昇降装置製作及び取付工事		○	
バトンパイプ・吊金物の製作及び取付工事		○	
すのこ（ブドウ棚）工事	○		
すのこ（ブドウ棚）上部吊上フック及び機器搬入口工事	○		
（一文字幕）幕地取付用　木ブレート	○		
すのこ（ブドウ棚）上作業灯			○
一次側電源引き込み工事			○
二次側電気配線用　躯体貫通スリーブ及び埋設配管		○	
舞台機構制御盤から各昇降装置までの電気配管配線工事		○	
舞台機構制御盤から舞台機構操作盤までの電気配管配線工事		○	
操作盤取付部　仕上げ開口処理	○		
昇降ライトバトン用給電設備及び架台製作取付工事			
昇降ライトバトン用器具の製作及び取付工事			
（スクリーンを除く）舞台映像設備に関する一切			○
舞台音響に関する一切			○
諸幕類の製作及び吊込工事			（※別途備品工事）
足場及び養生	○		
各装置の揚重機手配 及び揚重	○		
工事用電源	○		
その他記載なき事項	○		

他メーカー同等品仕様可

設計図	担当・資格等	岩根敦 一級建築士 第337378号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
					図面名	舞台機構詳細図 2	縮尺 A1:1/30 A3:1/60		A-315
					設計年月日	令和 7年 5月			



N

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	家具キープラン	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		A-316
						設計年月日	令和7年5月			

共通仕様　「 図面中に特記なき所は下記の仕様とする。」

A１：１／２
A３：１／４

１ 本体・棚板　室内ＶＯＣ（ ホルムアルデヒド等 ）の低減効果と抗菌機能を持った可視光増感型触媒を工業的に配合した
両面メラミン化粧パーティクルボード 厚さ２０mm、Ｆ☆☆☆☆を使用する。
両面メラミン化粧パーティクルボード は、ＪＩＳ－Ａ５９０８適合、グリーン購入法適合品とし、
新ＪＩＳマーク認定工場での生産品とする。

２ 木口処理　躯体からの水分浸入を防ぐ為に、本体は背面も含めてフラットエッジ（ ＡＢＳ製樹脂をホットメルト練付 ）加工とする。
開き扉・抽斗前板はセフティーエッジ（ ＡＢＳ製　厚さ３mm又は木樹脂　厚さ２mm　ホットメルト練付 ）加工とする。

３ 表面処理　本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制する為に鉛筆硬度　９Ｈ　以上の表面材を使用する。
本体色については色見本帳（ ４２色以上 ）を提出の上決定する。

４ 裏板　ポリ化粧合板　Ｆ☆☆☆☆　厚さ４mm　を使用し片面フラッシュ（ ４５０mm　ピッチ以内に格子状桟組構造 ）とする。

５ 巾木・台輪　耐水性があるポリ化粧合板仕上げ　Ｆ☆☆☆☆（ 塗装不要 ）とする。

６ 建具　板戸・戸枠はくるいやホゾ抜け防止の為、１枚物の両面メラミン化粧パーティクルボード 厚さ２０mmで製作する。

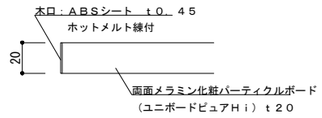
７ 把手・蝶番　抗菌機能のある樹脂成型品（ ＡＢＳ製 ）把手・引手を使用する。
蝶番はメンテナンスが容易なキャッチ機構付１１０°開きインターマートヒンジを使用する。

８ 棚板受け　安全で外れにくいネジ込み式で、錆びにくいステンレス製ダボ　Ø８－Ｍ６を使用する。
棚板は、外れ止めの為のダボ受けシャクリ加工をする。

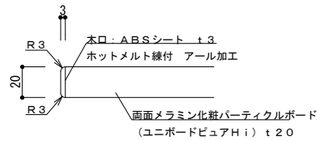
９ 特記事項　製作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全データシートを提出し、素材・金物の承認を受ける。
室内空気清浄保持の為に、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のＶＯＣ測定データを提出する。

本体と壁の固定方法
下げ振り等で製品の垂直を確認し、壁の種類毎に固定金具を使い分けて施工する。
躯体：各種アンカーボルト、板金プレート止め
LGS・木下地・他：タッピングビス止め

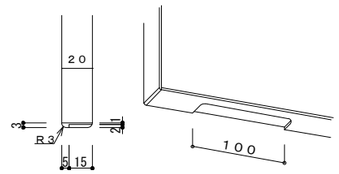
フラットエッジ



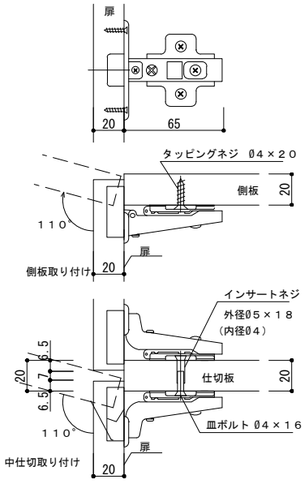
セフティーエッジ



掘り込み手掛け詳細

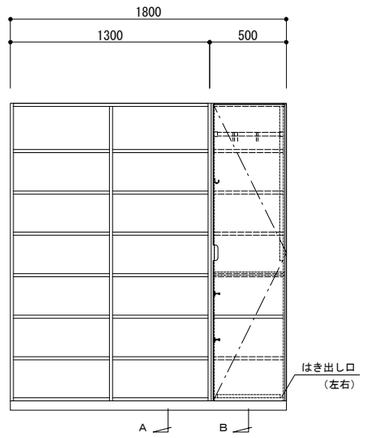


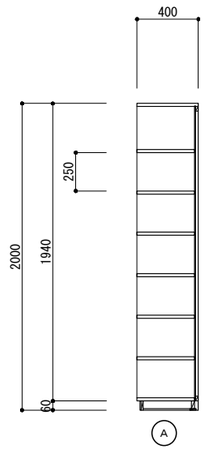
キャッチ機構付インターマートヒンジ１１０°詳細図

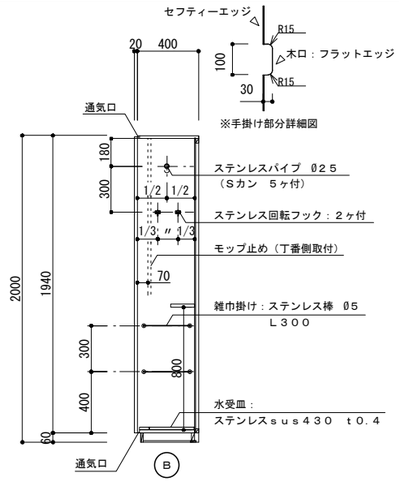


Ｆ－１　下足入れ・掃除用具入れ　１階　玄関　１ヶ所

A１：１／２０
A３：１／４０

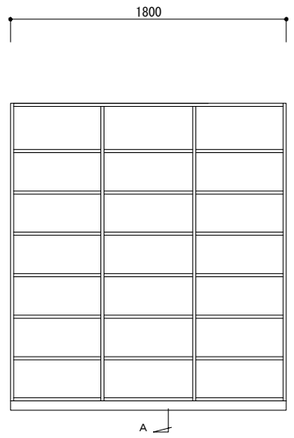


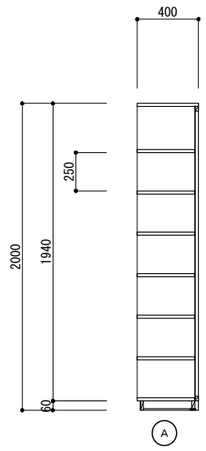




Ｆ－２　下足入れ　１階　玄関　１ヶ所

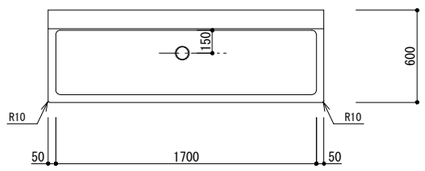
A１：１／２０
A３：１／４０

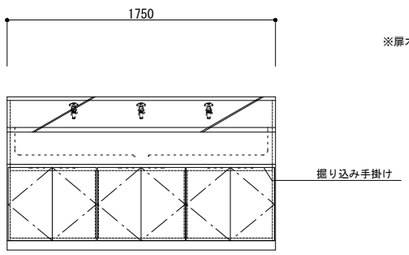




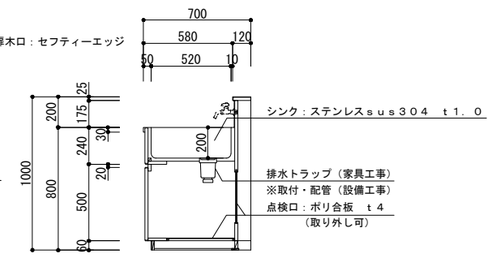
Ｆ－３　流し台　１階　玄関　１ヶ所

A１：１／２０
A３：１／４０



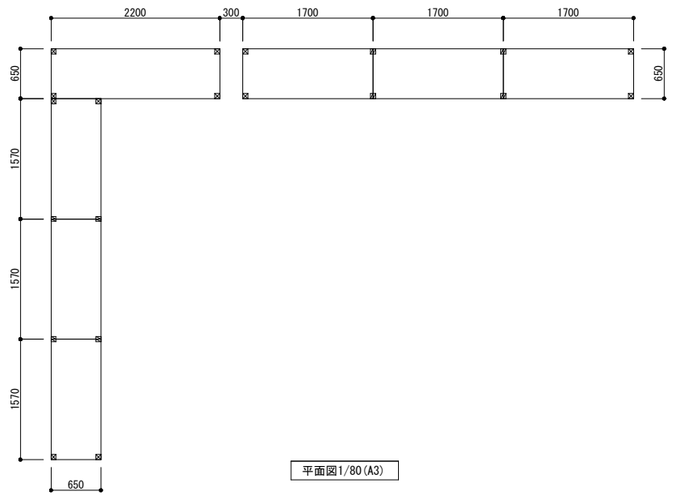


※扉木口：セフティーエッジ

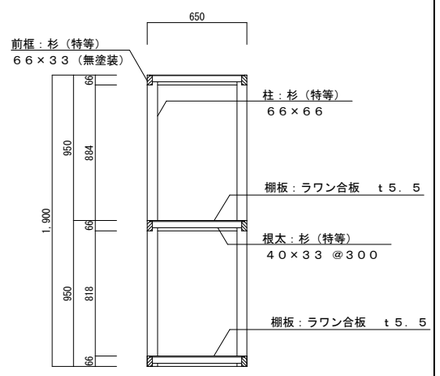


Ｆ－４　木製棚　１階　器具庫　１ヶ所

A１：１／２０
A３：１／４０



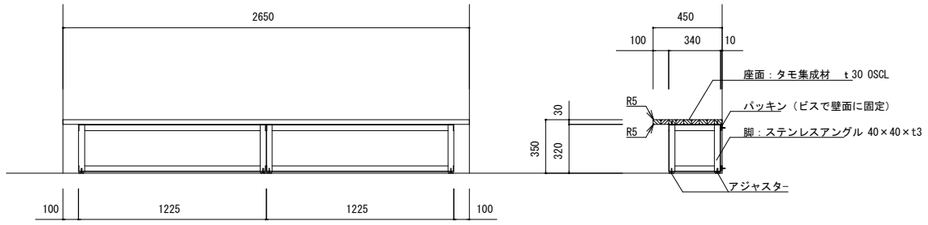
平面図1/80(A3)



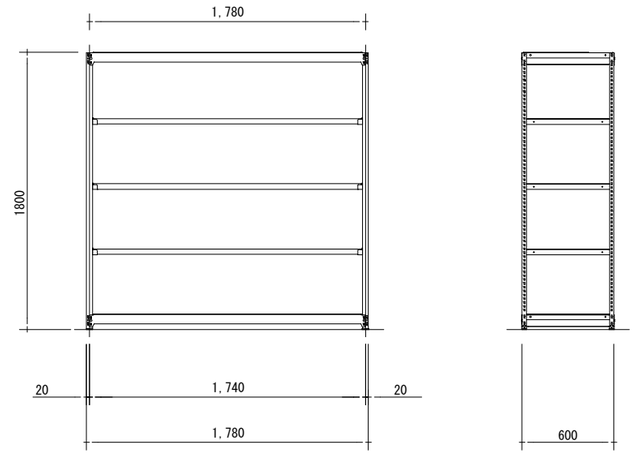
断面図1/40(A3)

設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸樹 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	家具詳細図1　縮尺 A1:図示 A3:図示	A-317
						設計年月日	令和7年5月	備考

F－5	木製ベンチ	１階　　アリーナ　　４ヶ所	A１：１／２０ A３：１／４０



F－6	鋼製棚（軽量ラック）	１階　　備蓄倉庫　　３ヶ所	A１：１／２０ A３：１／４０



部　品　名	材　質	備考及び図番
支柱	スチール	焼付塗装
棚板	スチール	焼付塗装
上下段棚受	スチール	焼付塗装
棚受	スチール	焼付塗装
ビーム	ステンレス	焼付塗装
樹脂ベース	ポリプロピレン	
ファスナー	６ナイロン	

*棚板１枚当たりの耐荷重は１．４７ｋＮ(約１５０ｋｇｆ)
*棚板は２５ｍｍピッチで調整可能

設　計　図	担当・資格等	岩根敦 一級建築士 第337376号
	福島直人	

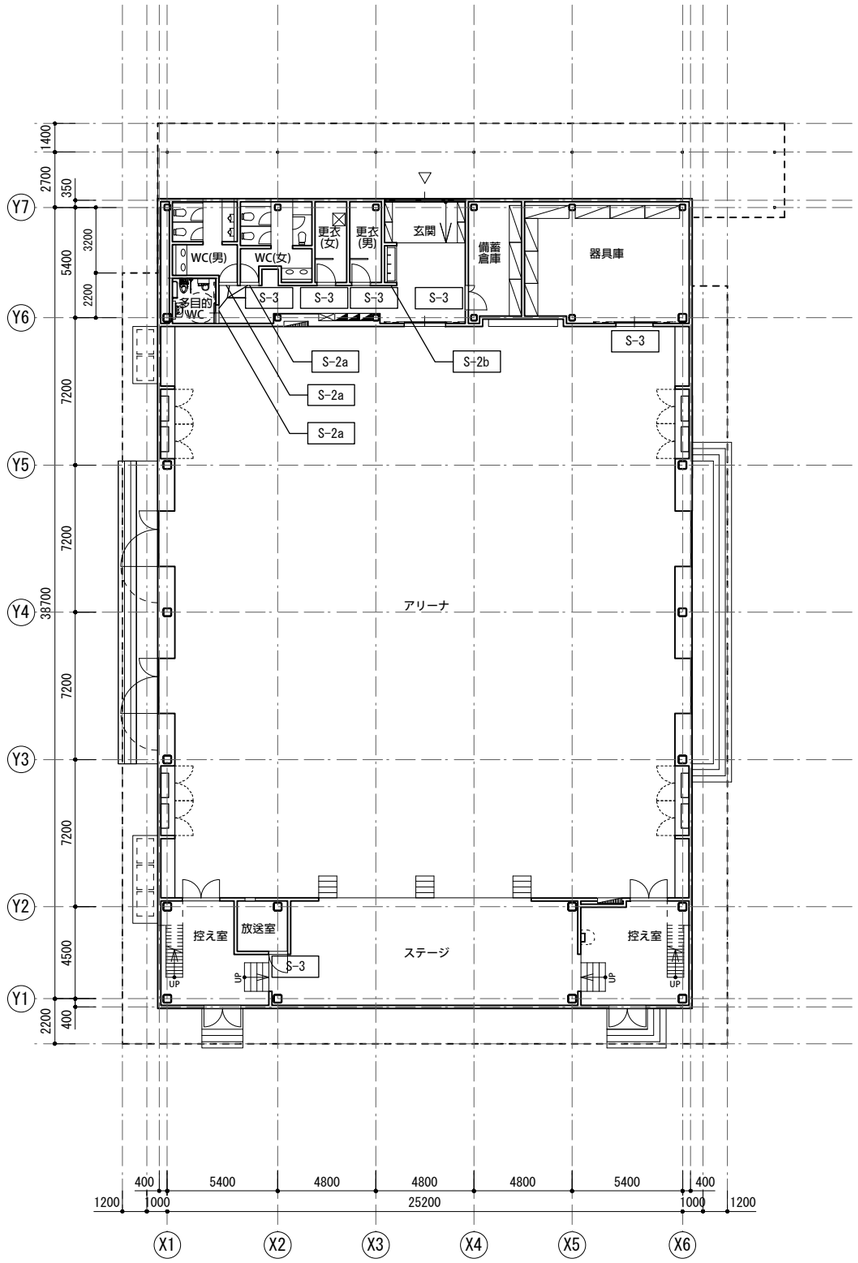
Spirit Of Place　関・空間設計
一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号
管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301848号

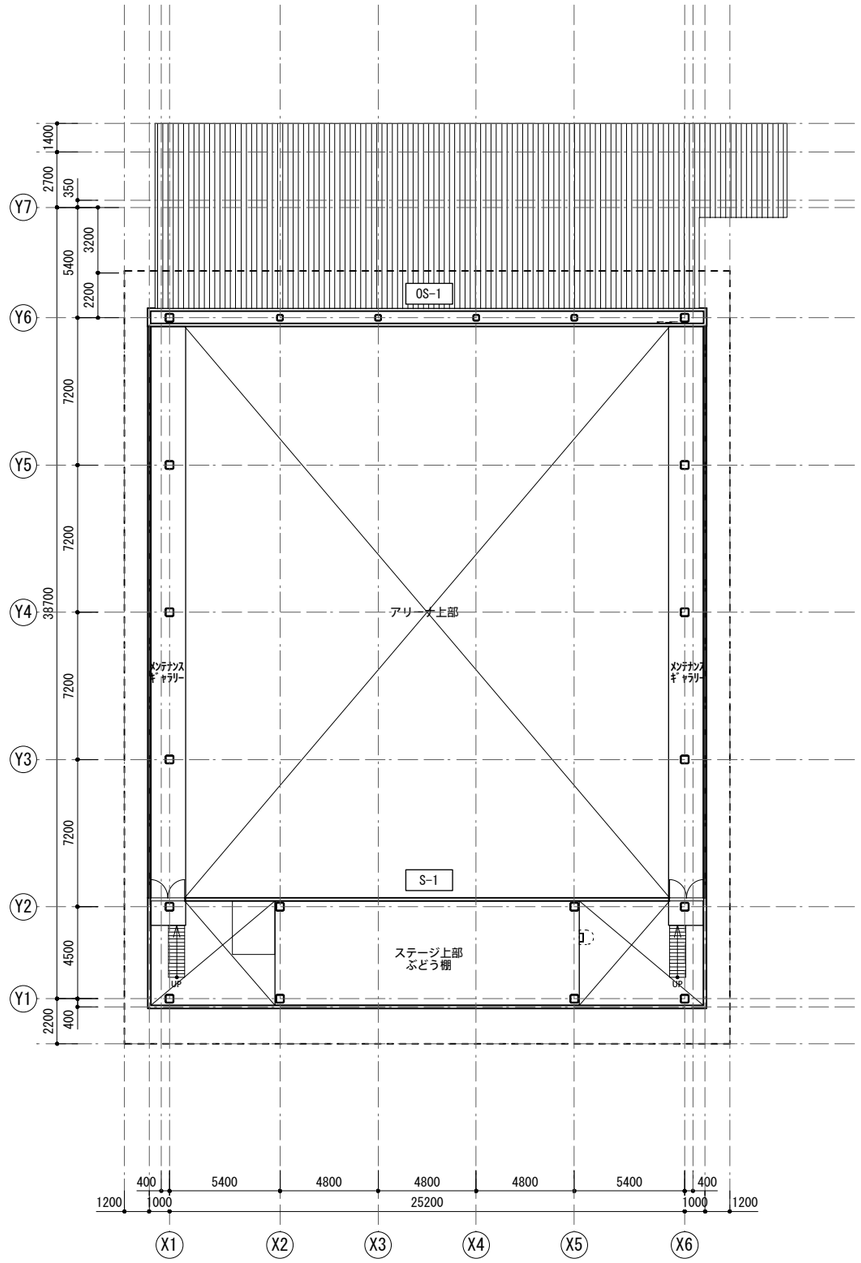
石巻市建設部建築課

工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		
図面名	家具詳細図2	縮尺	A1:図示 A3:図示
設計年月日	令和7年5月		

備考

図面番号　A-318

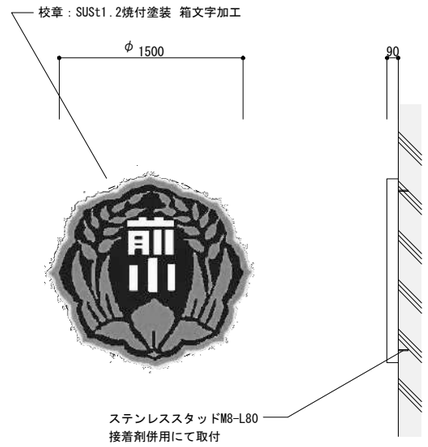




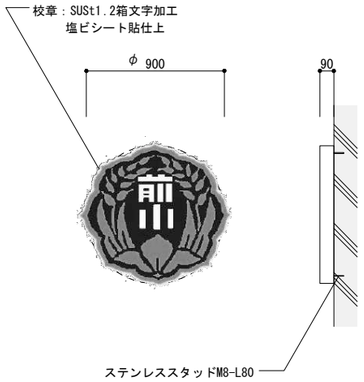
N

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301648号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	サインキープラン	縮尺 A1:1/150 A3:1/300		A-319
						設計年月日	令和7年 月			

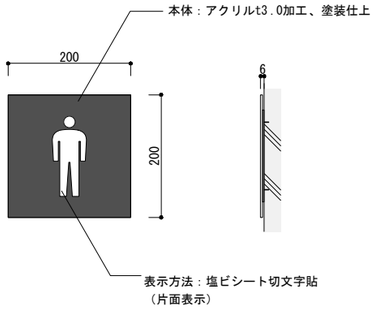
OS-1　校章サイン　S=1/50(A3)　数量1



S-1　校章サイン　S=1/40(A3)　数量1

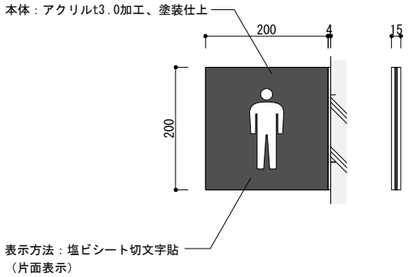


S-2a　ピクトサイン（平付）　S=1/10(A3)　数量3



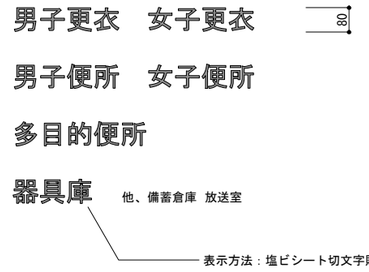
※表示内容は打合せにより決定する

S-2b　ピクトサイン（壁付）　S=1/10(A3)　数量1



※表示内容は打合せにより決定する

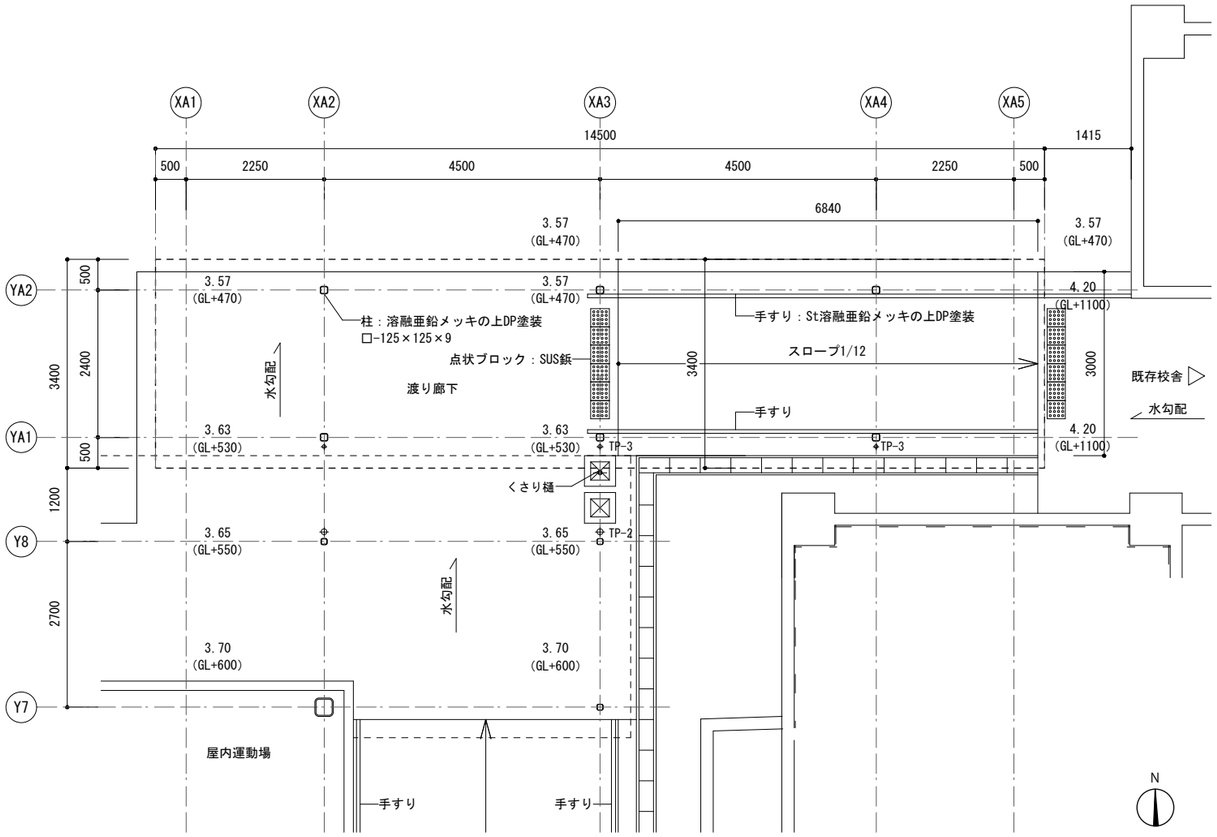
S-3　室名サイン　S=1/20(A3)　数量8



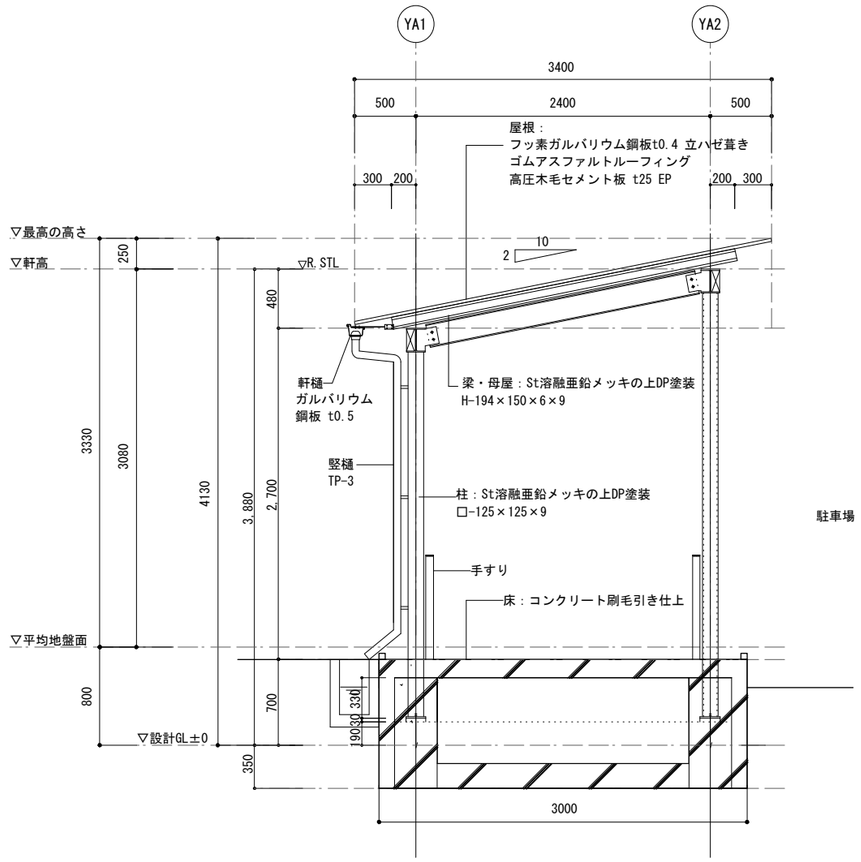
※建具に設置
※表示内容は打合せにより決定する

設 計 図	担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	図面番号
	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			A-320

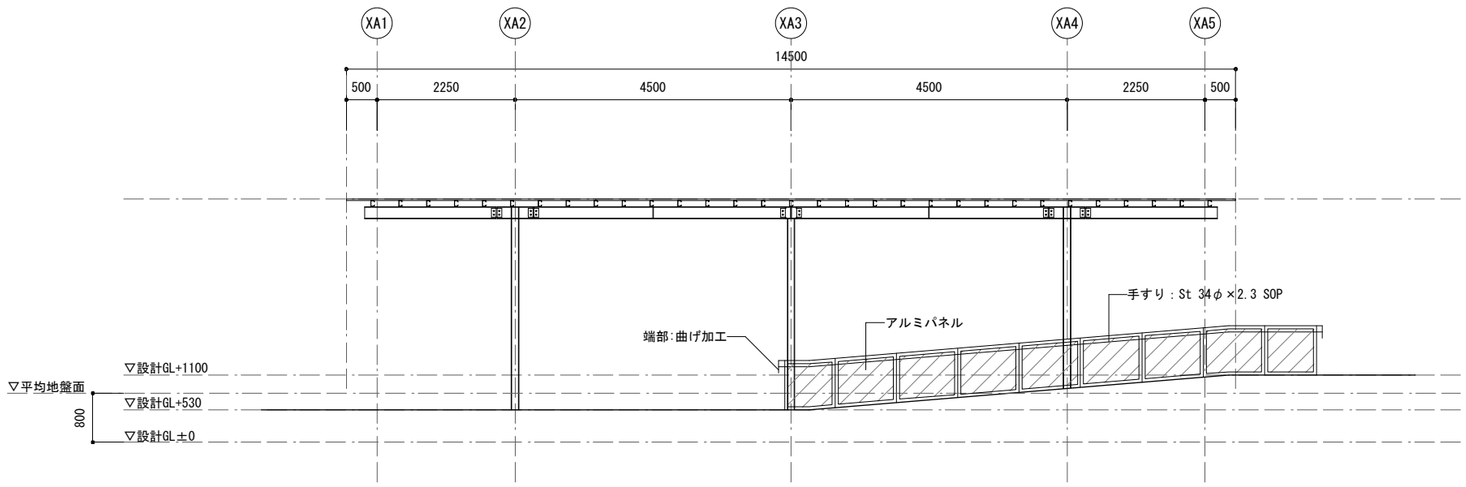
工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考
図面名	サイン詳細図	縮尺 A1:図示 A3:図示	
設計年月日	令和7年5月		



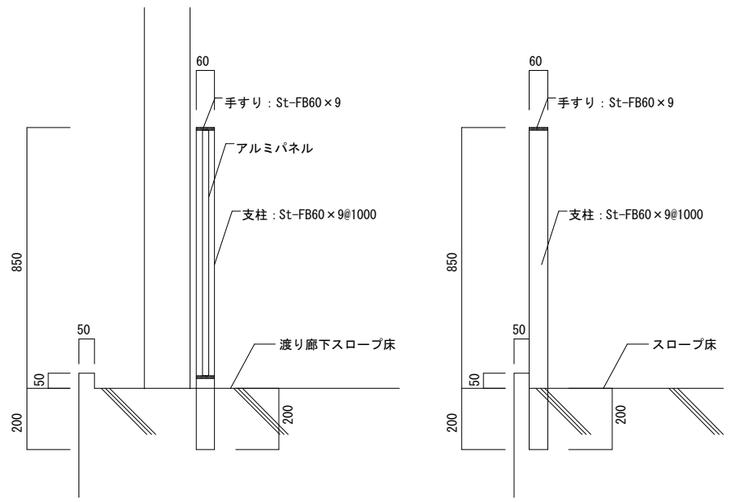
平面図 S=1/100(A3)



断面図 S=1/50(A3)



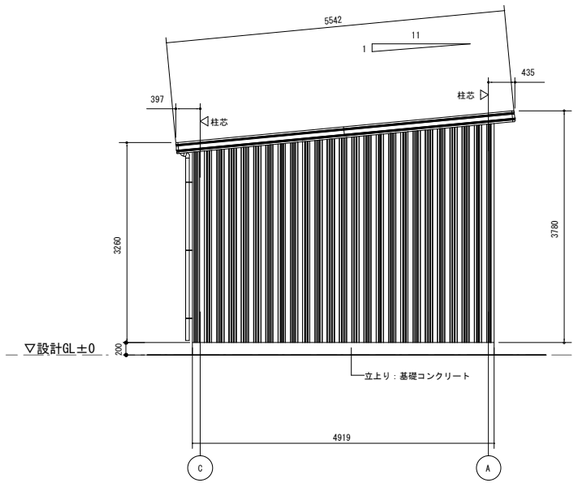
立面図 S=1/100(A3)



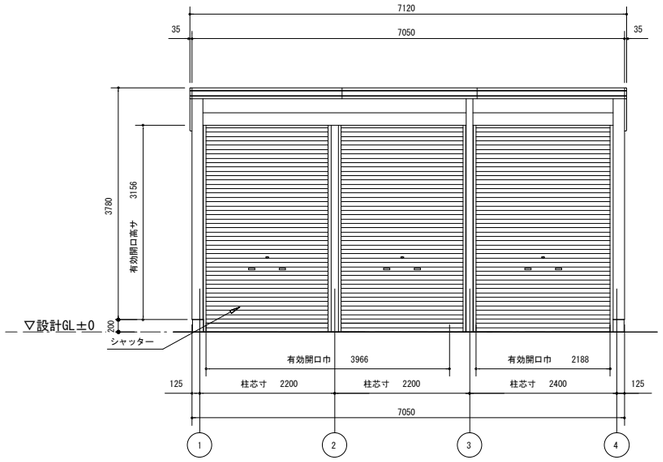
手すり詳細図 S=1/20(A3)

※鉄部は全て溶融亜鉛メッキの上ＤＰ
※躯体(基礎・鉄骨)は構造図による

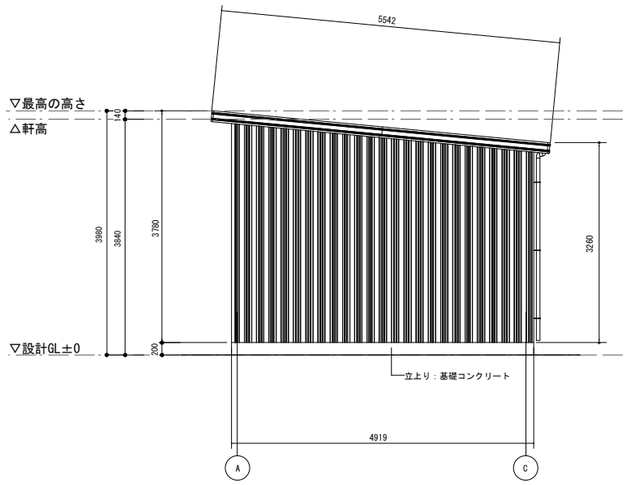
設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	渡り廊下詳細図	縮尺 A1:図示 A3:図示	A-401
						設計年月日	令和7年5月	備考	



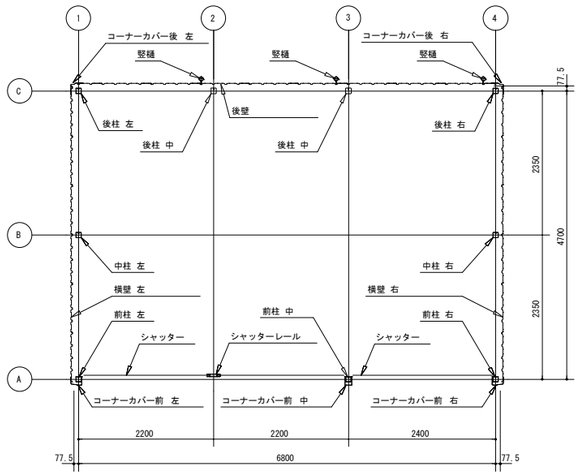
側 面 立 面 図　S=1/50



正 面 立 面 図　S=1/50

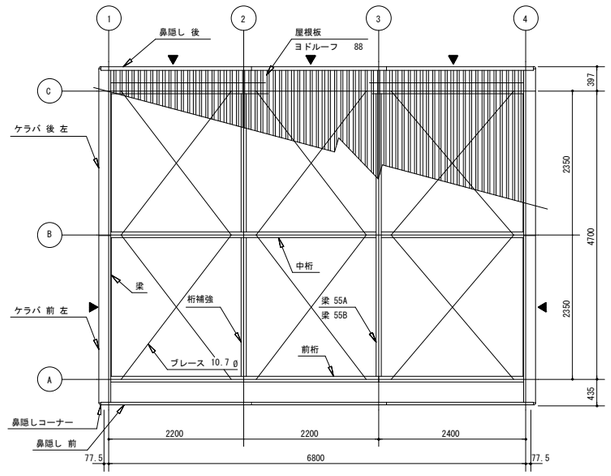


側 面 立 面 図　S=1/50



平　面　図　S=1/50

N



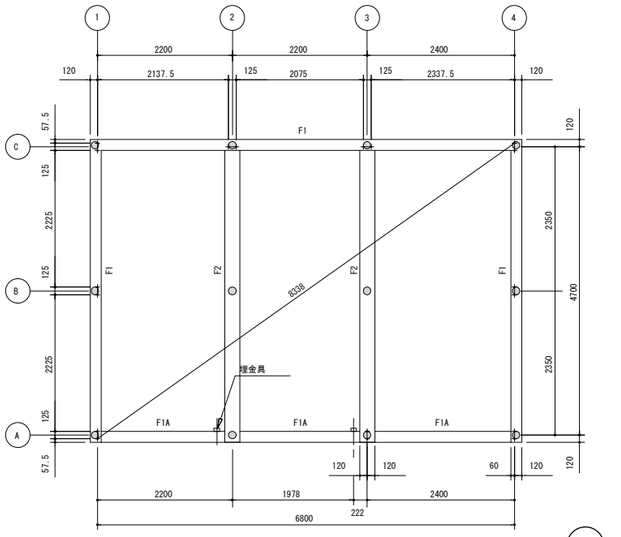
小 屋 伏 図　S=1/50

N

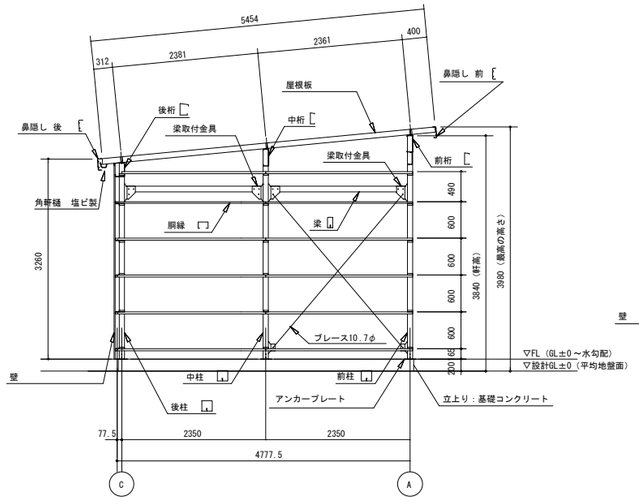
▶ は、ブレース10.7φとする。

※他メーカー同等品仕様可

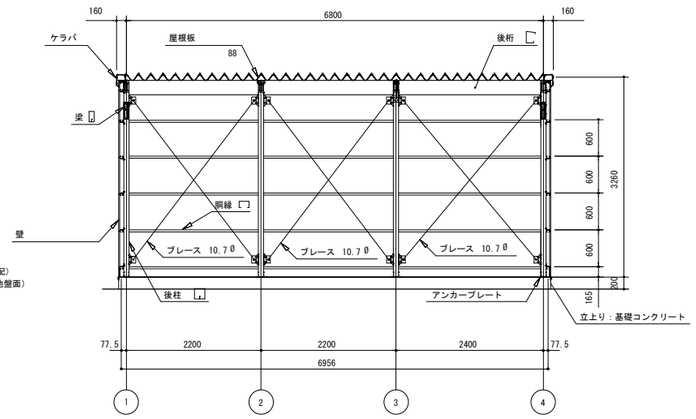
設　計　図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	外部倉庫詳細図1	縮尺 A1:1/50 A3:1/100		A-402
						設計年月日	令和7年5月			



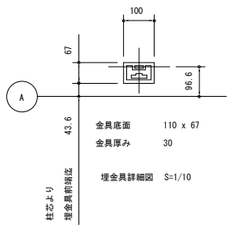
基 礎 伏 図 S=1/50



側面断面図 S=1/50



正面断面図 S=1/50



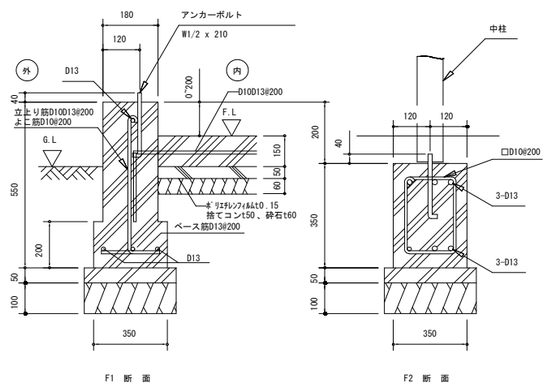
金具底面 110 x 67
金具厚み 30

埋金具詳細図 S=1/10

◎ 印は木杭φ120 L=6.0m（天端:GL-350）を示す 。
（仕様は渡り廊下構造図を参照）

■建築面積・床面積（外部倉庫）

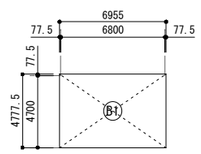
記号	計算式				面積（㎡）
B1	6.955	×	4.7775	=	33.227
				建築面積合計	33.22
B1	6.955	×	4.7775	=	33.227
				床面積合計	33.22



F1 断 面
（F1A立上り天端はFLまでとする）

F2 断 面

布基礎断面図 縮尺=1/10



外部倉庫求積図

（地耐力 50KN/m² 以上,コンクリート設計基準強度 18N/mm² 以上
基準風速 34m/s ，地表面粗度区分 Ⅲ）

アンカーボルトの止結は 、
ダブルナット等の戻り止め
を施す事。

SOB-8657FHAE型 特注（同等品可）

建築面積・床面積	33.22m²	（胴縁芯寸法）×（胴縁芯寸法）

構造耐力上主要な部分の部材

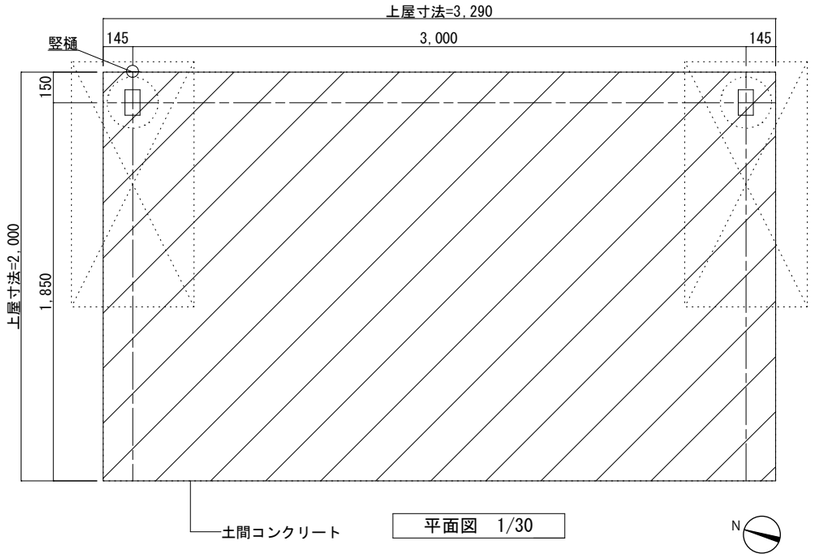
部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	― 85 x 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	120
梁	― 100 x 50	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
梁（ 55A 55B）	― 400 x 85 x 30	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁（前）	― 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁（中）	― 280 x 92 x 25	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	-
桁（後）	― 230 x 150 x 35	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	-
ブレース	―	10.7Ø	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	-
ターンバックル	―	10.7Ø用	JIS A5541 建築用ターンバックル胴 STKN400	-
アンカープレート	―	6.0mm	JIS G3101 一般構造用圧延鋼材 SS400	-

構造耐力上主要な部分以外の部材

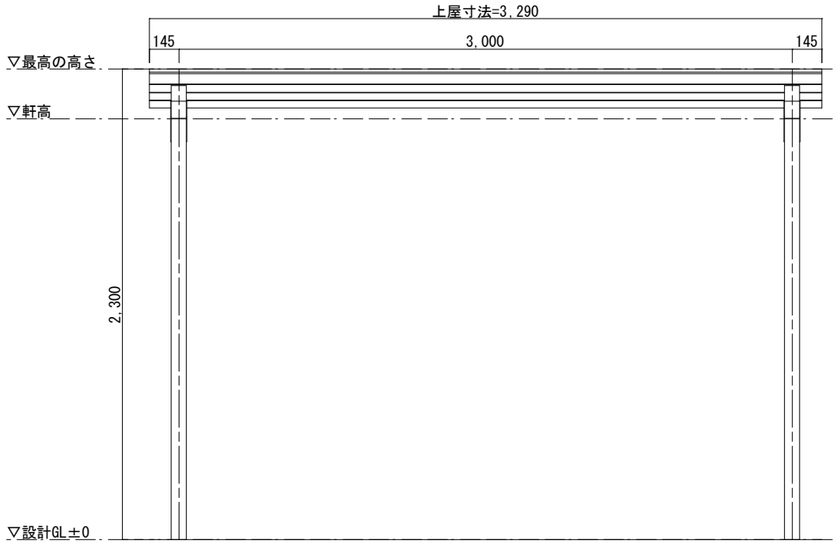
部材表	形状	板厚	使用材料
胴縁	― 54 x 33 x 10	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
屋根	-	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁	-	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し・ケラバ	-	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
桁補強（前）	-	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
桁補強（後）	-	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
シャッター	-	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
前板（H）	-	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
トイ	塩ビ製 角樋	-	-

※他メーカー同等品仕様可

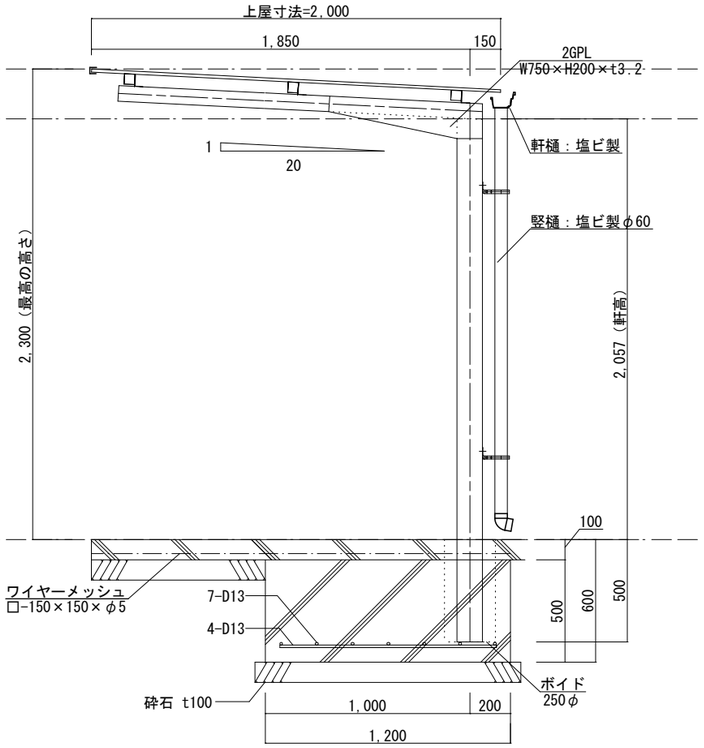
設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	外部倉庫詳細図2 縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A-403
						設計年月日	令和7年5月	備考



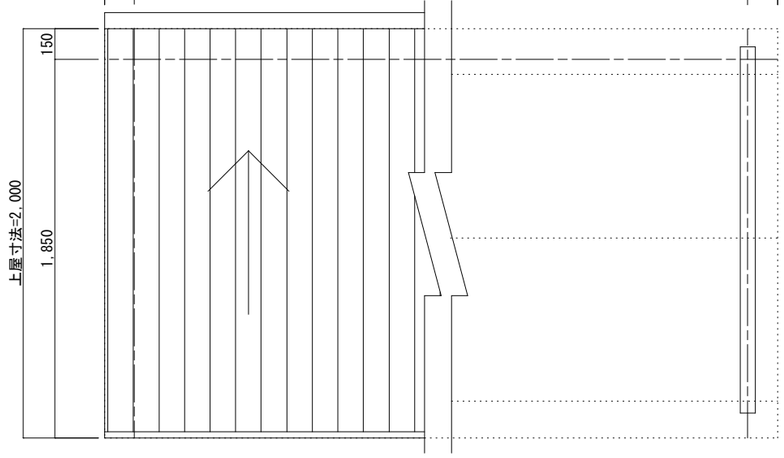
平面図　1/30



立面図　1/30



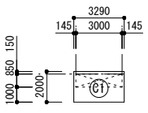
断面図　1/30



屋根伏・小屋伏図　1/30

仕　様

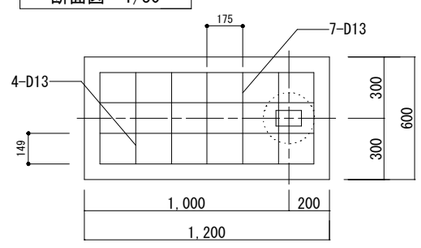
名　称	寸　法・仕　様	
柱梁間隔	図面に依る	
高　さ	2,300	
柱	□-125×75×2.3(高耐食性溶融めっき鋼板)	
梁	□-75×75×2.3（高耐食性溶融めっき鋼板）	
母　屋	□-50×50×1.6（高耐食性溶融めっき鋼板）	
屋根・型式呼称	サイレンスルーフ(塩ビ鋼板) DR-1797	NCE-B-15（同等品可）
雨　樋	軒樋：塩ビ製　竪樋：塩ビ製φ60	
塗　装	粉体焼付塗装	
積雪荷重	800N/m2（積雪量40cm）	
コンクリート	Fc-21N/mm2 ｽﾗﾝﾌﾟ18以下	
鉄　骨	SS400、STKR400	
鉄　筋	SD295A	



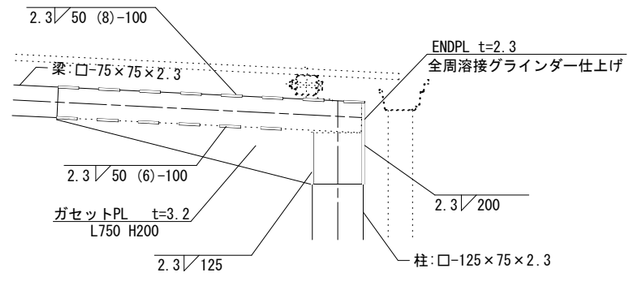
駐輪場求積図

■建築面積・床面積（駐輪場）

記号	計算式				面積（㎡）
C1	3.000	×	0.850	=	2.550
				建築面積合計	2.55
C1	3.290	×	2.000	=	6.580
				床面積合計	6.58



基礎伏図　1/30



ガセットPL取付詳細図　1/15

※他メーカー同等品仕様可

設　計　図		担当・資格等		関・空間設計	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337370号	一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号		図面名	駐輪場詳細図　縮尺 A1:1/50 A3:1/100	A-404
						設計年月日	令和7年5月	備考

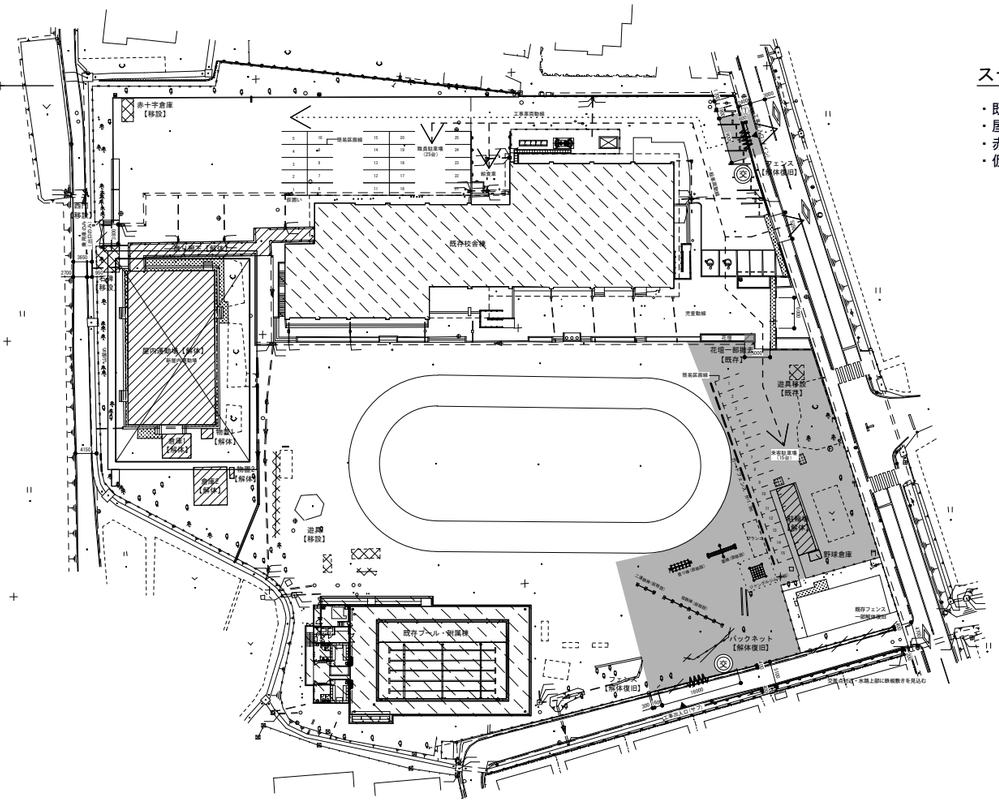
前谷地小学校屋内運動場改築工事設計業務　概略工事工程表

年		2025年									令和7年度										2026年			令和8年度										2027年		
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
累計月											1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
全体工程							準備	仮設	解体工事					本体工事（15ヶ月）											
既存屋内運動場等解体	解体工事							解体工事																	
屋内運動場新築 渡り廊下新築	建築工事																	屋根・防水工事							
																	外装仕上げ工事		外装塗装工事						
															鉄骨建て方・躯体						内装仕上げ工事		ユニット工事	各種検査	
														埋め戻し土間工事											
												掘削・基礎配筋・型枠・コンクリート													
								仮囲い		杭工事												外構工事			
	電気設備工事								電源関係切離し			埋設配管敷設		土間配管敷設				配線布設		天井照明及び各器具、火報弱電等				各種試験・検査	
	機械設備工事											基礎スリーブ		土間配管				給排水配管、空調機器関係配管			各種機器・器具類取付			各種試験・検査	
備考					△予算要求（市議会第2回定例会）	△入札公告		△入札（仮契約）	△本契約（議会）																

設　計　図	担当・資格等	福島直人	岩根敦 一級建築士 第337376号	Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所　宮城県知事登録　第21X10135号 管理建築士　江田伸輔　一級建築士　第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
						図面名	概略工事工程表　縮尺　A1:― A3:―		A-501
						設計年月日	令和7年5月		

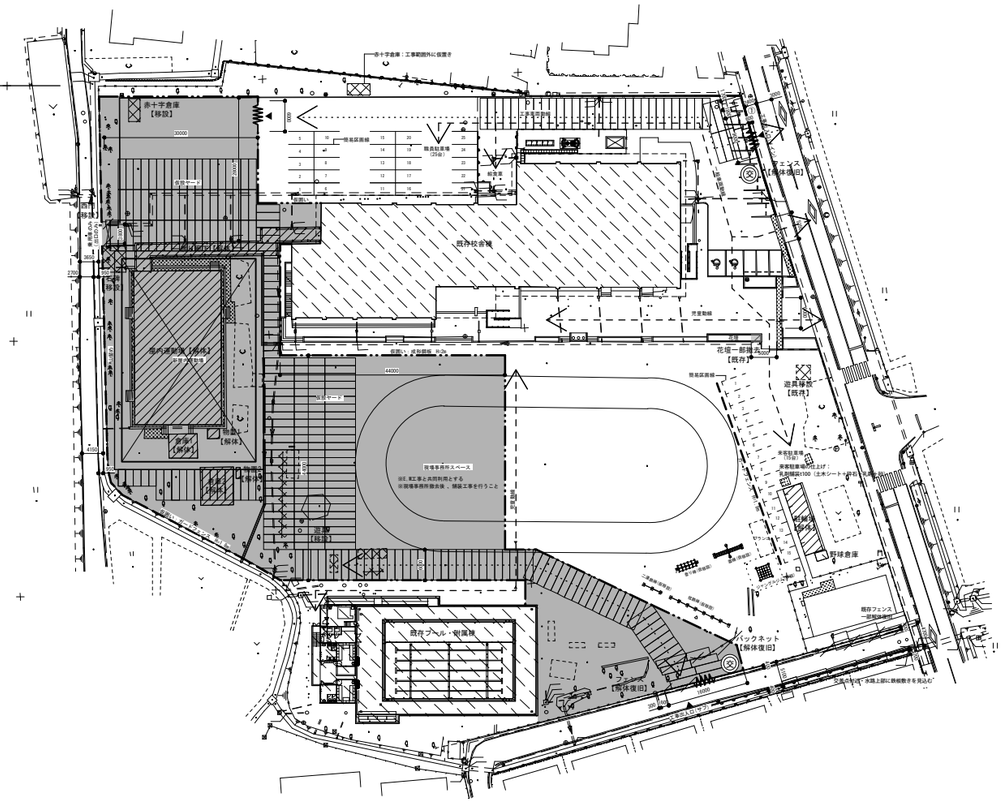
ステップ１

・既存駐輪場の解体
・臨時来客駐車場の整備
・花壇の一部撤去
・遊具の移設
・バックネットの撤去
・工事出入口の整備



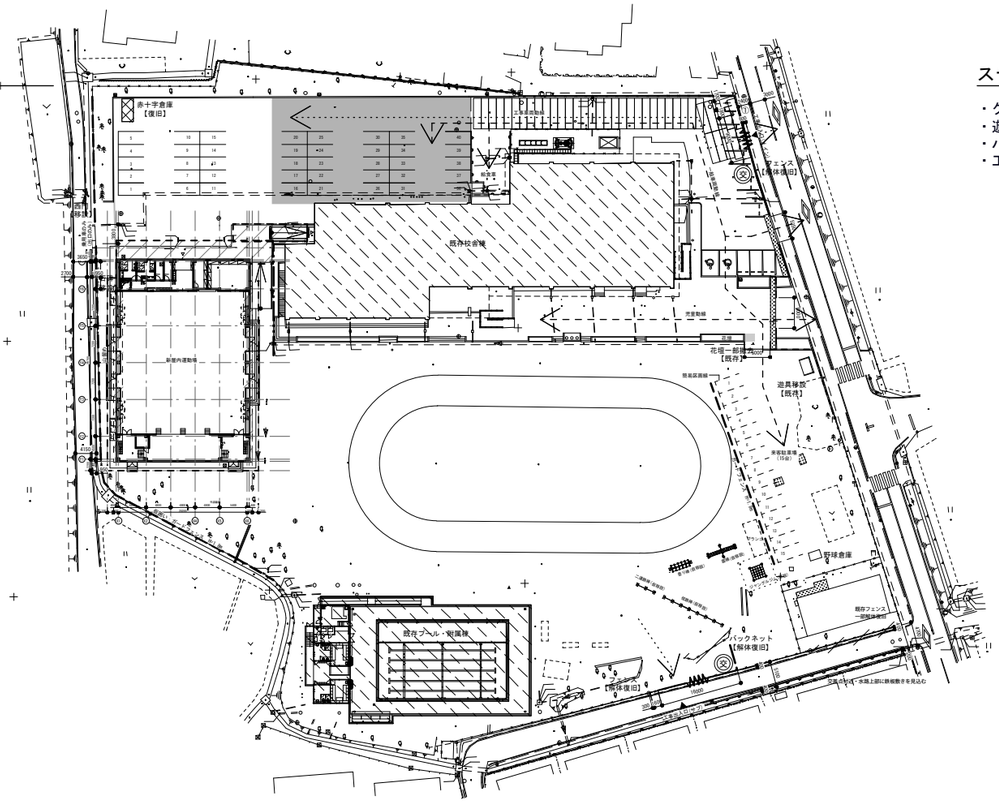
ステップ２

・既存屋内運動場の解体
・屋体運動場の新築
・赤十字倉庫の移設復旧
・仮設ヤード内のAS舗装



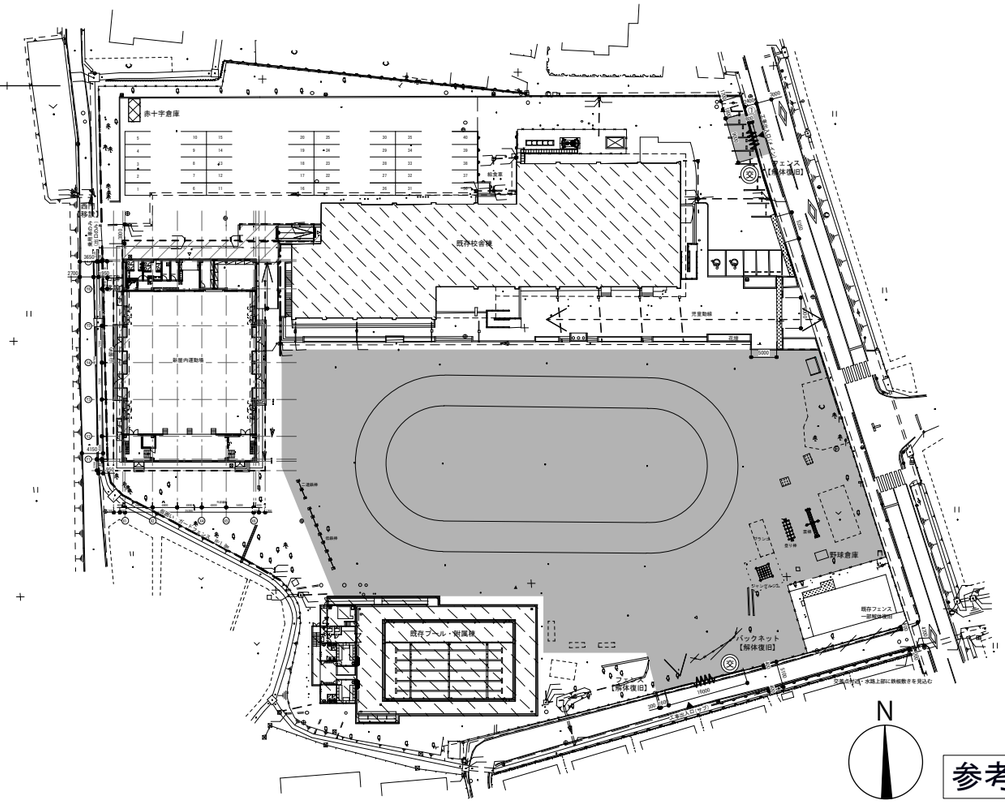
ステップ３

・北側駐車場のAS舗装の施工



ステップ４

・グラウンドの整備
・遊具の本設
・バックネットの復旧
・工事出入り口の復旧



参考図

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事		図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	工事工程図	縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	A-502
						設計年月日	令和7年5月	備考	

出典：国土地理院地図

■調査対象

番号	名称	規格	数量
①	木造建物Ａ	130-200㎡未満	2棟
②	木造建物Ｃ	70-130㎡未満	1棟
③	非木造建物イ	200-400㎡未満	1棟
④	工作物	630-1300㎡未満	2箇所

※調査対象は、工事着手前及び完成時に内外の状況・地盤・擁壁・
内外壁・床・建具等を調査し記録すること。
又範囲外で周辺住民から調査の申し出があった場合は監督員と協議する 。

※調査方法は各部の写真撮影、水平垂直測定等とする。

調査対象

設 計 図		担当・資格等		Spirit Of Place 関・空間設計 一級建築士事務所 宮城県知事登録 第21X10135号 管理建築士 江田伸輔 一級建築士 第301848号	石巻市建設部建築課	工事名	前谷地小学校屋内運動場改築工事	備考	図面番号
		福島直人	岩根敦 一級建築士 第337378号			図面名	家屋調査図 縮尺 A1:ー A3:ー		A-503
						設計年月日	令和7年5月		